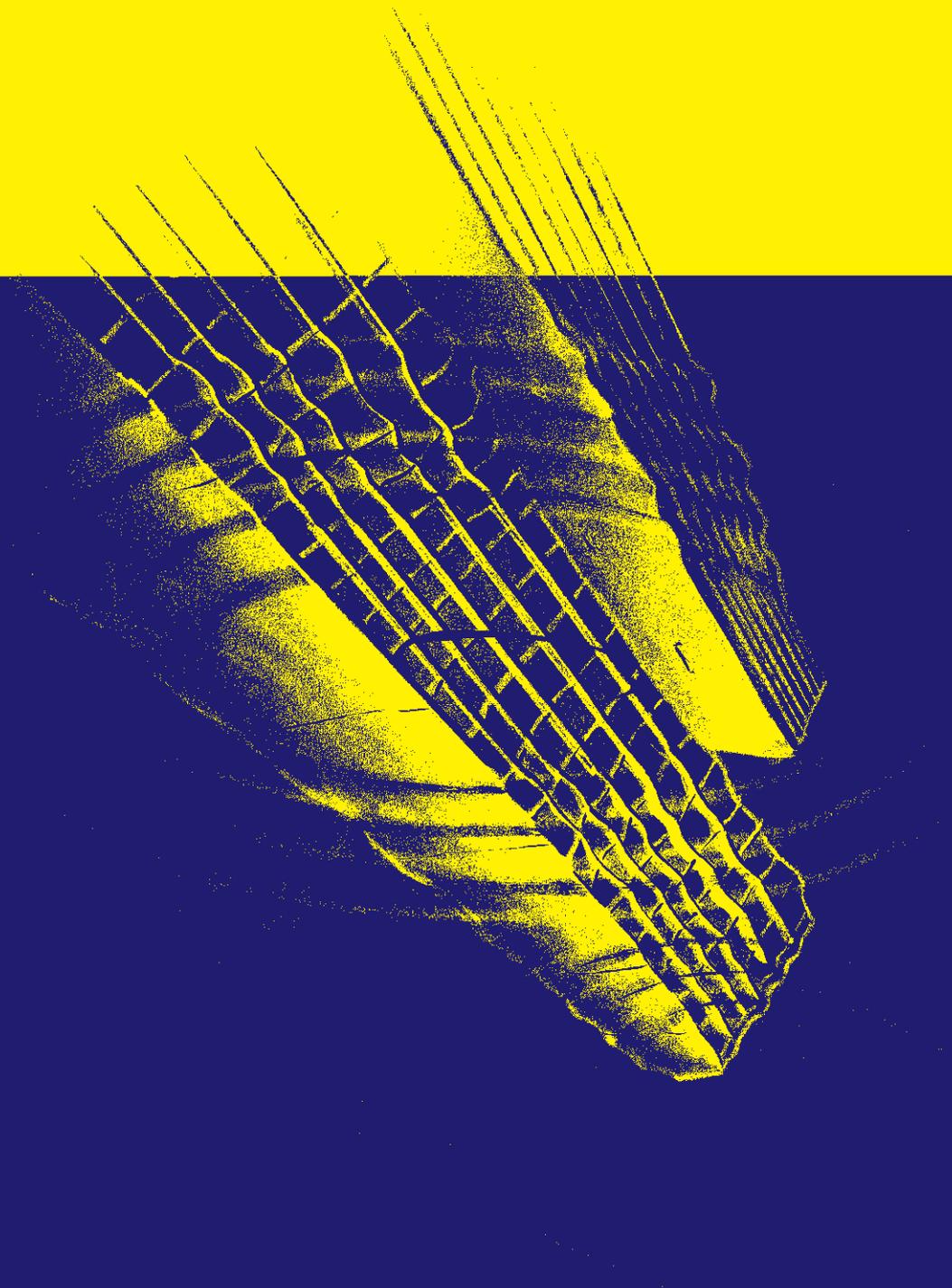


# MENSHIN

NO.64 2009.5



**JSSI**

Japan Society of Seismic Isolation

社団法人日本免震構造協会

# 社団法人日本免震構造協会出版物のご案内

2009年5月18日

タイトル	内 容	発行年月	会員価格	
			非会員価格	
会誌「MENSHIN」	免震建築・技術に関わる情報誌、免震建築紹介、免震建築訪問記、設計例、部材の性能、免震関連技術等 【A4版・約90頁】	年4回発行 2月、5月、 8月、11月	¥2,500	¥3,000
免震部材標準品リスト 《改訂版》-2005-1	大臣認定された免震部材で、免震建築物の設計に必要な部材ごとの性能基準値を一覧表にまとめたもの 【A4版・586頁】	2005年2月	¥3,500	¥4,000
免震建物の維持管理基準 《改訂版》-2007-1	免震層・免震部材を中心とした通常点検・定期点検など、免震建物維持管理のための点検要領などを定めた協会の基準 (ユーザーズマニュアル付) 【A4版・19頁】	2007年8月	¥500	¥1,000
設計・施工に役立つ問題事例 と推奨事例一点検業務から 見た免震建物-1	免震建物の点検時に発見される設計や施工に起因する不具合事例について、推奨事例も含めて解説。チェック編と解説編から構成。建築計画、構造計画、配管・配線計画、施工計画、免震部材、維持管理について解説。 【A4版・20頁】	2007年8月	¥500	¥1,000
社会環境部会活動報告書 (免震建物と地震リスク、環境問題、 地震防災)	最近の免震構造を巡るトピックスとして、免震建物と地震リスク、環境問題、地震防災における免震建物の有効性の3テーマを取り上げた活動報告書。 【A4版・101頁】	2007年12月	¥2,000	¥2,500
積層ゴムの限界性能とすべり・ 転がり支承の摩擦特性の現状	積層ゴムアインレーターの限界性能、すべり・転がり支承の摩擦特性に関する実データを 集積し調査結果をまとめたもの 【A4版・46頁】	2003年8月	¥1,500	
パッシブ制振構造設計・ 施工マニュアル 《第2版 第2刷》-2005-1	わが国で唯一のパッシブ制振構造専門の設計・施工マニュアル 摩擦ダンパーも加わり第 1版をさらに分かり易く改訂 【A4版・515頁】	2007年7月	¥5,000	
免震部材JSSI規格 -2000-1	免震部材に関する協会規格 アインレータ及びダンパーに関する規格集 【A4版・130頁】	2000年6月	¥1,500	¥3,000
JSSI 時刻歴応答解析による 免震建築物の設計基準・ 同マニュアル及び設計例	時刻歴応答解析法により免震建築物の耐震安全性を検証する際の設計マニュアル 【A4版・175頁】	2005年11月	¥2,000	¥2,500
免震建築物のための 設計用入力地震動 作成ガイドライン	主に免震建築物の設計実務に携わる構造技術者が入力地震動について理解を深めようとする際の指標となるもの 【A4版・100頁】	2005年11月	¥1,000	¥1,500
免震建築物の 耐震性能評価表示指針 及び性能評価例	免震建築物の地震に対する性能を時刻歴応答解析法により評価する具体的な方法を示すもので、性能評価例付き 【A4版・225頁】	2005年11月	¥2,000	¥2,500
免震建物の建築・設備標準 -2001-1	免震建物の建築や設備の設計に関する標準を示すもの ※売切中 2009年6月に改訂版発刊予定 【A4版・63頁】	2001年6月	¥1,000	¥1,500
第5回技術報告会梗概集	技術委員会（免震設計・応答制御・免震部材・施工・防耐火部会等）の 2006年～2008年の活動報告書 【A4版・174頁】	2009年4月	¥2,000	¥2,500
免震のすすめ	これから建物を建てようとする方々向けに大地震から人命・財産・日常生活を守る免震建物を分かり易く解説、メリット・装置の役割・コストと性能などを記したカラーパンフレット 【A4版・3ツ折】	2005年8月		100部まで無料 (100部以上ご相談)
大地震に備える ～免震構造の魅力～ 【日本語・DVD】	免震建築の普及のため建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの 【DVD 約9分】	2005年8月	¥2,000	¥2,500 ※Academy ¥1,500
大地震に備える ～免震構造の魅力～ 【英語・DVD】	【ナレーション・字幕/英語】 免震建築の普及のため建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの 【DVD 約9分】	2006年11月	¥1,500	¥2,000 ※Academy ¥1,000

## 協会編集書籍のご案内(他社出版)

タイトル	内 容	発行年月	会員価格	
			非会員価格	
改正建築基準法の 免震関係規定の技術的背景	免震建築物を設計する構造技術者向けの免震関係規定に関わる技術的背景を解説したもの 【A4版・418頁】	2001年9月	¥4,500	¥5,000
考え方・進め方免震建築	建築家、建築構造技術者など免震建築の関係者対象の技術書。 Q&A方式で、免震建築全般にわたり、免震の基本から計画・設計・施工・維持管理など幅広く解説 【A5版・200頁】	2005年5月	¥2,600	¥2,940
免震構造施工標準 -2005-1	免震構造の施工に関する標準を示すもので免震部建築施工管理技術者必携のもの 【A4版・100頁】	2005年7月	¥2,100	¥2,500
免震建築物の技術基準解説及び 計算例とその解説 【日本建築センター】	「免震告示（免震建物の構造方法に関する安全上必要な技術的基準（平成12年建設省告示第2009号）」に関する解説書 【A4版・216頁】	2001年5月*1	¥3,500	¥4,000
免震建築物の技術基準解説及び 計算例とその解説（戸建て免震 住宅）【日本建築センター】	主に戸建て免震住宅に関して平成16年国土交通省告示第1160号により改正された「免震告示」の解説書 【A4版・195頁】	2006年2月*1	¥3,550	¥4,100
耐震改修ガイドライン 【日本建築防災協会】	既存の主としてRC造建築の免震構法・制震構法を用いて耐震改修する際の手引書 【A4版・129頁】	2006年6月*2	¥3,800	¥4,500
RESPONSE CONTROL AND SEISMIC ISOLATION OF BUILDINGS 【Taylor & Franis】	各国の技術基準比較と設計・解析方法などの紹介、免震建物の地震応答観測結果、装置の紹介、各国の設計例データシートなどが示されている。(英語版) 【B5版・397頁】	2006年12月	¥5,500	非売

\*1 協会の販売は2006年5月～

\*2 協会の販売は2006年10月～

# 目次

巻頭言	都会の地震と田舎の地震－被災者は果たして平等か？－ 東京工業大学	瀬尾 和大	1
免震建築紹介	システムプラザ横浜3号館 鹿島建設	原嶋 幸一 牧部 一成	3
	スカパー東京メディアセンター 竹中工務店	大畑 勝人 池田 次寿 伊藤 武司	7
	日本大学櫻丘高等学校 本館 イクス・アーク都市設計	賀古 敏文	11
	Salt Lake City State Capitol 福岡大学	森田 慶子	14
免震建築訪問記－⑥9	日産先進技術開発センター事務棟 鹿島建設 ブリヂストン	齋藤 一 竹内 貞光	16
シリーズ			
「免震部材認定－⑨7」	剛すべり支承(ユニットン支承RX型) 日本ビラー工業		20
「免震部材認定－⑨8」	高減衰ゴム系積層ゴム支承 東洋ゴム工業		21
特別寄稿	「文化財建造物等の地震対策に関する日中専門家ワークショップ」報告 清水建設	林 章二	22
記念事業委員会－8 シンポジウムのお知らせ	創立15周年記念 「持続的社会的なための地震応答制御建築物に関する国際シンポジウム」 記念事業委員会 国際シンポジウム部会		26
記念事業委員会－9	国際アイデアコンペの結果発表 記念事業委員会 コンペ部会		28
見学会報告	Eディフェンス実大制振ビル加振実験 カヤバシステム マシナリー	岡崎 伸哉	43
講習会報告	第5回技術報告会 免制震デバイス	齊木 健司	45
	免震セミナー23 in 豊島区 CERA建築構造設計	世良 信次	47
理事会議事録			49
性能評価(評定)完了報告			52
国内の免震建物一覧表	出版部会 メディアWG		53
委員会の動き	■運営委員会 ■技術委員会 ■普及委員会 ■国際委員会 ■表彰委員会 ■資格制度委員会 ■維持管理委員会 ■記念事業委員会 ■委員会活動報告(2009.1.1～2009.3.31)		71
会員動向	■新入会員 ■入会のご案内・入会申込書(会員) ■免震普及会規約・入会申込書 ■会員登録内容変更届		75
インフォメーション	■平成20年度「免震建物点検技術者試験」合格者発表 ■行事予定表 ■「第4回 粘性系ダンパーによる既存建築物の制振補強に関するシンポジウム」開催のご案内 ■会誌「MENSIN」広告掲載のご案内 ■寄付・寄贈		84
編集後記			100

# CONTENTS

## Preface

<b>Urban Earthquake and Rural Earthquake -Are Victims all equal or not?-</b>	1
Kazuoh SEO Tokyo Institute of Technology	

## Highlight

<b>System Plaza Yokohama 3rd Building</b>	3
Koichi HARASHIMA Kazunari MAKIBE Kajima Corp.	
<b>SKYPerfectTV! Tokyo Media Center</b>	7
Masato OHATA Tsuguhisa IKEDA Takeshi ITO Takenaka Corp.	
<b>Nihon univ. Sakuragaoka High School</b>	11
Toshifumi KAKO X-ARC Urban Architects Inc.	
<b>Salt Lake City State Capitol</b>	14
Keiko MORITA Fukuoka University	

## Visiting Report-⑥9

<b>Nissan Advanced Technology Center</b>	16
Hajime SAITO Kajima Corp.	
Sadamitsu TAKEUCHI Bridgestone Corp.	

## Series "Qualified Isolation Device" -⑨7-⑨8

<b>Sliding Bearings (UNI-TON Bearing System RX)</b>	20
Nippon Pillar Packing Co.,Ltd.	
<b>High-damping Laminated Rubber Bearings(SHRB)</b>	21
Toyo Tire & Rubber Co.,Ltd.	

## Special Contribution

<b>Japan - China Workshop on Earthquake Resistance Measures for Cultural Heritage</b>	22
Shoji HAYASHI Shimizu Corp.	

## Report of 15th Anniversary Even Committee - 8,9

<b>Information of "JSSI 15th Anniversary International Symposium on Seismic Response Controlled Buildings for Sustainable Society"</b>	26
15th Anniversary Symposium Section	
<b>Result of International Idea Competition</b>	28
15th Anniversary Competition Section	

## Site Visiting Report

<b>The shaking Experiment of the Full-scale Building at E-Defense</b>	43
Nobuya OKAZAKI Kayaba System Machinery Co., Ltd	

## Report of Lecture

<b>The 5th Technical Meeting of JSSI</b>	45
Kenji SAIKI Aseismic Devices Co., Ltd.	
<b>Seminar 23 on Seismic Isolation System in Toshima City</b>	47
Shinji SERA CERA Architecture Design Office	

## Minutes of the Board of Directors

49

## Completion Reports of the Performance Evaluations

52

## List of Seismic Isolated Buildings in Japan Media WG,Publication Section

53

## Committees and their Activity Reports

71

○Steering ○Technology ○Diffusion ○Internationalization ○Commendation ○Licensed Administrative  
○Maintenance Management ○15th Anniversary Event ○Activity Report of the Committees(2009.1.1~2009.3.31)

## Brief News of Members

75

○New Members ○Application Guide & Form ○Rules of Propagation Members & Application Form ○Modification Form

## Information

84

○Successful Candidates of "Licensed Administrative Engineer for Maintenance Management of Seismically Isolated Buildings in 2008"  
○Annual Schedule ○Guide of Symposium "The 4th Seismic strengthening design of existing buildings with visco-damping devices"  
○Advertisement Carrying ○Contributions

## Postscript

100

# 都会の地震と田舎の地震

— 被災者は果たして平等か? —



東京工業大学

瀬尾和大

1995年兵庫県南部地震では、初歩的な被害から現状では説明に窮するような被害まで種々雑多な被害が一時に噴出したため、それまでに構築されてきた地震工学の知見や耐震技術と被害実態との関係を見極めるのに随分時間を費やしてしまった。しかし、そこからようやく見えてきたのは根拠が明確でない技術過信とそれに依存した自然災害に無防備で無責任な社会システムであった。

ここでいう社会システムとは、地域社会およびそこに居住する人々に安全で快適な環境を提供するためのあらゆるサービスと、それを享受する人々の側の協力態勢が体系化された状態のことを考えているが、兵庫県南部地震の頃には大震災時の危機管理体制といったものは国にも地方にも充分には具備されておらず、また信頼できる指導者を欠いていたため、そもそも社会システムなどと呼べるものは存在していなかったのかも知れない。

もう一つ、兵庫県南部地震の被害実態が非常に見えにくかった理由として、神戸・阪神地域の被害形態に都会的な側面と田舎的な側面の二つが混在していたことも考えられないだろうか。もちろんここでは都会と比べて田舎を蔑視するつもりは毛頭なく、それぞれの地域社会に特有の日常生活のためのコミュニケーションや背景としての社会システムが、震災時の被災状況や震災後の復旧・復興過程の中にも地域の特色として反映されるのではないかと考えている次第である。

それから10年後に発生した2005年福岡県西方沖地震の場合にも、被害形態には都会的な側面と田舎的な側面の二つが現れたが、それぞれの地域は完全に分離されていたので、神戸に比べれば非常に判り易かった。すなわち、田舎型被災地の代表は震源に近い玄界島であるが、小島の斜面上に密集した典型的な漁村集落が壊滅的被害を受けた状況は、兵庫県南部地震の際の淡路島北淡町富島地区の状況に近いも

のがあった。

玄界島の200世帯の被災者は島外一斉避難の後玄界島と本土側に各々100戸ずつ建設された仮設住宅で3年間を過ごし、国・県・市の支援による復興工事によって帰島を果たしている。それにしても200世帯分の私有財産を全て行政側が買い上げ、大規模な斜面造成工事の後、公営住宅の建設と宅地分譲によって短期間のうちに驚異的な復興を成し遂げた背景には、行政側の全面的な支援が不可欠であったことは当然のこととして、被災者である全島民が島民総会という意志決定の場を有効に活用できた点も大きかったと推察される。

一方、福岡市の中心市街地では、震源から距離が離れていたこともあって大きな被害は発生しなかった。しかし、古いSRC造10階建てオフィスビルの外壁ガラスが飛散して路上に降り注いだり、14階建て新築マンションの非構造壁に発生したせん断亀裂が隣りの玄関ドアを圧迫して居住者の避難活動を妨げたり、同じく新築の15階建てマンションではエキスパンションジョイント部分で2棟の建物が衝突し、重量500kgものコンクリート製の手摺り壁を10階から地上の玄関脇に落下させるなどの被害が見られた。犠牲者が生じなかったのは地震が偶々休日の午前中に発生したという偶然によるもので、まかり間違えば重大な人的被害が発生していたかも知れないというところに大都会で今後とも起こり得る地震被害の特色が潜んでいるように思えてならない。

一般に、上記のような比較的軽微な災害に対して社会は冷たいところがある。大きな社会問題になるかどうかは、犠牲者が多く発生したかどうか、それをマスコミが大きく取り上げたかどうか依存し、前述の『まかり間違えば重大な人的被害が発生していたかも知れない』という論理は通用しないようである。従って福岡の新築マンションの被災者は都会の

中の少数派として、また『非構造被害は建築基準法に違反したものではない』との理由から、建築主や施工業者のみならず防災行政・建築業界・建築学界からも何ら支援が得られない状況が続いている。

このようなマンション居住者と玄界島の漁業集落の住民との間で、震災後の行政側の対応が極端に異なるのはいったい何故なのか。一つには、自力で回復できるかどうかという被災程度についての行政判断があったに違いない。もう一つは被災者側の団結力の強さということもあるのではないかと考えられる。玄界島の島民は福岡市民であると同時に漁業を共有する職業集団でもあって、緊急時の団結力が強いのは当然であろう。一方のマンション居住者は多様な価値観を持ったサラリーマン家族が大勢を占めているため、緊急時であるからといって即座に管理組合への結集を求められても対応は困難であったと推察される。

エンドユーザーとしてのマンション居住者と建築主(売主)・施工業者の間で、震災時にどの程度までの被害を許容するか、補修費用はどうするのか、建物の設計・施工上の瑕疵はどのように判断するのかなど、いわゆるリスクコミュニケーションの必要性については最近ようやく建築学界でも認識され始めたところである。しかし早急に対応策を考えておかないと、東京や大阪等の大都市圏で懸念されている直下地震の際に福岡と同じようなマンション被害が続出し、今度こそは大きな社会問題になるのではないかと危惧される。それは福岡の教訓がその後の防災対策に全く活かされなかったことを意味しており、福岡の被災者に対して大変申し訳ないことではなからうか。

一方において、最近では2004年の中越地震、2007年の能登半島地震と中越沖地震、2008年の岩手・宮城内陸地震と、先の定義によれば田舎の地震が頻発しているように思われる。これらの地域に共通する課題として、中山間地域の孤立化が容易に解消できない点や、高齢化社会における復旧・復興のあり方、とりわけ被災家屋の解体は公費で迅速に行えても再建が容易でない点についての指摘がある。それでも都会の地震との比較でいえば、田舎の地震の方が行政からの支援は得られ易いのではないかと想像される。

例えば中越地震の際に斜面崩壊と土砂ダムに埋ま

った旧山古志村は、玄界島と同様に3年後には希望者はすべて帰還を成し遂げている。旧山古志村について再び考えさせられたのは、つい最近になって4年後の完全復興を伝える報道写真1を見て、巨大な防災工事のスケールと崖上の新築住宅群のサイズがいかに mismatch に思えたからである。現地で状況を確認してみると、防災工事を施した崖の法面は高さ・幅ともに100mを超える巨大なもので圧倒されたが、空撮された写真2を見ると印象は全く異なり、宿命とも思える斜面崩壊を繰り返しながら独自の美観を造り上げてきた中山間集落の中に埋没してしまうほどの大きさでしかない。

玄界島にしても旧山古志村にしても、被災者独自の力ではどうにも立ち行かない時に国や地方自治体が援助の手を差し伸べてくれるのは大変ありがたいことで、それに対して異論を唱えるつもりは全くない。しかしながら巨費を投入するからには費用対効果ということも勘案し、地域の特性に配慮した最善の対策をと願わずにはいられない。

つい最近、エルサレム賞の受賞講演で村上春樹氏は『高く強固な壁(システム)と、それにぶつかって割れる卵があるなら、どれだけ壁が正しく、どれだけ卵が間違っていようとも、私は常に卵の側に立つ』と自らの立場を明確にし『システムが我々を作ったのではなく我々がシステムを作ったのだ』と述べているが、この内容は一作家の信条としてのみならず、壁を建築基準法や建設業界に卵をエンドユーザーや被災者に置き換えてみれば、地震防災や建築構造設計に携わる立場からも肝に銘じておくべき金言ではないかと思われる。



写真1(左):中越地震から4年後の旧山古志村(朝日新聞2008年10月22日版)

写真2(右):旧山古志村で進行中の崖法面の復旧工事(湯沢砂防事務所2008年4月撮影)同事務所によれば防災工事を施した法面は種子吹き付けによって上記の写真ほどには目立たなくなっているとのことである。

# システムプラザ横浜3号館



原嶋 幸一  
鹿島建設



牧部 一成  
同

## 1 はじめに

本建物は、神奈川県横浜市に建設された7階建の業務ビルである(2009年4月竣工)。

既存1号館・2号館と一体管理がなされ、相互連携による機能アップが図られている。同じ建物高(最高限度地域内)で同形式にて建設された2号館(2000年9月竣工)に対して、最新ニーズに合わせた基準階高+250mm、および積載荷重+5kN/m<sup>2</sup>という仕様拡張が達成されている。

## 2 建物概要

建設地	神奈川県横浜市
建築主	BHKビジネス(株)
建築設計	鹿島建設(株)横浜支店
構造設計	鹿島建設(株)横浜支店
設備設計	(株)日立プラントテクノロジー
施工	鹿島建設(株)横浜支店
建物用途	事務所
延床面積	10,754.44m <sup>2</sup>
建築面積	1,512.72m <sup>2</sup>
建物規模	地上7階、塔屋1階
軒高	30.32m
基準階階高	4.45m(図3)
工期	2008年3月~2009年4月
構造形式	1階~R階：プレキャスト(PCa) プレストレストコンクリート(PC)造 (PCaPC圧着工法) 基礎：鉄筋コンクリート造 塔屋：鉄骨造 床：ハーフPC板(WT板) 外壁：PCカーテンウォール
基礎形式	直接基礎



図1 建物パース

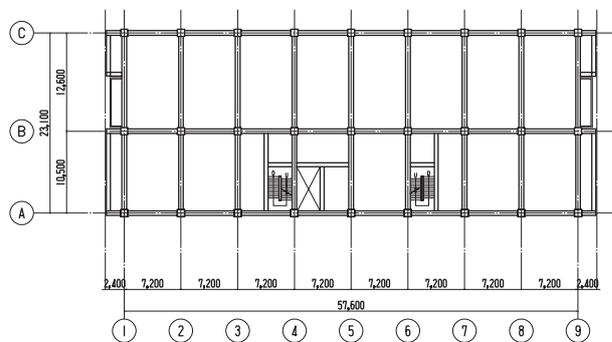


図2 基準階伏図

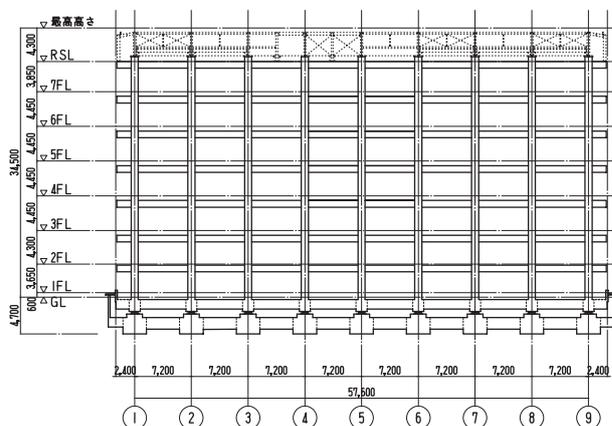


図3 長辺方向軸組図

### 3 構造計画概要

本建物は、PCaPC圧着工法と免震構法を組み合わせている。PCaPC圧着工法は、あらかじめ工場で製作された柱、梁のプレキャスト部材に現場で緊張力を導入し、圧着接合にて躯体を構築していく工法である(図4)。工場生産により高品質が確保され、現場作業を簡略化し、廃棄物を大幅に削減することができる。各部材は高強度コンクリートを使用しているため、耐久性にも優れている。また、プレストレスト構造であるため、RC造では難しいロングスパンの梁を可能とし、梁せいを抑えることにより、建物高さの規制がある中で階数と必要天井高を確保している。本建物では、床積載荷重10kN/m<sup>2</sup>、12.6mスパンの架構を850mmの梁せいで構成している(写真1)。

基礎は直接基礎(独立フーチング基礎)とし、GL-4.0m以深のN値50以上の上総層(土丹層)を支持層としている。

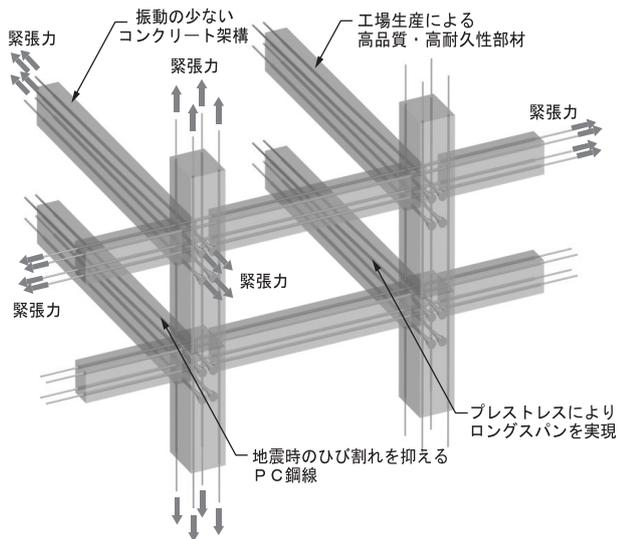


図4 PCaPC圧着工法



写真1 上部架構内観(12.6mスパン)

本建物の免震システムは、1階床下に高減衰ゴム系積層ゴム支承を使用している。径は1000φ、900φ、850φを各9基、計27基を用いている。ゴム層厚はすべて20cmである(写真2)。

$\gamma=100\%$ (20cm)変形時での建物固有周期は、約4秒とし、免震ピットの水平クリアランスは60cm、上下クリアランスは5cm確保している。

免震材料下部は、密実なコンクリート打設と設置面の精度が確保されるよう、アンカーボルトを取り付けたリング状のプレートを使用した。免震材料上部の躯体から部材をPCa化し、工期短縮を図っている(写真3)。以下、構造全体概要を表1に示す。



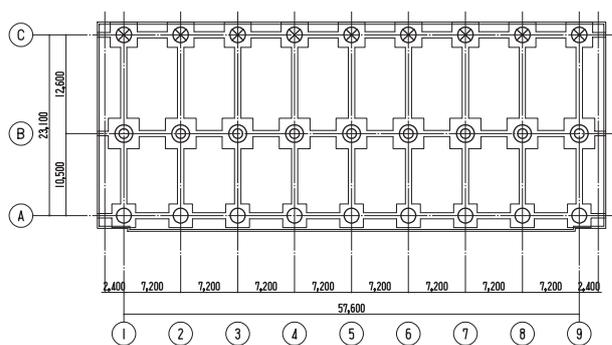
写真2 免震材料の設置



写真3 免震材料とPCaフーチング

表1 構造全体概要

骨組形式 種 別	1階～R階；柱梁ともPCaPC造 (長辺短辺方向とも純ラーメン構造) 基礎：鉄筋コンクリート造			
柱・はり 断面・材料	柱 (mm)：900×900 大梁(mm)：600×850 (1階：600×1200) PCa部材コンクリート：Fc60 現場打設コンクリート：Fc24～30 鉄筋：SD295A～SD390,KSS785 PC鋼材：PC鋼棒(柱) 32φ(SBPR1080/1230) PC鋼より線(梁) 15.2φ(SWPR7B)			
柱・はり 接合部	1階～R階：PC圧着 基礎：RC造			
床形式	ハーフPC合成床板			
高減衰積層ゴム	外径(mm)	1000φ	900φ	850φ
	ゴム層厚 (mm)	6.7×30= 201	6.0×33= 198	5.7×35= 200
	平均面圧 (長期)	12.5N/mm <sup>2</sup>	11.2N/mm <sup>2</sup>	10.8N/mm <sup>2</sup>



免震材料	記号	サイズ	基数
高減衰積層ゴム H=200	◎	1,000φ	9
	⊗	900φ	9
	○	850φ	9

図5 免震材料配置

#### 4 免震構造概要

免震層の長期軸力は、5,700～10,900kNである。建物妻側の1、9通りの軸力は、片持ちスラブとPCカーテンウォールの重量により、中柱とほぼ同じ軸力となっており、免震材料の引抜き抵抗に対して有効となっている。これら長期軸力に対して、積層ゴムの長期面圧が12N/mm<sup>2</sup>程度以下となるよう径の設定を行った(図5)。

免震層での偏心率は、長辺方向0.2%、短辺方向0.12%となっている。

#### 5 設計方針

耐震性能目標は、表2のように定めた。

#### 6 地震応答解析

##### 1) 振動解析モデル

解析モデルは、各階床位置を質点とする8質点等価曲げせん断モデル、免震層は免震材料の特性を評価したスウェイ・ロッキングばね(ロッキングばねは弾性)としている。

上部構造のスケルトンカーブは、Tri-Linear型とし、履歴法則は、PCaPC造の復元力特性を考慮して長辺、短辺方向とも履歴エネルギー消費のない非線形弾性とした(図6)。免震層の高減衰積層ゴムの復元

表2 耐震性能目標

	荷重・地震動	上部構造				免震部材	下部構造
静的	長期	RC部材：長期許容応力度以内 PC部材：長期許容応力度以内 梁中央下端は長期許容引張応力度以内 終局耐力 $\geq 1.7(G+P)+X$ 、 $1.2G+2.0P+X^{1)}$				基準面圧以下を原則とし、これを超える場合でも基準面圧の1.2倍以下	長期許容応力度以内
	地震力	ベースシア係数CB <sup>2)</sup>	最大層間変形角(rad)	PC梁の塑性率 <sup>3)</sup>	PC柱脚の塑性率 <sup>3)</sup>		
	設計せん断力時	CB=0.12	1/200以内	0.8以内	0.8未満		
	終局強度用せん断力時	CB=0.18	1/100以内	1.0以下	1.0未満		
	保有水平耐力時	—	1/100	4.0以下	2.0以下	—	短期許容応力度以内
動的	地震動	最大応答層間変形角		最大応答層せん断力		安定変形 20cm( $\gamma=100\%$ )以内 引抜力が生じない	長期許容応力度以内
	稀に発生する地震動	1/400以内		—			
	極めて稀に発生する地震動	1/200以内		設計せん断力以内			

1) 長期における記号、G：固定荷重による応力、P：積載荷重による応力、X：プレストレス力の導入に伴う2次応力

2) CB：ベースシア係数(終局強度用せん断力=1.5×設計せん断力)

3) 部材塑性率： $\mu = \theta / \theta_y$  ( $\theta$ ：部材の曲げ回転角、 $\theta_y$ ：部材の曲げ降伏回転角)

力は、修正Bi-Linear型とした。

上部構造の減衰は、1階床を固定とした場合の1次振動に対して3%の初期剛性比例型の内部粘性減衰、免震層については0%とした。建物の固有周期は、表3に示すように1階床固定時が1.1秒に対して、レベル2相当時が4.7秒である。

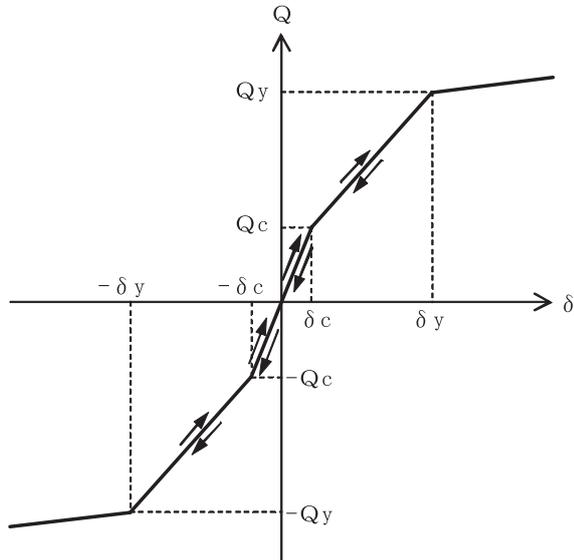


図6 上部構造の復元力特性

表3 固有周期

方向	1階床固定	レベル1 ( $\gamma=100\%$ )	レベル2 ( $\gamma=200\%$ )
長辺方向	1.09 秒	3.99 秒	4.66 秒
短辺方向	1.10 秒	3.99 秒	4.66 秒

## 2) 入力地震動一覧

振動解析に用いた入力地震動は、告示3波(乱数位相、八戸位相、神戸位相)と観測波3波とした(表4)。工学的基盤は、基礎下端の土丹層とし、これら6波を免震材料の基部より直接入力した。

表4 入力地震動一覧

種類	地震動波形	稀に発生する地震動(レベル1)		極めて稀に発生する地震動(レベル2)	
		加速度 ( $\text{cm/s}^2$ )	速度 ( $\text{cm/s}$ )	加速度 ( $\text{cm/s}^2$ )	速度 ( $\text{cm/s}$ )
告示波	告示波 A (乱数位相)	77	9	387	47
	告示波 B (八戸位相)	77	10	384	51
	告示波 C (神戸位相)	77	12	383	58
観測波	El Centro 1940 NS	255	25	511	50
	Taft 1952 EW	248	25	487	50
	Hachinohe 1968 NS	167	25	333	50

## 3) 応答解析結果

図7に長辺方向の応答結果を示す。各階の最大応答加速度は200gal以下、免震層の最大変位は32.4cm、各階の最大層間変形角は1/500以下、免震材料は上下地震動を含め引抜きは生じておらず、表2の耐震性能目標を十分に満足している。

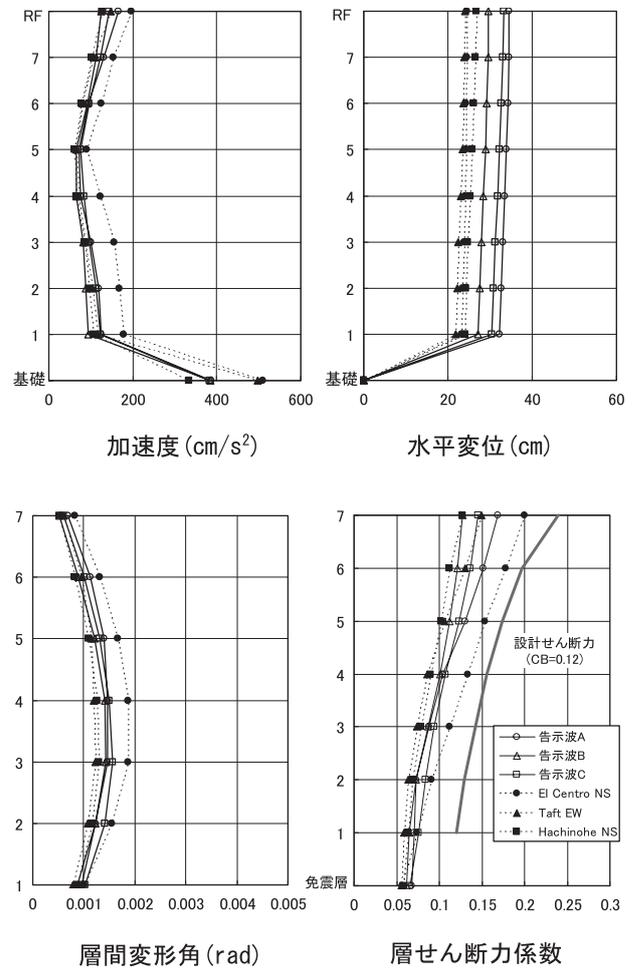


図7 地震応答解析結果(レベル2,長辺方向)

## 7 おわりに

無事竣工を迎えることができ、お客様をはじめ、関係者一同に厚くお礼申し上げます。また本建物の設計において、ご協力いただいた(株)PC建築技術研究所をはじめ、関係者の方々に感謝いたします。

### 【参考文献】

- 「PC部材の履歴特性とPC造建物の地震応答性状」、林・岡本・小谷・加藤・傳、プレストレストコンクリートVol.37, No4, Jul.1995
- 「小田急海老名分譲マンションB・C街区 (VINA MARKS)」、丸山、MENSIN NO.41 2003/8

# スカパー東京メディアセンター



大畑 勝人  
竹中工務店



池田 次寿  
同



伊藤 武司  
同

## 1 はじめに

本建物は、東京都江東区に建設される事務所及び衛星放送施設である。屋上に搭載されたパラボラアンテナから通信衛星に向けて送信するメディアセンターとしての機能を担っており、免震構造に支えられた堅牢な構造と基幹設備の二重化によって24時間365日、たとえ大災害が起きても放送サービスを継続できるよう計画されている。建物は機能的に、放送機器を納める“物のゾーン”と社員が執務する“人のゾーン”と、これらの間を貫く5層吹抜のアトリウムで構成されている。自然光や自然通風、内部植栽などによってアメニティーを高めたこの大きな吹抜け空間ではトップライトを通して屋上のパラボラアンテナを望む事ができる。平面的には、東西方向57.0m、南北方向60.0mのほぼ正方形に近い形状で、立面的にもセットバック等はない。階高はB1階3.9m、地上階は4.65m～5.50m、軒高は25.65mである。外装は、プレキャストコンクリートパネル及びアルミ製ルーバー等により構成されている。



図1 南側外観写真(撮影：小川泰祐)

## 2 建築概要

建物名称：スカパー東京メディアセンター  
 建築主：スカパーJSAT株式会社  
 設計：(株)竹中工務店 東京一級建築士事務所  
 施工者：(株)竹中工務店 東京本店  
 建設地：東京都江東区新砂1丁目1-2  
 主用途：事務所  
 建築面積：3,951.58㎡ (1,195坪)  
 延床面積：17,579.86㎡ (5,298坪)  
 階数：地下1階・地上6階・塔屋1階  
 最高高さ：30.55m  
 構造種別：S造、一部SRC造、免震構造(中間階免震)  
 基礎形式：杭基礎

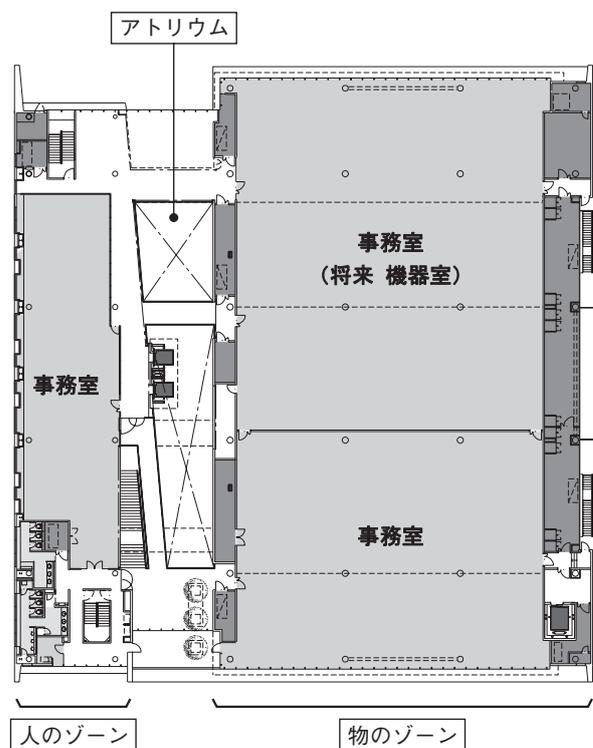


図2 3階平面図

### 3 構造計画概要

本建物は地下1階、地上6階の事務所及び衛星放送施設である。大規模な災害発生時においても放送事業が継続できるという建築主要性能に対し、大地震時における建物・衛星放送関連設備・その他設備機器の機能維持のために免震構造を採用している。

#### 構造種別・架構計画

上部構造は柱にコンクリート充填鋼管(CFT)、梁にH形鋼を用いた鉄骨造を採用している。ただし、1階大梁については、免震層の剛性を高める為に鉄骨鉄筋コンクリート造とした。

架構形式は両方向ともブレースを有するラーメン架構とし、高い剛性と圧縮耐力が得られる座屈補剛ブレースを主に外周部に配置し、建物のフレキシビリティを阻害しない計画としている。

#### 地下・基礎構造

地下構造(免震ピット部)は鉄筋コンクリート造としている。マットスラブを主体とし地下1階となる部分は基礎梁を併用している。

沖積粘性土層がGL-48m付近まで連続している軟弱地盤であることから、地業には高い支持耐力と変形性能を有する先端根固め式の鋼管杭を採用し、GL-50mの洪積砂質土層(N値50以上)に支持させている。またGL-10m前後まで液状化の恐れがある砂質土層があるため、深層混合処理工法(TOFT工法)による格子状地盤改良を実施している。

### 4 免震計画概要

免震装置の選定は、軟弱地盤上で効果的に免震性能を発揮させるため、免震周期をできる限り長周期

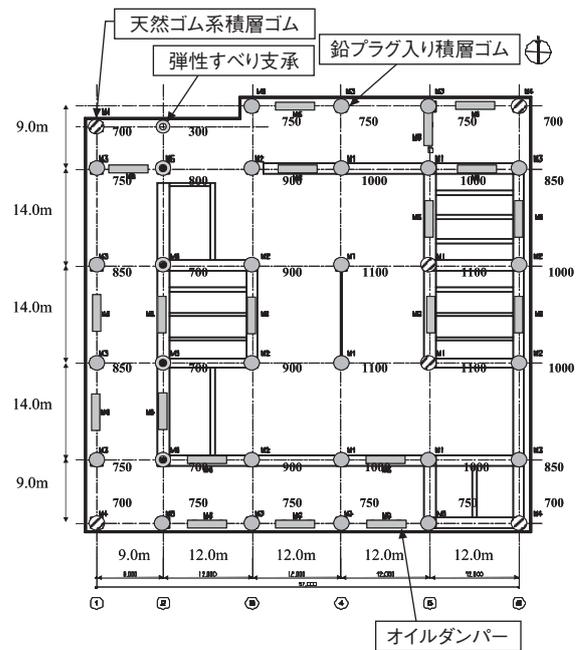


図4 免震装置配置図

化し床加速度応答を抑えることと、履歴減衰と粘性減衰を組合せ、充分なエネルギー吸収を図ることを目標として行った。その方針により、本建物の1階梁下に、直径700mm～1100mmの鉛プラグ入り積層ゴム25台、天然ゴム系積層ゴム6台、弾性すべり支承5台、オイルダンパー20台を配置した中間階免震構造となっている。外周部擁壁と1階床梁とのクリアランスは免震層の変形を考慮して500mmを確保している。当初の計画では地下階がなく1階梁下に免震装置を配した基礎免震架構であったが、駐車場の建物内配置のニーズに応えるべく、免震層に自走式駐車場を取り込む計画へのダイナミックな変更を行った。掘削土量の最小化を図るため、免震層基礎のマットスラブを連続的に屈曲させ、駐車場として必要な範囲だけを必要な高さまで免震層スペースを広

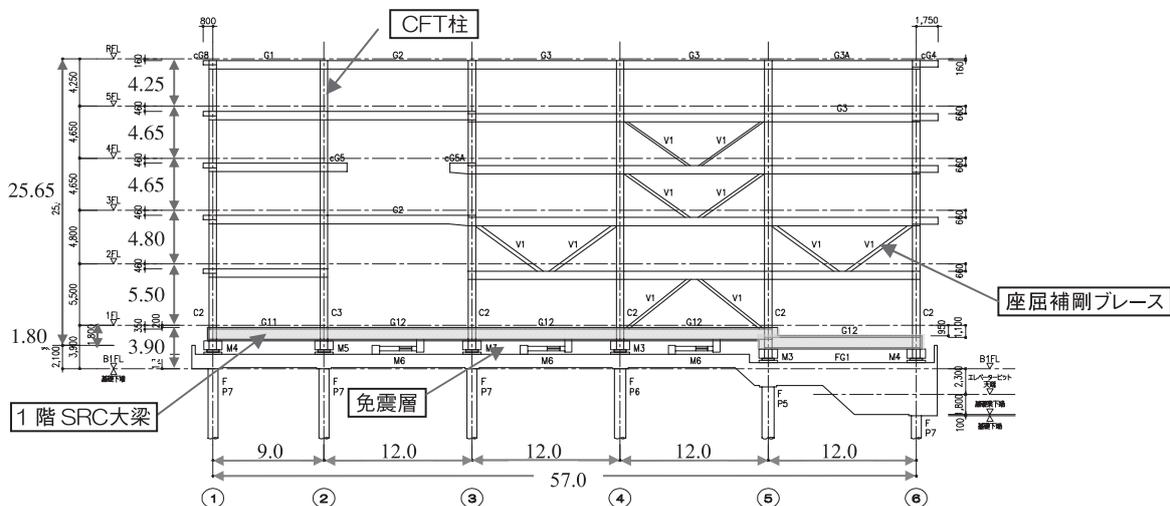


図3 軸組み図

げる構造とした。その結果、法規上は地下1階であるが、基礎免震とほぼ同等の取扱いとなり、中間階免震では通常必要となる免震支承の耐火被覆は限定された積層ゴムのみで済み、すべり支承を無耐火被覆で採用することが可能となった。

## 5 振動応答解析の概要

### 1) 耐震性能目標と設計用入力地震動

建物および免震層の耐震性能目標値を表1に示す。

設計用入力地震動は、告示波3波、標準波3波および模擬地震動2波とした。表2に採用波の一覧を示す。

表1 耐震性能目標

部 位	項 目	稀に発生する地震動	極めて稀に発生する地震動
上 部 構 造	層間変形角	1/400以下	1/200以下
	部材応力	短期許容応力度以下	
免 震 層	水平移動量	500mm以下	
免 震 装 置	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム	面圧-せん断歪み関係*1	安定変形以内 性能保証変形以内
	弾性すべり支承	浮上り	浮上りを生じない
下 部 構 造(免震ビット)	オイルダンパー	応答速度*2	120cm/sec以内
	部材応力	短期許容応力度以下	
基 礎 構 造	杭の支持力	短期許容支持力以下	

\*1:装置径毎に決まる面圧とせん断歪み関係から定義される値

\*2:オイルダンパーの限界速度

表2 入力地震動一覧

地震名称	稀に発生する地震動			極めて稀に発生する地震動		
	速度 (cm/s)	加速度 (cm/s <sup>2</sup> )	継続時間 (sec)	速度 (cm/s)	加速度 (cm/s <sup>2</sup> )	継続時間 (sec)
告示波 (告示スペクトル適合波)	位相 ランダム1	14.2	107.2	60	60.3	337.9
	位相: ランダム2	14.1	97.2	60	-	-
	位相: 八戸1968EW	11.3	93.8	120	54.7	276.5
サイト波 (断層模擬波)	関東地震	-	-	-	31	220.6
	東京湾 北部断層	-	-	-	34.1	306.4
標準波 (観測波)	El Centro 1940NS	25	255.4	53.8	50	510.8
	Taft 1952EW	25	248.4	54.4	50	496.8
	Hachinohe 1968NS	25	165.1	36	50	330.1

### 2) 振動解析モデル

振動解析モデルは、各階床位置を質点とする6質点等価せん断型モデルとしている。上部架構の復元力特性はバイリニア型とし、免震層においては鉛プラグ入り積層ゴムを修正バイリニア、天然ゴム系積層ゴムを弾性、弾性すべり支承を正規バイリニアとした。免震層を固定とした場合の上部架構固有周期を表3に示す。また積層ゴムのせん断歪み度レベル

表3 免震層固定時の固有周期(sec)

方 向	1次	2次	3次
X方向	1.109	0.404	0.245
Y方向	1.048	0.397	0.247

表4 免震層変位時の等価固有周期(sec)

方 向	ゴムのせん断歪み度	1次	2次	3次
X方向	50%	2.933	0.664	0.356
	200%	4.087	0.679	0.357
Y方向	50%	2.921	0.673	0.344
	200%	4.079	0.688	0.346

で50%および200%時の等価固有周期を表4に示す。

### 3) 応答解析結果

図5、6に極稀地震時の標準状態における応答解析結果を示す。放送設備が集まる事務所空間である2~5階の床応答加速度は200gal以下に抑えられており、高い免震効果が発揮され当初の目標が達成されていることが示された。

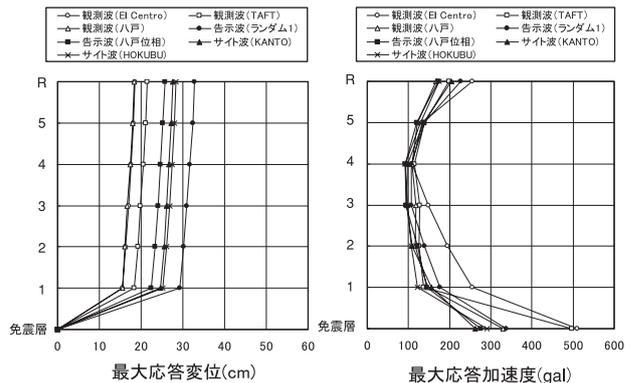


図5 X方向(極稀地震動)

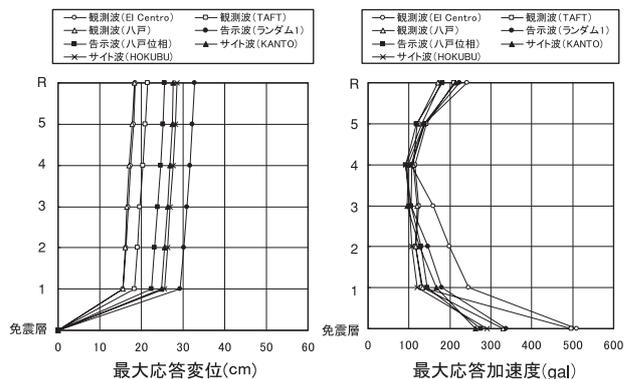


図6 Y方向(極稀地震動)

## 6 吹抜けを考慮した地震時応答の検証

本建物は、②~③通り間の2階床からR階床に吹抜け部(接続部分)を有している。西側部分と東側部分では大きく用途が異なるため、床荷重の違いも大きいですが、それぞれのY方向の層剛性比をできるだけ等しく

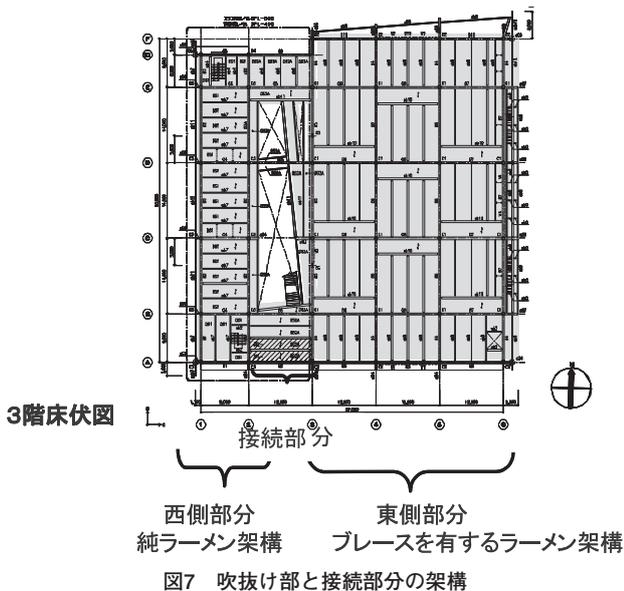


図7 吹抜け部と接続部分の架構

する架構計画を行っている(図7)。その結果、静的弾性解析によりY方向地震時(設計用地震力)に各階の接続部に生じる床の面内せん断応力度が最大 $\tau = 0.60\text{N/mm}^2$ と、コンクリート(Fc21)の短期許容せん断応力度 $f_s = 1.05\text{N/mm}^2$ より十分小さく接続部の床の剛性および強度は確保されていることを確認している。

かつ、地震時の動的な影響を把握するため、図8に示す様に吹抜け部の床接続部をバネ評価したツインタワー解析モデルを構築し時刻歴応答解析を実施している。全体を一体とした質点系モデルを基本モデルとして、西側、東側とを比較した解析結果を図9、図10に示す。

基本モデルと比較して、ツインタワーモデルでは西側・東側ともに最大応答変位が5~6%小さくなっている。最大層間変形角は西側で1/329(3階)、東側で1/364(4階)となり、西側で基本モデルより若

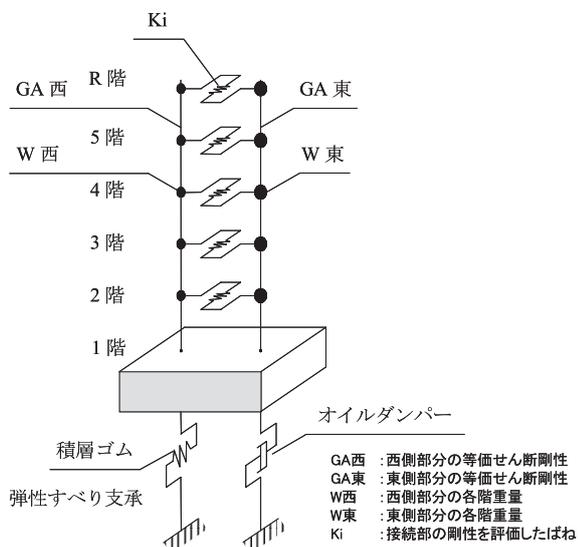


図8 吹抜けを考慮した解析モデル

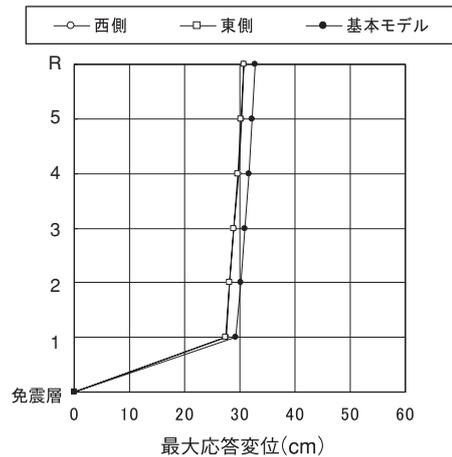


図9 最大応答変位の比較(極稀地震時レベル、Y方向)

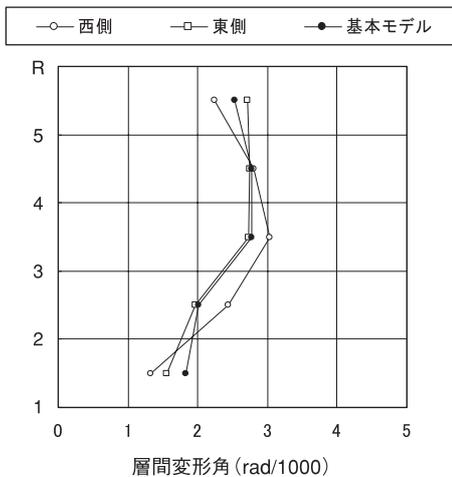


図10 最大応答層間変形角の比較(極稀地震時レベル、Y方向)

干大きくなっているが、十分設計目標値(1/200)以内であることを確認した。また、最大応答層せん断力は西側・東側の合計が基本モデルとほぼ同様の結果(1~2%減少)であり、両質点を連結している各層の最大せん断ばね応力をスラブのせん断面積で除した応力度は最大でも $\tau = 0.72\text{N/mm}^2$ とコンクリートの短期許容せん断応力度以下であり、静的な検討結果の妥当性を検証している。

## 7 おわりに

本建物は2008年の7月末に無事建物の引渡し完了した。その後、各種放送関連設備が徐々に構築される計画となっているが、一部の放送設備は実装され全国の利用者へむけた配信が24時間続けられている。

今回このような素晴らしいプロジェクトの設計に携わることができたのも、ひとえに質の高い建物を創るという建築主を初め関係者一同の強い想いのお陰だと認識している。この場を借りて感謝の意を表します。

# 日本大学櫻丘高等学校 本館



賀古 敏文  
イクス・アーク都市設計

## 1 はじめに

本校は日本大学の付属高校であり、日本大学文理学部の併設校です。京王線の桜上水駅または下高井戸駅から歩いて8分の日本大学文理学部や公立校・住宅に囲まれたエリアにあります。

階 数：地上5階建  
高 さ：21.45m  
構造種別：校舎棟(免震構造)RC造  
プール棟(耐震構造)RC造一部S造  
免震構造：基礎免震構造(校舎棟)  
工 期：平成19年1月～平成21年12月



写真1 建物外観

## 2 建物概要

建物名称：日本大学櫻丘高等学校本館  
建設敷地：東京都世田谷区桜上水3丁目24番22号  
建物用途：高等学校  
建 主：日本大学  
設 計：日本大学本部管財部  
設計協力：(株)イクス・アーク都市設計  
監 理：日本大学本部管財部  
監理補助：(株)イクス・アーク都市設計  
施 工：(株)フジタ (建築工事)  
(株)サンテック (電気工事)  
第一工業(株) (設備工事)  
延床面積：11,663.58m<sup>2</sup>  
建築面積：3,199.04m<sup>2</sup>

## 3 設計コンセプト

生徒の学習環境を整備・改善することを第一の目標とし

- ①『学習環境』
- ②『安心・安全』
- ③『対話』
- ④『中心性』

という4つのキーワードを『次世代に向けた教育施設を考える』というフィルターを通しデザインを具現化させていくことを常に意識しました。

## 4 建築計画

- ① 普通教室：33室+予備教室3室
- ② 特別教室：4室
- ③ 管理機能：校長室・教員室・会議室・事務室等
- ④ 体育施設：25m屋内温水プール・多目的室等

1階は天窓から自然光が降りそそぐ吹抜け空間のアトリウムをコアとし、木質調仕上材で空間全体をやさしく包み、開放的なコミュニケーションの場を意図しています。

基準階は広がった教室とコミュニティホール・ラウンジを、オープンスペースと位置づけた廊下で平面的に連続させています。また、その廊下は吹抜けに対して回廊状に囲む形態とすることで、各階を一体空間として創り出しています。

プールは最新の濾過システムを採用しており、防火・備蓄用の利用も可能な水となっています。また、



写真2 アトリウム



写真3 25m屋内温水プール(非免震棟)

校舎棟とは別棟とすることで機能上の分離を図ると共に、最高6.5mの天井高さで側面開口からの自然光を確保し、年間を通して利用できる学習環境を整えています。

## 5 構造計画

### 校舎棟の設計方針

略算的な設計法である免震告示設計に加え、精算的で信頼性の高い設計法である地震応答解析による検討も行い、より厳しい条件で設計を行うことで建物の高い耐震安全性を確保しています。

#### ① 上部構造の設計方針

- ・ 極めて稀に起こりうる地震（以下「大地震」）に対して、柱・梁などの部材に損傷が生じないよ

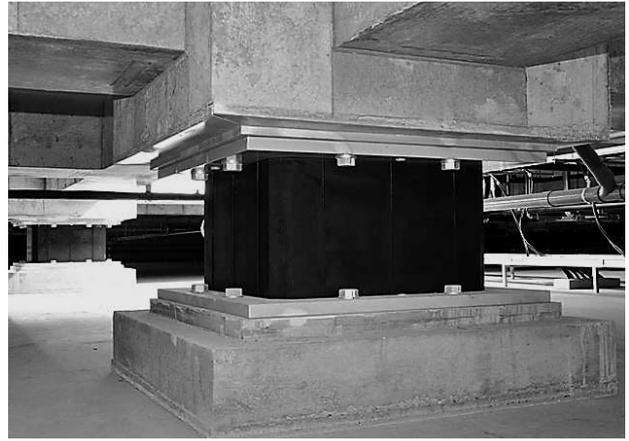


写真4 地下ピット内免震装置

う許容応力度設計を行う。

- ・ 大地震時に生じる各層の変形は、階高の1/300以下とする。

#### ② 免震層の設計方針

- ・ 免震層には、角型・鉛プラグ挿入型積層ゴム支承及び角型・天然ゴム系積層ゴム支承を用いる。
- ・ 常時荷重時に免震装置に生じる圧縮面圧は、基準面圧以下とする。
- ・ 大地震時に免震装置に生じる面圧は、上下振動の影響を考慮した上で、圧縮側では基準面圧の2倍以下・引張側では1N/mm<sup>2</sup>以下とする。
- ・ 大地震時の免震層の変形量は50cm以下（せん断ひずみ率250%以下）とする。
- ・ 免震層の偏心率は0.03以下とし、大きなねじれを生じさせない。
- ・ 免震層のクリアランスは、大地震時に生じる変形量に10cm以上の余裕を持たせる。

## 6 設計のプロセス

### スタートから基本設計説明会

設計は大学・高校の教職員で構成される建設委員会との協議から始まりました。委員会は災害時の生徒・教職員の安全を強く希望されており『安全・安心』のキーワードで協議を行っていきました。

当初、免震構造の採用は本館建設のプログラムにはありませんでした。設計の見地から免震構造の採用を提案しました。

免震構造の採用に当っては、委員会に対して

① 免震・耐震・制震の工法比較表

② 免震装置の基本納まり

等の資料を作成し、その特徴を理解していただくことから始めました。その間も設計側では、配棟計

画・構造的な検証・細部の納まり・建設コスト比較など実現に必要なことを詰めていき、基本設計説明会においてその方針を報告しました。

### 実施設計説明会まで

免震構造の採用が決定してから、委員会においては『建物が動くことに対する安全性』に関心が集まってきました。具体的には、接地階での免震可動部における生徒の安全確保です。

標準納まりや写真による説明と合せて、免震構造の校舎のある高校の見学なども行い、実際の納まり状況や校舎を使用されている方々から直接意見を聞くことができました。見学を行ったことで、免震構造ではあっても使用する上で特別な心配はなく、通常の構法・校舎と変わらないのだという理解に至り、より『安全・安心』のキーワード実現に近づいていきました。

### 実施設計説明会

設計のまとめとして

- ① 構造の設計方針
- ② 免震装置標準納まり
- ③ 免震構造の仕組み
- ④ 採用免震装置の選定理由
- ⑤ 設置する免震装置の図・写真
- ⑥ 積層ゴム・鉛プラグの働き
- ⑦ 『応答解析及び告示計算』において建物が高い安全性を有していることの報告

を説明し、免震構造の校舎の設計を承認していただきました。

## 7 おわりに

4月には新入生を迎え、本格的な校舎の使用が始まっています。天窗からの自然光が降り注ぐ1階のアトリウムには『免震装置見学コーナー』として、実際に免震装置を見ることができる床窓開口と免震構造を説明したパネルを設置しています。

校舎を日々使用している生徒・教職員はもちろん父兄や来客の方々に、その安全性を少しでも実感していただきたいと考えています。



写真5 免震装置展示コーナー

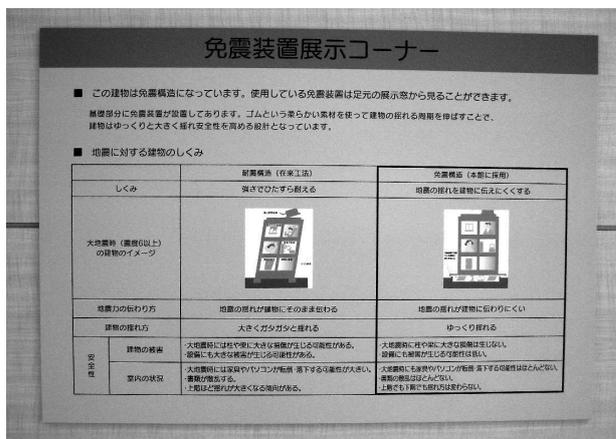


写真6 免震説明パネル

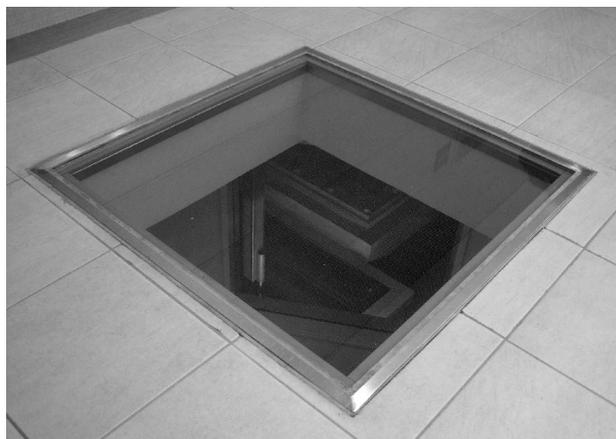


写真7 床窓開口

# Salt Lake City State Capitol



森田 慶子  
福岡大学

## 1 はじめに

2009年2月11日～14日の期間、アメリカ ユタ州のソルトレークシティにおいて、EERI-WSSPC Annual Meetingが開催された。最終日に免震構造の採用により耐震改修を行ったSalt Lake City State Capitol (ユタ州連邦議会議事堂)の見学会が開催されたので、その内容について紹介する。

## 2 建物概要と歴史的な流れ

ユタ州連邦議会議事堂は、Richard Karl August Klettingの設計で1916年に完成した建物である。議事堂は、町のあらゆる場所から目にとまるようアーセナルヒルの頂上に建設されている。1906年のサンフランシスコ地震の際の火災の影響を受け、耐火性を考慮して鉄筋コンクリート造が採用された。

平面形状は南北方向66m×東西方向121mの長方形、最高高さは約85mである。上部構造4階建て、一部に地下1階と屋根裏部屋とがあり、写真1に示すように建物中央にロタンダを配している。コリント様式とイオニア様式の柱で飾られ、外壁は花崗岩仕上げとなっている。

現在、敷地から数百m離れた位置にマグニチュード7.3クラスの地震を発生させる可能性のあるワサッチ活断層の存在が確認されている。しかし、建設用地が選定されたときには、この活断層の存在は認識されておらず、議事堂は十分な耐震設計が行われていなかった。

1998年に国は、この歴史的建造物の耐震性を向上させ、設備的な機能性をも改善するための計画に着手し始めた。この建物が設計された時には、地震に対する配慮が極めて低く、僅か0.4%の地震力で設計されたそうである。振動応答解析を実施してみると、東西方向の剛性はある程度確保されているようであるが、南北方向へは大きく変形し、ロタンダの

ドームから崩壊する危険性が示された。耐震壁を入れた場合、南北方向の剛性も確保されるがさらにドームの揺れが大きくなることが分かった。

このため、耐震性を向上させるためには、免震構造の採用が最も有効であると判断された。想定地震



写真1 Salt Lake City State Capitol外観



写真2 ロタンダの内部

が発生した場合でもその応答を1/4未満に減らせるだろうと推定されている。ロタンダまわりの柱や壁は、コアを抜いてコンクリート強度試験を実施し、強度不足であることが判明した。内装に最大限影響を与えないように耐震壁を入れて補強されている。

設計作業は2002年から開始し、工事着工は2004年からである。2007年に完成し、2008年1月に落成式が行われた。工事費用の総額は約2億ドルである。

### 3 構造概要

鉄筋コンクリート造の建物は、265個の鉛プラグ入り積層ゴムアイソレータ(LRB)で支持されている。大部分が直径91cm、高さ50cmのLRBで、面圧 $\sigma = 3.5\text{N/mm}^2$ で使用されている。基本的に柱の下に1個のLRBを配置しているが、ロタンダは4本の柱で支えられており、荷重が集中することになる。面圧を合わせるために、ロタンダの既存の基礎をポストテンションの新しい基礎で補強し、それぞれの柱下に8個のLRBを配置している。

改修前の建物の固有周期は0.6秒であったが、改修後の固有周期は3秒に伸びたという。このため、免震クリアランスは60cm確保されている。

ロタンダの下に直径の大きなLRBを使うことを考えなかったのかとDynamic Isolation systemsの取締役

Mr. Konrad Eriksenに尋ねてみた。彼は、「DISでは更に大きな直径のLRBを作成することも可能であるが、アメリカでは地震の特性により、それほど大きな水平変形が発生するとは考えられないので、このサイズで十分。面圧の調整は、複数個組み合わせることで解決する。むしろ、確かな品質で作成でき、検証試験も行えるサイズを使う方が有益と考えている。」と説明してくれた。

### 4 免震層と建物外周

公共施設ということで、免震層を一般に対して積極的に公開しているようである。地下一階の廊下を利用して免震層見学のためののぞき窓が設けられていた。(写真3、4)

また、写真5に示すように、玄関まわりはカバープレートで覆われている形式であった。建物の側面は、小動物の進入を嫌って、手が入る程度(3cm程度)浮かしてあった。

### 5 おわりに

ユタ州連邦議会議事堂のほかにもアメリカでは、ユタ大学のMarriott Library BuildingやPasadena City Hallも免震構造の採用により耐震改修を行っている。ネバダ大学リノ校のProf. Ian G. Buckleは「近年アメリカでは免震構造が新築への採用されることが少なく、レトロフィットばかりだ」と残念がっていた。しかし、担当の構造設計者たちから「歴史的建造物の価値を十分に生かしながら耐震性能を向上させるためには、免震構造の採用が最も有効である」という意気込みを感じ取ることができた。新たな計画も進行中とのことである。アメリカでは今後も免震レトロフィットが盛んに行われることが予想される。



写真3 のぞき窓を通して免震層を眺める見学者



写真4 免震層の様子



写真5 玄関まわりの様子

# 日産先進技術開発センター事務棟



齋藤 一  
鹿島建設



竹内 貞光  
ブリヂストン

## 1 はじめに

日産先進技術開発センターは小田急線本厚木駅から北西に車で約20分の緑豊かな広大な敷地に建設されており、大きなガラス大屋根が特徴の自然に溶け込んだ新しい建築形態の免震オフィス建築である。ステップ状の開放的なオフィスが4層の駐車場の上に設けられている。

この新しい形態のオフィスは、「感性に働きかける心地良い刺激のあるワークプレイス」、「コミュニケーションを活性化するワークプレイス」「自然の恵みを大胆に活用するワークプレイス」の3つのコンセプトのもとに計画されたとのことである。日産先進技術開発センターは、第9回日本免震構造協会作品賞を受賞している。

### 建築物概要

建設地：神奈川県厚木市森の里青山

建築主：日産自動車株式会社

設計・監理：株式会社 日本設計

施工：清水建設 株式会社

主用途：事務所、駐車場

階数：地上7階 地下1階 塔屋2階

建築面積：15,988.59 m<sup>2</sup>

延床面積：69,471.94 m<sup>2</sup>

最高高さ：GL+ 41.46m

構造種別：屋根 S造

地上 柱CFT造、梁S造（一部SRC造）

地下 RC造

基礎種別：直接基礎+杭基礎

構造形式：地上 プレース付ラーメン構造

地下 耐震壁付ラーメン構造

施工期間：2005年6月～2007年5月



写真1 建物外観

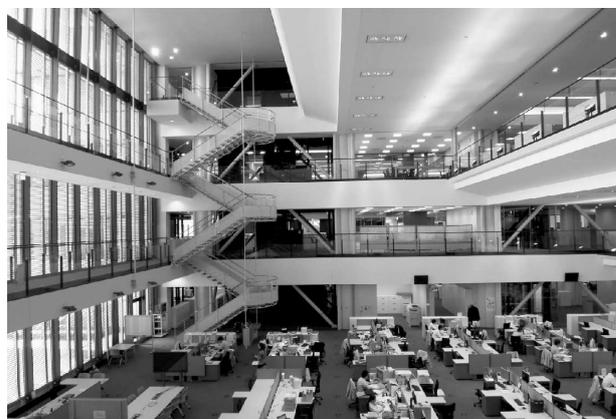


写真2 建物内観



写真3 ガラス大屋根

## 2 建物概要

エントランスを入ると、ガラスの大屋根から差し込む光で生き活きとした生命感と開放的な心地よい刺激に溢れるとともに、ステップ状のオフィス空間が、上下間のコミュニケーションを活性化するオフィス空間を創出している。

写真1はオフィス棟のエントランス外観、写真2は2階からエントランス側を見た内観、写真3はガラス大屋根を見上げた写真である。ガラス大屋根に透明感を持たせるためにガラス大屋根架構は、円形鋼管の下弦材と角形鋼管の上弦材及び束材からなるフイーレンデール梁を8.55m×2.35mグリッドに組んだ単層構造としている。

写真4は、非免震部分から本免震オフィスへのアクセス用の渡り廊下であるが、写真はEXP.部を示す。

写真5は1～3階の駐車場に設けられているRC被覆アンボンドブレースである。

写真6はガラス大屋根を支えるY字柱であり、地震時には水平力も負担している。

写真7はB1階駐車場の柱頭に設けられている免震部材部分であり、耐火被覆が施されている。

写真8は光触媒冷却システムが施された大屋根を北側から見た外観であるが、自然換気システムの用吹き抜け部も見えている。



写真6 Y字柱



写真4 渡り廊下



写真7 駐車場見学状況と柱頭免震



写真5 駐車場のRC被覆アンボンドブレース



写真8 大屋根の外観

### 3 構造計画概要

本建築物の特徴は、4層の駐車場の上に雛壇状のオフィスを設けていることである。

駐車場の適正スパンとオフィス空間として必要な柱割を整合させるために、駐車場階と事務所階で異なる架構形式を採用している。

駐車場階は、8.55m×17.1mグリッドとして柱本数を減らすことで、免震装置に適切な軸力を負担させ、より大きな免震効果を得ている。車路計画により、スパン方向がロングスパンとなっているが、方杖ブレースを採用することで、有効スパンを小さくして梁せいと階高を抑える共に、水平力に抵抗する方杖ブレースは、長期荷重も負担することから、耐火性能および座屈補剛性能を併せ持つRC被覆アンボンドブレースとしている。

オフィス部分の大屋根架構はY字柱で支持され、Y字柱の分岐部には鋳鋼を用いている。

写真9、10は、大屋根の一部を支持する直動転がり支承である。本建築物は、地下1階駐車場の柱頭に免震部材を配置した中間階免震を採用することで、雛壇状の架構をねじれから開放し、スレンダーなガラス大屋根架構を可能にしている。

基礎は、GL-5.0~-40.0mに存在する凝灰角礫岩を支持層として、直接基礎+杭基礎の併用基礎としている。直接基礎はマットスラブおよび独立フーチング基礎とし、杭基礎は場所打ちコンクリート杭としている。



写真9 大屋根受け直動転がり支承



写真10 直動転がり支承

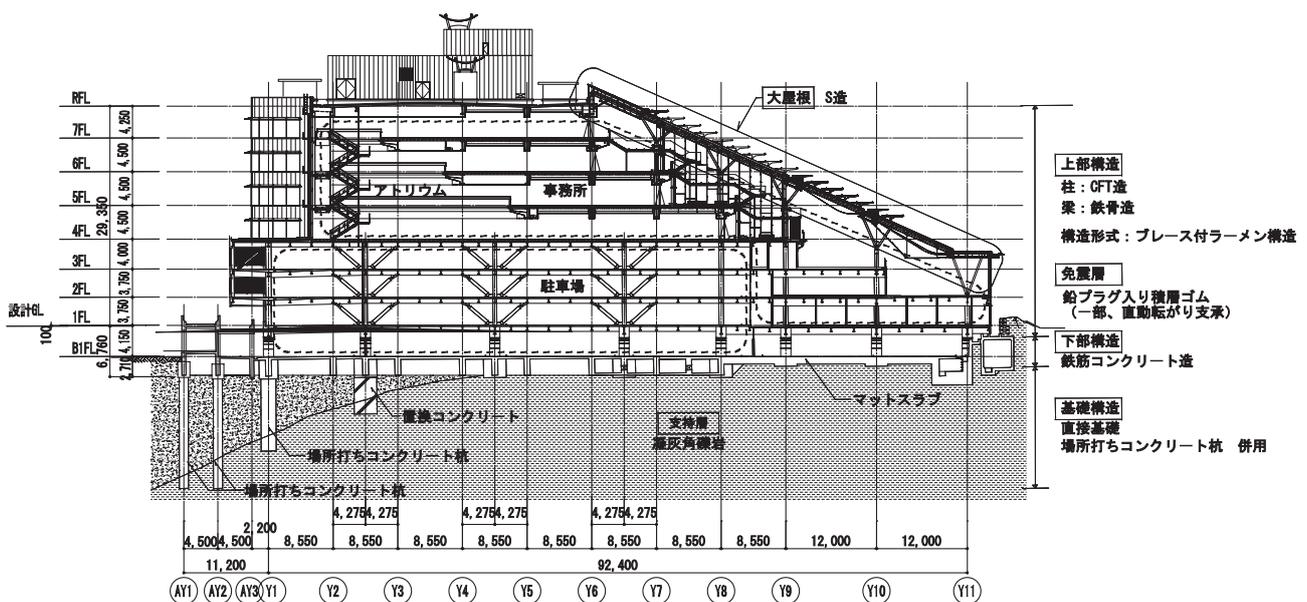


図1 構造概要説明図

## 4 見学記

実際のJOBの設計を通して、新しい技術が生まれることがあります。日産先進技術開発センター事務棟でも、多くの技術とアイデアで顧客殿が求める新しいオフィスが実現していました。

クリエイティブ、クロスファンクション、コミュニケーションの3つのCをテーマにした建築形態が周りの自然環境とも上手く融合していました。

日産自動車の大木様からは、特殊な建築形状の建物なので関係者の意思決定や仕様の標準化、空調関連、近くにある御幸山に住むカラス対策など、特にご苦労された点も伺うことが出来ました。

構造設計者の西川様からはこの建築物への思い入れや熱意を伺い、強烈な刺激も頂きました。

この免震建物は先進技術開発業にとって望ましいワークプレイスだけでなく、建築に携わる多くの技術者や設計者を勇気付ける作品であると確信しました。



写真11 配線類のEXP.



写真12 二重鋼管座屈補剛ブレース

## 5 おわりに

最後に、貴重な時間を割いてご案内いただき、貴重なお話をお聞かせ下さった

日産自動車 酒井様、大木様

日本設計 西川様

に厚くお礼申し上げます。

日本設計殿には図1の構造概要説明図を含め、多くの資料もご提供頂きました。

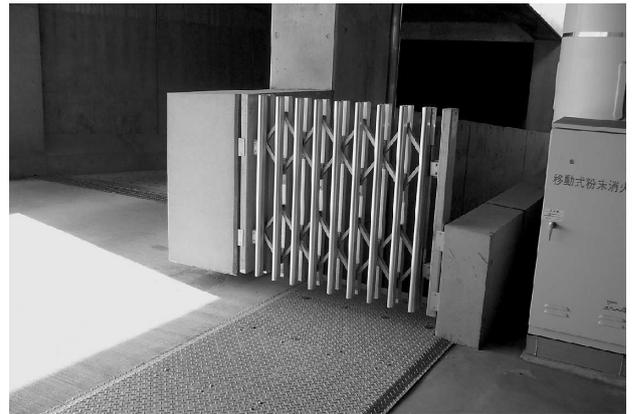


写真13 駐車場と車路間のEXP.

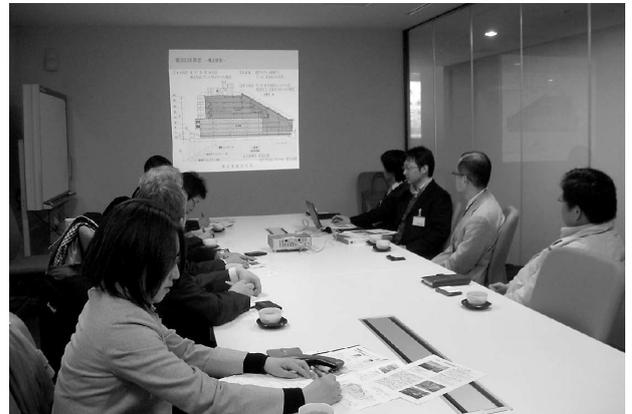


写真14 見学前の概要説明状況



写真15 大木様、西川様と訪問メンバー

# 剛すべり支承（ユニットン支承 RX 型）

認定番号 MVBR-0397  
 認定年月日 平成 21 年 2 月 23 日  
 評価番号 JSSI-材評-08007

日本ピラー工業株式会社  
 TEL:06-6305-1781  
 FAX:06-6302-6404

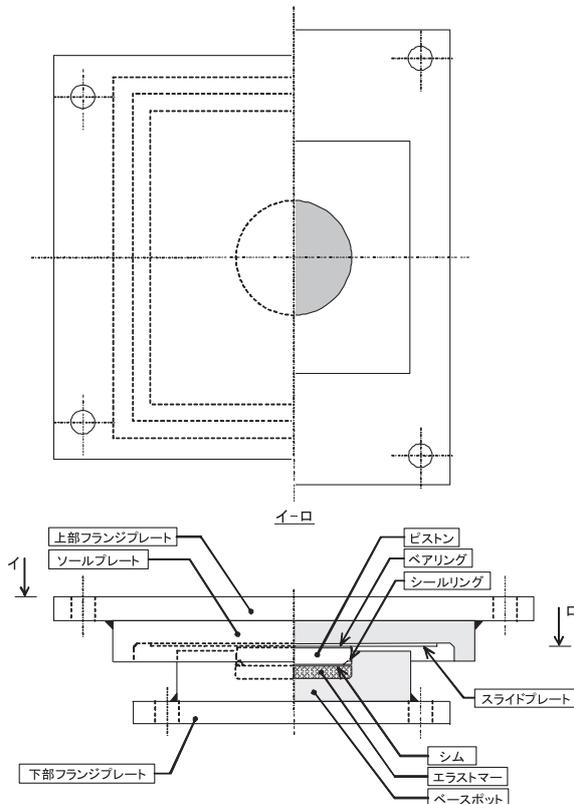
## 1. 特徴

支承は、すべり部材（ベアリング材とステンレス鋼材のスライドプレート）、エラストマー部材および鋼材で構成されている。また、ソールプレートは超過移動防止のためのストッパー機能を有している。

ベースポット内に密閉されたエラストマーにより構造物間の傾斜 2° まで対応する。

## 2. 構造及び材料構成

名称	材料
鋼材部	SS400 等鋼材 (ピストン：SUS304、SUS316)
すべり部材	ベアリング材（すべり材） ：充填材入四ふっ化エチレン樹脂 スライドプレート（すべり板） ：SUS304、SUS316
エラストマー	クロロプレングム



## 3. 寸法及び形状

形状及び寸法の認定範囲

型式	RX010~RX100
鉛直荷重	100~1000 kN
ベアリング径	φ96~304 mm
限界変形	±100~500 mm

## 4. 鋼材の防錆処理

仕様	規格等
溶融亜鉛めっき	めっき付着量 550g/m <sup>2</sup> 以上 (JIS H8641 HDZ55)
塗装	下塗：ジンクリッチプライマー 中塗・上塗：エポキシ樹脂系塗料 塗膜厚は合計 170 μm 以上  その他ポリウレタン樹脂系塗料 等も対応可能

## 5. 基本特性（水平復元力特性）

一次剛性  $K1 = \infty$

二次剛性  $K2 = 0$

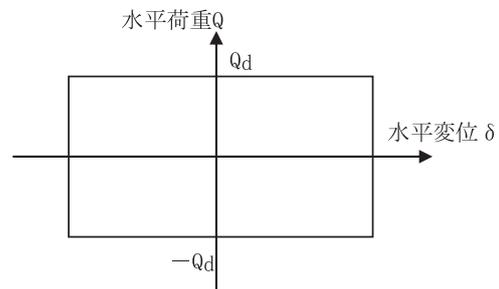
切片荷重  $Qd = \mu \times P$

$\mu$  : 摩擦係数

$P$  : 鉛直荷重

摩擦係数  $\mu = 0.12$

(ベアリング面圧 14N/mm<sup>2</sup>、速度 10cm/s)



## 6. 製品コード

型式 : RX

鉛直荷重 : 100~1000kN

移動量 : ±100~500 mm

**RX-010-100**

型式	鉛直荷重 ÷ 10	移動量
----	-----------	-----

# 高減衰ゴム系積層ゴム支承 (SHRB)

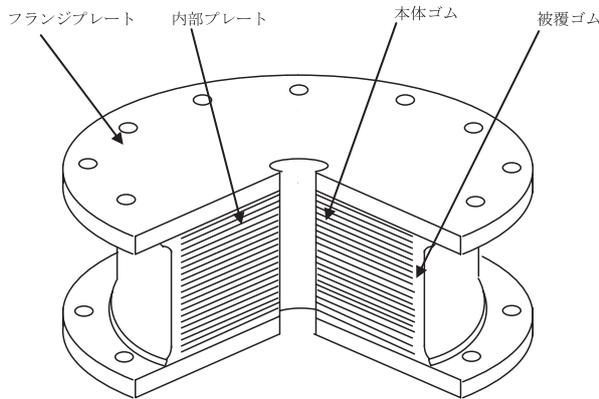
認定番号 MVBR-0398  
 認定年月日 平成21年2月23日  
 評価番号 JSSI-材評-08008

東洋ゴム工業株式会社  
 TEL : 079-495-1425  
 FAX : 079-495-2882

## 1. 構造及び材料構成

高減衰ゴム系積層ゴム支承は、天然ゴムおよび合成ゴムに特殊な充填材を加えた高減衰ゴムと内部プレートを交互に積み重ね加硫接着した免震部材である。本積層ゴム支承は、荷重支持機能、減衰機能および復元力機能を併せ持った特徴を有する。

名称	材料
フランジプレート	SS400,SS490(JIS G 3101) SM400A,SM490A(JIS G 3106) SN400B,SN490B(JIS G 3136)
内部プレート	SS400(JIS G 3101) SPHC(JIS G 3131) SPCC(JIS G 3141)
本体ゴム	高減衰ゴム
被覆ゴム	天然ゴム



材料の構成概要図

## 2. 寸法及び形状

呼称	G 0. 6 2
せん断弾性係数 (N/mm <sup>2</sup> )	0.624
ゴム呼び径 (mm)	φ 600 ~ φ 1500
中心径 (mm)	φ 25 ~ φ 50
一次形状係数	29.4 ~ 30.6
二次形状係数	3.0 ~ 7.5

## 3. 鋼材の防錆処理

仕様	規格等
塗装	下塗 : ジンクリッチプライマー 中塗、上塗 : エポキシ樹脂系塗料 膜厚 170 μm 以上
溶融亜鉛めっき	JIS H 8641 HDZ55
亜鉛溶射	JIS H 8300 ZnTS120

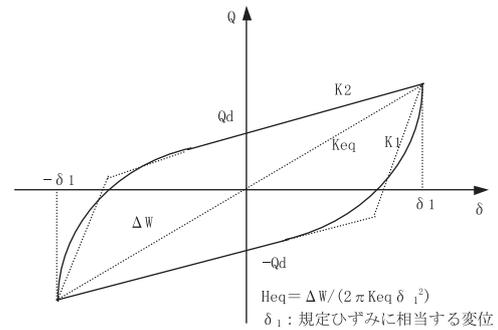
## 4. 基本特性 (水平復元力特性)

等価剛性 :  $K_{eq} = G(\gamma) \cdot A_r / T_r$

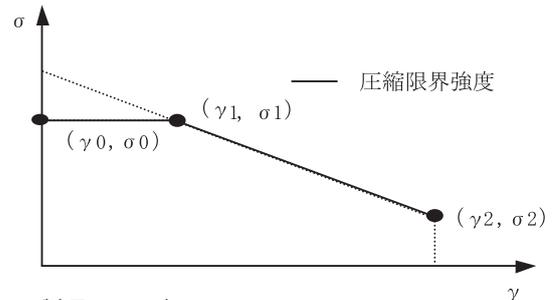
規定ひずみ : 100%

$G(\gamma)$  : ひずみ依存のせん断弾性率

$A_r$  : ゴム受圧面積、 $T_r$  : ゴム総厚さ



## 5. 圧縮限界強度



## 6. 製品コード

種別 : SHRB(高減衰ゴム系積層ゴム支承)

呼び径 : 060(φ 600)

ゴム総厚さ : 20(20cm)

ゴムのG : E6=0.624N/mm<sup>2</sup>

**SHRB 0 6 0 - 2 0 E 6**

種別 呼び径 ゴム厚 G

# 「文化財建造物等の地震対策に関する日中専門家ワークショップ」報告



清水建設 林 章二

## 1 はじめに

2008年5月12日、四川省西部を震源として発生した大地震により、当地の文化財(世界遺産)にも多くの被害が発生した。復興に向けて、既に中国各地より多くの専門家や技術者が派遣され、現場では修復作業が始まっている。この機会に日中の補修、補強の専門家が会するワークショップ「文化財建造物等の地震対策に関する日中専門家ワークショップ」が2009年2月9日から13日まで四川省成都で開催された。阪神大震災以来、文化財の地震対策に取り組んできた日本の経験を紹介するとともに、今回の震災において浮き彫りとなった様々な課題と今後の中国における文化財の地震対策について意見交換を行うことで、文化財分野における復興を支援し、あわせて日中専

門家間の国際交流を図ろうとするものである。今回、ワークショップに参加する機会を得、文化財の修復および構造補強に関する考え方の日中における違い、また合わせて実施された都江堰(世界遺産)の建物調査についても報告する。

## 2 ワークショップの概要

会議は四川大地震に際し、胡錦濤主席と当時の福田首相との会談で合意した日本政府支援事業の中に位置付けられている。主催は日本国文化庁、中国国家文物局、実際の運営は、東京文化財研究所と四川省文物管理局が当たっている。そのため中国の歴史的建造物の保存修理に係る、国家、省の文物局(日本の文化庁にあたる)担当者が中国全土から集まった。プログラムを表1、図1に示す。

表1 ワークショッププログラム

報告内容	中国側報告
2月9日	
＜震災概況紹介と基調講演＞	
基調講演 四川大地震における文化遺産被害の概要	○
基調講演 日本における文化財の保存と防災・耐震対策の現状	
＜文化財建造物の構造解析と耐震補強の考え方＞	
報告 木造建造物の構造解析と耐震診断	
報告 木造建造物の構造補強とオーセンティシティ	
＜文化財建造物の地震対策とその適用＞	
報告 木造建造物の耐震補強:事例紹介	
報告 木造建造物の構造補強とオーセンティシティ	
2月10日	
＜文化財建造物の地震対策技術とその適用＞	
報告 チャン族伝統村(歴史的町並み保存区)震災後における緊急修復のための保存対策	○
報告 煉瓦造建造物の構造補強	
報告 遺構の耐震補強のための地盤改良とアンダーピニング	
報告 歴史的建造物の免震改修技術	
報告 文物建築の震災後の修復理念	○
報告 歴史的建造物の震災後の修復および補強—二王廟を例として—	○
2月11日	
被災文化財建造物の現場視察と現地討議	
都江堰市二王廟、伏龍観、奎光塔	
2月12日	
＜文化財建造物の地震対策技術とその適用＞	
地震災害がもたらした挑戦と問題	
報告 一緊急事態下の世界遺産条約及びその実施に関する指針	○
＜博物館の地震対策＞	
報告 博物館の地震対策	
＜文化財行政の震災対策＞	
報告 文化財行政の震災対応—地方行政や民間の取り組み	
報告 日本における文化財防災と耐震—今後の検討課題	



図1 プログラム

## 2.1 中国側報告概要

中国側の報告を項目ごとに以下に示す。

### 1) 四川省文化遺産被害概要

四川省において被害を受けた文化財は、全国重点文物(日本の重要文化財に当たる)が83か所、省重点文物(日本の自治体指定文化財に当たる)が147か所、814地区である。構造別では、木造 186か所、レンガ造、石窟が45か所、民族風建築では100年経過したものが38か所、200年経過したものが25か所である。

### 2) 民族地域の文化財被害

地震被害地域の中で、少数民族である羌族(ちゃんぞく)伝統村(歴史的街並み保存区)の被害が報告されている。羌族(ちゃんぞく)は人口30万人で80%が被災地域に住んでいる。被害建物の修復を進めている地区は漢時代からの村で、人口160人、「桃平羌寨」と呼ばれる地区で世界遺産である。震源から17kmと近い割には被害が少なかった。建物の古いものは明・清の時代もの、住居の構造は石造、小屋組は木造で、大破と判断したものは3.1%であり、それほど被害は受けていない。被害が顕著な文化財建築は19戸で、原因は老朽化、不整形な増築、楣が無く大きな開口部があり、塔屋の形状がよくない、などである。望楼も特徴ある建築で、上部が崩壊しているものがある。過去の地震においても崩壊しているか所が散見され、修復された痕跡が認められるものが多い。

### 3) 文物建築震災後の修復理念

歴史的建造物の修復、構造補強について、どのようにオーセンティシティを捉えるかが重要な検討点であった。

中国の修復に対する考えは、完全倒壊建物について元の場所で建て直すには、明確な根拠が必要であり、遺跡の上に建物を造ってはいけない。また、部分損壊の建物を修復するうえで、耐震性、歴史の変遷を考慮すべきであり、地震の記憶を残すことも重要である。安易な解体、復元を認めない考えである。

構造補強及び調査について、中国側の状況および意見を以下に整理すると、

- ・木造の構造設計について、静的構造計算はできるものの動的解析をできる人が少ない。
- ・補強は経験的に行っているところが多い。
- ・木構造について、日本と中国の構造は似ていると考えている。

- ・日本の木造補強方法が役に立つと考えている。
- ・解体修理は中国において基本的に行わず、できる限り保持することとしている。
- ・日本の解体修理のことはよく認識しており、伊勢神宮の式年遷宮は文化の多様性として理解できる。
- ・中国は現状維持を旨としており、国際的なオーセンティシティの認識に近いもので、できる限り人による干渉はしないとの考えである。
- ・安全性と文化的価値のバランスの問題は重要な課題であることは日本も中国も認識は同じである。

## 3 都江堰 現地調査

成都近郊(19km離れた)の世界遺産「都江堰」(とうえん)(写真1)にある数棟の歴史的建造物の被害状況の調査を行った。断層直上の地域で市街地では多くの建物が倒壊し、犠牲者も多かった。

「都江堰」は堰としては世界で最も古く、漢代治水事業の遺跡で唯一保存され、現在まで活用されている岷江に作られた水利工事である。

2000年、周辺の建物を含めて世界遺産に登録されている。ちなみに、中国には35の世界遺産があり、よく知られたものとして、万里の長城、秦の始皇陵、北京原人遺跡、パンダ保護区などがある。

都江堰周辺には堰以外にも古跡があり、「二王廟」「伏龍観」など複数の古建築群も今回の地震で被害を受けた。これらの建物は清代に再建されたものである。山間地斜面に建設されているものが多く地盤の変形、崩壊などにより被害を受けたものが多い。

建物の構造は木造が大部分であるが、後に補強として用いられたレンガ、RCが部分的に用いられているものがある。完全に倒壊した建物は既に整理さ

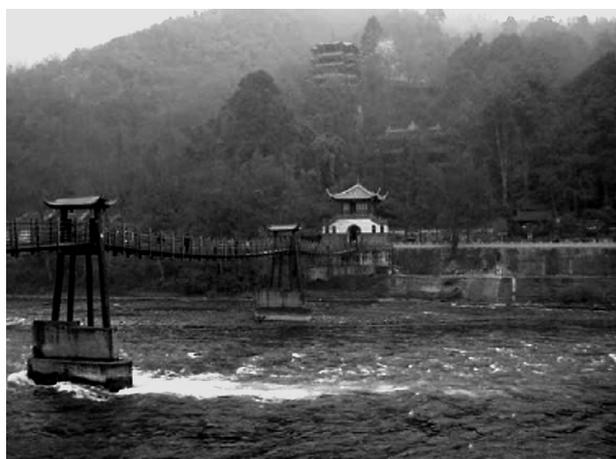


写真1 都江堰 堰堤側から二王廟を見る

れていた。修復中の建物についての損傷経過を確認すると、地震時にほとんどの瓦がすべり落ちたため、荷重の軽減が図られ倒壊を免れたようである。当地の瓦は固定しない様式がほとんどで、新築についても同様である。

以下に各建物について状況を示す。

二王廟(写真2～6)は活断層の直上にあり、山崩れが生じやすい急峻な傾斜地に建てられている。複数の建物から成り立っており、全体の建築面積は6,050㎡、現在の建物は清代に再建されたものである。軸組は梁のほか、横臥材は柱仕口に差込み、くさびによる締付が行われており、柱は上層までの通し柱はない。屋根、装飾部分なども大きな損傷を受けている。修復については具体的対策と普遍的な対策を提案することが求められている。基礎の安定性確保、構造の一体性、保存、全体修復の計画など、一連のシステムとして提案することが求められている。特に、震災直後に現場の整理がすぐに始まったため、直後の



写真4 二王廟建物群被害状況



写真2 二王廟建物群被害状況



写真5 二王廟 大殿・二殿



写真3 二王廟建物群被害状況



写真6 大殿内部

記録を全くとられていない。被災後の対応計画（歴史的建造物に対する対処の役割分担）が明確でなかったことも原因である。修復工事は中国政府の要求により三年間で全ての工事を完了することとなっており、かなりのスピードが要求されている。工事予算は12,319万元である。

伏龍観(写真7,8)は数棟の建物から成り立っており、全体の建築面積は1,900m<sup>2</sup>。建物は清代に再建されたもの。工事予算は584万元である。軸組に板壁も組み込まれており、比較的健全な状態であった。

奎光塔(写真9)は高さ52.67m、17層、1831年竣工の中国で最多層の塔である。地震により塔頂は1.3m移動、傾斜26%生じており、開口部周辺に亀裂が多く、



写真7 伏龍観 外観



写真8 伏龍観 内部

9層以上でねじれにより下層とのズレが生じている。内部に鉄骨による補強が検討されている。工事予算584万元である。

#### 4 まとめ

ワークショップの意見交換から、歴史的建物の保存修復について、中国には日本で言う解体修理という考えはなく、現状のものをどう修理、補強するかに重点が置かれている。

日本の考え方に理解を示すものの、積極的にその手法を採用する考えは強くない印象であった(例えば全解体修理など)。文化財の修理補強に関して互いの手法をどのように考えるかに主な論点があった。

そのような中で、部分的構造補強の手法、免震化、また、科学的な調査手法、計測の機械化などについては関心が非常に強く、日本に対して情報を強く求めている様子であった。

実務的な手法、技術を介した交流は今後とも継続されるような雰囲気であり、日本としても構造補強の側面から支援できる場は多い印象であった。

#### 【参考文献】

- 1) 中華人民共和国国家文物局,日本国文化庁:中日文化遺産地震対策検討会 日方報告資料, 2009.2
- 2) 独立行政法人建築研究所:中国耐震基準(GB50011-2001)和訳, 2008.6.



写真9 奎光塔

# 日本免震構造協会創立15周年記念事業 「持続的社會のための地震応答制御建築物に関する国際シンポジウム」

日本免震構造協会創立15周年国際シンポジウム部会

## 開催主旨

世界中では、依然として、地震により多くの人命や財産が失われています。2008年5月の中国四川大地震では、多くの家屋が倒壊して、8万人を超える犠牲者が発生しました。地震災害から人命や財産を保護することは、社會の持続的発展に不可欠の課題であり、免震や制振といった応答制御技術を用いた建築物の普及は、そのための極めて有効な手段と考えます。日本免震構造協会では、創立15周年を記念して、独立行政法人建築研究所、東京大学生産技術研究所、CIB（建築研究国際協議会）との共催により、「持続的社會のための地震応答制御建築物に関する国際シンポジウム」を開催いたします。シンポジウムでは、世界中の研究者や技術者により、免震・制振技術の建築物への応用に関する技術開発や普及事例が紹介され、持続的社會の実現に向けた討議が行われる予定です。建築物の耐震分野に関わる多くの技術者や研究者の参加をお待ちしております。

## 開催日時

2009年9月16日（水）、17日（木）、18日（金）

## シンポジウム概要

（プログラムは多少変更する場合もあります。最新のプログラムについては、下記ホームページをご覧ください。）

### ◆ 第1部：テクニカルセッション（技術分科会）

9月16日（水）

9:00 - 9:30	受付
9:30 - 10:00	開会式、全体会議
10:00 - 12:30	分科会（免震分科会、制振分科会）
12:30 - 14:00	昼食、写真撮影
14:00 - 16:00	分科会（免震分科会、制振分科会）
16:00 - 16:20	コーヒーブレイク
16:20 - 18:00	分科会（免震分科会、制振分科会）
18:00 - 20:00	懇親会

9月17日（木）

9:00 - 11:00	分科会（免震分科会、制振分科会）
11:00 - 12:00	全体会議（各分科会からの報告、レゾリューション討議）
12:00 - 13:30	昼食
13:30 - 17:00	見学会（免制振建物視察）（海外からの参加者を優先させていただきます）

### ◆ 第2部：オープンセミナー（一般講演会）

9月18日（金）

8:30 - 9:00	受付
9:00 - 9:30	開会式
9:30 - 12:30	免制振技術の現状（日本、中国）
12:30 - 13:30	昼食

13:30-15:00	免制振技術の現状(米国、イタリア)
15:00-15:20	コーヒーブレイク
15:20-16:50	免制振技術の現状(アルメニア、イラン、台湾)
16:50-17:50	ディスカッション
17:50	閉会式

## 会 場

東京大学生産技術研究所コンベンションホール

(東京都目黒区駒場4-6-1/京王井の頭線・駒場東大前駅・池ノ上駅より徒歩10分、小田急線・営団千代田線・東北沢駅より徒歩7分、代々木上原駅より徒歩12分)

## 定 員

第1部 テクニカルセッション：免震分科会、制振分科会ともに約100名

第2部 オープンセミナー : 約200名

## 参加費

第1部 テクニカルセッション：会員5,000円、非会員8,000円(テキスト代、昼食代を含む)  
懇親会2,000円

第2部 オープンセミナー : 無料

## 申込締切

シンポジウム開催日の10日前まで。ただし、定員になり次第締め切りさせていただきます。

## 申込方法

参加登録を下記ホームページから行ってください。

ホームページ <http://www.jssi.or.jp/15kinen/kinen.htm>

## 問合せ先

日本免震構造協会 国際シンポジウム事務局

TEL: 03-5775-5432 / FAX: 03-5775-5434、E-mail: [sympo@jssi.or.jp](mailto:sympo@jssi.or.jp)

## 日本免震構造協会創立15周年記念事業 国際アイデアコンペの結果発表

記念事業委員会  
コンペ部会委員長 立道 郁生

このたび、日本免震構造協会創立15周年記念事業の一環として、「国際アイデアコンペ」を、記念事業委員会のコンペ部会が担当しました。応募課題は、「免震・制振ならでできる、2050年のこんな建物、こんな街並み、こんな暮らし」とし、夢を描いたユニークな提案を求めました。2009年2月28日に、応募受付を終了し、海外からの応募を含む32点の作品が集まりました。ご応募、ありがとうございました。

3月26日には審査会が開催され、この結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、入選賞4点を決定させていただきました。

### 審査員

委員長 川口 健一(東京大学)  
委員 入江さやか(NHK)  
西川 孝夫(日本免震構造協会)  
平倉 直子(平倉直子建築設計事務所)  
増田 剛(日経BP社)

### 賞

最優秀賞：賞状および副賞20万円  
優秀賞：賞状および副賞10万円  
入選賞：賞状および副賞3万円

### 審査の様子



審査結果

最優秀賞

「もやし免震」 濁川 拓也、丹羽 俊介

優秀賞

「URBAN TREE HOUSE」 藤井 俊二、渡邊 朗子、深尾 仁、福山 牧男、  
清水 友理、岡田 直子  
「GYRO」 大橋 史和、森 洋一、貞弘 雅晴、南 尚孝、  
北村有希子、成松 匡章

入選賞

「都市免震構想～地盤による都市免震システムの構築～」  
徳山純一郎、須藤 敏己、冨澤 健、浅岡 泰彦、  
松本 研一  
「Light×Growth×Tower」 小野 森司、高澤 昌義、立山 香織、大森 慎司、  
福田 優子、勝又 洋、浅野 剛史、前田 有一  
「FUTURE CITIES」 Ahmad NADERZADEH、Aliakbar NASRABADI  
「爆弾免震」 熊谷 由章

総 評：審査委員長 川口 健一

当協会の創立15周年を記念した「アイデアコンペ」であり、是非、夢のあるユニークなアイデアを評価すべしという態度で、審査員一同、審査にのぞんだのだが、期待に反して審査員の度肝を抜くような提案はほとんどなかった。全般的に、比較的そつのない案が多数であった。この点、先ごろ行われた小学生絵画コンクールに無邪気で新鮮な表現が多く見られたことと、好対照である。

応募作品を並べて見て見ると、手馴れたCGワーク、環境問題や時流を意識したコンセプト設定、適度な専門的知識、といったレベルのそろったそれなりに厚みのある提案がそろっていた。審査が終わって分かった事だが、応募作品中、2/3がゼネコン設計部関係者であった。斬新なアイデアを期待していた学生等のエントリーは非常に少なかった。提出締め切りが修士論文や卒業設計の締め切りと近かったという時期的なこともあったようだ。

審査は、まず、審査員の投票により十数点に絞り、残ったものについて意見交換を行った上で再投票を行い上位3作品の順位を決定した。受賞作品を見ればレベルな決定プロセスが反映され、平均値の高い作品が選ばれた傾向がお分かりいただけると思う。入選賞の作品は、投票結果に加え、各審査委員の意見を尊重し、個性的なものを選ぶこととした。各界の審査委員の個性が反映されているといえるだろう。

免震・制振という技術の成熟度が、町並みや暮らしといった漠然としたイメージテーマへと結びつくためのハードルを高くし、環境的なキーワードのみが目立つ結果になってしまったのかもしれない。既存のハードルに無縁な小学生の提案の方が伸び伸びしていた所以であろう。

しかしながら、成熟しつつある技術分野だからこそ新しいブレークスルーを模索する努力を怠れない。本企画の真のねらいもそこにあったと思う。これに懲りずに、当協会が、荒削りでもよいから斬新なアイデアを奨励し求め続けて行ってくれる事を切に願うしだいである。最後に本企画を推進された立道コンペ部会委員長と同部会委員の方々に感謝したい。

最優秀賞 「もやし免震」

濁川 拓也(大林組)、丹羽 俊介(大林組)



**concept**  
寄り添ってしなやかに生きる街

「もやし」という言葉は、ひたひたで、軋りない人々の比喩として用いられる。実際に、「もやし」という植物もその一本一本は舌口くで軋りなく、ほんの少しの力で折れてしまう。

しかし「もやし」が束になって生えるときそれは、かぶさっている玉や石まきをも持ち上げようとする力が伝わり強さが増える。そして、束を指で押すと、シヤシヤキとした弾力があふれだす。集まると、強みが増え、しなやかで、くじけにくい。そんな一面を見せてくれる。

「もやし免震」とは、そんな「もやし」のように、集まり、寄り添うことで、力を発揮する免震の考え方である。

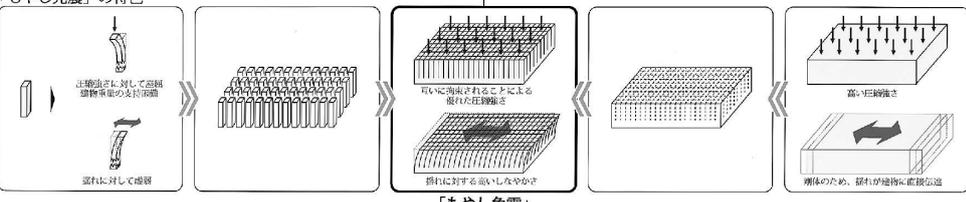
人だっでぞろである。どんなに強い人でも、1人でできることは限られるし、狂気を覚しい。たくさん人が集まり寄り添って、暖かいコミュニティが生まれる。

建物だっでぞろである。どんな地震や衝撃に耐えることのできる建物でも、単体での巨震から倒壊しがちである。たくさん人の建物が集まり寄り添って、その土地の力が集まり出る街並みとなる。

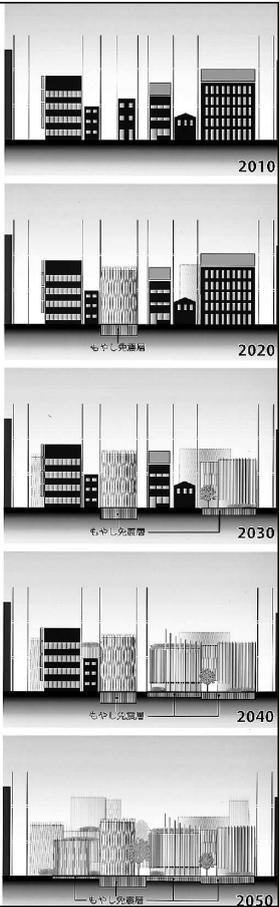
「もやし」から見える、お互いを必要とするような関係。集まり寄り添うことで生まれる、しなやかさ、たくましさ。

2050年の、人、人が日々を営む建物、建物の安全性を確保する免震システム。  
「もやし」みたいな関係が持てるような、そんな未来であってほしい。

**diagram**  
「もやし免震」の特色



**「もやし免震」**



2010

2020  
もやし免震層

2030  
もやし免震層

2040  
もやし免震層

2050  
もやし免震層



moyashi isolation system



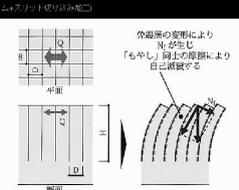
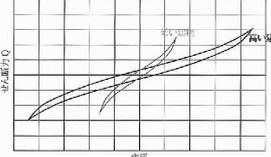
structural design  
「もやし免震」構造の特徴

① 自己減衰のメカニズム

「もやし免震」の原理 (クイックフロー・マスタード付リキル樹脂)

建物高さ	高 ↔ 低
建物間隔	長 ↔ 短
免震層の柔らかさ	大 ↔ 小
H	大 ↔ 小
B, D	小 ↔ 大
建物床面 (年増土盤面)	大 ↔ 小

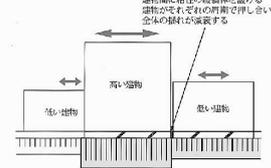
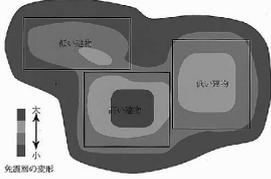
免震層の変形により  
Qが変化し  
「もやし」同士の間隙により  
自己減衰する

「もやし」同士が寄り添うことによる自己減衰効果  
揺れの減衰は建物規模によって様々だが・・・

② 相互減衰のメカニズム

建物間に非弾性粘着体を添わせる  
建物がそれぞれ揺れる際押し合い  
全体の揺れが減衰する

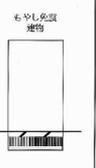
建物同士が寄り添うことでさらに高い減衰効果  
建物群全体で安全性の高い免震層が構築可能

③ 「もやし免震」のメリット

今までの  
免震建物



もやし免震  
建物



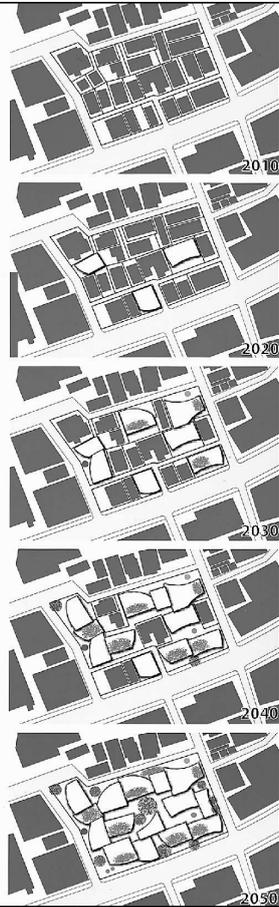
今までの免震は・・・

- ・免震層をささぐため基礎が二枚必要
- ・建物重量が大きい
- ・結果として、建物・施工費が高コスト
- ・建物が隣接した場合の対応が困難

「もやし免震」は・・・

- ・もやし免震層の上に基礎一枚でOK
- ・建物重量が軽くなる
- ・結果として、建物・施工費が低コストで抑えることが可能
- ・建物を隣接させることによりさらに高い免震効果を得ることが出来る

【高い安全性】の【建物群】が  
従来よりも【低コスト】で実現可能



講 評：西川 孝夫

一本では頼りない柔らかなもやしも、束ねれば柔軟な免震層が形成されるという発想がユニークである。柔軟な変形をする部材を束ねた上に建物を設置し、地震時には部材同士の摩擦で減衰を期待し、また、建物同士がもやしの束の上で寄り添うことによりお互いの建物が押し合い揺れを小さく出来るとする考えも合理的である。もやしの上に建物群をつくり、人間も寄り添ってしなやかに生きる街を作ろうとする提案は現在の街づくりにはないほのぼのとした印象を与えてくれ審査員全員が高評価した。

記念事業委員会 — 9 31

優秀賞 「URBAN TREE HOUSE」

藤井 俊二(大成建設)、渡邊 朗子(渡邊建築総合研究所)、深尾 仁(大成建設)  
 福山 牧男(大成建設)、清水 友理(大成建設)、岡田 直子(大成建設)

Urban Tree House 01

Urban Tree House は、  
 スチール製の幹にコンテナを取り付けた免震構造物。

- 街会の真中にアーバンオアシスを創出  
 街中に多くの人や居住する人が集いの場、憩いの場の安心の場、緑と水と風の恵に満ちたウェルスポットを提供する。地上レベルを人々、水、風に開放し、人工の幹に設置するコンテナ素材により「Urban Tree House」として、カフェやオフィスなどの複合施設を創出させる。
- 空構の滑り免震で安全と自由度を実現  
 滑り免震装置の内部にフリーサイズの柱とダンパーを配し、性能劣化防止と修繕の容易性を追求し、自由な「Tree House」を実現させる。本震力は揺れを吸収し、トップレベルを耐震構造で安全に実現する。過剰時には揺れを吸収することで人為により揺れ、回転がなくなる。Tree Houseの周辺は自由により、利用空間のニーズに応じた構築・改修が可能にする。
- サステイナブル  
 スチール製の幹(スガルトラ)にコンテナ(インフオル)を組み合わせ、スチールインフオルに求め長寿命性能を実現。電灯は埋設照明を採用し、夜間照明のデザインを追求し、サイクルを併用し、毎年のメンテナンスを「Urban Tree House」の地下に設置したメンテナンスセンターに集約し、エリアの広範囲にわたる、電灯構造でエネルギーを供給し、CO2フリーを実現する。

40m x 22m x 6m (131ft x 72ft x 19ft) 11.8 x 21.8 x 11.8m

Mexico 00900388

# Urban Tree House

## 02

### 免震のメカニズム

#### VFB : Variable Friction Bearing

滑り免震装置の内側に油圧チャンバーを設けた新型支承 VFB。

地震時に油圧をかけると、建物を地盤から浮いた状態になり、地震力をほとんど受けず、免震の効果が得られる。

建物の重量の 85% を油圧で受け、残り 15% を剛性の滑り面が受ける。

滑り面の摩擦係数 0.1 とすると、Tree House 1 棟の質量 1400ton に対して、地震力は 700kN、基礎に伝達する力は 0.005、摩擦係数 0.1 の滑り免震の 1/200 に相当できる。

VFB 支承の性能実証実験を行った。VFB 支承に一定の油圧荷重をかける、油圧を変化させながら水平力を加えた。チャンバー内の油圧の上昇に比例して、摩擦力が軽減効果が確認できた。

油圧は事前に内蔵したシステムリーサーに充填しておくため、地震時にはオイルが不足することはない。通常の油圧は感知できないので、感知できることはない。緊急地震速報と、地震計で地震発生を感知すると、およそ 0.01 秒で浮上させられる。

新設コンピュータ  
緊急地震速報  
制御装置  
油圧装置  
油圧配管

油圧  
油圧センサー  
油圧制御装置  
油圧配管  
VFB 支承

VFB 支承構造図

VFB 支承の性能実証実験

油圧と摩擦力の関係

油圧 (MPa)

### 回転、移動、連結

コンテナを外した、質量 35 ton の時、これを油圧で浮上させ、重量の 99% を受け、摩擦力は 700N となり、人力で簡単に回転、移動できる。

Urban Tree House に使われるコンテナには、あらかじめ 16 個のホールが空いており、管である躯体にそのホールを差し込むことによって、コンテナを指向することが出来る。コンテナは、22.5 秒で回転が可能となり、空間の利用ニーズに合わせて他のコンテナと組み合わせて、建築したり、調整することができるシステムになっている。したがって、Urban Tree House は、単体としても親近するし、Tree House 同士が連結、連携して、複合的な機能空間を構築することができる。

単体 Urban Tree House  
コンテナは、管の先端の向きで指向出来る。

Urban Tree House の連携  
コンテナ同士がリンクして空間を拡張出来る。

### 環境共生、循環

Urban Tree House によるアーバン・フォレストは、地盤との接続ネットワークを築き、そこに生態系を育み、自然豊かな環境による水輪と木の葉を流れる風、空気に水辺により、周囲のオフィス街に比べて約 1℃ 程度下げる。多量に土壌内に蓄えられた水を供給する。

都市型地下バイオマスエネルギープラントを運営して、バイオマス燃料を製造する。製造したメタンガスは本家に売却して、燃料電池から電力と熱を供給する。これにより、従来のエネルギー供給方式に比べて、二酸化炭素の排出量を 70% 程度削減する。

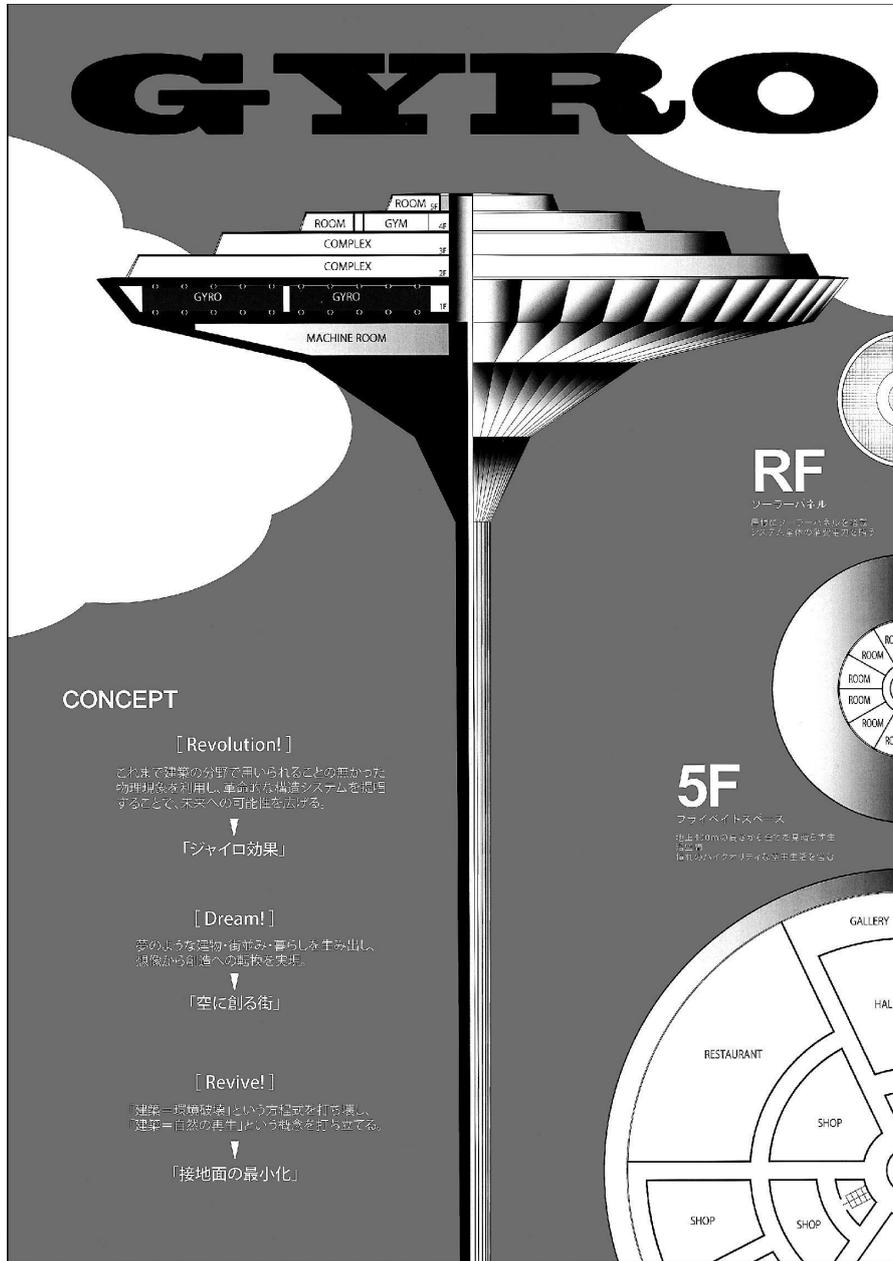
Tree House の枝からインフラへ接続、中央の幹の内蔵を巡してコンテナにエネルギー供給・排出

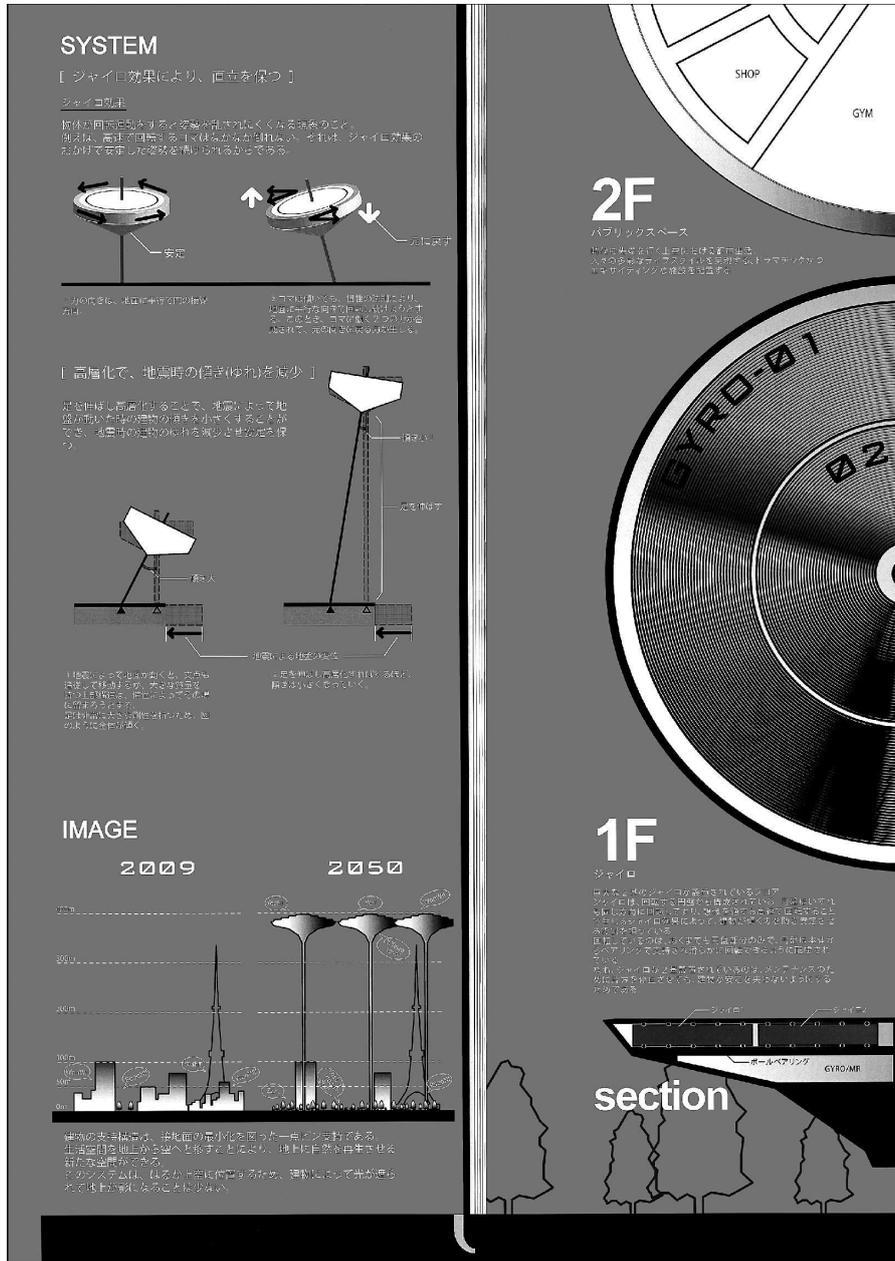
講評：増田 剛

地面から生えたような何本もの、スチール製の幹が、住居空間を支えるという有機的な形態はユニークで、親近感がわく。結果としてこの好印象が高い評価につながった。一見、不安定そうに見えるが、幹の足元に取り付けた滑り形式の免震装置で地震力を逃がし、安定性と安全性を保つ仕組みだ。コンテナ同士は上空でつながっていき、名前の通り、ツリーハウスの街を形成する。高層ビルや都市全体を免震化するという巨大構造物の提案が目立つなかで、人のスケール感を大切に低層の免震建築は、無理をしない街づくりの必要性を示しており、その点も評価したい。

優秀賞 「GYRO」

大橋 史和(大林組)、森 洋一(大林組)、貞弘 雅晴(大林組)  
南 尚孝(大林組)、北村有希子(大林組)、成松 匡章(三村設計)





講評：川口 健一

大胆なCGと、どこかレトロさを感じさせるロゴで得点を狙っている作品。1960年代の、技術発展を妄信した明るい未来像の絵の雰囲気の特徴。ジャイロを使うというアイデア自体は、比較的典型的。しかし絵のコンセプトとは良くあう。この建築により、居住者の暮らしはどう変わるのだろうか。絵の雰囲気からは、地上と決別し、背中にしよったジェットエンジンやエアカーで空中を飛び回る、かつての未来人の姿が重なる。接地面積や太陽光等の中途半端な環境論よりも、この60年代未来像のリバイバルで押し切って欲しかった。400mの高さでの風力の検討、柱径やジャイロの回転慣性、回転数、そのためのエネルギーなど、簡単に概算可能な記述がない点にも物足りなさが残る。強烈な表現力が作り上げる「過ぎ去った夢ももう一度」という印象が受け入れられた。

入選賞 「都市免震構想～地盤による都市免震システムの構築～」

徳山純一郎(大林組)、須藤 敏己(大林組)、富澤 健(大林組)  
浅岡 泰彦(大林組)、松本 研一(大林組)

**都市免震構想 ～地盤による都市免震システムの構築～**

1. コンセプト

近年、建物の免震化は大いに進み、特に大災害時に防災拠点となるような公共施設に採用されるケースが非常に増えてきました。  
各都道府県の県庁所在地の官庁舎などは免震建物のニーズが大きい建物が密集して立ち並んでいます。私たちは、建物を各々に免震化するのではなく、町ごと免震化することを考えました。  
例えると、「巨大で非常にゆっくり揺れるプリンの上に卵が乗っている」ようなイメージです。



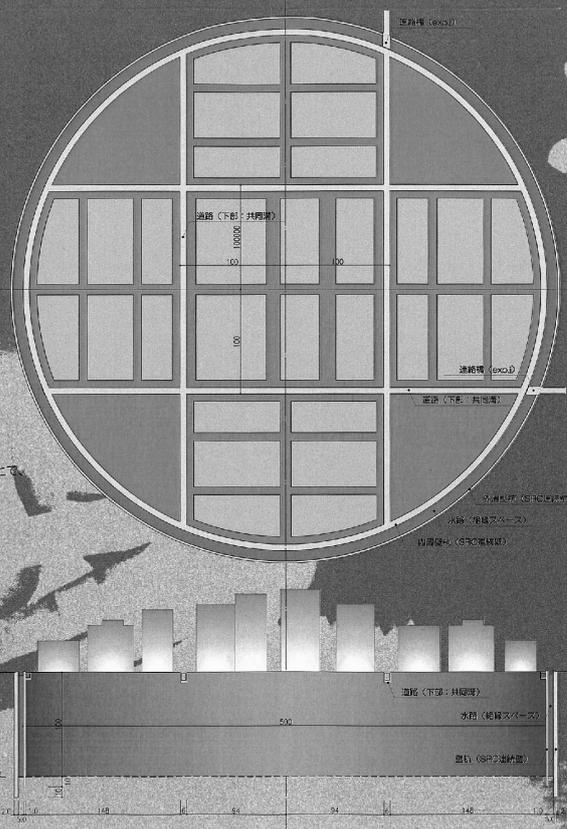
2. 計画概要

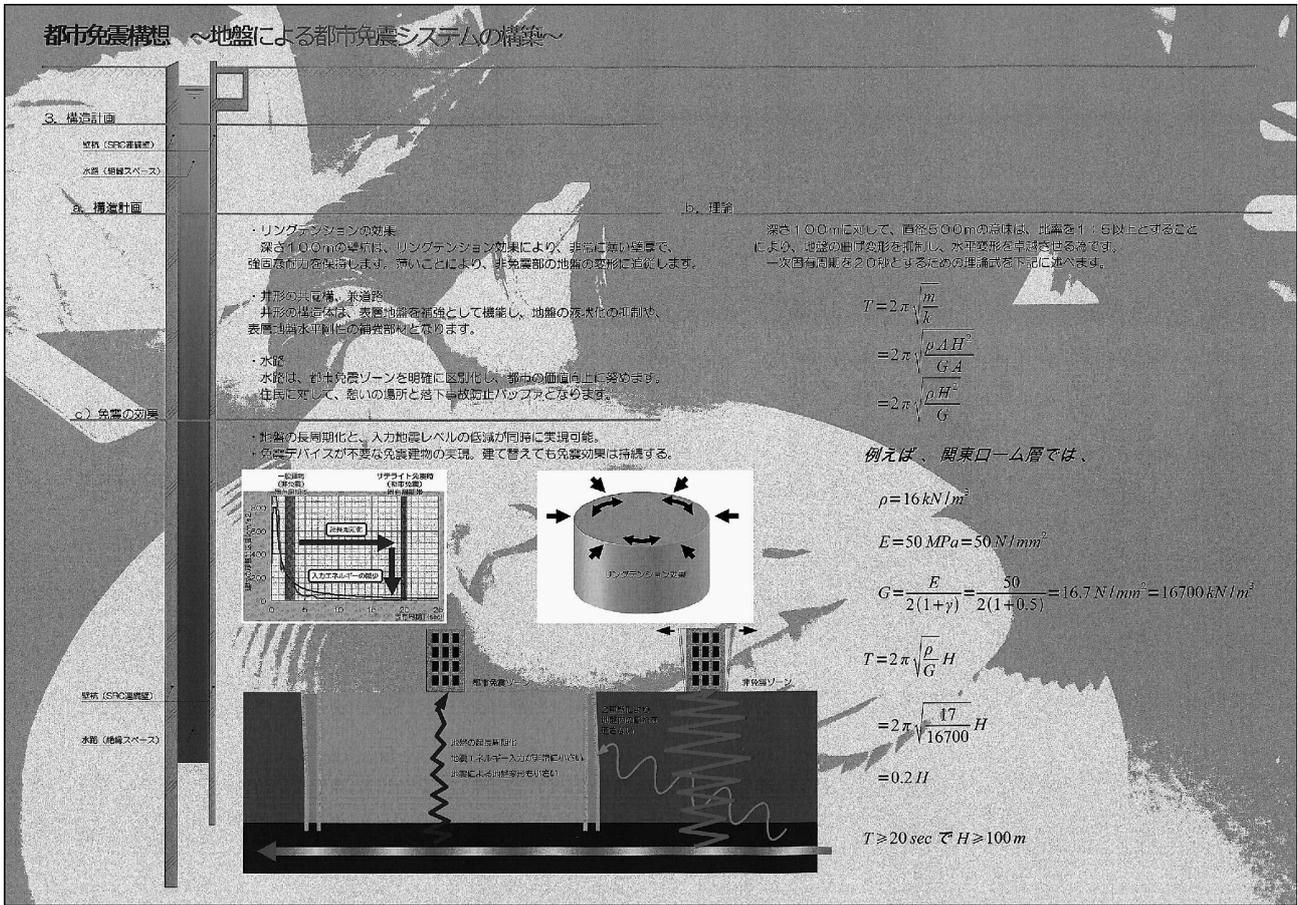
直径が500mの円形の敷地の外周に、深さ100mの掘り込みを設営することで、外周と掘り込み地盤の周期を人工的に伸ばすことを考えました。

a) 平面計画  
直径が500mの円形の敷地に、共通の道路を計画。  
(道路は表面を共有し、地盤の場に応じて地盤を保護する役目を持ちます。)  
外周部に、縦横スペースを共用して、水塔を計画。  
(道路の向きとの関係、地盤の免震化を図る)  
外周部の連絡を取るために、要所にエキスパンションジョイント機能がある、連絡塔を計画。

b) 断面計画  
外周部の掘り込みスペースの周りに、深さ100mの掘り込みを計画。  
(1次掘り込みが20m前後の地盤を計画するため。)  
掘り込みの両サイドに、壁杭を設営。  
(地盤の崩壊防止を図る)

c) 適用例  
・都市免震  
・既存官庁街のレトロフィット免震  
・重要生産拠点の敷地全体免震





講 評：入江 さやか

地下100メートルの深さまで地盤をカップのように掘り込み、その中に地盤と絶縁した都市を載せて免震を図っている。都市全体を免震化する同様のアイデアは他にも数件みられたが、カップに入ったプリンのような形状の面白さや、円形の都市の外周部分を水路にして親水空間を創造している点などに魅力が感じられた。プリンの実物の写真も目を引いた。弥生時代には集落の外周に堀をめぐらせて外敵に備えた「環濠集落」が存在したが、この案は「地震に備える未来の環濠集落」とも言えようか。この都市の固有周期の概算値が示され、地下100メートルまで掘り込んだ際の土圧にはリングテンション効果で対応しており、一定の基礎力学的検証もなされている。

入選賞 「Light×Growth×Tower」

小野 森司(大成建設)、高澤 昌義(大成建設)、立山 香織(大成建設)、大森 慎司(大成建設)  
福田 優子(大成建設)、勝又 洋(大成建設)、浅野 剛史(大成建設)、前田 有一(大成建設)



### 構造システム

3つの構成要素  
 ①制振システム: MAD (Membrane Air Damper)  
 ②免震システム: 転がり支承  
 ③内部躯体

**MAD+転がり支承+内部躯体**  
 地震時は、MADと内部躯体との力のやり取りにより制振効果が発揮するため、各層での減衰効果が期待できる。また、転がり支承の摩擦係数が小さいため、大地震時のみならず中小地震に対しても地震力の制振が可能となる。



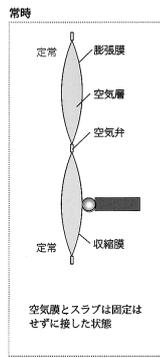
MAD  
 フレームと二重空気膜から構成  
 内部躯体とは独立

内部躯体  
 転がり支承によって支持  
 地震力の入力は極めて小さい

転がり支承  
 風圧荷重はMADで抵抗し  
 内部構造に伝わらないため  
 摩擦係数を小さく設計可能

### MADシステム

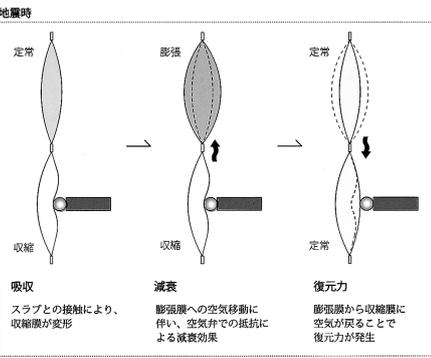
**常時**



膨張膜  
 空気層  
 空気弁  
 定常  
 収縮膜

空気膜とスラブは固定はせずに接した状態

**地震時**



膨張  
 収縮  
 定常

**吸収**  
 スラブとの接触により、収縮膜が変形

**減衰**  
 膨張膜への空気移動に伴い、空気弁での抵抗による減衰効果

**復元力**  
 膨張膜から収縮膜に空気が戻ることで復元力が発生

**MADの効果**  
 二重空気膜ユニットによる制振装置で、地震時に内部躯体の揺れを抑制する効果を持つ。隣接する空気膜ユニットは弁によって減衰と復元力を相互に作用させ、安定した形状を保つ。

**空気膜の相互作用**  
 elevation

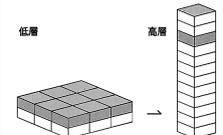
**空気弁の仕組み**  
 減衰  
 復元力

空気が隣接ユニットへ移動し、弁での抵抗により減衰効果が生じる

空気が隣接ユニットへ移動し、弁の開放により収縮した膜の復元力を促す。

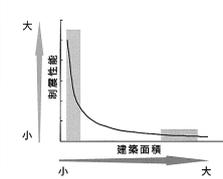
### 構造メリット

建物を集約することで制震機能の向上  
 建物を集約することで建築面積は減少する。建築面積に対する壁の面積の割合は大きくなる。建築面積に対するMADの面積が大きくなる程、変形を吸収する要素が多くなり変形吸収性能は高まる。建築面積を小さくし、塔状に積み上げる程、建物性能は向上する。



低層  
 高層

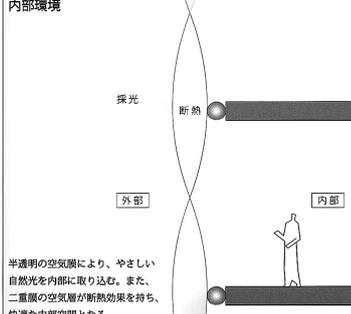
建築面積に対する壁面積の割合小さい  
 建築面積に対する壁面積の割合大きい



大  
 小

壁面積比  
 建築面積

### 内部環境

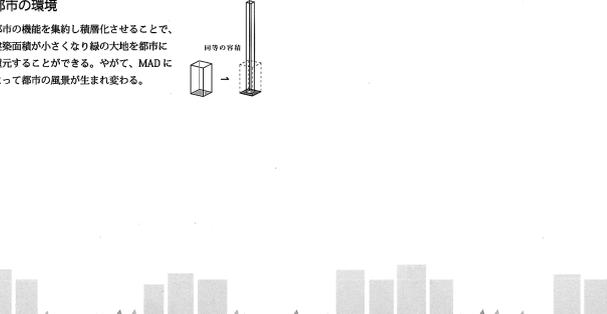


採光  
 断熱  
 外部  
 内部

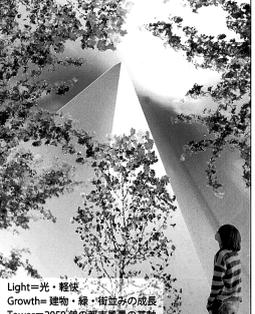
半透明の空気膜により、やさしい自然光を内部に取り込む。また、二重膜の空気層が断熱効果を持ち、快適な内部空間となる。

### 都市の環境

都市の機能を集約し積層化させることで、建築面積が小さくなり緑の大地を都市に還元することができる。やがて、MADによって都市の風景が生まれ変わる。



同等の容積



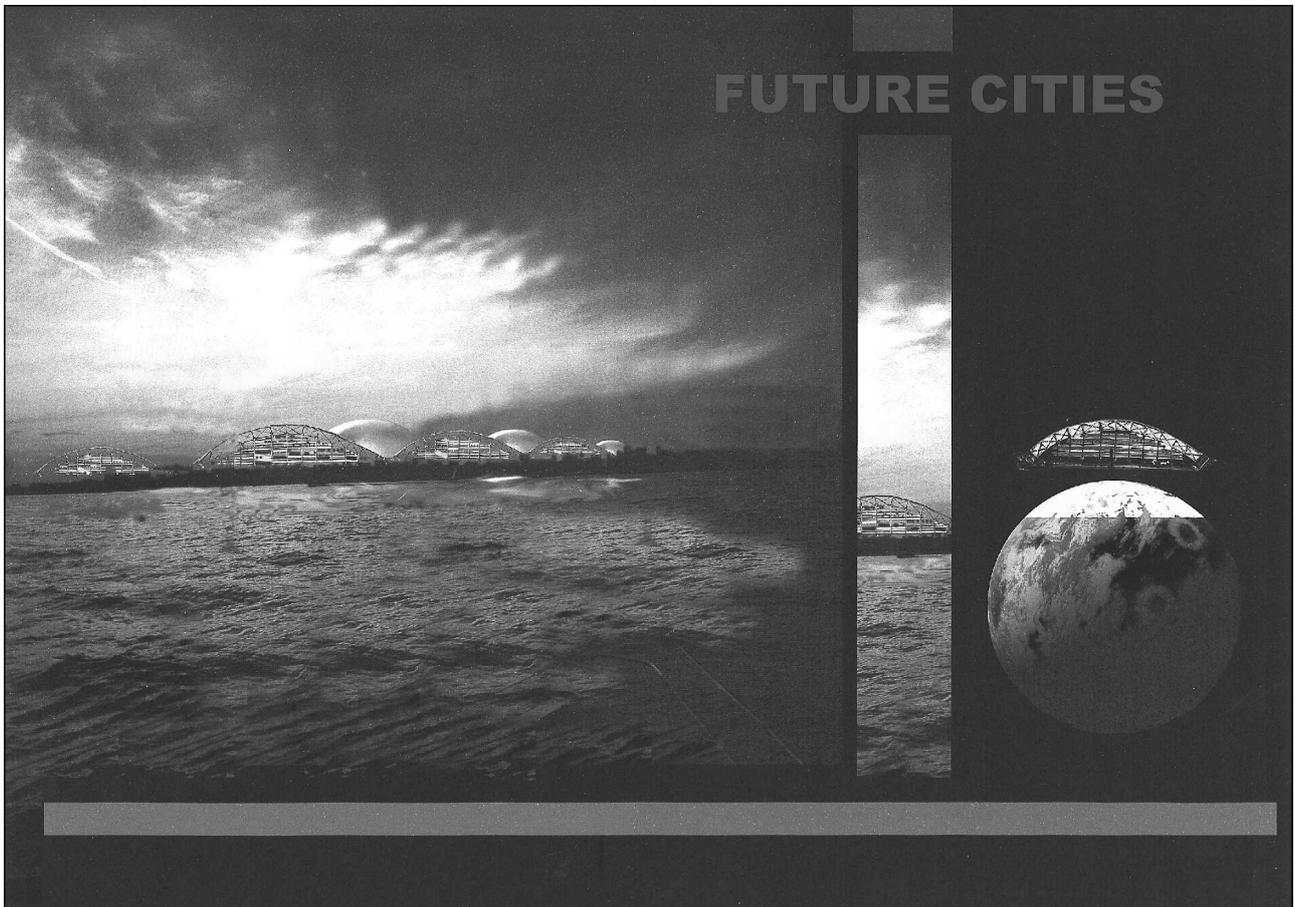
Light=光・軽快  
 Growth=建物・緑・街並みの成長  
 Tower=2050年の都市風景の基軸

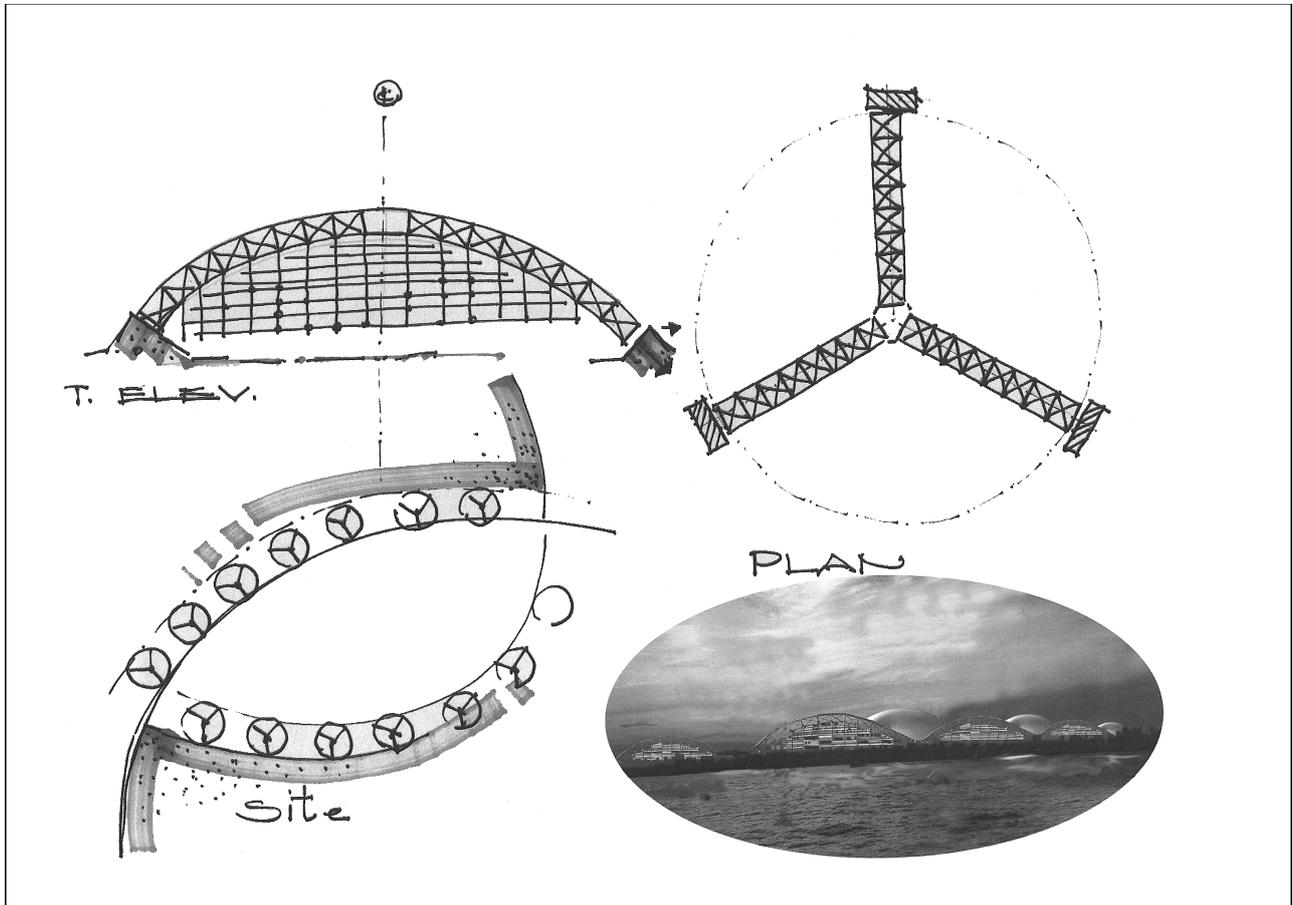
講評：入江 さやか

風船のような半透明の「空気膜」で包まれた「透明で柔らかなビル」。最近流行のエアクッションにヒントを得たものと思われるが、「ビルは固いもの」という既存概念にとらわれない点に魅力を感じた。ただ、アイデアが建物だけにとどまっている点が惜しまれた。こんなビルができれば「都市の環境や人々の生活がこう変わる」「こんな活動が可能になる」といった「夢」や「未来像」がダイナミックに展開されていればさらに魅力的だったかもしれない。技術的には、空気層をダンパーとして使った場合にはあまり大きな力は得られない点に注意が必要との指摘があった。

入選賞 「FUTURE CITIES」

Ahmad NADERZADEH (Imensazeh Company)、Aliakbar NASRABADI (Private Consultant)





講評：平倉 直子

海のかなたに丘のように連なるアーチ状の建物。詩情あふれる風景画に心魅かれ、スケッチの解釈にとりかかる。コメントがない(イランからの応募であった)由に取り扱いは慎重になる。断面図より、フロアは明らかに地面と切り離されており、ミニマムなアーチより懸垂したと読み取ることができる。

アーチの3つの脚部の自由度は地震時にどのように働くのか、ユニットの大きさは適切か?疑問もあるが、ダイナミックな「吊り免震」の構想と美しい風景、どちらも未来への強いメッセージと柔らかな発想が含まれ、この賞の主旨にふさわしい。

入選賞 「爆弾免震」

熊谷 由章(大林組)

### 爆弾免震

**コンセプト**  
「免震」とは、本来、地震が建物に入力しないように考えられたものです。

一般的に、建物は地面の上に建てられているため、地面と接している部分から建物内部に地震が伝わり被害を受けます。

シンプルに考えれば、究極の免震とは、「建物を宙に浮かせる」ことです。

戦争で無駄に使われている「爆弾」の巨大なエネルギーを利用し、風力により、一時的に建物を宙に浮かせて大地震を避けることが可能です。

未来の免震建物の姿として、「爆弾免震」は、世界平和と耐震安全性を提案します。

**リアルタイム地震速報**  
地震動の主要動であるS波が到達する前に、各地域の情報機関を通じて、個々の建物に地震動の特性を伝達し、防災対策を実行します。

講評：川口 健一

本提案は、応募作品の中でも、もっとも乱暴で現実味に欠ける案である。しかし、この程度の冒険を試みるアイデアがもっと欲しかった。また、世の中の無駄なエネルギーの象徴としての「戦争」というキーワードも、評価したい。太陽エネルギーやCO2削減といったキーワードを免震・制振にこじ付けたような提案が多い中で、「世界平和」という言葉は新鮮である。街並みや、暮らしという観点は足りないが、戦争がなくなるということを考えれば、素晴らしい未来像であるといえよう。

# Eディフェンス実大制振ビル加振実験



カヤバシステムマシナリー 岡崎伸哉

## 1 はじめに

2009年3月19日(木)、JSSIでは日本振動技術協会と共同で兵庫県三木市にある、Eディフェンスの震動台による実大5層制振構造建物の加振実験を見学しました。この実験は(独)防災科学技術研究所が主催する、世界初の制振装置を設置した実物大ビル構造物の加振実験です。制震ダンパーを有する鉄骨建物の大地震での性能を検証することを目的としています。

12時に新神戸にて待ち合わせた後、20名のJSSI会員は13名の振動技術協会の会員とともに貸切バスにてEディフェンスへ向かいました。



写真1 東京工業大学 笠井教授

## 2 事前説明

到着、受付を済ませた後、初めに東京工業大学笠井教授、防災科学技術研究所引野剛特別研究員より事前説明を受けました。試験体は、実大鉄骨造建物に制振ダンパーとして鋼材・粘性・オイル・粘弾性の順に加振実験ごとに設置されて試験が継続されました。

今回の公開実験の対象はオイルダンパーでした。また、コンクリート床スラブ・鉄骨階段・ALC外壁・カーテンウォール外壁・間仕切り壁・ガラス窓等も設け、できるだけ実状に近い建物となるように計画されています。大きさは、長辺方向2スパン12m、短辺方向2スパン10m、建物高さ約16.8mであり、試験体総重量は約580tとなっています。これに1層より4層まで各層に3基、計12基の制震オイルダンパーが設置されています。

試験体は、いずれのダンパーにおいても1995年兵庫県南部地震においてJR鷹取駅構内で記録された強震記録(JR鷹取波)の入力に対し、層間変形角が1/100以下となり、かつ柱・梁が弾性限以下となるように設計されています。実験ではこのJR鷹取波が入力されます。

試験体には約1300ch(Eディフェンスでの実験としては過去最多)のセンサーを試験体に取り付け、地震時の様々な挙動を計測します。



写真2 防災科学技術研究所引野剛特別研究員

なお、本実験は性能検証実験であることから、加振後に試験体が損傷することは無いとのことです。

## 3 実験見学

実験棟に入り振動台上に設置された構造物及び振動台の大きさにまず驚かされました。

この振動台が3次元に振動することで実際の地震波を再現します。

振動台上に設置された構造物及びダンパーには1300chのセンサーが取付けられその多数のケーブルが外部の計測器まで束になって伸びており、その実験スケールの大きさに改めて感心させられました。

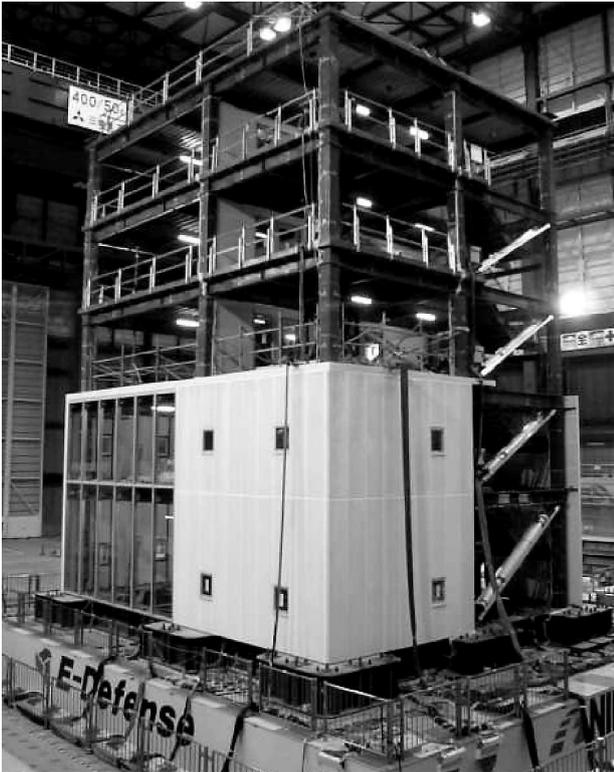


写真3 振動台上の実大鉄骨構造物

実験は小振幅加振より始まり、その後、JR鷹取波の70%、84%、と続き、最後に100%加振を実施しました。制震ダンパーは予想通りの効果を発揮し、小振幅においても建物の振動は押さえられ、最大加振の100%鷹取波においても目視上全く破損等の恐れは感じられませんでした。

他の制震部材との詳細の比較は分かりませんが、オイルダンパーは他の制震ダンパーに勝るとも劣らない性能ではないかとのお話がありました。また、今回の実験の後、制震部材を取付けない構造物の振動実験も予定されており、こちらとの比較も非常に興味があるところですが、残念ながら、ブラインド解析コンテスト実施中につき、詳細DATAは未だ公表されないとのことです。



写真4 構造物に設置されたオイルダンパー

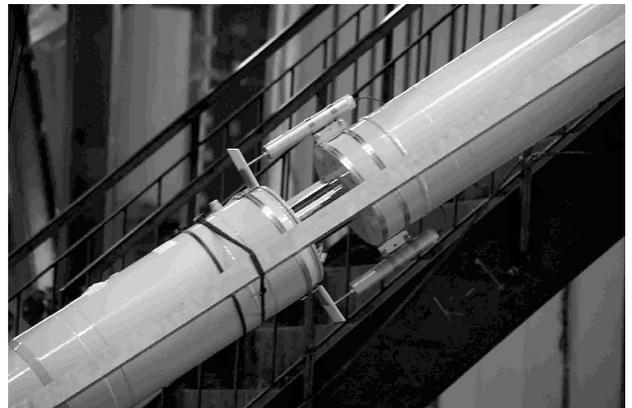


写真5 オイルダンパーに設置されたセンサー

#### 4 さいごに

今回大型震動台による、実大5層制振構造建物の加振実験見学という貴重な体験をさせていただきましたが、我々の見学に貴重な時間を割き、便宜を図っていただいた引野特別研究員をはじめとする(独)防災科学技術研究所の方々、笠井先生をはじめとする東京工業大学の方々など関係者の皆様に心より謝辞を評したいと思います。この貴重な体験を今後のJSSIの活動に活かしていきたいと考えます。

## 第5回技術報告会



免制震デバイス  
齊木 健司

### 1 はじめに

4月23日(木)、東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホールにて「第5回技術委員会報告会」が開催されました。

今回の報告は2006年11月に開催された第4回報告会以降、2年半の活動内容の成果報告となっています。報告は下記プログラムに示すように入力地震動から免震・制振構造の設計、施工および維持管理に至り、耐風設計部会のように新しい部会の報告も含め6技術部会、7小委員会および2つのWGから多岐にわたる新鮮なテーマが提示されました。

出席者は各委員会のメンバーをはじめとして、研究者、構造設計者や施工技術者、装置メーカーなど合計160名余の方が参加されました。

### 2 プログラム

・開会の辞	技術委員会	委員長	和田 章
・免震設計部会			
設計小委員会		委員長	藤森 智
入力地震動小委員会		委員長	瀬尾和大 野中康友
設計支援ソフト小委員会		委員長	酒井直己
・耐風設計部会		委員長	大熊武司 竹中康雄、吉江慶祐
・施工部会		委員長	原田直哉
・免震部材部会			
アイソレータ小委員会			高坂隆一
ダンパー小委員会		委員長	荻野伸行
・応答制御部会			
パッシブ制振評価小委員会		委員長	笠井和彦
制振部材品質基準小委員会		委員長	木林長仁
・防耐火部会		委員長	池田憲一
・「免震建物の建築・設備標準」作成WG		主 査	森高英夫
・「設計基準」作成WG		主 査	北村佳久
・総合討論			

### 3 報告概要

各テーマの要旨がまとめられた梗概集が作成されていますので、詳細については「第5回技術報告会梗概集」を是非ご一読頂ければと存じます。報告会では各テーマの報告以外にも、笠井委員長より実大三次元震動破壊実験施設(E-ディフェンス)で行われた実大5層制振構造建物および実大4層耐震構造建物の震動台実験の速報が公開され、耐震構造建物の崩壊に至る過程や、制振構造の震動エネルギー吸収の状態について詳細な解説を頂きました。

また、出版後4~7年が経過した「免震構造施工標準」、「免震建物の建築・設備標準」および「時刻歴応答解析による免震建築物の設計基準・同マニュアル」の最新の情報・技術を盛り込んだ改訂作業の状況や、今後新規に発行される「免震部材の接合部・取り付け躯体の設計指針」、「(仮称)免震建築物の耐風設計指針」の骨子が報告されており、出版後のそれぞれの分野におけるご活用が期待されます。なお、ダンパー小委員会の活動報告書は協会のホームページで入手が可能となっています。

### 4 総合討論・意見交換会

総合討論では、「協会の出版物・マニュアルの中で数値目標を具体的に記述すると、より高い性能を設計者が求める場合に問題となるのではないか」という具体的な内容に踏み込んだ討論も行われました。引きつづき、意見交換会の場でも活発な議論が交換されました。



写真1 和田委員長挨拶



写真2 報告会の状況

# 免震セミナー23 in 豊島区

CERA建築構造設計

世良 信次

## 1 はじめに

JSSIとCERA建築構造設計の共催で、地方への普及を目的として免震セミナーを開催しております。これまでに平成17年10月第1回埼玉から平成20年11月第12回神戸を実施しております。本年は東京都内を中心とする活動とし、第1回を豊島区エリアで開催しました。本報告は、「第13回免震セミナー23 in 豊島区」について開催記録を報告いたします。日時、会場は下記の通りです。

日時：2009年3月5日(木) 10:00~16:50

会場：コア・いけぶくろ

(豊島区民センター 5階 第1会議室)

会場とした“コア・いけぶくろ”は、免震レトロフィット工事で免震建築となった豊島区役所(写真1)に隣接し、セミナー会場に最適な所でした。今回も開催エリアの構造設計事務所を中心に13名の参加を頂きました。



写真1 豊島区役所(免震建築)

## 2 セミナー概要

プログラムは前回と同じですが、今回はこれまでの内容を構造設計の手順で説明本にまとめたものの改良版を用いました。特に、免震建築を計画する時点でポイントとなる点を私の経験談を交えてまとめたものです。内容は第1話から第14話に分けて設計の準備事項から例題建物を用いた計算、および計算書のまとめ方まで実践の設計に沿ったものになっています。また、今回は、たくさんの事項を限られた時間で説明するために、ポイントの

箇所にアンダーラインを引き、要点を絞り広く浅く説明を行いました。特に、例題建物の計算では、告示2009号第六の計算による計算書と時刻歴応答解析による応答計算書を併記させて、それぞれの計算のポイントと相違点について紹介を行っています。告示2009号第六の計算書では表層地盤の水平せん断剛性の非線形性を考慮した増幅率Gsの計算を除いて、すべて手計算で計算値が確認できるものとしています。トレーストレーニングで複雑な計算と用語に慣れ、設計への意欲を高めて頂くことを目的としたものです。毎回、聴講者の反応を見ながら、よりわかり易い資料作りに心がけています。

テキスト「免震構造設計ノートVer.1.4」の概要として目次を紹介します。

- 第1話 免震建築の特徴を周知しよう
- 第2話 まず確認しよう
- 第3話 基本設計に入る
- 第4話 免震層を設計しよう
- 第5話 地震・風応答を予測しよう
- 第6話 目標耐震性能を設定しよう
- 第7話 設計手続きを決定しよう
- 第8話 地震応答解析をしよう
- 第9話 上部構造を設計しよう
- 第10話 免震部材の変形・付加応力を確認しよう
- 第11話 下部構造を設計しよう
- 第12話 目標耐震性能の確認を行う
- 第13話 製品・施工管理計画、維持管理計画をたてる
- 第14話 設計図書をまとめよう

### 付録

- 付-1. 免震構造の歴史
- 付-2. 設計例の紹介：RC造共同住宅
- 付-3. アンカーボルトの設計(ゴム協会の例)
- 付-4. 免震部材特記仕様書例

なお、今回も下記の協賛会社の方々にはアピールを兼ねた免震に関する技術紹介による協力を頂きました。写真2に会場の様子を示します。

### ① 岡部(株)(横山氏)

：戸建免震建物の実大振動実験と施工について



写真2 会場の様子

- ② 住友金属鉱山シボレックス(株)(照井氏)  
：鉛ダンパーの性能について
- ③ 昭和電線デバイステクノロジー(株)(山添氏)  
：積層ゴムの製造方法と性能試験について
- ④ ユニオンシステム(株)(田ノ上氏)  
：告示計算による計算プログラムの実演
- ⑤ (株)NTTファシリティーズ(中村氏)  
：解析プログラムSEINを用いた免震構造計算
- ⑥ (株)免震テクノサービス(古畑氏)  
：維持管理の現状と重要性について

### 3 今回の反省

今回のセミナーの反省として、今回は、免震構造建物のデザインのポイントをより分かり易くすることに重点をおいた一方、計算の説明が不十分になってしまった感があります。

次回は、建築計画のポイントや計算方法・手順の説明図をコンパクトにし、バランスのとれた説明にしようと考えています。

また、隣接して免震建築があったにも関わらず教材として活用できなかったことが残念に思われます。この紙面を借りて昼休みに撮影したポイント(写真3, 4)を紹介させていただきます。いずれも市街地の建物としての配慮が何え大変参考になりました。

なお、翌日、聴講者の垂久里建築設計の中村氏から下記のメールを頂き、今回のセミナーの目標が達成できたと感じました。

「昨日の講習会有難うございました。実務で何と



写真3 高い手摺塀の裏に張られた落下防止ネット



写真4 建物の外周に複数貼られたパネル

か一つの建物を免震で構造計算を行いたと思います。有難うございました。」

### 4 今後の予定

今後の予定として、本年は東京都内23区を中心に免震建築の設計を経験されていない設計技術者を対象として開催いたします。

### 謝辞

今回もJSSIの事務局、協賛会社の方々には、ご協力いただき深く感謝申し上げます。

# 平成20年度理事会議事録

日時 平成21年 2月17日(火) 午後3:00~5:20

会場 日本免震構造協会 会議室  
(東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階)

出席者 理事総数22名/出席理事数11名、  
委任状提出9名、監事3名、事務局2名  
(出席者名簿、省略)

## ■配布資料

- 資料①会員動向
- 資料②平成20年度1月収支について
- 資料③創立15周年記念事業について
- 資料④各委員会活動報告
- 資料⑤建築基準整備促進補助金事業等について
- 資料⑥行事予定
- 資料⑦会への入会について/日本建築行政会議
- 資料⑧理事の交代について
- 資料⑨内部留保の対策について
- 資料⑩新法人と指定性能評価機関について

## ■出席者数の報告および会長挨拶

事務局より、理事総数24名のうち出席理事数は11名・委任状提出は9名、有効表決数20となり定足数13以上を満たし、理事会が有効に成立した旨の報告があった。

続いて議案審議に先立ち、西川孝夫会長による挨拶が行われた。

## ■議長選出

定款により、議長には西川孝夫会長が選出された。

## ■議事録署名人選出

議事録署名人選出について事務局から、黒田英二理事(第一種正会員)・長橋純男理事(第二種正会員)の提案があり、異議なく承認され、両人とも承諾した。

## ■議 事

### 1. 審議事項

#### 1) 会への入会について/日本建築行政会議

…………… 資料⑦  
事務局より、資料⑦にもとづき説明があった。指定確認検査機関の準則では、3億円の財産の評価額が必要とされているが、性能評価機関では2億円が想定される。現在、協会は保

険料60万に対し保険てん補限度額3,000万円  
で契約しているが、加入している損保で換算  
すると約300万円の保険料になると思われる。  
現在、改正検討中の確認検査機関の団体賠償  
責任保険の特約条項案が成立した場合、日本  
建築行政会議に入会すると保険料60万に対し  
保険限度額2億円になると思われる。当協会  
も、この団体保険に加入したいので、この会  
に入会したい旨の提案をしたところ、審議の  
結果、承認された。

#### 2) 理事の交代について…………… 資料⑧

事務局より、資料⑧にもとづき説明があった。  
理事の交代について、オイレス工業(株)・岸  
園 司理事の後任に池永雅良氏、(株)ブリヂ  
ストン・須藤千秋理事の後任に鈴木重信氏、  
(株)鴻池組・鬼頭 城理事の後任に中山光男  
氏の候補者が挙がっているとの報告があり、  
この案について諮られ、異議なく承認された。  
任期については、前任者の残任期間となる。

#### 3) 内部留保の対策について…………… 資料⑨

事務局より、資料⑨にもとづき説明があった。  
当協会は、内部留保率の数字が高く、国土交  
通省より平成22年度からは、30%以下にする  
ようにと指摘を受けている。内部留保率の数字  
が高い理由は、前受金(新年度の会費の入  
金)があるため、対応策としては、前受金を  
減らすか引当金を増やすことが考えられる。  
前受金を減らすには、会費の請求書を4月初  
めに発行する方法が考えられる。この件につ  
いては、運営委員会/財務小委員会で引き続  
き検討することで了承された。

#### 4) 新法人と指定性能評価機関について

…………… 資料⑩  
事務局より、資料⑩にもとづき説明があ  
った。当協会は、昨年12月1日からは、「特例民  
法法人」となった。今後は、「一般社団法人」  
に移行するための必要な整備をすすめ、そ  
の後状況により「公益社団法人」に移行する  
ことも視野に置く。指定性能評価機関準則  
により、変更の可能性もあるが、この方針  
です

めていくことが承認された。

## 2. 報告事項

以下、事務局より報告があった。

### 1) 会員動向 …………… 資料①

昨年10月からの会員動向は、資料①の通り。  
1月末現在の会員数は、第1種正会員105社、  
第2種正会員174名、賛助会員73社となった。

### 2) 平成20年度1月収支について …………… 資料②

4月から1月までの収支について、収入合計は  
9,486万円で、会費収入4,864万円と事業収入  
4,515万円に二分される。事業収入の内訳は、  
性能評価事業収入が約5割で、技術者認定事  
業収入が約4割となっている。支出合計は、  
8,730万円で、事業費支出が約8割の6,980万円、  
管理費支出が約2割の1,750万円となってい  
る。当期の収支差額は756万円である。

### 3) 創立15周年記念事業について …………… 資料③

#### ① 子ども絵画コンクール

応募は69名あり、審査を行った結果、最優秀  
賞1名・優秀賞7名であった。資料③は、受賞  
した8名の作品と審査員の選評が掲載されてい  
る。絵の大きさはA2サイズほどの大きさで、  
どの絵も子どもたちからのエネルギーが感じ  
られた。2月末発行の会誌「menshin」にもカラ  
ーページで掲載される。

#### ② 優秀修士論文賞

締め切りは2月末で、現在の応募状況は数件  
である。

#### ③ 国際アイデアコンペ

作品提出期限は2月末で、現在の応募状況は  
数件である。

#### ④ 研究助成事業(案)について

15周年記念事業の一環として、毎年一回、免  
震・制振建築物に関連する調査研究を支援する  
「研究助成事業」を本年度よりスタートさせた  
い。研究の公募を行い、採用者に対して研究  
奨励金による研究助成を行う予定。内容につ  
いて、もう少し検討が必要なので、委員会を  
立ち上げ進めていくことで了承された。

### ⑤ 国際シンポジウム開催(案)について

2009年9月16日(水)、17日(木)、18日(金)の3  
日間。

会場は、駒場の東大生研コンベンションホー  
ルにて開催。

9月16日(水) ワークショップ(公用語：英語)

9月17日(木) ワークショップおよび見学会

9月18日(金) 一般講演会(同時通訳を入れて  
ディスカッションを予定)

国際シンポジウムなので、海外から多くの参  
加を期待している。

### 4) 新年賀詞交歓会について

1月15日に、明治記念館にて開催した。国土  
交通省・住宅局建築指導課 建築防災対策室  
の杉藤宗室長が来賓を代表して挨拶をした。  
会員・来賓あわせて90名が出席し盛会であ  
った。

### 5) 各委員会活動報告 …………… 資料④

各委員会の活動は、資料④の通り。委員会委  
員長を兼ねている理事より報告があった。技  
術委員会・和田委員長からは、施工部会で  
「JSSI免震構造施工標準2009」の発刊に向けて  
作業中であり、免震部材部会/アイソレータ小  
委員会では、「免震部材と免震設計入門書(仮  
題)」刊行に向けて進めている。資格制度委員  
会・長橋委員長からは、免震部建築施工管理  
技術者と免震建物点検技術者の資格試験を10  
月と1月に実施、また資格更新に必要な更新講  
習会を11月に実施した。受験者の数は、255名  
と173名で予想を上回る受験者があった。

維持管理委員会・沢田委員長からは、財団法人  
住宅保証機構からの委託業務「住宅瑕疵担保  
履行法に基づく住宅瑕疵担保責任保険引き受  
けに必要な「免震建築物」に係る現場審査方法  
等の検討」について対処中である。

### 6) 建築基準整備促進補助金事業等について

…………… 資料⑤

協会が関与している調査事項：10地震力の入  
力と応答に関する基準の合理化に関する調査

のうち、工学基盤マップ作成に関する提案と、調査事項：12免震建築物の基準の整備に資する検討①免震建築物の設計用層せん断力係数の評価②免震材料の性能評価手法に関する検討③免震構造の簡易的設計手法の検討を、委員会を構成し鋭意すすめている。

- 7) 行事予定 …………… 資料⑥  
今後の予定としては、3/19に「Eディフェンス制振ビル加振実験見学会」、4/23「第5回技術報告会」5/中旬に理事会と記者懇談会、5/25に会

誌menshin64号発行、6/4に「総会・協会賞表彰式」がある。このなかで、5/中旬の理事会については、5/20に開催することが決定した。

## 5:20 閉 会

平成21年2月17日

議 長 西川 孝夫  
議事録署名人 黒田 英二  
議事録署名人 長橋 純男

# 日本免震構造協会 性能評価(評定)完了報告

日本免震構造協会では、平成16年12月24日に指定性能評価機関の指定(指定番号：国土交通大臣 第23号)を受け、性能評価業務を行っております。また、任意業務として、申請者の依頼に基づき、評定業務を併せ行っております。

ここに掲載した性能評価(評定)完了報告は、日本免震構造協会の各委員会において性能評価(評定)を完了し、申請者より案件情報開示の承諾を得たものを掲載しております。

## 材料性能評価

JSSI-材評- (完了年月日)	件名	申請者	性能評価の区分	適用範囲
08007 (H20.12.26)	日本ピラー工業型 剛すべり支承 (ユニット支承RX型)	日本ピラー工業	法37条第二号の認定 に係る性能評価 (免震材料)	平成12年建設省告示第2009号 で定める免震建築物に用いる 支承材。
08008 (H21.1.16)	東洋ゴム工業製高減衰 ゴム系積層ゴム支承	東洋ゴム工業	法37条第二号の認定 に係る性能評価 (免震材料)	平成12年建設省告示第2009号 で定める免震建築物に用いる 支承材。

## 建築基準法に基づく性能評価業務のご案内

### ◇業務内容

建築基準法の性能規定に適合することについて、一般的な検証方法以外の方法で検証した構造方法や建築材料については、法第68条の26の規定に基づき、国土交通大臣が認定を行います。これは、日本免震構造協会等の指定性能評価機関が行う性能評価に基づいています。

### ◇業務範囲

日本免震構造協会が性能評価業務を行う範囲は、建築基準法に基づく指定資格検定機関等に関する省令第59条各号に定める区分のうち次に掲げるものです。

#### ①第2号の2の区分 (構造性能評価)

建築基準法第20条第一号(第二号ロ、第三号ロ及び第四号ロを含む)の規定による、高さが60mを超える超高層建築物、または免震・制震建築物等の時刻歴応答解析を用いた建築物

#### ②第6号の区分 (材料性能評価)

建築基準法第37条第二号の認定に係る免震材料等の建築材料の性能評価

### ◇性能評価委員会

日本免震構造協会では、性能評価業務の実施に当たり区分毎に専門の審査委員会を設けています。

①構造性能評価委員会(第2号の2の区分) 原則として毎月第1水曜日開催

②材料性能評価委員会(第6号の区分) 原則として毎月第1金曜日開催

### ◇評価員

#### 構造性能評価委員会

委員長 和田 章(東京工業大学)  
副委員長 壁谷澤寿海(東京大学)  
委員 山崎 真司(首都大学東京)  
大川 出(建築研究所)  
島崎 和司(神奈川大学)  
瀬尾 和大(東京工業大学)  
曾田五月也(早稲田大学)  
田才 晃(横浜国立大学)  
中井 正一(千葉大学)

#### 材料性能評価委員会

委員長 寺本 隆幸(東京理科大学)  
副委員長 高山 峯夫(福岡大学)  
委員 曾田五月也(早稲田大学)  
西村 功(武蔵工業大学)  
山崎 真司(首都大学東京)

### ◇詳細案内

詳しくは、日本免震構造協会のホームページをご覧ください。

URL: <http://www.jssi.or.jp/>

# 国内の免震建物一覧表

国土交通省から公表された大臣認定取得免震建物のうち、ビルディングレター(日本建築センター)に掲載されたもの、及び当協会免震建物データ集積結果により作成しています。間違いがございましたらお手数ですがFAXまたはe-mailにて事務局までお知らせください。また、より一層の充実を図るため、会員の皆様からの情報をお待ちしておりますので、宜しくお願いいたします。

出版部会 メディアWG URL: <http://www.jssi.or.jp/> FAX: 03-5775-5734 E-MAIL: [jssi@jssi.or.jp](mailto:jssi@jssi.or.jp)

## 免震建物一覧表

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )				
1	MNNN - 0019	2000/10/17	BCJ基評-IB0012	(仮称)鶴見尻手計画	鹿島建設	RC	14	-	3055.7	29563.1	43.5	44.5	神奈川県横浜市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
2	MNNN - 0020	2000/10/17	BCJ基評-IB0004	(仮称)スポーツモール川崎店 新築工事	松田平田設計 鹿島建設	RC	6	-	564.9	3236.3	25.0	26.4	神奈川県川崎市	天然積層ゴム 鋼製ダンパー 鉛ダンパー すべり支承 オイルダンパー
3	MNNN - 0021	2000/10/17	BCJ基評-IB0023	(仮称)南砂1丁目計画	タウン企画設計	RC	13	-	1298.7	11461.7	39.6	40.8	東京都江東区	鉛入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
4	MNNN - 0022	2000/10/17	BCJ基評-IB0014	(仮称)株式会社バイテック新社屋 新築工事	清水建設	SRC	8	1	613.5	3867.3	29.8	30.4	東京都品川区	高減衰積層ゴム オイルダンパー すべり支承
5	MNNN - 0027	2000/10/25	BCJ基評-IB0006	シルクロゼース	大和設計	RC	12	-	1668.5	8852.1	34.9	39.9	熊本県熊本市	高減衰積層ゴム すべり支承
6	MNNN - 0028	2000/10/25	BCJ基評-IB0024	孤野町新庁舎	日建設計	SRC	7	-	2207.4	10078.0	28.0	28.6	三重県三重郡	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
7	MNNN - 0029	2000/10/25	BCJ基評-IB0005	(仮称)藤沢市総合防災センター	NTTファシリティーズ	RC	7	-	619.5	3679.2	28.0	28.3	神奈川県藤沢市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
8	MNNN - 0031	2000/11/8	BCJ基評-IB0001	南砺中央病院	日本設計 富山県建築設計監理協同組合	RC	6	-	5047.8	13442.5	28.1	32.6	富山県西砺波郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
9	MNNN - 0032	2000/11/8	BCJ基評-IB0010	金沢医科大学病院新棟	日本設計 中島建築事務所	SRC	12	1	7055.0	51361.1	53.9	68.8	石川県河北郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
10	MNNN - 0033	2000/11/8	BCJ基評-IB0030	(仮称)東急ドエル アルス中央林間 六丁目プロジェクト(その2)D棟	日建ハウジングシステム	RC	7	-	3348.0	1759.9	21.9	22.6	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
11	MNNN - 0033	2000/11/8	BCJ基評-IB0030	(仮称)東急ドエル アルス中央林間 六丁目プロジェクト(その2)G棟	日建ハウジングシステム	RC	5	-	2820.0	1867.6	14.9	16.2	神奈川県大和市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
12	MNNN - 0035	2000/11/8	BCJ基評-IB0015	(仮称)actSTEP	総研設計 工藤一級建築士事務所	S	3	-	188.1	438.0	10.9	14.1	静岡県静岡市	球面滑り支承
13	MFNN - 0036	2000/11/8	BCJ基評-IB0011	(仮称)マイクロテック本社ビル	五洋建設	RC	5	1	274.0	1151.7	16.5	18.8	東京都杉並区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
14	MNNN - 0039	2000/11/8	BCJ基評-IB0009	精工技研第3工場	大成建設	S	5	-	1599.5	8062.2	21.5	22.8	千葉県松戸市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
15	MNNN - 0042	2000/11/8	BCJ基評-IB0029	(仮称)勝どきTビル	日建設計	S	8	-	2185.0	15736.0	36.2	43.2	東京都中央区	天然積層ゴム 鋼製ダンパー
16	MNNN - 0044	2000/11/8	BCJ基評-IB0026	東京消防庁総務部施設課 豊建築事務所	東京消防庁総務部施設課 豊建築事務所	RC	9	1	879.9	5572.0	30.2	30.8	東京都渋谷区	鉛入り積層ゴム
17	MNNN - 0045	2000/11/8	BCJ基評-IB0008	(仮称)平成11年度一般賃貸住宅 (ファミリー)大熊健造ビル	S,D,C	RC	14	-	920.0	8779.1	44.4	45.0	埼玉県戸田市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
18	MNNN - 0047	2000/11/8	BCJ基評-IB0019	元住吉職員宿舎(東棟変更)	都市基盤整備公団 千代田設計	RC	4	-	295.5	934.6	12.5	13.1	神奈川県川崎市	天然積層ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
19	MNNN - 0050	2000/11/8	BCJ基評-IB0021	千葉市立郷土博物館耐震改修	千葉市都市整備公団 桑田建築設計事務所	SRC	5	-	636.1	1872.1	26.6	30.4	千葉県千葉市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鋼棒ダンパー
20	MFEB - 0053	2000/12/1	BCJ基評-IB0017	東京女子医科大学(仮称) 総合外来棟	現代建築研究所	RC	5	3	6250.6	42726.4	24.1	28.8	東京都新宿区	鉛入り積層ゴム 直動転がりローラー支承
21	MNNN - 0061	2000/11/20	BCJ基評-IB0020	中央合同庁舎第3号館耐震改修	建設大臣官房官庁営繕部 山下設計	SRC	11	2	5878.1	69973.9	44.9	53.6	東京都千代田区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
22	MNNN - 0065	2000/12/19	BCJ基評-IB0034	株式会社ブリヂストン磐田製造所 C棟	日建設計	RC	5	-	4710.8	18159.5	31.6	32.2	静岡県磐田市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
23	MNNN - 0067	2000/12/19	BCJ基評-IB0032	原子力緊急時支援・研修センター 支援建屋	日建設計	S	2	-	1236.5	1942.9	10.2	14.0	茨城県ひたちなか市	天然積層ゴム 鉛ダンパー
24	MFNN - 0075	2001/2/18	BCJ基評-IB0025	(仮称)阿倍野D3-1分譲住宅 建設工事	大林組	RC	14	1	1181.3	12922.9	48.4	52.3	大阪府大阪市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
25	MNNN - 0082	2001/1/5	GBRC建評-00-11A-002	新八尾市立病院	昭和設計	S	8	1	7428.0	39156.0	35.9	41.6	大阪府八尾市	すべり支承 鉛入り積層ゴム
26	MNNN - 0086	2001/1/5	BCJ基評-IB0086	(仮称)戸田・中町マンション	ジェイアール東日本 建築設計事務所 日建ハウジングシステム	RC	14	-	1270.0	8573.4	42.3	45.8	埼玉県戸田市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
27	MNNN - 0087	2001/1/5	BCJ基評-IB0081	黒梵山 保福寺(本堂)	建築・企画飛鳥	木造	2	-	1070.3	902.2	9.4	20.3	青森県石巻市	弾性すべり支承 鉛入り積層ゴム
28	MNNN - 0088	2001/1/5	BCJ基評-IB0084	(仮称)パークマンション熊高正門前 新築工事 A棟	樋川設計事務所・五洋建設	RC	14	-	1407.1	12324.5	43.1	47.9	熊本県熊本市	天然積層ゴム 高減衰積層ゴム
29	MNNN - 0088	2001/1/5	BCJ基評-IB0084	(仮称)パークマンション熊高正門前 新築工事 B棟	樋川設計事務所・五洋建設	RC	14	-	-	-	43.1	47.9	熊本県熊本市	天然積層ゴム 高減衰積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )	
30	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクトA棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	7	1		6168.9	4394.9	22.7	23.2	神奈川県大和市	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼棒ダンパー
31	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクトB棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	11	1				34.4	35.5	神奈川県大和市	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼棒ダンパー
32	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクトC棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	17	1				53.0	53.6	神奈川県大和市	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼棒ダンパー
33	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクトE棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	8	1				25.7	26.6	神奈川県大和市	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼棒ダンパー
34	MFNN - 0095	2001/1/17	BCJ基評-IB0018	(仮称)東急ドエル アルス中央林間六丁目プロジェクトF棟	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	11	1				34.4	35.5	神奈川県大和市	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼棒ダンパー
35	MFNN - 0098	2001/2/20	BCJ基評-IB0082	(仮称)アマノGalaxyビル新築工事	大本組	大本組	RC(柱)S(梁)	4	1		1028.9	4385.5	16.0	16.6	神奈川県横浜市	高減衰積層ゴムすべり支承オイルダンパー
36	MNNN - 0100	2001/2/2	BCJ基評-IB0090	(仮称)下井草5丁目計画	丸用一級建築士事務所	連建築事務所・免震エンジニアリング	RC	9	-		489.0	2990.8	27.0	28.0	東京都杉並区	天然積層ゴム鉛入り積層ゴム
37	MNNN - 0102	2001/2/2	BCJ基評-IB0087	(仮称)相模原橋本地区分譲共同住宅(A棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	18	-		965.1	13780.5	56.0	63.0	神奈川県相模原市	天然積層ゴム鉛入り積層ゴムすべり支承
38	MNNN - 0104	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-003	京阪くずはEブロック集合住宅B棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	13	1		7103.8	6381.4	39.7	41.9	大阪府枚方市	天然積層ゴム鉛入り積層ゴム
39	MNNN - 0106	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-004	京阪くずはEブロック集合住宅C棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	11	-		7103.8	4898.8	33.2	35.4	大阪府枚方市	天然積層ゴム鉛入り積層ゴム
40	MNNN - 0107	2001/2/16	GBRC建評-00-11A-005	京阪神不動産/(仮称)新町第2ビル	日建設計	日建設計	S	7	1		1826.4	14781.5	34.5	40.9	大阪府西区	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼材ダンパー
41	MNNN - 0109	2001/2/19	BCJ基評-IB0093	広島県防災拠点施設整備新築工事(備蓄倉庫棟)	広島県土木建築部都市局管轄課・中部技術コンサルタント	広島県土木建築部都市局管轄課・中部技術コンサルタント	S	1	-		4747.9	4481.9	7.0	8.9	広島県豊田郡	弾性すべり支承天然積層ゴム
42	MNNN - 0111	2001/2/16	GBRC建評-00-11A-006	井内盛栄堂本社ビル	竹中工務店	竹中工務店	RC	8	1		589.0	5312.7	33.9	42.9	大阪府西区	鉛入り積層ゴムすべり支承
43	MNNN - 0112	2001/2/19	BCJ基評-IB0098	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト A棟	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト設計共同企業体	東急設計コンサルタント	RC	10	-		1446.8	9594.1	30.6	31.0	神奈川県横浜市	鉛入り積層ゴム
44	MNNN - 0112	2001/2/19	BCJ基評-IB0098	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト B棟	(仮称)戸塚吉田町プロジェクト設計共同企業体	東急設計コンサルタント	RC	10	-		1777.6	10264.5	30.6	31.0	神奈川県横浜市	鉛入り積層ゴム
45	MNNN - 0117	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-008	(仮称)モアグレース梅林公園前南棟	奥村組	奥村組	RC	5	-		743.7	2828.5	14.4	16.6	岐阜県岐阜市	鉛入り積層ゴム弾性すべり支承
46	MNNN - 0118	2001/2/22	GBRC建評-00-11A-007	(仮称)モアグレース梅林公園前北棟	奥村組	奥村組	RC	13	-		533.6	4495.6	38.4	39.4	岐阜県岐阜市	鉛入り積層ゴム弾性すべり支承
47	MNNN - 0119	2001/2/19		ブラダ東京南青山	竹中工務店	竹中工務店	S, RC	7	2		369.2	2860.4	32.5		東京都港区	
48	MNNN - 0122	2001/2/19	BCJ基評-IB0031	東京大学医学部研究所付属病院診療棟	岡田新一・佐藤総合計画設計共同	岡田新一・佐藤総合計画設計共同	SRC	8	2		1710.9	13099.8	39.5	48.2	東京都港区	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼棒ダンパー
49	MNNN - 0123	2001/2/19	BCJ基評-IB0096	矯正会館	千代田設計	千代田設計大成建設	RC	4	1		823.5	3073.7	15.7	19.3	東京都中野区	天然積層ゴム弾性すべり支承
50	MNNN - 0124	2001/2/19	BCJ基評-IB0100	理化学研究所特殊環境実験施設	久米設計	久米設計	RC	6	-		2907.5	11379.2	28.9	33.5	埼玉県和光市	鉛入り積層ゴム弾性すべり支承
51	MNNN - 0125	2001/2/19		愛知県西庁舎	愛知県建設部公共建設課三菱地所設計	愛知県建設部公共建設課三菱地所設計	SRC	10	3		2305.0	32306.0			愛知県名古屋市中区	鉛プラグ入り積層ゴム弾性すべり支承
52	MNNN - 0130	2001/2/19	BCJ基評-IB0105	(仮称)大蔵海岸パーク・ホームズ	三井建設	三井建設	RC	14	-		419.9	4402.0	44.4	44.4	兵庫県明石市	高減衰積層ゴム
53	MNNN - 0131	2001/2/19	BCJ基評-IB0104	(仮称)川崎大師パーク・ホームズⅡ	三井建設	三井建設	RC	7	-		1264.3	7352.0	19.6	20.0	神奈川県川崎市	鉛入り積層ゴム
54	MNNN - 0137	2001/3/13	BCJ基評-IB0107	市川大門町庁舎	日建設計	日建設計	RC	3	-		1791.8	4153.4	14.5	15.9	山梨県西八代郡	天然積層ゴム鉛ダンパー
55	MNNN - 0141	2001/3/28	BCJ基評-IB0103	甲府支店社屋	名工建設	名工建設飯島建築事務所	RC	4	-		349.4	1108.5	12.8	13.1	山梨県甲府市	弾性すべり天然積層ゴム鉛ダンパー
56	MFNN - 0149	2001/3/23	BCJ基評-IB0102	(仮称)リポコート須磨新築工事B棟	OKI設計	東急建設	RC	14	-		1448.4	15008.3	41.9	42.6	兵庫県神戸市	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼棒ダンパーすべり支承
57	MFNN - 0150	2001/3/27	BCJ基評-IB0085	(仮称)湯沢町病院新築工事	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	S	4	1		1706.0	6378.3	19.2	23.9	新潟県南魚沼郡	鉛入り積層ゴム天然積層ゴム球体転がり支承
58	MNNN - 0151	2001/4/13	BCJ基評-IB0115	(仮称)高知高須病院	THINK建築設計事務所	ダイナミックデザイン	RC	6	-		2763.4	12942.9	24.0	24.6	高知県高知市	鉛入り積層ゴム
59	MFNN - 0152	2001/3/23	BCJ基評-IB0109	(仮称)住友不動産田町駅前ビル	陣設計竹中工務店	竹中工務店	RC	8	1		947.4	7432.3	33.1	36.6	東京都港区	天然積層ゴム鉛入り積層ゴム
60	MNNN - 0167	2001/4/5	BCJ基評-IB0114	(仮称)LM竹の塚ガーデン(高層棟)	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	19	-		3212.1	9662.9	57.6	62.9	東京都足立区	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼棒ダンパーオイルダンパー弾性すべり支承
61	MNNN - 0167	2001/4/5	BCJ基評-IB0114	(仮称)LM竹の塚ガーデン(南棟)	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	14	-		3212.1	10162.8	42.9	43.9	東京都足立区	同上
62	MNNN - 0167	2001/4/5	BCJ基評-IB0114	(仮称)LM竹の塚ガーデン(東棟)	日建ハウジング	日建ハウジング	RC	14	-		3212.1	6551.7	42.9	43.9	東京都足立区	同上
63	MNNN - 0169	2001/4/13	BCJ基評-IB0116	(仮称)ガクエン住宅本社ビル	アーバンライフ建築事務所	間1級建築士事務所	RC	5	-		244.6	1170.4	19.2	22.7	東京都葛飾区	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼棒ダンパー
64	MNNN - 0173	2001/4/13	BCJ基評-IB0123	(仮称)田代会計事務所	白江建築研究所	ダイナミックデザイン	S	5	-		156.5	614.2	18.5	19.0	埼玉県熊谷市	高減衰積層ゴム球体転がり支承
65	MNNN - 0177	2001/4/19	BCJ基評-IB0124	ライオンズマンション内丸第2	創建設計	住友建設	RC	14	-		478.9	5810.8	41.4	42.4	青森県八戸市	鉛入り積層ゴム
66	MFNN - 0179	2001/4/19	BCJ基評-IB0106	(仮称)静鉄分譲マンションメゾン沼津高沢3	東急建設	東急建設	RC	13	-		939.5	7523.9	39.7	42.0	静岡県沼津市	天然積層ゴム鉛入り積層ゴム
67	MFNN - 0185	2001/5/14		アクセスビル(仮称)	日建設計	日建設計	S	14	1		875.0	11670.0	58.9	60.0	大阪府大阪市	天然積層ゴム鉛ダンパー鋼材ダンパー
68	MNNN - 0187	2001/5/10	BCJ基評-IB0117	(仮称)姫浜電気ビル	西日本技術開発清水建設	西日本技術開発清水建設	RC	12	1		3907.3	23619.8	52.9	52.9	福岡県福岡市	高減衰積層ゴムすべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )				
69	MFNN - 0189	2001/5/29	BCJ基評-HB0007	(仮称)西五軒町再開発計画	芦原太郎建築事務所	住友建設	S	12	1	4167.2	33492.7	58.5	61.5	東京都新宿区	鉛入り積層ゴム
70	MNNN - 0192	2001/5/29	GBRC建評-00-11A-010	(仮称)西五軒町再開発計画	日建設計	日建設計	SRC	9	1	11050.0	47650.0	39.8	44.5	名古屋港区	天然積層ゴム すべり支承 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
71	MNNN - 0199	2001/5/29	BCJ基評-HB0135	ライオンズタワー福岡	共同建築設計事務所東北支社	住友建設	RC	19	-	744.7	8883.6	59.3	65.4	宮城県仙台市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
72	MNNN - 0203	2001/5/29	BCJ基評-HB0122	県立保健医療福祉大学(仮称)	東畑建築事務所 大林組	東畑建築事務所 大林組	S	6	-	16370.7	28387.3	24.1	28.8	神奈川県横浜	天然積層ゴム オイルタンパー 摩擦血ばね支承
73	MNNN - 0204	2001/5/23	BCJ基評-HB0113	平城宮跡第一次大極殿	(財)文化財建造物保存技術協会	(財)文化財建造物保存技術協会	木造	1	-	1387.0	858.1	20.7	26.9	奈良県奈良市	転がり支承 天然積層ゴム 壁型粘性体ダンパー
74	MNNN - 0205	2001/5/29	BCJ基評-HB0132	(仮称)元麻布2丁目計画	入江三宅設計事務所	入江三宅設計事務所 免震エンジニアリング(協力)	RC	6	-	667.7	2993.6	18.4	21.5	東京都港区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
75	MNNN - 0209	2001/5/29	BCJ基評-HB0133	広島県防災拠点施設 ヘリ格納庫・管理棟	広島県土木建築部都市局 営繕課 中電技術コンサルタント	広島県土木建築部都市局 営繕課 中電技術コンサルタント	S	3	-	1286.2	1883.1	13.9	14.0	広島県豊田	天然積層ゴム 弾性すべり支承
76	MNNN - 0210	2001/5/23	GBRC建評-00-11A-001	シマノビル	芦原太郎建築事務所 構造計画プラス・ワン	芦原太郎建築事務所 構造計画プラス・ワン	PC	3	1	1482.5	5269.0	13.8	1.9	大阪府堺市	天然積層ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
77	MNNN - 0214	2001/6/18	BCJ基評-HB0134	(仮称)熊本・銀座通SGホテル	建吉組	構造計画研究所	RC	12	-	373.8	3575.3	33.7	34.2	熊本県熊本市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
78	MNNN - 0215	2001/6/18	BCJ基評-HB0137	(仮称)高崎八島SGホテル	平成設計	構造計画研究所	RC	12	-	375.7	3951.1	54.2	34.7	群馬県高崎市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
79	MNNN - 0216	2001/6/18	BCJ基評-HB0131	(仮称)エクセルダイア東大井	下川辺建築設計事務所	STRデザイン 免震エンジニアリング	RC	13	-	181.5	1952.7	37.6	39.0	東京都品川区	鉛入り積層ゴム
80	MNNN - 0221	2001/6/28	GBRC建評-01-11A-003	第3期木津かぶと台12号棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	5	-	771.7	3798.9	14.2	16.5	京都府相楽郡	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
81	MNNN - 0222	2001/6/28	GBRC建評-01-11A-004	第3期木津かぶと台16号棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	5	-	724.3	3574.4	14.2	16.5	京都府相楽郡	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
82	MNNN - 0225	2001/6/18	BCJ基評-HB0138	(仮称)本駒込計画	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	14	-	495.0	3442.8	45.4	46.2	東京都文京区	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼製ダンパー
83	MFNN - 0226	2001/6/15	BCJ基評-HB0033	(仮称)住友不動産上野6号館 新築工事	陣設計	住友建設	SRC	8	1	1264.0	9275.0	32.9	34.1	東京都台東区	鉛入り積層ゴム
84	MFNN - 0230	2001/6/28	BCJ基評-HB0130	ライオンズタワー五反田	LNA新建築研究所	三井建設	RC	18	-	723.8	9415.8	59.9	64.4	東京都品川区	鉛入り積層ゴム
85	MNNN - 0233	2001/6/28	GBRC建評-01-11A-002	(仮称)オリコ大阪今福東ビル	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	S	8	1	604.8	4584.0	34.6	39.1	大阪市城東区	鉛入り積層ゴム
86	MNNN - 0236	2001/6/28	BCJ基評-HB0144	(仮称)幕張新都心住宅地H-3街区 (D棟)	三菱地所設計 小沢明建築研究室 東急設計コンサルタント	三菱地所設計	RC	19	-	786.8	9239.9	59.9	65.8	千葉県千葉市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム スチールダンパー
87	MNNN - 0237	2001/6/28	BCJ基評-HB0146	(仮称)幕張新都心住宅地H-3街区 (E棟)	三菱地所設計 小沢明建築研究室 東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	19	-	1128.1	12849.2	59.3	65.4	千葉県千葉市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 直動転がり支承
88	MNNN - 0238	2001/6/28	BCJ基評-HB0145	(仮称)幕張新都心住宅地H-3街区 (F棟)	三菱地所設計 小沢明建築研究室 東急設計コンサルタント	三菱地所設計	RC	19	-	707.4	9198.3	59.9	65.8	千葉県千葉市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム スチールダンパー
89	MNNN - 0244	2001/7/12	BCJ基評-HB0095	兵庫県立災害医療センター(仮称)・ 日赤新病院(仮称)	山下設計	山下設計	RC	7	1	6945.2	33408.5	30.9	39.9	兵庫県神戸市	鉛入り積層ゴム すべり支承
90	MNNN - 0255	2001/7/25	BCJ基評-HB0108	万有製薬株式会社 つくば第二研究棟	日建設計	日建設計	S	7	1	5284.4	19932.7	27.0	27.4	茨城県つくば市	天然積層ゴム 鋼製ダンパー
91	MNNN - 0258	2001/6/29	BCJ基評-HB0168	福田町役場庁舎	竹下一級建築士事務所	田中輝明建築研究所	RC	4	-	1400.2	4564.2	16.7	17.1	静岡県磐田	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
92	MNNN - 0260	2001/8/21	BCJ基評-HB0148	宮城県こども病院(仮称)	山下設計	山下設計	RC	4	-	6352.2	16952.8	18.9	26.3	宮城県仙台市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鉛入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
93	MFNN - 0262	2001/8/23	BCJ基評-HB0166	鹿島田駅東部地区第一種市街地 再開発事業施設建築物	アール・アイ・イー	アール・アイ・イー 織木匠構造設計研究所	RC	18	2	5800.0	42263.0	57.9	63.8	神奈川県川崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承
94	MNNN - 0272	2001/8/21	BCJ基評-HB0184	(仮称)中原区小杉2丁目計画	三井建設	三井建設	RC	14	-	1099.2	11002.3	44.8	46.9	神奈川県川崎市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
95	MFNB - 0273	2001/8/10	BCJ基評-HB0178	(仮称)豊洲コンピューターセンター	新豊洲変電所上部建築物 増築工事実施設計JV 代表 清水建設	新豊洲変電所上部建築物 増築工事実施設計JV 代表 清水建設	SRC S	10	4	17087.9	186746.4	57.9	60.0	東京都江東区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
96	MNNN - 0274	2001/8/23	BCJ基評-HB0179	(仮称)ルミナス立川	三栄建築設計事務所	奥村組	RC	17	-	760.0	9015.0	51.1	51.1	東京都立川市	鉛入り積層ゴム 転がり支承
97	MNNN - 0278	2001/8/23	BCJ基評-HB0169	八戸赤十字病院新本館	横川建築設計事務所	横川建築設計事務所 織本匠構造設計研究所	RC	7	1	5792.7	21449.4	29.4	34.0	青森県八戸市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
98	MNNN - 0282	2001/8/23	GBRC建評-01-11A-006	ドコモ大阪第二ビル(仮称)	NTTフアンリティアーズ	NTTフアンリティアーズ アタッチャパン	S	12	-	5371.4	60993.4	54.1	55.1	大阪市住之江区	直動転がり支承 鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
99	MNNN - 0284	2001/9/28	BCJ基評-HB0176	(仮称)ホテル川六ビジネス館	平成設計	構造計画研究所	RC	11	-	261.0	2545.5	30.9	38.3	香川県高松市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
100	MNNN - 0285	2001/9/28	BCJ基評-HB0183	(仮称)ライフウェルズ上名和(C棟)	大建設計 鹿島建設	大建設計 鹿島建設	RC	14	-	385.9	4290.7	45.3	44.9	愛知県東海市	天然積層ゴム すべり支承 鋼製ダンパー 鉛ダンパー
101	MNNN - 0289	2001/9/28	BCJ基評-HB0181	(仮称)電算セキュア・ データセンター			SRC	6	-		6755.0			長野県長野市	天然ゴム系積層ゴム 鋼製U型ダンパー
102	MNNN - 0290	2001/9/28	BCJ基評-HB0177	ペルーナ本社ビル	中照建築事務所	中照建築事務所 フジタ	SRC	9	-	889.6	7151.8	34.6	39.4	埼玉県上尾市	鉛入り積層ゴム すべり支承
103	MNNN - 0293	2001/9/28		中央大学附属高等学校1号館			RC	7	-		8047.0			東京都小金井市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
104	MNNN - 0297	2001/9/28	BCJ基評-HB0194	外務本省(耐震改修)	国土交通省大臣官庁官庁 営繕部 山下設計	国土交通省大臣官庁官庁 営繕部 山下設計	RC	北8 南8	北2 南1	7305.0	55893.0	30.8	31.9	東京都千代田区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
105	MFNN - 0299	2001/9/18	BCJ基評-HB0182	(仮称)住友不動産新宿中央公園 ビル	竹中工務店	竹中工務店	RC	8	1	2145.5	15975.1	32.4	37.6	東京都新宿区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
106	MNNN - 0302	2001/9/28	BCJ基評-HB0196	(仮称)第2中層ビル	山下設計	山下設計	RC	9	1	914.2	8104.0	42.3	50.7	東京都渋谷区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
107	MNNN - 0310	2001/10/23		(仮称)深谷赤十字病院新病棟	梓設計	梓設計	RC	7	-	8404.0	34876.0	28.5		埼玉県深谷市	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高 (m)	最高 高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築 面積 (㎡)					延べ床 面積 (㎡)
108	MFNN - 0315	2001/10/16	GBRC建評-01-11A-005	(仮称)御堂筋武田ビル	CITY ENGINEERING 竹中工務店	CITY ENGINEERING 竹中工務店	S	9	2	422.7	4049.3	38.6	43.1	大阪市 中央区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム オイルダンパー
109	MNNN - 0320	2001/10/23	BCJ基評-IB0202	立川総合社屋	東電設計	東電設計	S	7	2	1700.8	15141.8	28.8	32.9	東京都 立川市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
110	MNNN - 0323	2001/11/7	GBRC建評-01-11A-006	(仮称)西宮・甲風園マンション	新井組	新井組	RC	15	-	410.9	4908.9	47.6	48.2	兵庫県 西宮市	鉛入り積層ゴム
111	MFNN - 0325	2001/10/23	BCJ基評-IB0197	(仮称)白金高輪マンション	フジタ	フジタ	RC	19	-	939.0	11051.8	59.4	64.5	東京都 港区	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
112	MFNN - 0328	2001/11/15	GBRC建評-01-11A-007	小野薬品工業株式会社 新社屋	類設計室 大林組	大林組	S	11	2	1126.8	14283.1	50.8	56.3	大阪市 中央区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
113	MFNN - 0332	2001/11/13	BCJ基評-IB0136-01	住友不動産(仮称)西梅田ITビル	日建設計	日建設計	S SRC	10	1	1135.0	12310.0	45.1	54.9	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承
114	MNNN - 0333	2002/11/7	BCJ基評-IB0207	(仮称)農林中金昭島センター 第二期棟	三菱地所設計 全国農協設計	三菱地所設計 全国農協設計	SRC	6	-	3672.8	20215.0	32.6	33.6	東京都 昭島市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承 U型ダンパー
115	MFNN - 0336	2001/11/7	BCJ基評-IB0204	(仮称)大東ビル	大林組	大林組	SRC	9	1	853.8	9155.9	35.9	45.5	東京都 千代田区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
116	MNNN - 0339	2001/11/28	BCJ基評-IB0205	(仮称)芝浦ランクルーム	翻船不動産 日本設計	日本設計	RC	8	-	2253.9	15500.3	42.9	44.7	東京都 港区	鉛入り積層ゴム
117	MNNN - 0342	2001/11/28	BCJ基評-IB0215-01	大幸公社賃貸住宅(仮称)建設工事 (第1次)第1工区 A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	10	-	1173.0	8596.8	30.4	32.4	愛知県 名古屋	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性滑り支承
118	MNNN - 0343	2001/11/28	BCJ基評-IB0216-01	大幸公社賃貸住宅(仮称)建設工事 (第1次)第1工区 B棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	10	-	1173.0	8594.5	30.5	32.5	愛知県 名古屋	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性滑り支承
119	MFNN - 0345	2001/11/13	BCJ基評-IB0167-02	中伊豆町新庁舎	NTTファンリティーズ	NTTファンリティーズ	RC	3	-	2345.5	4379.2	14.3	15.0	静岡県 田方郡	鉛入り積層ゴム 転がり支承
120	MNNN - 0354	2001/12/21	BCJ基評-IB0217-01	クイーンズバレス三鷹下連雀	熊谷組	熊谷組	RC	11	1	389.1	3135.9	34.8	35.3	東京都 三鷹市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
121	MNNN - 0359	2001/12/25	BCJ基評-IB0232-01	(仮称)ピ・ウェル大供	和建設 熊谷組耐震コンサルグループ	和建設 熊谷組耐震コンサルグループ	RC	15	-	271.8	3322.1	42.8	43.5	岡山県 岡山市	高減衰積層ゴム
122	MNNN - 0361	2001/12/25	BCJ基評-IB0228-01	(仮称)マール音羽館	西野建設	中山構造研究所 日本免震研究センター 協力:福岡大学高山研究室	RC	20	-	440.9	7215.4	59.0	67.3	岐阜県 多治見市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼製ダンパー
123	MNNN - 0365	2001/12/25	BCJ基評-IB0226-01	つくば免震検証棟	住友林業	清水建設 アイディアルプレーン	木造	2	-	69.6	125.9	6.5	8.5	茨城県 つくば市	転がり系支承 オイルダンパー 天然積層ゴム
124	MNNN - 0367	2001/12/25	BCJ基評-IB0233-01	東邦大学医学部付属 大森病院(仮称)病院3号棟	梓設計	梓設計	RC	6	2	2838.5	20706.0	27.8	34.8	東京都 大田区	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
125	MNNN - 0372	2002/1/18	BCJ基評-IB0230-01	松山リハビリテーション病院	鹿島建設	鹿島建設	RC	9	-	1491.6	12641.0	34.3	37.6	愛媛県 松山市	高減衰積層ゴム
126	MNNN - 0376	2002/1/18	GBRC建評-01-11A-009	(仮称)多治見幸町マンション	日本国土開発	日本国土開発	RC	12	-	249.7	2205.6	34.3	35.4	岐阜県 多治見市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 弾性すべり支承
127	MFNB - 0383	2002/1/15		(仮称)豊洲コンピューターセンター	新豊洲電電所上部建物 増築工事実施設計業務JV 代表清水建設	新豊洲電電所上部建物 増築工事実施設計業務JV 代表清水建設	SRC	10	4	17087.9	186746.4	57.9	60.0	東京都 江東区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
128	MNNN - 0386	2003/1/28	BCJ基評-IB0231-01	古里雅由邸	三井ホーム	テクノウェーブ 三井ホーム	木造	2	-	133.9	212.9	6.0	7.7	神奈川県 足柄上郡	転がり系支承 オイルダンパー
129	MNNN - 0388	2002/1/28	BCJ基評-IB0241-01	(仮称)LM竹の塚ガーデン (高層棟)	前田建設工業	前田建設工業	RC	19	-	576.6	9891.3	57.6	63.0	東京都 足立区	高減衰積層ゴム 天然積層ゴム 鋼棒ダンパー
130	MNNN - 0389	2002/1/28	BCJ基評-IB0242-01	(仮称)LM竹の塚ガーデン(南棟)	前田建設工業	前田建設工業	RC	14	-	989.0	10781.3	42.8	43.6	東京都 足立区	高減衰積層ゴム 天然積層ゴム 鋼棒ダンパー
131	MNNN - 0390	2002/1/28	BCJ基評-IB0243-01	(仮称)LM竹の塚ガーデン(東棟)	前田建設工業	前田建設工業	RC	14	-	459.9	4762.8	42.8	43.6	東京都 足立区	高減衰積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
132	MFNN - 0392	2002/1/28	BCJ基評-IB0244-01	内野(株)本社ビル	鹿島建設	鹿島建設	RC	7	1	504.1	3944.6	28.1	32.1	東京都 中央区	角型鉛プラグ入り積層ゴム
133	MNNN - 0395	2002/2/8	BCJ基評-IB0238-01	(仮称)サーパス中河原	穴吹工務店	穴吹工務店 コンパース 免震エンジニアリング	RC	12	-	547.8	5147.2	36.9	44.4	栃木県 宇都宮市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
134	MNNN - 0401	2002/2/26	BCJ基評-IB0245-01	全労済栃木県本部会館	NTTファンリティーズ	NTTファンリティーズ	RC	5	-	630.9	2752.7	20.3	24.3	栃木県 宇都宮市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 転がり支承
135	MNNN - 0405	2002/3/6	GBRC建評-01-11A-010	公立八鹿病院	日建設計	日建設計	S	12	-	7383.0	30855.0	48.1	52.3	兵庫県 養父郡	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー
136	MNNN - 0409	2002/2/26	BCJ基評-IB0254-01	(仮称)ITO新ビル	伊藤組	伊藤組 総研設計	SRC	10	1	1259.3	12450.1	41.1	41.6	北海道 札幌市	高減衰積層ゴム
137	MNNN - 0410	2002/2/26	GBRC建評-01-11A-011	市立敦賀病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所	RC	5	-	2115.3	7829.6	20.6	28.6	福井県 敦賀市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
138	NFEB - 0415	2002/2/15		九州国立博物館(仮称)	菊竹清訓建築設計事務所・ 久米設計JV	菊竹清訓建築設計事務所・ 久米設計JV	S+SRC	5	2	15205.0	28798.0	36.1		福岡県 太宰府市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼棒ダンパー
139	MFNN - 0420	2002/2/20	BCJ基評-IB0237-01	新草加市立病院	久米設計	久米設計	SRC	8	1	8018.2	32728.7	38.6	39.2	埼玉県 草加市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
140	MNNN - 0421	2002/2/26	BCJ基評-IB0246-01	川崎市北部医療施設	久米設計	久米設計	SRC	6	2	6935.0	35785.5	30.7	30.7	神奈川県 川崎市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承 鋼棒ダンパー
141	MNNN - 0423	2002/3/6	BCJ基評-IB0239-01	群馬県立がんセンター	日本設計	日本設計	SRC	10	-	9249.5	29193.4	48.0	56.5	群馬県 太田市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 転がり支承
142	MNNN - 0426	2002/3/6	BCJ基評-IB0229-01	百五銀行新情報センター	清水建設	清水建設	SRC	4	-	1217.8	4643.2	20.0	24.2	三重県 津市	高減衰積層ゴム
143	MFNN - 0427	2002/2/26	BCJ基評-IB0252-01	(仮)財団法人総研会 有明病院他施設	丹下健三・都市・建築研究所 清水建設	丹下健三・都市・建築研究所 清水建設	RC	12	2	7912.0	72521.5	52.1	62.0	東京都 東港区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴムB 弾性すべり支承
144	MNNN - 0428	2002/3/6	BCJ基評-IB0253-01	県立こども医療センター新棟	田中建築事務所	田中建築事務所	SRC	7	1	4438.0	22182.0	30.5	37.7	神奈川県 横浜	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
145	MFNN - 0448	2002/4/2	BCJ基評-IB0436-01	岐阜県警察本部庁舎	岐阜県基盤整備部 公共建築課	日建設計・岐阜県建築設計 監理協同組合設計業務 特別共同企業体	SRC	11			約24,700			岐阜県 岐阜市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
146	MN NN - 0450	2002/4/23	BCJ基評-IB0261-01	三浦市立病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	4	1	2790.2	9245.8	16.4	21.5	神奈川県三浦市	天然積層ゴム鋼棒ダンパー 鉛ダンパー オイルダンパー
147	MN NN - 0452	2002/4/5	BCJ基評-IB0250-01	九段北宿舎	東京都政局施設情報部 建築課 丸ノ内建築事務所	東京都政局施設情報部 建築課 丸ノ内建築事務所 構造計画研究所	SRC	11	1	296.7	3296.6	31.2	35.6	東京都千代田区	天然積層ゴム オイルダンパー
148	MN NN - 0453	2002/4/5	BCJ基評-IB0262-01	シティーコーポ志賀	大末建設	環総合設計 大末建設 免震システムサービス	RC	13	-	683.9	5983.7	42.2	43.2	愛知県名古屋	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製型ダンパー
149	MN NN - 0455	2002/4/23	BCJ基評-IB0264-01	(仮称)YSD新東京センター	竹中工務店	竹中工務店	S	6	-	2457.2	12629.1	25.8	31.1	東京都江東区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
150	MN NN - 0457	2002/4/23	BCJ基評-IB0263-01	(仮称)コンフォート熊谷銀座「ザ・タワー」	江田組 大日本土木 九段建築研究所	江田組 大日本土木 九段建築研究所	RC	17	-	636.5	8414.6	52.9	57.7	埼玉県熊谷市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
151	MN NN - 0474	2002/5/29	GBRC建評-01-11A-013	京都大学100周年時計台記念館	京都大学施設部 川崎清・環境・建築研究所	清水建設	RC	2	1	1982.3	5312.3	13.0	31.8	京都市左京区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
152	MFEB - 0478	2002/5/13	BCJ基評-IB0240-02	新国立美術館展示施設(「ジョナルギャラリー」)(仮称)	文部科学省大臣官房 文教施設部・黒川紀章・日本設計JV	文部科学省大臣官房 文教施設部・黒川紀章・日本設計JV	S	6	3	12590.7	48638.4	29.5	33.6	東京都港区	鉛入り積層ゴム 転がり支承
153	MFNN - 0483	2002/5/15	BCJ基評-IB0265-01	(仮称)1ビル	一如社	大成建設	RC	5	3	808.1	5908.1	17.2	18.1	東京都立川市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
154	MN NN - 0491	2002/6/6	BCJ基評-IB0278-01	(仮称)リベルテⅡ	スターツ	スターツ 日本設計	RC	13	-	319.2	2497.7	37.0	37.0	東京都江戸川区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 転がり系支承
155	MN NN - 0500	2002/6/20	BCJ基評-IB0287-01	榊原記念病院	株式会社日本設計 清水建設	株式会社日本設計 清水建設	RC	6	-	7287.6	27636.8	26.7	27.3	東京都府中市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
156	MFNN - 0504	2002/6/14	BCJ基評-IB0272-01	(仮称)鶴川青戸ビル	板倉建築研究所	フジタ	RC	10	-	413.3	2795.3	33.8	34.4	東京都町田市	鉛入り積層ゴム
157	MN NN - 0510	2002/7/3	BCJ基評-IB0286-01	(仮称)伊東マンションⅣ	スターツ	スターツ 日本設計	RC	11	1	559.2	4512.7	35.3	38.3	東京都江戸川区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 転がり系支承
158	MFNN - 0511	2002/6/21	BCJ基評-IB0290-01	(仮称)目黒マンション	竹中工務店 東電不動産管理	竹中工務店 東電設計	RC	17	2	879.9	9877.1	50.7	56.5	東京都目黒区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
159	MN NN - 0513	2002/7/9	BCJ基評-IB0274-01	社会福祉法人上伊那福祉協会 特別養護老人ホーム 橋の木荘(仮称)	泉・創和・小林設計共同 事業体 構造計画研究所	泉・創和・小林設計共同 事業体 構造計画研究所	S	4	-	2773.9	8662.5	15.9	18.8	長野県上伊那郡	天然積層ゴム 鋼棒ダンパー
160	MN NN - 0521	2002/7/25	BCJ基評-IB0288-01	石田健郎	三菱地所ホーム	三菱地所ホーム	木造	2	-	121.2	223.4	6.3	8.1	東京都東大和市	転がり系支承 オイルダンパー
161	MN NN - 0526	2002/8/9	BCJ基評-IB0279-01	一条免震住宅C	一条工務店	一条工務店 日本システム設計	木造	3以下	-	500以下	500以下	9以下	13以下	日本全国	天然積層ゴム すべり支承
162	MN NN - 0527	2002/8/9	BCJ基評-IB0280-01	一条免震住宅D	一条工務店	一条工務店 日本システム設計	木造	3以下	-	500以下	500以下	9以下	13以下	日本全国	高減衰積層ゴム すべり支承
163	MN NN - 0537	2002/7/30	BCJ基評-IB0294-01	(仮称)JV深沢計画D棟	長谷工コーポレーション エンジニアリング事業部	長谷工コーポレーション エンジニアリング事業部	RC	19	-	1403.6	21102.8	60.0	63.4	東京都世田谷区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
164	MN NN - 0538	2002/8/22	GBRC建評-02-11A-002	済生会滋賀県病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所	RC	11	-	4437.2	32112.4	47.0	58.9	滋賀県栗東市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
165	MN NN - 0540	2002/8/22	ERI-詳第02010号	(仮称)基張ペイタウンSH-3④街区 新築工事(A棟)	UG都市建築 限研至建築都市設計	フジタ	RC	14	-	1130.7	10964.5	44.7	45.2	千葉県美浜区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
166	MN NN - 0545	2002/8/23	BCJ基評-IB0277-01	左奈田三郎邸	積水ハウス	積水ハウス テクノウェーブ	RC	2	-	82.9	141.3	6.1	7.9	東京都世田谷区	転がり系支承 オイルダンパー
167	MN NN - 0551	2002/8/22	BCJ基評-IB0299-01	松江市立病院	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	8	1	8780.0	35120.0	36.5	39.6	島根県松江市	天然積層ゴム 転がり系支承 鋼棒ダンパー 粘性ダンパー
168	MFNN - 0553	2002/8/23	GBRC建評-01-11A-012	13-ウェルブ六甲道4番街 再開発ビル	竹中工務店・藤木・岡JV	竹中工務店・藤木・岡JV	RC	12	2	3293.7	21902.7	43.2	44.9	神戸市灘区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
169	MFEB - 0556	2002/8/20	BCJ基評-IB0293-01	(仮称)江東区越中島計画	清水建設	清水建設	S	6	-	1835.3	9066.1	26.8	27.4	東京都江東区	鉛入り積層ゴム
170	MN NN - 0558	2002/9/18	GBRC建評-02-11A-001	神戸市水道局西部センター新庁舎	神戸市水道局技術部 エーアンドティー設計企画	神戸市水道局技術部 エーアンドティー設計企画	RC	3	-	2631.1	6762.5	11.7	15.2	神戸市須磨区	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
171	MFNN - 0564	2002/9/20	BCJ基評-IB0292-01	(株)東電通本社ビル	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	SRC	10	1	822.7	7939.9	39.8	45.6	東京都港区	鉛入り積層ゴム 直動転がり支承
172	MFNN - 0569	2002/9/20	BCJ基評-IB0309-01	(仮称)小石川12丁目マンション計画	安宅設計	安宅設計 高環境エンジニアリング 一級建築士事務所	RC	11	-	1190.9	9850.5	36.8	37.7	東京都文京区	鉛入り積層ゴム
173	MN NN - 0572	2002/10/2	BCJ基評-IB0310-01	東京ダイヤビルディング(増築)	竹中工務店	竹中工務店	S SRC	12	1	6414.5	72472.9	46.3	54.6	東京都中央区	天然積層ゴム 壁型粘性体ダンパー
174	MN NN - 0573	2002/10/21	ERI-J02003	(仮称)グランフラッツ千住旭町	佐藤正行一級建築士事務所	間組	RC	15	-	855.0	8921.0	44.0	46.1	東京都足立区	天然ゴム系積層ゴム 鋼製型ダンパー 鉛ダンパー
175	MN NN - 0574	2002/10/15	BCJ基評-IB0312-01	(仮称)高井戸N2プロジェクト	竹中工務店 パノム	竹中工務店	RC	13	-	615.0	6745.6	40.1	40.8	東京都杉並区	鉛入り積層ゴム
176	MN NN - 0575	2002/10/21	BCJ基評-IB0311-01	(仮称)東山マンション	水野設計	大日本土木	RC	13	-	298.9	2305.9	44.7	44.7	愛知県名古屋	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
177	MN NN - 0578	2002/10/15	BCJ基評-IB0313-01	シティーコーポ小田井(仮称)	徳倉建設	徳倉建設 ダイナミックデザイン	RC	15	-	258.7	2878.6	44.8	44.8	愛知県名古屋	鉛入り積層ゴム 球体転がり支承
178	MFNN - 0584	2002/10/28	BCJ基評-IB0300-01	三共(株)研究総務部 研究E棟	清水建設	清水建設	CFT	8	1	2305.1	19326.2	37.8	39.6	東京都品川区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム
179	MN NN - 0588	2002/10/21	BCJ基評-IB0319-01	GLOBAL GARDEN CITY-A棟-	エゴ福祉住環境研究所	織本匠構造設計研究所	RC	8	-	970.0	5930.0	26.0	26.6	千葉県船橋市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性滑り支承
180	MN NN - 0593	2002/11/7	GBRC建評-02-11A-003	(仮称)京都北都信用金庫店舗・ 事務センター	富士通	NTTファシリティーズ	RC	4	-	1290.5	3754.5	16.8	20.1	京都府中郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
181	MN NN - 0595	2002/11/12	ERI-J02004	(仮称)オリックス伏見ビル計画	戸田建設	戸田建設	CFT柱 S梁	11	-	1583.1	17095.7	45.1	50.4	名古屋市中区	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
182	MFNN - 0598	2002/11/6	BCJ基評-IB0322-01	(仮称)麻布パインクレスト	大林組	大林組	RC	15	2	562.7	8807.0	45.8	49.7	東京都港区	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
183	MN NN - 0614	2002/12/19	BCJ基評-IB0329-02	(仮称)西町マンション	山本浩三都市建築研究所	東京建築研究所	RC	7	-	459.9	2854.8	23.3	23.9	鳥取県鳥取市	鉛入り積層ゴム すべり支承 弾塑性系減衰材

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
184	MNNN - 0615	2002/12/19	BCJ基評-IB0331-01	名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟	名古屋大学施設部 石本建築事務所	石本建築事務所	SRC	7	2	5911.0	43936.0	33.2	44.5	愛知県 名古屋市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材
185	MNNN - 0623	2002/12/19		(仮称)プルデンシャル生命保険 仙台合カスターサービスセンター	日本設計	日本設計	S	2	-		3223.0			宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
186	MNNN - 0631	2002/12/12	GBRC建評-02-11A-004	武田薬品第8技術棟	竹中工務店	竹中工務店	SRC柱 S梁	9	1	3075.4	29097.7	50.3	59.3	大阪府 淀川区	天然積層ゴム すべり支承 鋼棒ダンパー
187	MNNN - 0634	2002/12/19	BCJ基評-IB0342-01	(仮称)ネットワーク時刻情報 認証高度化施設(東棟)	日本設計	日本設計	RC	4	-	1353.3	5264.2	19.5	29.3	東京都 小金井市	鉛入り積層ゴム
188	MFNN - 0638	2002/12/25	BCJ基評-IB0339-01	(仮称)国際医療福祉大学付属 熱海病院	大林組	大林組	RC	8	2	3502.6	23226.0	30.2	34.0	静岡県 熱海市	天然積層ゴム オイルダンパー プレーキダンパー
189	MNNN - 0646	2003/2/12	GBRC建評-02-11A-006	市立西脇病院	日建設計	日建設計	S	6	-	9240.0	23548.0	27.0	27.3	兵庫県 西脇市	鉛入り積層ゴム
190	MFNN - 0648	2003/1/28	GBRC建評-02-11A-008	千種台センター地区(仮称)	大林組	大林組	RC	14	1	5574.7	24983.5	47.3	51.0	名古屋市 千種区	弾性すべり支承 鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
191	MNNN - 0652	2003/1/15	BCJ基評-IB0345-01	TKK高根沢事務所	鹿島建設	鹿島建設	SRC	3	-	1889.5	5317.8	13.0	17.4	栃木県 塩谷郡	鉛入り積層ゴム
192	MNNN - 0656	2003/1/27	BCJ基評-IB0344-01	津島市民病院(病棟増築)	中建設計	中建設計	RC	6	-	1690.2	8076.3	23.3	29.8	愛知県 津島市	天然積層ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
193	MNNN - 0661	2003/2/24	BCJ基評-IB0301-02	榑原総合病院	久米設計	久米設計	RC	7	1	9033.3	37924.4	27.2	27.8	静岡県 榑原郡	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承 鋼棒ダンパー 転がり系支承 オイルダンパー
194	MNNN - 0663	2003/2/28	BCJ基評-IB0347-1	(仮称)バンベル向山公園	矢作建設工業 佐藤総合計画	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	8	1	860.4	4350.3	22.7	23.2	愛知県 豊橋市	高減衰 オイルダンパー
195	MNNN - 0664	2003/2/24	BCJ基評-IB0343-01	金沢大学医学部付属病院 中央診療棟・外来診療棟	神奈川大学施設部 佐藤総合計画	神奈川大学施設部 佐藤総合計画	RC	4	2	27.6	28.9	19.0	28.9	石川県 金沢市	天然積層ゴム すべり支承 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
196	MFNN - 0676	2003/3/13	ERF-J02007	(仮称)杏林大学医学部付属病院・ 手術棟建設設計	杏林学園	竹中工務店	RC	5	2	2634.1	14692.5	19.5	23.7	東京都 三鷹市	鉛入り積層ゴム
197	MNNN - 0681	2003/3/14	BCJ基評-IB0351-01	NHK新山口放送会館	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	3	-	237.5	5380.0	15.2	59.8	山口県 山口市	天然積層ゴム 十字型直動転がり支承 弾塑性系減衰材
198	MNNN - 0687	2003/3/14	ERF-J02006	ちば県保健予防財団ビル	久米設計	久米設計	RC	6	-	2628.6	10056.8	27.0	31.0	千葉県 美浜区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 鋼棒ダンパー 直動転がり支承
199	MNNN - 0696	2003/3/17	ERF-J02009	(仮称)広島市民病院新棟 (外来診療棟・東病棟)	久米・村田相互設計JV	久米・村田相互設計JV	SRC	11	1	11568.4	31945.6	44.4	51.0	広島市 中区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 鋼棒ダンパー オイルダンパー
200	MFNN - 0700	2003/3/28	GBRC建評-02-11A-007	(仮称)高麗橋ビル	プランテック総合計画	アルファ構造デザイン 竹中工務店	S	8	1	1124.6	9612.8	32.1	34.7	大阪市 中央区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
201	MFNB - 0701	2003/4/22	BCJ基評-IB0532-01	マブチモーター株式会社新社屋	日本アイ・ピー・エム	日本設計	SRC	4	1	4804.7	19388.6	19.8	25.8	千葉県 松戸市	鉛プラグ入り積層ゴム
202	MNNN - 0702	2003/3/17	GBRC建評-02-11A-010	NHK神戸新放送会館	大林組 日本設計	大林組	S	3	-	2074.0	5222.0	15.0	19.8	神戸市 中央区	鉛プラグ入り積層ゴム 摩擦面はね支承 両面転がり支承
203	MNNN - 0707	2003/3/17	BCJ基評-IB0359	(仮称)亀田総合病院K棟	フジタ	フジタ	RC	13	-	3886.6	2300.1	56.6	63.0	千葉県 鴨川市	鉛プラグ入り積層ゴム
204	MNNN - 0712	2003/4/17	BCJ基評-IB0361-01	栃木県庁本館(曳家及び改修)	日本設計	日本設計	RC	4	-	677.0	2638.0	18.8	21.0	栃木県 宇都宮市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
205	MNNB - 0715	2003/5/14	BCJ基評-IB0346-01	NHK福島新放送会館	NTTファシリティーズ 平木建築設計事務所JV	NTTファシリティーズ 平木建築設計事務所JV	RC	4	1	2043.7	5688.0	21.0	59.7	福島県 福島市	鉛入り積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
206	MNNN - 0718	2003/4/17	GBRC建評-02-11A-009	徳島赤十字病院	日建設計	日建設計	SRC	9	-	4905.0	29081.0	37.9	41.0	徳島県 小松島市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
207	MNNN - 0724	2003/4/17	ERF-J02008	(仮称)掛川マンション	川島組	道央設計	RC	15	-	739.5	4772.1	43.9	44.2	静岡県 掛川市	高減衰積層ゴム
208	MNNN - 0732	2003/5/14	BCJ基評-IB0365-1	(仮称)ネオマイム高根町	松尾工務店	松尾工務店 エスバス建築事務所	RC	11	-	419.9	3577.2	30.6	30.9	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 弾塑性系減衰材 流体系減衰材
209	MNNN - 0750	2003/5/28	BCJ基評-IB0332-02	苦田ダム管理庁舎	内藤廣建築設計事務所	内藤廣建築設計事務所 空間工学研究所	RC	2	1	1451.0	2324.1	10.8	13.8	岡山県 吉田郡	鉛入り積層ゴム
210	MFNN - 0753	2003/6/13	BCJ基評-IB0373-01	(仮称)千駄ヶ谷4丁目計画	清水建設	清水建設	RC	14	1	778.0	7974.9	44.1	44.7	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム
211	MNNN - 0756	2003/6/13	BCJ基評-IB0371-01	岩手県立磐井病院及び南光病院	横河建築設計事務所	横河建築設計事務所 織本匠構造設計研究所	S	5	1	17227.5	46373.5	23.0	31.7	岩手県 一関市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム U型ダンパー 転がり系支承
212	MNNN - 0761	2003/6/13	GBRC建評-03-11A-001	労働福祉事業団 中部労災病院	日建設計	日建設計	RC	9	-	7150.0	33765.0	38.8	42.4	名古屋市 港区	直動転がり支承 天然積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
213	MNNN - 0766	2003/6/16	BCJ基評-IB0379-01	(仮称)ラッシュレ久米川	ジーシーエムコーポレー ー級建築士事務所	カムラ建築構造設計	RC	13	-	308.1	2960.5	38.0	38.9	東京都 東村山市	高減衰積層ゴム支承
214	MNNN - 0775	2003/7/31	ERF-J03001	ProLogis Parc Osaka Project	清水建設	清水建設 ABSコンサルティング	鉄骨ブ レース 付PC	7	-	28218.0	157643.0	48.2	52.0	大阪市 住之江区	天然積層ゴム 一体型U型ダンパー
215	MNNN - 0784	2003/7/28	BCJ基評-IB0389-01	(仮称)バンベル豊橋III	矢作建設工業	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	14	1	700.6	6944.2	40.5	41.0	愛知県 豊橋市	高減衰ゴム系積層ゴム 流体系減衰材
216	MNNN - 0800	2003/7/31	BCJ基評-IB0353-02	新潟第2合同庁舎A棟	国土省北陸地方整備局 (株)黒川紀章建築都市設計 事務所	国土省北陸地方整備局 (株)織本匠構造設計事務所	SRC	8	0	3099.0	16428.7	37.1	37.9	新潟県	鉛プラグ挿入型積層ゴム 転がり系支承 オイルダンパー
217	MFNN - 0805	2003/8/19		(仮称)パークマンション千鳥ヶ淵 (九段南2丁目計画)	鹿島建設	鹿島建設	RC	15	2		16874.0			東京都 千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
218	NFEB - 0808	2003/9/3		(仮称)深谷地区消防本部・ 深谷消防署庁舎	日本設計	日本設計	RC	3	-	3755.0	6110.0	12.7	18.3	埼玉県 深谷市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 直動転がり支承
219	MNNN - 0825	2003/9/19	ERF-J03002	(仮称)ル・シェミア井天島	東畑建築事務所	大豊建設	RC	14	-	741.2	7899.7	41.7	42.9	静岡県 浜名郡	鉛入り積層ゴム すべり支承
220	MNNN - 0827	2003/9/12	ERF-J03004	(仮称)メディカルセンター	野村不動産 佐藤総合計画	野村不動産	SRC	7	1	1241.5	8847.3	30.0	33.3	東京都 千代田区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
221	MN NN - 0831	2003/9/19	ERF-J03003	新発田病院・リウマチセンター・新発田病院附属看護専門学校	山下設計	山下設計	SRC RC	11	-	10542.0	49066.0	55.7	56.2	新潟県新発田市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 鋼棒ダンパー
222	MF NN - 0837	2003/9/19	BCJ基評-IB0401-01	AKSビル	竹中工務店	竹中工務店	S	8	1	1265.3	10914.5	33.8	39.0	東京都千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
223	MN NN - 0838	2003/9/19	BCJ基評-IB0402-01	郵船航空サービス 成田ロジスティックセンター	郵船不動産	日本設計	CFT柱 S梁	8	-	12758.2	30210.1	36.4	40.2	千葉県山武郡	鉛プラグ入り積層ゴム
224	MN NN - 0846	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-003	新千里桜ヶ丘住宅1番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	14	-	477.6	5392.7	41.6	43.3	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
225	MN NN - 0847	2003/10/31	GBRC建評-03-11A-004	新千里桜ヶ丘住宅2番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	18	1	613.1	9741.3	56.1	61.7	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
226	MN NN - 0848	2003/10/31	GBRC建評-03-11A-005	新千里桜ヶ丘住宅3番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	19	-	727.1	11746.3	57.6	63.2	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
227	MN NN - 0849	2003/10/31	GBRC建評-03-11A-006	新千里桜ヶ丘住宅4番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	18	1	718.3	11182.2	55.7	61.3	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
228	MN NN - 0850	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-007	新千里桜ヶ丘住宅5番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	9	1	707.2	5732.3	29.2	30.9	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
229	MN NN - 0851	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-008	新千里桜ヶ丘住宅6番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	10	-	690.4	5563.8	30.6	32.3	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
230	MN NN - 0852	2003/10/29	GBRC建評-03-11A-009	新千里桜ヶ丘住宅7番館	竹中工務店	竹中工務店	RC	9	-	630.0	4332.5	27.0	28.7	大阪府豊中市	天然積層ゴム 鋼材ダンパー
231	MF NN - 0855	2003/10/22	BCJ基評-IB0407-01	(仮称)西新宿KSビル	大林組	大林組	CFT柱 S梁	12	1	883.4	9911.1	53.7	54.5	東京都新宿区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 流体系減衰材
232	MN NN - 0856	2003/11/10	ERF-J03005	モアグレース筒井	名工建設 飯島建築事務所	名工建設 飯島建築事務所	RC	13	-	237.3	2247.3	38.6	41.6	名古屋市長区	高減衰積層ゴム
233	MN NN - 0880	2003/11/19	ERF-J03013	堺サンホテル石津川	平成設計	塩見	RC	13	-	196.4	2079.0	36.5	43.8	大阪府堺市	鉛入り積層ゴム
234	MN NN - 0881	2003/11/27	ERF-J03008	(仮称)プレシアコート長久手・A棟	青島設計	青島設計	RC	13	-	1730.4	13749.1	35.9	36.7	愛知県愛知郡	天然積層ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー 直動転がり支承
235	MN NN - 0882	2003/11/27	ERF-J03009	(仮称)プレシアコート長久手・B棟	青島設計	青島設計	RC	11	-	728.4	5881.3	33.1	33.6	愛知県愛知郡	同上
236	MN NN - 0883	2003/11/27	ERF-J03010	(仮称)プレシアコート長久手・C棟	青島設計	青島設計	RC	14	1	1175.7	14098.0	45.1	44.7	愛知県愛知郡	同上
237	MN NN - 0884	2003/11/27	ERF-J03011	(仮称)プレシアコート長久手・D棟	青島設計	青島設計	RC	14	1	1600.6	14624.2	41.8	42.3	愛知県愛知郡	同上
238	MN NN - 0902	2003/12/12	GBRC建評-03-11A-010	医療法人良秀会 (仮称)高石藤井病院	プラスPM	戸田建設	RC	10	1	1437.6	8098.0	39.1	43.7	大阪府高石市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
239	MN NN - 0916	2003/12/26	BCJ基評-IB0416-01	(仮称)近喜第一ビル	日東建設	構造計画研究所	RC	13	-	273.8	2622.0	39.0	40.3	愛知県名古屋市長区	積層ゴム支承 すべり系支承 流体系減衰材
240	MN NN - 0957	2004/2/4	BCJ基評-IB0419-01	(仮称)山田ビル	マルタ設計	マルタ設計	RC	12	0	483.0	4211.0	36.7	38.2	東京都葛飾区	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
241	MN NN - 0969	2004/3/2	ERF-J03018	NHK沖繩新放送会館	山下設計 大林組	山下設計 大林組	S	3	-	2450.0	5939.0	15.4	20.6	沖縄県那覇市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり系支承 摩擦ダンパー
242	MN NN - 0987	2004/2/4	BCJ基評-IB0597-01	(仮称)さいたま市民医療センター	共同建築設計事務所	東京建築研究所	RC	6	1	7999.2	29165.4	28.2	31.8	埼玉県さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 オイルダンパー
243	MN NN - 1001	2004/3/11	ERF-J03021	エクセルイン小山	平成設計	塩見	RC	12	-	301.7	2817.4	36.7	41.0	栃木県小山市	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
244	MN NN - 1023	2004/4/14	BCJ基評-IB0435-01	(仮称)シティコボ旭岡Ⅱ	淺沼組	淺沼組	RC	10	-	1317.3	9326.4	29.9	30.4	愛知県名古屋市長区	天然積層ゴム U型鋼材ダンパー 鉛ダンパー
245	MN NN - 1025	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-012	徳島市新病院	大阪山田守建築事務所	大阪山田守建築事務所	RC	11	1	4265.1	30182.3	45.3	54.3	徳島県徳島市	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承 転がり支承
246	MN NN - 1027	2004/5/10	BCJ基評-IB0436-01	滋賀県警察本部庁舎	日本設計	日本設計	SRC柱 S梁	10	2	3178.9	28384.1	44.3	59.0	滋賀県大津市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
247	MN NN - 1030	2004/5/10	ERF-J03023	新潟市民病院	伊藤善三郎建築研究所	伊藤善三郎建築研究所	CFT柱 S梁	11	-	11123.5	49681.5	49.4	50.5	新潟県新潟市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
248	MN NN - 1039	2004/5/14	GBRC建評-03-11A-015	三菱京都病院	美紀設計	荒川構造計画 竹中工務店	RC	5	1	4701.6	19983.7	19.4	23.0	京都市西京区	天然積層ゴム 鉛入り積層ゴム すべり支承
249	MN NN - 1045	2004/5/10	ERF-J04002	新苫小牧市立総合病院	久米設計	久米設計	SRC	6	-	10508.9	28009.4	27.7	34.3	北海道苫小牧市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 U型ダンパー オイルダンパー
250	MF NN - 1050	2004/5/17	BCJ基評-IB0366-02	慶應義塾大学(三田)新校舎(仮称)	大成建設	大成建設	RC	13	3	2200.0	18850.0	48.4	53.4	東京都港区	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 流体系減衰材
251	MN NN - 1055	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-014	(仮称)西宮宮度町マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	14	-	3960.2	21995.9	41.1	41.6	兵庫県西宮市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
252	MN NN - 1057	2004/5/10	GBRC建評-03-11A-013	大阪市消防局庁舎(西消防署併設)	大阪市住宅局 安井建築設計	大阪市住宅局 安井建築設計	RC	8	-	3151.5	17795.2	42.8	51.3	大阪府西区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承 オイルダンパー
253	MF NN - 1058	2004/5/28	BCJ基評-IB0415-01	(仮称)帝国データバンク 東京支社ビル	鴻池組	鴻池組	CFT柱 S梁	9	1	683.6	6376.1	36.1	42.7	東京都新宿区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 転がり系支承
254	MN NN - 1068	2004/5/21	BCJ基評-IB0446-01	シティコボ正木(仮称)	矢作建設工業	矢作建設工業 構造計画研究所	RC	15	-	485.2	5918.5	44.2	44.7	愛知県名古屋市長区	高減衰ゴム系積層ゴム 流体系減衰材
255	MN NN - 1074	2004/6/8	BCJ基評-IB0385-02	財団法人仙台市医療センター 仙台オーブ病院新病棟	(株)梓設計	(株)梓設計	S	2	-	1708.5	1129.1	9.3	9.9	宮城県仙台市	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 鋼棒ダンパー
256	MF NN - 1084	2004/6/8	ERF-J04004	(仮称)鶴川神楽マンション	朝日建設	朝日建設 酒井建築工学研究室 山上構造企画	RC	12	-	1036.5	4877.2	40.0	40.5	東京都町田市	天然積層ゴム U型ダンパー 鉛ダンパー
257	MN NN - 1087	2004/6/23	ERF-J04003	西伯町国民健康保険西伯病院	佐藤総合企画	佐藤総合企画	RC	5	-	5200.0	15651.4	20.5	23.0	鳥取県西伯町	天然積層ゴム 転がり支承 U型ダンパー オイルダンパー
258	MN NN - 1088	2004/7/8	GBRC建評-04-11C-001	(仮称)桂地蔵寺	スペースグラフィティ	竹中工務店	木造	1	-	280.4	224.5	5.3	10.2	京都市西京区	曲面すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市町村)	免震部材	
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )					
259	MNNN - 1099	2004/7/8	ERF-J04006	(仮称)幕張ベイタウンSH-3①街区B棟	UQ都市建築 隈研吾建築都市設計 藤本社建築設計	フジタ	RC	8	-	695.3	4060.8	24.9	25.4	千葉県 美浜区	鉛入り積層ゴム
260	MNNN - 1131	2004/8/16	ERF-J04008	長野代総合病院 診療棟・棟増築設計	エーシーエ設計	構造計画プラスワン	RC	8	-	2132.9	12126.1	30.4	33.2	長野県 長野市	天然積層ゴム すべり支承 U型ダンパー 鉛ダンパー
261	MNNN - 1135	2004/8/16	BCJ基評-IB0456-01	(仮称)多摩水道改革推進本部庁舎	佐藤総合計画		RC	10	1	12983.0		43.2		東京都 立川市	
262	MNNN - 1149	2004/8/31	BCJ基評-IB0467-01	(仮称)千葉みなと計画	ピーエス三菱	ピーシー建築技術研究所	PC RC	19	-	973.0	13992.0	59.1	64.8	千葉県 千葉市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然積層ゴム
263	MNNB - 1164	2004/9/7	BCJ基評-IB0463-01	清水建設技術研究所新風洞実験棟	清水建設	清水建設	RC	2	1	911.4	1253.0	13.8	13.9	東京都 江東区	高減衰積層ゴム
264	MFNN - 1208	2004/11/16	BCJ基評-IB0473-01	H16名古屋第2地方合同庁舎(耐震改修)	国土交通省中部地方整備局 管轄部 梓設計		SRC	8	2	24378.0		29.7		愛知県 名古屋市長	
265	MNNN - 1212	2004/11/4	ERF-J04017	(仮称)西早稲田2丁目ビル	叶設計	佐藤工業	RC	11	2	677.1	5841.8	43.1	46.4	東京都 新宿区	鉛入り積層ゴム
266	MNNN - 1223	2004/11/30	ERF-J04018	県立こども病院周産期施設・外科棟	日建設計	日建設計	RC	6	-	2320.0	12785.0	26.2	37.9	静岡県 静岡市	天然積層ゴム すべり支承
267	MNNN - 1230	2004/11/30	ERF-J04020	(仮称)ル・シェミアの丸	東畑設計	大豊建設	RC	13	-	440.3	4691.3	39.6	41.0	静岡県 静岡市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
268	MNNN - 1248	2005/1/12	ERF-J04019	町田市民病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所	SRC RC	10	1	4975.0	41413.5	41.6	43.5	東京都 町田市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承
269	MNNN - 1263	2004/12/21	BCJ基評-IB0492-01	サンコート砂田橋3棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	9	-	1359.0	8595.6	27.5	29.5	愛知県 名古屋市長	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
270	MNNN - 1264	2004/12/27	BCJ基評-IB0239-02	群馬県立がんセンター	日本設計	日本設計	RC	7	-	29246.0		31.6		群馬県 太田市	
271	MNNN - 1268	2005/1/21	ERF-J04021	(仮称)御茶ノ水セントヒル	大東建託	大東建託 山本設計コンサルタント 鈴木建築設計事務所	RC	11	-	213.4	1752.2	32.6	35.2	東京都 文京区	鉛入り積層ゴム すべり支承
272	MNNN - 1269	2005/1/28	BCJ基評-IB0490-01	名古屋市役所西庁舎	名古屋住宅都市局営繕部 NTTファンリディーズ	名古屋住宅都市局営繕部 NTTファンリディーズ	SRC	13	3	2347.1	39688.6	49.6	54.2	愛知県 名古屋市長	鉛プラグ入り積層ゴム 流体系減衰材(オイルダンパー)
273	MNNN - 1279	2005/1/28	ERF-J04024	伊藤善三郎建築研究所 鹿島建設 竹中工務店	伊藤善三郎建築研究所 鹿島建設 竹中工務店	伊藤善三郎建築研究所 鹿島建設 竹中工務店	RC	6	-	16873.8	66960.3	26.5	28.3	埼玉県 日高市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
274	MNNN - 1290	2005/2/8	eHo.04E11-003-05	(仮称)一之江高齢者介護施設	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	1189.1	4812.6	15.8	19.7	東京都 江戸川区	回転機構付すべり支承 天然ゴム系積層ゴム
275	MNNN - 1313	2005/3/2	ERF-J04027	(学)東京女子医科大学附属 八千代総合医療センター入院棟	日建設計	日建設計	RC	6	-	4384.8	20215.4	27.9	32.5	千葉県 八千代市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム U型鋼材ダンパー
276	MNNN - 1314	2005/3/2	ERF-J04028	(学)東京女子医科大学附属 八千代総合医療センター外来棟	日建設計	日建設計	RC	4	-	3236.6	11463.5	19.6	24.5	千葉県 八千代市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム U型鋼材ダンパー
277	MNNN - 1318	2005/3/14	ERF-J04022	浜松労災病院本館	岡田新一設計事務所	岡田新一設計事務所 シーエ設計	RC	6	-	9213.5	21805.5	26.2	33.2	静岡県 浜松市	鉛入り積層ゴム
278	MNNN - 1321	2005/3/14	ERF-J04031	(仮称)豊橋広小路三丁目A-1地区 優良建築物等整備事業施設建築物	賛同人建築研究所	賛同人建築研究所	RC	18	-	646.2	6860.7	56.3	61.5	愛知県 豊橋市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー
279	MNNN - 1325	2005/2/21	BCJ基評-IB0501-01	株式会社ムラコシ事務所	須山建設	須山建設	S	3	-	819.0		12.3		静岡県 豊田郡	
280	MNNN - 1331	2005/3/14	BCJ基評-IB0502-01	松戸市紙敷43街区土地利用計画	清水建設	清水建設	RC	16	1	3344.0	22087.4	58.3	62.8	千葉県 松戸市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
281	MNFF - 1332	2005/3/3	ERF-J04029	NTN総合技術センター	竹中工務店	竹中工務店	S	5	-	3698.7	16846.0	24.3	27.4	静岡県 豊田市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
282	MNNN - 1338	2005/3/17	eHo.04E11-009-05	(仮称)根本様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	775.9	3505.9	15.1	15.1	東京都 江戸川区	回転機構付すべり支承 天然ゴム系積層ゴム
283	MNNN - 1358	2005/4/8	BCJ基評-IB0504-01	松野野郎	かねと建設	かねと建設 テクノウェーブ	木造	2	-		241.0		10.0	静岡県 富士市	
284	MNNN - 1364	2005/3/17	ERF-J04040	(株)松田会 有料老人ホーム エバーグリーンシティ・寺岡	東北設計計画研究所	東北設計計画研究所 大林組	RC	12	1	2516.4	18068.1	46.3	51.4	宮城県 仙台市	鉛プラグ入り挿入型積層ゴム 両面転がり支承
285	MNNN - 1368	2005/4/8	ERF-J04038	(仮称)姫路市防災センター	昭和設計	昭和設計	RC	6	-	1281.8	6614.9	28.2	39.0	兵庫県 姫路市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり支承 粘性減衰装置
286	MNNN - 1373	2005/4/8	BCJ基評-IB0510-01	秋葉清隆邸	秋葉清隆	MAY設計事務所 テクノウェーブ	木造	2	-		145.0		8.3	栃木県 宇都宮市	
287	MNNN - 1375	2005/4/20	ERF-J04035	(仮称)新砂物流センター	鹿島建設	鹿島建設	PCaPC	7	-	19547.7	101632.2	48.0	50.4	東京都 江東区	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
288	MNNN - 1376	2005/4/20	ERF-J04042	医療法人豊田会 刈谷総合病院 病棟増設計画	竹中工務店	竹中工務店	RC	12	1	1606.4	18714.1	44.8	50.3	愛知県 刈谷市	鉛プラグ入り積層ゴム ゴム物性
289	MNNN - 1377	2005/4/20	ERF-J04041	医療法人神純会 武内病院 人口腎センター	清水建設	清水建設	RC	4	-	1263.7	4074.4	16.1	16.7	三重県 津市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム ゴム物性
290	MFNN - 1400	2005/5/17	GBRC建評-04-11A-005	京阪不動産御堂筋ビル	日建設計	日建設計	S	14	1	1405.2	20084.5	56.9	60.0	大阪市 中央区	天然積層ゴム 弾性すべり支承 U型鋼材ダンパー 鉛ダンパー
291	MNNN - 1414	2005/6/2	ERF-J04043	ヤマハ浜松ビル	ワイビー設備システム	和田建築技術研究所	RC	8	-	321.0	2384.0	33.8	36.9	静岡県 浜松市	天然積層ゴム ゴム物性
292	MNNN - 1416	2005/6/2	TBTC基評11B-04001	東京建設コンサルタント新本社	清水建設	清水建設	RC	7	1	855.4	5996.6	33.0	37.0	東京都 豊島区	鉛入り積層ゴム
293	MNNN - 1418	2005/6/2	BCJ基評-IB0515-01	川越町新庁舎	日本設計		RC	4	-		9534.0			三重県 三重郡	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 直動転がり支承 オイルダンパー
294	MNNN - 1430	2005/6/10	ERF-J05001	(仮称)高見地区分譲住宅・C-1棟	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-	784.2	8636.0	39.4	40.6	愛知県 名古屋市長	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 ゴムの物性(天然ゴム)
295	MNNN - 1431	2005/6/10	ERF-J05002	(仮称)高見地区分譲住宅・C-2棟	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-	785.3	8427.1	39.4	40.6	愛知県 名古屋市長	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 ゴムの物性(天然ゴム)
296	MNNN - 1432	2005/6/10	ERF-J05003	(仮称)高見地区分譲住宅・D棟	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-	773.9	8441.6	39.4	40.7	愛知県 名古屋市長	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 ゴムの物性(天然ゴム)
297	MNNN - 1439	2005/6/13		味の素株式会社(仮称) 食品研究開発新棟	大成建設	大成建設	RC	5	-	4350.0	16902.3	22.3	29.8	神奈川県 川崎市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 剛すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要			軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材		
							構造	階	地下					建築面積(m <sup>2</sup> )	延べ床面積(m <sup>2</sup> )
298	MNHN - 1442	2005/6/13	eHo,04E11-014-05	(仮称)本澤様マンションⅡ	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	406.9	1574.9	15.5	15.9	東京都 江戸川区	回転機構付すべり支承 天然ゴム系積層ゴム
299	MNHN - 1453	2005/6/13	BCJ基評-IB0519-01	船越陽一郎	三菱地所ホーム	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	2	1	116.1	227.9	6.2	8.9	東京都 杉並区	転がり支承 オイルダンパー
300	MNHN - 1463	2005/7/6	ERT-J05008	日本赤十字社血液事業本部・ 東京都赤十字血液センター 合同社屋(仮称)	現代建築研究所	織本匠構造設計研究所	RC	6	-	3612.5	18372.8	29.5	30.2	東京都 江東区	鉛入り積層ゴム 転がりローラー支承 オイルダンパー
301	MNHN - 1465	2005/7/6	BCJ基評-IB0533-01	山田典正郎	金子建設 テクノウェーブ		木造	2	-	206.0		8.8		東京都 杉並区	
302	MFNF- - 1474	2005/6/15	BCJ基評-IB0532-01	(仮称)鹿島ウエストビル	鹿島建設	鹿島建設	S、一部 CFT	14	2	911.8	15208.0	57.9	63.5	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム
303	MNHN - 1477	2005/7/25	BCJ基評-IB0531-01	Kライブ M-1	Kライブ、テクノウェーブ		木造	2以下	-	500以下		13以下		沖縄を除く 全国	
304	MNHN - 1479	2005/7/6	GBRC建評-05-11A-002	(仮称)北堀江ビル	日建設計	日建設計	S	7	1	1903.6	14422.4	30.9	41.8	大阪府 西区	天然積層ゴム U型鋼筋ダンパー 鉛ダンパー
305	MNHN - 1482	2005/7/11	BCJ基評-IB0536-01	大本山永平寺別院山門	魚津建築設計事務所 翔栄建築設計事務所		木造	1	-	118.0		7.5		愛知県 名古屋	
306	MNHN - 1497	2005/7/11	ERT-J05011	D'クラディア清水駅前	イトー設計事務所	淺沼組 構造計画研究所	RC	14	-	539.6	6876.0	43.8	44.4	静岡県 静岡市	U型ダンパー付き天然ゴム系 積層ゴムアイソレータ 鉛ダンパー
307	MNHN - 1509	2005/8/2	GBRC建評-05-11A-001	鳥取県立厚生病院外来・ 中央診療棟	日建・安本設計JV	日建・安本設計JV	S	7	1	5206.6	10760.5	31.7	34.2	鳥取県 倉吉市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
308	MNHN - 1518	2005/8/2	ERT-J05016	(仮称)日神/レステージ せんげん台	IAO竹田設計	真柄建設	RC	14	-	384.3	3696.9	42.7	43.3	埼玉県 越谷市	鉛入り積層ゴム 弾性すべり支承
309	MNHN - 1524	2005/8/9	BCJ基評-IB0535-01	医学書院新本社ビル	石本建築事務所		RC	9	1		7238.0	39.9		東京都 文京区	
310	MNHN - 1542	2005/8/24	ERT-J05014	経済産業省総合庁舎別館 (耐震改修)	国土交通省大臣官房官庁 営繕部 山下設計	国土交通省大臣官房官庁 営繕部 山下設計	SRC	11	2	4812.9	59741.0	42.9	51.4	東京都 千代田区	鉛プラグ入り積層ゴムアイソレータ 天然ゴム系積層ゴムアイソレータ
311	MNHN - 1543	2005/8/24	ERT-J05018	(仮称)コレクション豊田	澤田建築事務所	奥村組	RC	14	-	622.4	6776.3	44.4	45.9	愛知県 豊田市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム
312	MNHN - 1548	2005/8/24	ERT-J05021	(仮称)釧路常盤橋ホテル	戸田建設	戸田建設	RC	13	-	693.0	7372.6	41.7	44.7	北海道 釧路市	天然積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
313	MNHN - 1553	2005/9/1	ERT-J04036-01	医療法人良心会 西山堂病院	大和ハウス工業	構造計画研究所 大和ハウス工業	S	4	-	1463.3	4928.4	14.7	15.3	茨城県 常陸太田市	天然系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー
314	MNHN - 1555	2005/9/12	BCJ基評-IB0546-01	高知高須病院(増築)	THINK建築設計事務所	ダイナミックデザイン	S SRC	7	-		14619.0	28.4		高知県 高知市	
315	MNHN - 1569	2005/9/12	ERT-J05023	県立志摩病院 外来診療棟	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	4	1	9261.8	25798.5	22.7	23.4	三重県 志摩市	高減衰積層ゴム 直結鉛ダンパー 鉛ダンパー
316	MNHN - 1570	2005/9/13	BCJ基評-IB0547-01	(仮称)滑川市民交流プラザ	三四五建築研究所	織本匠構造設計研究所	RC	5	-	1449.9	5450.0	26.5	33.0	富山県 滑川市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
317	MNHN - 1577	2005/9/26	E11-00000100-05	(仮称)足立東和PJ	スターツCAM	スターツCAM 織本匠構造設計研究所	RC	6	-	484.9	2052.8	18.0	18.4	東京都 足立区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
318	MNHN - 1590	2005/9/30	BCJ基評-IB0553-01	木本博之郎	三菱地所ホーム	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	2	-	116.0		8.0		東京都 三鷹市	
319	MNHN - 1611	2005/10/14		浜松赤十字病院移転計画			RC	5	-	9566.8	26776.9	21.6	31.0	静岡県 浜松市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
320	MNHN - 1629	2005/10/25	ERT-J05031	磐田駅前地区 第一種市街地再開発事業	共同組合 都市設計連合	共同組合 都市設計連合 エスバス建築事務所	RC	16	-	586.1	7628.9	49.8	55.2	静岡県 磐田市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鉛ダンパー
321	MNHN - 1632	2005/10/25	BCJ基評-IB0559-01	白河厚生総合病院	日建設計	日建設計	RC	8	1	11187.2	38900.2	36.5	41.5	福島県 白河市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製U型ダンパー 鉛ダンパー
322	MNHN - 1637	2005/10/25	ERT-J05030	(仮称)センコー(株) 浦和PDセンター	釣谷建築事務所	釣谷建築事務所 黒澤建築 ティーム・アール・エー	PC造	6	-	16691.9	70426.2	30.2	30.6	埼玉県 さいたま市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム
323	MNHN - 1639	2005/10/25	ERT-J05034	四日市商工会議所 新会館	日建設計	日建設計	RC	4	-	820.0	3200.0	17.5	21.5	三重県 四日市市	鉛プラグ入り積層ゴム
324	MNHN - 1646	2005/11/4	BCJ基評-IB0555-01	パナホームR免震住宅	パナホーム	パナホーム テクノウェーブ	RC	1又は 2	-	54~500	54~500	9以下	13以下	-	ベアリング支承 オイルダンパー
325	MNHN - 1652	2005/11/4	ERT-J05035	全労済埼玉県本部会館(仮称)	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	8	-	398.8	2970.4	30.5	34.5	埼玉県 さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム 十字型直結鉛入り支承 オイルダンパー 増幅機構付減衰装置
326	MNHN - 1653	2005/11/28		学校法人獨協学園 獨協大学創立40周年記念館(仮称)	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	4	-		12688.0	25.3		埼玉県	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 球体転がり支承 オイルダンパー
327	MNHN - 1665	2005/11/28	BCJ基評-IB0560-01	金原孝行郎	三菱地所ホーム	テクノウェーブ	木造	2	-		210.0		8.9	宮城県 仙台市	
328	MNHN - 1696	2006/1/5	BCJ基評-IB0585-01	(仮称)南麻布四丁目計画	竹中工務店		RC	5	2		5.1	15.0		東京都 港区	
329	MNHN - 1700	2006/1/10	BCJ基評-IB0567-01	飯上直人郎	三菱地所ホーム	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	2	-		171.0		8.8	神奈川県 藤沢市	
330	MNHN - 1720	2006/1/23	BCJ基評-IB0571-01	和歌山労災病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	6	-	8003.6	21888.0	29.1	39.6	和歌山県 和歌山市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 球体転がり支承 減衰ゴマ
331	MFNN - 1723	2006/1/30	BCJ基評-IB0572-01	清水建設技術研究所 セキュリティセンター	清水建設		RC S	4	-		214.0		17.8	東京都 江東区	
332	MNHN - 1728	2006/1/23		(仮称)大分キャンパリアル 第2拠点設計計画	鹿島建設	鹿島建設					109320.0			大分県 大分市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
333	MNHN - 1729	2006/2/20	ERT-J05045	野村證券静岡支店	野村ファシリティーズ	塩見	RC	4	1	748.9	3489.6	18.2	22.2	静岡県 静岡市	鉛入り積層ゴム
334	MNHN - 1730	2006/2/20	ERT-J05046	(仮称)ドッグラン幸町	牟田設計	奥村組 技術協力 塩見	RC	15	-	324.2	3546.8	44.7	44.9	長崎県 諫早市	鉛入り積層ゴム
335	MNHN - 1731	2006/1/23	ERT-J05047	(仮称)美浜区高洲3丁目 プロジェクト	戸田建設	戸田建設	RC	10	-	582.3	4508.7	32.7	33.8	千葉県 千葉市	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )					延べ床面積(m <sup>2</sup> )
336	MNNN - 1738	2006/2/6	BCJ基評-IB0573-01	(仮称)共同通信社 研修・交流センター	鹿島建設	鹿島建設	RC(一部S)	4	-	2225.4	5087.6	16.0	19.5	東京都中央区	鉛プラグ入り積層ゴム すべり系支承 流体系減震材
337	MNNN - 1740	2006/2/13		(仮称)一番町13-6計画	トルテック都市建築設計 事務所	構造計画研究所	RC	19	2		9725.0	60.0		東京都千代田区	高減衰ゴム積層 オイルダンパー
338	MNNN - 1744	2006/2/13	BCJ基評-IB0575-01	(仮称)日本通運(株) 東京海外引越支店 東京トラクルーム	日通不動産		RC	5	-		21908.0	32.6		東京都品川区	
339	MNNN - 1746	2006/2/13	ERI-J05049	垂水消防署新庁舎	エーアンドディ設計企画	エーアンドディ設計企画	RC	4	-	1141.8	3144.4	14.2	15.8	兵庫県神戸市	高減衰積層ゴム
340	MNNN - 1747	2006/2/13	ERI-J05048-01	西尾市新庁舎	久米設計	久米設計	SRC	7	1		18283.0	33.2		愛知県西尾市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製ダンパー オイルダンパー
341	MNNN - 1757	2006/2/20	eHo.05.E11- 00800400-05	(仮称)西葛西ホテル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	14	-	526.6	4321.5	42.7	43.8	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
342	MNNN - 1759	2006/2/20	JSSI-構評-05003	(仮称)大沢3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 織本匠構造設計研究所	RC	8	-	174.5	1255.8	23.8	24.4	埼玉県越谷市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り型積層ゴム支承
343	MNNN - 1764	2006/2/20	GBRC建評- 05-11A-016	(仮称)ワコレ大開通マンション	鴻池組	鴻池組	RC	17	-		20462.0	53.2		兵庫県神戸市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
344	MNNN - 1767	2006/2/28	BCJ基評-IB0574-01	名古屋市役所本庁舎	名古屋市住宅都市局営繕部 営繕課 三菱地所設計	名古屋市住宅都市局営繕部 営繕課 三菱地所設計	SRC	5	1	4483.9	25760.4	22.1	54.0	愛知県名古屋市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 オイルダンパー
345	MNNN - 1772	2006/2/28	BCJ基評-IB0581-01	日本大学理工学部駿河台校舎 5号館(改修)	清水建設	清水建設	SRC	9	1	561.1	5785.8	31.0	42.3	東京都千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 粘性流体ダンパー
346	MNNN - 1784	2006/3/15	BCJ基評-IB0582-02	防災拠点有明の丘地区本部 施設棟(仮称)	日建設計	日建設計	RC(一部S)	2	-		9411.7	13.7		東京都江東区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製ダンパー 鉛ダンパー
347	MNNN - 1786	2006/3/15	BCJ基評-IB0587-01	大分市医師会立アルメダ病院	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC	7	-		22210.0	29.7		大分県大分市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
348	MNNF - 1794	2006/3/30	ERI-J05056-01	プロロジスパークセントレア	竹中工務店	竹中工務店	RC	5	-		83301.0	36.5		愛知県常滑市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
349	MNNN - 1800	2006/3/27	BCJ基評-IB0590-01	(仮称)アゴラ浜松ビル	清水建設名古屋支店		S(柱 CFT造)	8	-		5015.0	42.0		静岡県浜松市	
350	MNNN - 1801	2006/3/27	BCJ基評-IB0589-01	(仮称)四日市駅前P[B敷地]	IOA竹田設計	大林組	RC	18	-	1139.0	14636.6	57.9	64.5	三重県四日市市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
351	MNNN - 1802	2006/3/30	BCJ基評-IB0570-02	三菱ホーム免震住宅PIANISSMO (ピアニシモ)	三菱地所ホーム テクノウェーブ	三菱地所ホーム テクノウェーブ	木造	3	-		100~500	13以下		沖縄を除く 全国	
352	MNNN - 1803	2006/3/30		(仮称)JS西葛西ビル	東レ建設	東レ建設	RC	9	-		5361.0	32.9		東京都江戸川区	高減衰ゴム オイルダンパー
353	MNNN - 1807	2006/3/30	BCJ基評-IB0588-01	愛知県厚生連江南新病院	日本設計・共同建築設計 事務所 共同企業体	日本設計	S(一部 SRC)	8	-	20970.7	66511.0	37.0	51.5	愛知県江南市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 直動転がり支承
354	MNNN - 1809	2006/3/30	ERI-J05058	(仮称)三共銀座プロジェクト	清水建設	清水建設	RC	11	1	573.0	5586.0	52.2	64.5	東京都中央区	鉛入り積層ゴム
355	MNNN - 1813	2006/4/6	BCJ基評-IB0591-01	(仮称)博多駅前共同ビル計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC S	11	1	1062.3	11255.8	44.6	50.1	福岡県福岡市	鉛プラグ入り積層ゴム
356	MNNN - 1824	2006/4/12	BCJ基評-IB0595-01	大鶴薬品工業株式会社徳島工場 (仮称)新固形剤工場	日立ブランド建設 日本設計	日本設計	S(柱 SRC造)	3	-	39243.6	69270.4	14.8	18.7	徳島県徳島市	鉛プラグ入り積層ゴム
357	MNNN - 1826	2006/4/13	BCJ基評-IB0599-01	(仮称)南麻布三丁目計画	大林組	大林組	RC	6	1	1960.3	10392.4	19.4	22.6	東京都港区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
358	MNNN - 1837	2006/4/13	BCJ基評-IB0592-01	(仮称)消防拠点施設	日立建設設計	日立建設設計	RC	3	1	928.9	3480.1	20.9	21.1	茨城県日立市	高減衰積層ゴム支承 すべり系支承
359	MNNN - 1842	2006/5/8		敦賀市消防防災館	佐藤総合計画 山内設計	佐藤総合計画 構造計画研究所	RC	6	-		2070.0	22.1		福井県敦賀市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
360	MNNN - 1849	2006/5/8	BCJ基評-IB0596-01	ホーユー棟総合研究所・新棟	浦野設計	浦野設計 構造計画研究所	S	4	-	1669.0	5966.0	16.9	18.5	愛知県愛知郡	積層ゴム支承
361	MNNN - 1855	2006/4/28		中伊豆リハビリテーションセンター	内藤建築事務所	内藤建築事務所	RC	4	1					静岡県伊豆市	鉛プラグ入り積層ゴム
362	MNNN - 1868	2006/6/21	BCJ基評-IB0610-02	防災拠点東扇島地区施設棟(仮称)	日建設計	日建設計	RC S	2	-		514.9	54.0		神奈川県川崎市	
363	MNNN - 1870	2006/6/8	BCJ基評-IB0605-01	石巻地区広域行政事務組合 消防本部(石巻消防署併設)庁舎 移転整備事業庁舎棟	関・空間設計	織本構造設計	RC	3	-	1154.8	2988.3	14.1	39.6	宮城県石巻市	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承 オイルダンパー
364	MNNN - 1875	2006/6/15		鳥取生協病院	中央設計	中央設計	RC	10			15624.0			鳥取県鳥取市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
365	MNNN - 1876	2006/6/8		浜松松江町ホテル	橋本設計室	構造計画研究所	RC	12	-					静岡県浜松市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
366	MNNN - 1889	2006/6/8	BCJ基評-IB0602-01	愛知県庁本庁舎(改修)	戸田建設 (基本設計:日建設計)	戸田建設 (基本設計:日建設計)	SRC 一部SRC	6	1		28314.0	42.6		愛知県名古屋市	
367	MNNN - 1890	2006/5/31	ERI-J06003	エースイン松本	竹中工務店	竹中工務店	RC	11	-	335.7	3038.9	31.6	38.3	長野県松本市	鉛プラグ入り型積層ゴム支承
368	MNNN - 1894	2006/6/21		北九州市警察部小倉北警察署	日総研・西枝開発・ 河野設計共同企業体	竹中工務店	RC	13	1		17476.0			福岡県北九州市	鉛プラグ入り積層ゴム
369	MNNN - 1898	2006/6/29	BCJ基評-IB0606-02	プラザノース	日本設計	日本設計	SRC, S, RC	4	-		19777.0	25.0		埼玉県さいたま市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼材ダンパー 剛すべり系支承
370	MNNN - 1899	2006/7/6	GBRC建評- 06-11A-004	(仮称)豊中市西泉丘集合住宅 (南棟)	奥村組	奥村組	RC	13	-		9785.0	38.0		大阪府豊中市	高減衰ゴム 剛すべり支承
371	MNNN - 1900	2006/7/6	GBRC建評- 06-11A-002	(仮称)豊中市西泉丘集合住宅 (東棟)	奥村組	奥村組	RC	11	1		8561.0	34.0		大阪府豊中市	高減衰ゴム 剛すべり支承
372	MFNN - 1905	2006/6/16	BCJ基評-IB0604-01	(仮称)築地4丁目ビル	石本建築事務所		RC SRC	9	1		1430.0	31.4		東京都中央区	
373	MNNN - 1912	2006/7/4	UHEC評価-構18002	(株)バーカーコーポレーション 東京テクニカルセンター	錢高組	錢高組	RC	7	-	376.7	2225.2	27.9	28.5	東京都江東区	鉛プラグ入り積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )					
374	MN NN - 1915	2006/7/6	JSSI-構評-06001	(仮称)八広6丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 織本構造設計研究所	RC	8	-	254.1	1672.5	24.3	24.8	東京都 墨田区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
375	MF NB - 1917	2006/7/11		東京駅丸の内本屋(保存・復原)		東日本旅客鉄道 東京工事業務所・東京電気システム開発工事業務所、ジェイアール東日本建築設計事務所・ジェイアール東日本コンサルタンツ設計共同企業体		2(3)	1		約19,600			東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
376	MN NN - 1920	2006/7/21	GBRC建評-06-11A-004	加古川総合庁舎・東播磨生活創造センター	類設計室	類設計室	RC	10	-		13266.0	42.0		兵庫県 加古川市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
377	MN NN - 1922	2006/7/11		(仮称)明倫地区分譲住宅	三菱地所設計	鹿島建設	RC	15	-					愛知県 名古屋	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
378	MN NN - 1927	2006/7/21	BCJ基評-IB0434-02	人間文化研究機構、情報・システム研究機構(立川)総合研究棟	日本・アールティケーエール設計共同 日本設計	日本・アールティケーエール設計共同 日本設計	RC SRC S	6	1	62500.0	48119.0	26.7		東京都 立川市	鉛プラグ入り積層ゴム
379	MN NN - 1931	2006/8/14	BCJ基評-IB0617-01	中央合同庁舎第1号館本館(耐震改修)	国土交通省大臣官房官庁営繕部 松田平田設計	国土交通省大臣官房官庁営繕部 松田平田設計	SRC	8	1	47064.0	30.4			東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
380	MN NN - 1942	2006/9/11	JSSI-構評-06003	(仮称)吉橋様マンション	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	569.8	3009.4	22.2	22.9	東京都 江戸川区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
381	MN NN - 1943	2006/9/11	JSSI-構評-06002	浦安市消防本部・署庁舎	久米設計	久米設計	RC	4	-	2042.0	5275.3	17.3	18.2	千葉県 浦安市	天然系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承 弾性すべり支承 直動転がり支承 履歴系ダンパー オイルダンパー
382	MN NN - 1944	2006/9/11	BCJ基評-IB0623-01	(仮称)五橋駅前マンション	鹿島建設	鹿島建設	RC	16	-	502.5	5680.3	47.8	53.5	宮城県 仙台市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
383	MN NN - 1946	2006/9/11	BCJ基評-IB0622-01	慶應義塾日吉キャンパス複合施設(仮称)	環境デザイン研究所・三菱地所設計 設計監理共同体	環境デザイン研究所(金箱構造設計事務所)・三菱地所設計 設計監理共同体	S	7	2		38230.0	29.4		神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 オイルダンパー
384	MN NN - 1979	2006/9/6	JSSI-構評-06005	(仮称)金山3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	14	-	297.5	3536.5	42.0	42.7	愛知県 名古屋	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
385	MN NN - 1981	2006/9/20	UHEC評価-構18009	(仮称)支倉町3番計画	創建設計	大林組	RC	17	1	708.0	7693.6	55.3	60.7	宮城県 仙台市	鉛プラグ入り積層ゴム 両面転がり支承
386	MN NN - 1992	2006/10/13	ERJ-J06007	川崎池上新町商業施設および物流センター	竹中工務店	竹中工務店	RC, S	5	-		128543.7	32.0		神奈川県 川崎市	高減衰系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
387	MN NN - 1993	2006/9/20	GBRC建評-06-11A-006	(仮称)奈良工事業務所	奥村組	奥村組	RC 一部S	2	-		483.0	6.3		奈良県 奈良市	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
388	MN NN - 1994	2006/10/19		静岡北口ホテル	レーモンド設計事務所	構造計画研究所	RC	12	-		2365.0			静岡県 静岡市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
389	MN NN - 1996	2006/10/10	BCJ基評-IB0628-01	清水建設技術研究所守衛所	清水建設	清水建設	S RC	1	-	25.2	25.2	2.8	3.1	東京都 江東区	天然ゴム系復元ゴム すべり系支承 転がり系支承
390	MN NN - 2000	2006/10/5		日本銀行本店2・3号館(耐震改修)	松田平田設計	松田平田設計									鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承
391	MN NN - 2008	2006/11/7	BCJ基評-IB0626-01	横浜市庁舎行政棟(耐震補強)	既存・村野・森建築事務所 東畑建築事務所	東畑建築事務所	SRC	8	1	2700.0	22000.0	30.8	37.3	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 積層ゴム一体型免震U型ダンパー
392	MN NN - 2012	2006/10/23	ERJ-J06010	(仮称)大津建設本ビル	久米設計・大津建設 設計共同企業体	久米設計	RC	5	-		1225.1	17.8		神奈川県 横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼製ダンパー 直動転がり支承
393	MF NN - 2016	2006/10/2	UHEC評価-構18015	(仮称)ナイス小杉3丁目計画	エイフ設計コンサルタント	ティー・アール・イー	RC	16	-	1102.4	11316.0	53.8	59.8	神奈川県 川崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性すべり支承
394	MF NN - 2019	2006/10/12	JSSI-構評-06004	(仮称)新横浜三丁目ビル	大成建設	大成建設	RC	11	1	896.8	10106.5	51.9	51.9	神奈川県 横浜市	積層ゴム支承 弾性すべり支承
395	MN NN - 2030	2006/10/23	ERJ-J06013	航空保安大学校本校 移転整備等事業(学生寮棟)	大成建設 山下設計	大成建設 山下設計	RC	14	-	858.5	7933.8	44.7	44.8	大阪府 泉佐野市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
396	MN NN - 2030	2006/10/23	ERJ-J06013	航空保安大学校本校 移転整備等事業(校舎棟)	大成建設 山下設計	大成建設 山下設計	S RC	3	-	4088.8	11218.8	14.1	14.3	大阪府 泉佐野市	天然積層ゴム 弾性すべり支承
397	MN NN - 2049	2006/11/16	UHEC評価-構18017	(仮称)千代田区岩本町一丁目計画	浅沼組	浅沼組	RC	16	-	371.8	5328.5	49.5	55.0	東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 免震U型ダンパー
398	MN NN - 2052	2006/11/16	JSSI-構評-06006	(仮称)牡丹3丁目Ⅲ期計画	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	394.9	1815.1	21.2	21.7	東京都 江東区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
399	MN NN - 2053	2006/11/16	JSSI-構評-06007	(仮称)株式会社八島鉄工所棟 マンション	スターツCAM	スターツCAM 構造計画研究所	RC	11	-	159.8	1575.4	33.0	33.2	台東区	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
400	MN NN - 2057	2006/11/16	BCJ基評-IB0639-01	(仮称)ブリヂストン化工品 新試験センター	日本設計	日本設計	SRC, S, RC	5	-	60797.2	141163.2	24.6	35.3	神奈川県 横浜市	高減衰系積層ゴム
401	MN NN - 2069	2006/12/12	JSSI-構評-06008	(仮称)水野様ビル	スターツCAM	スターツCAM 織本構造設計	RC	10	-	240.1	1835.0	30.5	32.6	千葉県 市川市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
402	MN NN - 2070	2006/11/10	BCJ基評-IB0638-01	芝園小学校及び芝園中学校	清水建設・シーラカンスK&H・三四五建築研究所設計 共同企業体	清水建設	RC (一部 SRC, S)	4	1		23847.0	22.0		富山県 富山市	
403	MF NN - 2079	2006/12/15	BCJ基評-IB0633-01	日本赤十字社医療センター	久米設計	久米設計	S RC	13	3	7907.3	80253.6	57.8	60.1	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 剛すべり支承 オイルダンパー
404	MN NN - 2082	2007/1/10	JSSI-構評-06009	株式会社前川製作所新本社ビル	大成建設	大成建設	S	8	-	1255.9	9304.1	31.1	35.1	東京都 江東区	積層ゴム
405	MN NN - 2083	2007/1/10	JSSI-構評-06011	(仮称)春日3丁目免震マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	7	-	599.7	3367.0	20.0	21.1	大阪府 吹田市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
406	MN NN - 2084	2007/1/10	JSSI-構評-06012	(仮称)見花山プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	6	-	293.8	1195.9	18.9	19.3	神奈川県 横浜市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
407	MN NN - 2085	2007/1/10	JSSI-構評-06013	(仮称)城田様プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	400.2	1532.7	14.7	15.2	神奈川県 横浜市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
408	MN NN - 2094	2007/1/9	ERJ-J06019	(仮称)瀬戸プロジェクトⅡ	矢作建設	矢作建設	RC	14	-	1037.4	8705.2	42.2	42.7	愛知県 瀬戸市	高減衰積層ゴム
409	MF NN - 2124	2007/1/10	ERJ-J06006	奥村三田ビル	奥村組 (既存・村野・森建築事務所)	奥村組 (既存・村野・森建築事務所)	SRC	9	3		9739.0	33.9		東京都 港区	高減衰積層ゴム オイルダンパー
410	MN NN - 2131	2007/1/22	JSSI-構評-06015	(仮称)片平計画	スターツCAM	スターツCAM 山下設計	RC	5	-	533.8	2181.4	16.1	16.1	神奈川県 川崎市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市まで)	免震部材
							構造	階	地下	建築面積(m <sup>2</sup> )	延べ床面積(m <sup>2</sup> )				
411	MNNN - 2132	2007/1/22	JSSI-構評-06016	(仮称)神明町プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	8	-	167.0	918.5	23.9	24.3	愛知県豊田	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
412	MNNN - 2133	2007/1/22	UHEC評価-構18025	カルソニックカンセイ開発・本社ビル移転計画	日建設計	日建設計 大成建設	RC (一部S)	7	-	6267.0	38001.0	31.0	31.9	埼玉県さいたま市	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性すべり支承
413	MNNN - 2138	2007/1/9	BCJ基評-IB0648-01	栄国寺庫裏	魚津建築設計事務所	魚津社寺工務店	S	3	-		380.0	11.9		愛知県瀬戸市	
414	MNNN - 2140	2007/1/9	GBRC建評-06-11A-010	(仮称)新大阪EMビル	日建設計	日建設計	SRC S	14	2		30543.0	59.1		大阪府大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム 減衰こま
415	MFNN - 2143	2006/12/27	BCJ基評-IB0648-01	(仮称)01プロジェクト	アム・ザイン	鹿島建設	OFT造 一部SRC	12	2	1351.7	18211.9	54.1	58.9	東京都品川区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム すべり系支承
416	MNNN - 2159	2007/1/31	BCJ基評-IB0660-01	ディスコR&Dセンター増築棟	大林組	大林組	SRC	14	1		28485.0	59.0		東京都大田区	鉛プラグ挿入型積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼製ダンパー
417	MNNN - 2160	2007/1/31		ラフィナー松本渚	峯生庵	構造計画研究所	RC	14			3428.0			長野県松本市	鉛プラグ挿入型積層ゴム
418	MNNN - 2172	2007/1/24	GBRC建評-06-11A-011	木津町新庁舎	日建設計	日建設計	RC	7	-	約2,200	約10,000	27.7		京都府木津川市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承
419	MNNN - 2182	2007/3/15	JSSI-構評-06014	国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院病棟	久米設計	久米設計	SRC +S	9	1		29633.0	39.1		静岡県浜松市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼製ダンパー オイルダンパー
420	MNNN - 2186	2007/2/22	JSSI-構評-06018	(仮称)浅新田2丁目計画	スターツCAM	スターツCAM 織本構造設計	RC	8	-	202.7	1338.6	24.5	25.4	千葉県市川市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 回転機構付すべり支承 オイルダンパー
421	MNNN - 2189	2007/2/23	GBRC建評-06-11A-012	近畿労働金庫新本部ビル	日建設計	日建設計	S	13	1		13423.7	58.0			鉛プラグ挿入型積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー
422	MNNN - 2193	2007/3/2	BCJ基評-IB0668-01	(仮称)エフエム福岡・西日本シティ銀行共同ビル	三菱地所設計 西日本技術開発		SRC	8	-		6043.0	34.4		福岡県福岡市	
423	MFNN - 2195	2007/3/15		(仮称)月寒東計画	住友不動産	織本構造設計 三井住友建設								北海道	弾性滑り支承 他
424	MNNN - 2196	2007/3/15	BCJ基評-IB0658-01	北島病院	アトリエ+K&U 構造計画研究所		RC	4	1		4119.0	19.7		高知県高岡郡	
425	MNNN - 2205	2007/3/14	GBRC建評-06-11A-014	九州労災病院本館	日建設計	日建設計	SRC RC 一部S	8	0		36471.4	35.5		福岡県福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鋼材ダンパー 鉛ダンパー
426	MNNN - 2208	2007/3/15	JSSI-構評-06117	独立行政法人国立病院機構高崎病院	久米設計	久米設計	RC	7	1		33168.7	28.6		群馬県高崎市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承
427	MNNN - 2216	2007/1/9	BCJ基評-IB0637-01	東京女子医科大学第一病棟	日建設計 現代建築研究所	織本構造設計研究所	RC	9	3		20587.0	35.4		東京都新宿区	
428	MNNN - 2231	2007/3/29	JSSI-構評-06019	(仮称)吹上プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	10	-	181.2	1649.4	30.5	30.9	愛知県名古屋	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
429	MNNN - 2232	2007/3/29	JSSI-構評-06020	(仮称)大島様マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	5	-	351.7	1459.9	17.3	17.8	東京都府中市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
430	MNNN - 2241	2007/3/29	HP評-06-011	(仮称)高見地区(2期)分譲住宅(D棟)	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-		12166.0	39.3		愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
431	MNNN - 2242	2007/3/29	HP評-06-012	(仮称)高見地区(2期)分譲住宅(E棟)	三菱地所設計 大成建設	三菱地所設計 大成建設	RC	13	-		8347.0	39.4		愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
432	MNNN - 2254	2007/3/19	ER- J06025	四日市市中消防署中央分署・消防活動支援センター	竹下一般建築士事務所	飯島建築事務所	RC	3	-	1015.6	2704.3	14.6	15.2	三重県四日市市	高減衰積層ゴム 弾性すべり支承
433	MNNN - 2260	2007/4/3	BCJ基評-IB0672-01	名古屋大学医学部附属病院外来診療棟	名古屋大学施設管理部 NTTファミリーーズ		RC	4	-		17268.0	20.8		愛知県名古屋	
434	MNNN - 2263	2007/3/26	ER- J06029	(仮称)AMB鶴見 ディスプレイビジョンセンター	東亜建設工業	東亜建設工業	SRC	5	-	19735.7	69695.3	36.0	37.8	神奈川県横浜	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承
435	MNNN - 2267	2007/4/3	JSSI-構評-06022	(仮称)西荻谷4丁目計画	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	6	-	424.4	1855.9	17.4	18.4	東京都大田区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム
436	MNNN - 2268	2007/4/11	JSSI-構評-06023	(仮称)大島様マンション	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	4	-	232.4	822.6	12.7	13.2	神奈川県川崎市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
437	MNNN - 2280	2007/4/3	BCJ基評-IB0677-01	(仮称)笠井様マンション	新東京建築設計事務所	スターツCAM 日本設計	RC	12	-	394.7	3298.3	38.7	39.3	東京都江戸川区	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ挿入型積層ゴム オイルダンパー
438	MNNN - 2283	2007/4/3	BCJ基評-IB0680-01	(仮称)関西ユビキタス	プランテック総合計画事務所	アルファ構造デザイン事務所	S	9	-		8009.0	41.1		大阪府大阪市	
439	MNNN - 2292	2007/4/27	BCJ基評-IB0676-01	(仮称)駐日本韓国文化院	日本設計		SRC S	8	1		7902.0	44.3		東京都新宿区	
440	MNNN - 2297	2007/4/26	BCJ基評-IB0678-01	(仮称)平塚市明石町21番 マンション計画	小田急建設	小田急建設 ピーシー建築技術研究所	RC	17	-	676.0	7856.2	51.9	58.0	神奈川県平塚市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性滑り支承
441	MNNN - 2299	2007/4/26	BCJ基評-IB0679-01	志摩市庁舎	大建設	大建設	SRC S	7	-	2319.0	10186.0	26.3	30.8	三重県志摩市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承
442	MFNN - 2308	2007/5/31		(仮称)Akebono日本橋本店 プロジェクト	プランテック総合計画事務所	プランテック総合計画事務所	RC	9			8713.0			東京都中央区	鉛プラグ挿入型積層ゴム
443	MNNN - 2312	2007/5/31	JSSI-構評-06025	(仮称)島田様マンション	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	290.1	1311.6	14.5	14.7	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム
444	MNNN - 2333	2007/6/15	BCJ基評-IB0682-01	多摩広域基幹病院(仮称)及び 小児総合医療センター(仮称)	日建設計	日建設計	RC	11	1		129715.0	50.3		東京都府中市	
445	MNNN - 2345	2007/6/15	BCJ基評-IB0669-01	広島市南消防署	広島市財政局	松田平田設計	RC	6	1		2579.0	23.2		広島県広島市	
446	MNNN - 2347	2007/6/22	ER- J07002	岡山市西消防署(仮称)	黒川建築設計事務所	塩見 黒川建築設計事務所	SRC (一部S)	5	-	1163.0	4148.2	21.3	57.0	岡山県岡山市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承 U型鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
447	MNNN - 2353	2007/6/22	JSSI-構評-07001	(仮称)小峯様マンション	スターツCAM	スターツCAM エスバス建築事務所	RC	5	-	281.2	1095.7	15.1	15.5	東京都府中市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
448	MNNN - 2360	2007/7/3	JSSI-構評-07002	(仮称)須賀様マンション	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	301.8	1142.2	14.4	15.4	千葉県浦安市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム
449	MNNB - 2379	2007/7/24	BCJ基評-IB0681-01	横浜山下町地区B1街区施設建築物	都市再生機構 香山・アプル総合・ アプルデザイン設計共同体	MUSA研究所 構造計画研究所	RC SRC S	10	1		23974.0	50.0		神奈川県横浜	

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高(m)	最高高さ(m)	建設地(市町村)	免震部材	
							構造	階	地下	延べ床面積(m <sup>2</sup> )					
450	MNNN - 2382	2007/7/3	BCJ基評-IB0688-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画B-a棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	16	1		22304.0	48.6		東京都足立区	
451	MNNN - 2383	2007/7/3	BCJ基評-IB0689-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画B-b棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	18	1		21575.0	54.5		東京都足立区	
452	MNNN - 2399	2007/7/3	BCJ基評-IB0692-02	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画B-c棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	15	-		11198.5	45.7		東京都足立区	
453	MNNN - 2400	2007/7/18		銀座7丁目新橋会館(仮称)	山下設計	山下設計	RC	9	1					東京都中央区	鉛プラグ入り積層ゴム
454	MNNN - 2402	2007/7/25	BCJ基評-IB0697-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画A-a棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	7	-		5184.0	21.6		東京都足立区	
455	MNNN - 2403	2007/7/25	BCJ基評-IB0698-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画A-b棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	9	-		6675.0	27.4		東京都足立区	
456	MNNN - 2404	2007/7/25	BCJ基評-IB0699-01	(仮称)足立区梅田八丁目マンション計画A-c棟		INA新建築研究所 エスバス建築事務所	RC	7	-		1836.0	21.6		東京都足立区	
457	MNNN - 2405	2007/7/23	BCJ基評-IB0695-02	グランステージ川崎大師マンション(建替)	安藤建設		RC	9	-		3179.9	27.8		神奈川県川崎市	
458	MNNN - 2407	2007/7/23	BCJ基評-IB0693-01	北秋田市民病院		日建設計	SRC(一部S)	4	1		24948.0	23.0		秋田県北秋田市	
459	MNNN - 2412	2007/7/31	BCJ基評-IB0696-01	県立多治見病院新西棟(仮称)		東京建築研究所	S	8	1		26915.0	32.8		岐阜県多治見市	
460	MNNN - 2417	2007/8/7	UHEC評価-構19001	会津中央病院新館	羽深隆雄・橋工房設計事務所	織本構造設計	RC	7	1	1743.9	11315.0	24.6	26.2	福島県会津若松市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 弾性すべり支承 オイルダンパー
461	MNNN - 2418	2007/8/7	UHEC評価-構19002	(仮称)サーパス福川	間組	間組	RC	17	-	800.0	9900.8	55.2	61.7	静岡県静岡市	高減衰積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
462	MNNN - 2419	2007/8/7	UHEC評価-構19003	(仮称)東陽3丁目計画	竹中工務店 東京一級建築士事務所	竹中工務店 東京一級建築士事務所	RC	12	-	950.5	8235.0	37.8	40.2	東京都江東区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 摩擦系ダンパー 粘性体系ダンパー
463	MNNN - 2420	2007/8/7	JSSI-構評-07004	(仮称)四天王寺駅前プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	193.6	1245.8	23.5	23.7	大阪府大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム
464	MNNN - 2430	2007/8/13	BCJ基評-IB0691-01	中央合同庁舎1号館北別館(耐震改修)		国土交通省大臣官房官庁 営繕部 久米設計	SRC	8	1		14139.0	31.7		東京都千代田区	
465	MNNN - 2469	2007/9/27	ERF-J07014	(仮称)上台台石井レジデンス	デベロップデザイ	MUSA研究所 構造計画研究所	RC	9	-	480.1	1887.2	29.3	29.8	東京都大田区	高減衰積層ゴム
466	MNNN - 2472	2007/9/6	BCJ基評-IB0709-01	栄栗市新庁舎	梓設計	梓設計	RC(一部PC)	5	-	1410.9	6690.32	24.6	25.6	兵庫県宍粟市	鉛プラグ入り積層ゴム オイルダンパー
467	MNNN - 2475	2007/9/27	BCJ基評-IB0708-01	(仮称)ファンケルホームライフビル	大林組	大林組	S RC	9	1		4757.9	40.0		神奈川県横浜市	
468	MNNN - 2489	2007/10/4	ERF-J07015	東京都医学系総合研究所(仮称)	伊藤善三郎建築研究所	伊藤善三郎建築研究所	PCaPC	5	-	5518.2	19981.7	23.8	24.4	東京都世田谷区	天然ゴム積層ゴム すべり支承 鋼製ダンパー(U型ダンパー) オイルダンパー
469	MNNN - 2540	2007/11/12	JSSI-構評-07008	(仮称)鈴直ビル	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	4	-	175.4	535.1	12.7	14.5	東京都江東区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ入り積層ゴム
470	MNNN - 2560	2007/11/12	BCJ基評-IB0711-01	ニューシティ横浜 ロジスティックパークA棟		鹿島建設	PCaPs	7	-		132361.0	49.5		神奈川県横浜市	
471	MNNN - 2564	2007/11/5	JSSI-構評-07007	(仮称)舎人5丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	11	-	496.4	3549.9	35.7	36.4	東京都足立区	鉛プラグ入り積層ゴム
472	MNNN - 2581	2007/12/3	BCJ基評-IB0710-01	福岡大学病院新診療棟(仮称)	日本設計	日本設計	RC	7	1		26224.7	31.8		福岡県福岡市	
473	MNNN - 2611	2007/12/11	UHEC評価-構19008	シティコーポ小城(仮称)南棟	松村・浦野特別共同企業体	松村・浦野特別共同企業体 ダイナミックデザイン	RC(一部SRC)	10	-	902.1	7115.4	30.5	31.0	愛知県名古屋	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 回転機構付すべり支承
474	MNNN - 2613	2007/12/11	JSSI-構評-07009	(仮称)小島橋箕輪町3丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	3	-	644.5	1496.1	8.7	9.2	神奈川県横浜市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
475	MNNN - 2631	2007/12/26	BCJ基評-IB0715-01	砂川市立病院	大建設計	大建設計 織本構造設計	SRC S	7	-	8991.3	34865.1	37.4	37.4	北海道砂川市	鉛プラグ入り積層ゴム 転がりローラー支承 減衰コマー
476	MNNN - 2632	2007/12/26	BCJ基評-IB0714-01	小林市立市民病院	内藤建築事務所	内藤建築事務所 織本構造設計	RC	5	-	4246.3	10715.6	22.5	27.5	宮崎県小林市	鉛プラグ挿入型積層ゴム支承 オイルダンパー 転がりローラー支承
477	MNNN - 2659	2008/1/11	BCJ基評-IB0720-01	京都大学積貞棟(病棟)	日本設計	日本設計	RC	8	1		20379.3	30.9		京都府京都市	
478	MNNN - 2662	2007/10/19	BCJ基評-IB0718-01	会津オリンパス	戸田建設	戸田建設	S CFT	5	-	5969.3	22598.0	30.0	30.7	福島県会津若松市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 剛すべり支承 オイルダンパー
479	MNNN - 2694	2008/1/24	ERF-J07028	(仮称)アルファステイツ橋	現代建築計画事務所	構造計画研究所	RC	15	-	325.6	3993.2	43.8	44.8	高知県高知市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
480	MNNN - 2695	2008/1/24	ERF-J07025	(仮称)アルファステイツ新屋敷	紳建築工房	構造計画研究所	RC	12	-	379.0	3127.8	36.5	40.0	高知県高知市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
481	MNNN - 2696	2008/1/24	ERF-J07027	(株)豊田自動織機グローバル 研修センター計画	竹中工務店	竹中工務店	S RC	7	-	4510.7	13472.1	28.5	29.5	愛知県幡豆郡	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
482	MNNN - 2702	2008/1/24	BCJ基評-IB0712-01	(仮称)神戸市東灘区本庄町1丁目 マンション	浅井謙建築研究所	三井住友建設	RC	7	-		5662.9	21.9		兵庫県神戸市	
483	MFNN - 2711	2007/12/26	BCJ基評-IB0719-01	青梅市新庁舎	佐藤総合計画	佐藤総合計画	RC SRC(一部S CFT)	7	1		22097.8	29.5		東京都青梅市	
484	MNNB - 2712	2008/2/8	BCJ基評-IB0664-02	(仮称)スカパー 東京メディアセンター計画	竹中工務店	竹中工務店	S RC	6	1	3939.6	17579.9	30.6	34.5	東京都江東区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承
485	MNNN - 2744	2008/2/4	UHEC評価-構19019	医療法人 里仁会 興生総合病院移転新築計画	フジタ	フジタ 高環境エンジニアリング	RC	8	1	3569.4	23239.9	32.6	40.9	広島県三原市	鉛入り積層ゴム支承 天然ゴム系積層ゴム支承 すべり系支承 流体系ダンパー
486	MNNN - 2757	2008/2/5	JSSI-構評-07011	(仮称)南篠崎町2丁目プロジェクト	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	6	-	388.9	1701.6	18.5	19.0	東京都江戸川区	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
487	MNNN - 2758	2008/2/5	JSSI-構評-07013	(仮称)恵田善幸様ビル	スターツCAM	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	7	-	406.4	2055.4	21.3	23.1	千葉県流山市	回転機構付すべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要				軒高 (m)	最高 高さ (m)	建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築 面積 (㎡)					延べ床 面積 (㎡)
488	MNNN - 2759	2008/2/5	UHEC評価-構19020	コルセ・カレ日向	安藤建設	五洋建設	RC	14	-	775.5	8288.4	43.8	44.6	宮城県 日向市	高減衰積層ゴム支承 弾性すべり支承
489	MNNN - 2760	2008/2/5	BCJ基評-IB0726-01	内閣本府 A棟		国土交通省大臣官房官庁 営繕部 日本設計	RC	6	1		18384.5	23.8		東京都 千代田区	
490	MNNN - 2774	2008/2/13	ERF-J07035	(仮称)大分・金池マンション	新生設計	構造計画研究所	RC	14	-	271.5	2394.0	39.0	40.0	大分県 大分市	高減衰積層ゴム
491	MNNN - 2783	2008/1/29	BCJ基評-IB0582-02	有明の丘基幹的広域防災拠点施設 (防災拠点有明の丘地区本部 施設棟(仮称))	日建設計	日建設計	RC (一部 S)	2	-	6110.3	9411.7	11.0	73.3	東京都 江東区	天然ゴム系積層ゴム すべり系支承 鋼製U型ダンパー 鉛ダンパー
492	MFNN - 2800	2008/3/12	BCJ基評-IB0721-02	和歌山工業高校新館		松田平田設計 構造計画研究所	RC	6	-		8523.3	28.8		和歌山県 和歌山市	
493	MNNN - 2821	2008/2/29	ERF-J07041	犬山市役所庁舎	久米設計	久米設計	SRC	7	1	2448.8	9754	27.9	32.8	愛知県 犬山市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 弾性すべり支承 U型鋼材ダンパー
494	MNNN - 2835	2008/3/3	ERF-J07040	ラフィネ上田	窪田建設	構造計画研究所	RC	12	-	413.8	3942.9	35.5	36.0	長野県 上田市	鉛プラグ挿入型積層ゴム
495	MNNN - 2847	2008/3/11	JSSI-構評-07014	(仮称)船橋市本町7丁目PJ	スターツCAM	スターツCAM 能勢建築構造研究所	RC	5	-	256.2	1127.8	15.5	16.0	千葉県 船橋市	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム支承
496	MNNN - 2849	2008/3/11	BCJ基評-IB0740-01	熊本大学医学部附属病院病棟	日本設計	日本設計	SRC	13	1		45045.3	56.7		熊本県 熊本市	
497	MNNN - 2887	2008/3/31	JSSI-構評-07015	(仮称)篠崎高齢者賃貸住宅	新東京建築設計事務所	スターツCAM ダイナミックデザイン	RC	5	-	657.7	2806.6	15.8	16.4	東京都 江戸川区	回転機構付きすべり支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム
498	MNNN - 2980	2008/5/22	UHEC評価-構19030	(仮称)LCVデータセンター棟	日建設計	日建設計	SRC	3	-	428.4	1223.2	13.6	15.7	長野県 諏訪市	天然ゴム系積層ゴム 低摩弾性すべり支承 鉛ダンパー
499	MNNN - 2993	2008/5/22	ERF-J08003	(仮称)サーバス盛高	穴吹工務店	穴吹工務店 テクトゥーケー 免震エンジニアリング	RC	14	-	555.7	6083.2	42.6	43.0	岩手県 盛岡市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
500	MNNN - 3000	2008/5/22	ERF-J08002	品川区総合庁舎	山下設計	山下設計	SRC	8	2	5295.7	31022.3	29.8	48.3	東京都 品川区	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム 直動転がり支承
501	MNNN - 3002	2008/5/22	UHEC評価-構19028	安曇野赤十字病院	日建設計 宮本忠長建築設計事務所	日建設計	RC	6	-	5802.1	21658.1	26.7	33.5	長野県 安曇野市	天然ゴム系積層ゴム 免震U型ダンパー すべり支承
502	MNNN - 3080	2008/6/20	ERF-J08013	(仮称)茨木EWビル計画	奥村組	奥村組	S	4	-	284.1	1132.3	16.0	18.9	大阪府 茨木市	回転機構付きすべり支承 復元ゴム
503	MNNN - 3015	2008/6/2	ERF-J08004	(仮称)鶴間E棟	朝日建設	酒井建築工学研究室	RC	11	-	407.1	2195.3	32.5	32.9	神奈川県 大和市	高減衰積層ゴム
504	MNNN - 3142	2008/7/9	ERF-J08007	(仮称)ナイス川崎南幸町	協立建築設計事務所	協立建築設計事務所 塩見	RC	13	-	346.7	3400.0	38.5	39.0	神奈川県 川崎市	鉛入り積層ゴム 天然積層ゴム すべり支承
505	MNNN - 3500	2008/10/31	UHEC評価-構20020	(仮称)内神田3丁目プロジェクト	芦原太郎建築事務所	芦原太郎建築事務所 織本構造設計	RC	11	-	89.0	779.6	33.4	36.9	東京都 千代田区	高減衰ゴム系積層ゴム支承 転がり支承
506	MNNN - 3501	2008/10/31	UHEC評価-構20019	(仮称)九段北4丁目プロジェクト	芦原太郎建築事務所	織本構造設計	RC	6	1	610.0	3949.7	20.7	24.4	東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ入り積層ゴム支承

超高層免震建物一覧表

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要					建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床 面積 (㎡)			軒高 (m)	最高 高さ (m)
1	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評- HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 A棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-		32136.5	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	天然ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
2	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評- HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 B棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-	7957.6	32185.0	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	同上
3	HNNN - 0026	2000/10/25	BCJ基評- HR0016	(仮称)MM21 39街区マンション計画 C棟	三菱地所	三菱地所 前田建設工業	RC	30	-		32253.8	99.8	99.9	神奈川県 横浜市	同上
4	HFNB - 0030	2000/10/30	BCJ基評- HR0015	(仮称)日本工業倶楽部会館・ 永楽ビルディング新築工事	三菱地所	三菱地所	S	30	4	4951.9	110103.6	141.4	148.1	東京都 千代田区	天然ゴム LRB
5	HNNN - 0057	2000/11/20	BCJ基評- HR0034	(仮称)アイビーハイムイーストタワー 新築工事	奥村組	奥村組	RC	20	-	1462.7	9313.2	64.2	68.9	北海道 札幌市	LRB 天然ゴム
6	HNNN - 0058	2000/11/20	BCJ基評- HR0035	(仮称)アイビーハイムウエストタワー 新築工事	奥村組	奥村組	RC	20	-	1473.1	9313.4	64.2	68.9	北海道 札幌市	LRB 天然ゴム
7	HNNN - 0064	2000/12/7	BCJ基評- HR0036	(仮称)Rプロジェクト C・D棟増築工事 C棟	菅原賢二設計スタジオ	T・R・A	RC	31	-	1382.5	25090.2	100.0	108.5	大阪府 大阪市	天然ゴム すべり支承
8	HNNN - 0064	2000/12/7	BCJ基評- HR0036	(仮称)Rプロジェクト C・D棟増築工事 D棟	菅原賢二設計スタジオ	T・R・A	RC	35	-	1337.2	29709.1	114.2	122.7	大阪府 大阪市	天然ゴム すべり支承
9	HNNN - 0083	2001/1/5	GBRC建評- 00-11B-03	(仮称)北花田グランヴェニュー6号棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	-	2295.2	15496.4	78.8	84.8	大阪府 堺市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
10	HNNN - 0085	2001/1/5	BCJ基評- HR0051	(仮称)船橋本町Project	ティーエムアイ	フジタ	RC	23	1	610.0	9977.2	69.1	74.3	千葉県 船橋市	天然ゴム LRB
11	HNNN - 0101	2002/2/2	BCJ基評- HR0054	(仮称)相模原橋本地区分譲 共同住宅(B棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	32	-	1024.9	26916.1	99.5	104.3	神奈川県 相模原市	天然ゴム 滑り支承
12	HNNN - 0101	2002/2/2	BCJ基評- HR0054	(仮称)相模原橋本地区分譲 共同住宅(C棟)新築工事	竹中工務店	竹中工務店	RC	32	-	1024.9	26630.4	99.5	104.3	神奈川県 相模原市	天然ゴム 滑り支承
13	HNNN - 0103	2001/2/22	GBRC建評- 00-11B-04	京阪くずはEブロック集合住宅A棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	24	-	7103.8	12028.4	72.7	76.4	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 鋼棒ダンパー
14	HNNN - 0105	2001/2/22	GBRC建評- 00-11B-05	京阪くずはEブロック集合住宅T棟	竹中工務店	竹中工務店	RC	42	1	7103.8	32719.7	133.3	136.8	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー オイルダンパー
15	HFNN - 0120	2001/2/16	BCJ基評- HR0046	(仮称)藤和神楽坂5丁目マンション新築工事	フジタ	フジタ	RC	26	1	1829.0	30474.5	82.9	89.0	東京都 新宿区	天然ゴム LRB
16	HNNN - 0134	2001/5/29	BCJ基評- HR0047	(仮称)西五軒町再開発計画 住居棟	戸原太郎建築事務所	織本匠構造設計事務所 住友建設	RC	24	2	1066.9	22365.9	75.3	81.0	東京都 新宿区	LRB 直動転がり支承 (GLB) 増幅機構付減衰装置 (RDT)
17	HNNN - 0138	2001/3/13	BCJ基評- HR0056-01	(仮称)横浜港南町マンション	東海興業 飯島建築設計事務所	東海興業 飯島建築設計事務所	RC	21	1	1383.1	20508.6	65.8	71.3	神奈川県 横浜市	高減衰 オイルダンパー
18	HNNN - 0145	2001/3/28	BCJ基評- HR0078	(仮称)ガーデンヒルズ三河安城タワー	名倉設計	間組	RC	20	-	711.5	9700.0	60.5	66.3	愛知県 安城市	天然ゴム 鋼棒ダンパー 鉛ダンパー
19	HNNN - 0159	2001/4/5	BCJ基評- HR0084	(仮称)東神奈川駅前ハイツ	山下設計	山下設計	SRC	19	1	1960.9	19675.3	70.5	76.3	神奈川県 横浜市	天然ゴム 鉛ダンパー オイルダンパー
20	HFNN - 0174	2001/4/19	BCJ基評- HR0080	ライオンズタワー仙台広瀬	LNA新建築研究所東北支店	LNA新建築研究所 大成建設	RC	32	1	1949.1	47053.5	99.3	109.9	宮城県 仙台市	弾性すべり支承 天然ゴム
21	HNNN - 0198	2001/5/29	BCJ基評- HR0109	日本メナード化粧品本社ビル	大成建設	大成建設	SRC	14		806.4	9550.3	63.4	67.4	愛知県 名古屋	天然ゴム 弾性すべり支承
22	HFNN - 0219	2001/6/15	BCJ基評- HR0050	(仮称)香春口三萩野地区 メディカルサポートハウジング事業	内藤 梓 竹中設計	内藤 梓 竹中設計	RC	27	1	3205.3	31527.6	88.8	96.7	福岡県 北九州市	天然ゴム 滑り支承
23	HFNN - 0235	2001/6/26	BCJ基評- HR0107	(仮称)東池袋2-38計画	大成建設	大成建設	RC	26	2	1016.0	18367.2	88.4	93.0	東京都 豊島区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
24	HFNB - 0248	2001/7/9	BCJ基評- HR0079	シンボルタワー(仮称) (免震は低層棟)	シンボルタワー設計共同 企業体	シンボルタワー設計共同 企業体	RC	7	2		1087.5			香川県 高松市	LRB 天然ゴム 弾性すべり支承
25	HFNN - 0269	2001/8/8	BCJ基評- HR0041	(仮称)大井一丁目ビル新築工事	熊谷組	熊谷組	SRC	14	2	3684.1	28177.4	62.2	72.0	東京都 品川区	天然ゴム LRB
26	HNNN - 0276	2001/8/23	BCJ基評- HR0118	相模原橋本地区分譲共同住宅(D棟)	竹中工務店	竹中工務店	RC	24	-	10349.4	24036.1	76.7	81.7	神奈川県 相模原市	積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 滑り支承
27	HNNN - 0331	2001/11/7	BCJ基評- HR0028-01	(仮称)新杉田駅前地区市街地再開発	松田平田・シグマ建築企画 設計共同事業体	松田平田・シグマ建築企画 設計共同事業体	RC	30	1	2019.8	37328.7	65.7	105.5	神奈川県 横浜市	天然ゴム LRB オイルダンパー
28	HNNN - 0344	2001/11/28	BCJ基評- HR0144-01	(仮称)大田区蒲田4丁目計画	三井建設	三井建設	RC	23	1	1141.4	17336.8	73.6	78.1	東京都 大田区	LRB オイルダンパー
29	HNNN - 0348	2001/12/21	GBRC建評- 01-11B-013	関西医科大学枚方新病院	竹中工務店	竹中工務店	RC	13	1	9469.0	71318.0	60.2	70.5	大阪府 枚方市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
30	HNNN - 0350	2001/12/21	GBRC建評- 01-11B-014	(仮称)大柵メゾン吉野	竹中工務店	竹中工務店	RC	27	-	1004.7	14765.5	85.4	86.0	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛入り積層ゴム オイルダンパー
31	HFNN - 0370	2002/1/18	BCJ基評- HR0046-02	(仮称)藤和神楽坂5丁目マンション	フジタ	フジタ	RC	26	1	1829.0	30474.5	82.9	89.0	東京都 新宿区	鉛入り積層ゴム 積層ゴム
32	HNNN - 0397	2002/2/8	BCJ基評- HR0158	(仮称)小田急海老名分譲マンションB街区	鹿島建設 小田急建設	鹿島建設 小田急建設	RC	22	1		20530.0			神奈川県 海老名市	鉛プラグ入り積層ゴム
33	HNNN - 0398	2002/2/8	BCJ基評- HR0159	(仮称)小田急海老名分譲マンションC街区	鹿島建設 小田急建設	鹿島建設 小田急建設	RC	23	1		14857.0			神奈川県 海老名市	鉛プラグ入り積層ゴム
34	HFNN - 0408	2002/2/26	BCJ基評- HR0161-01	(仮称)プレステ加茂タワー	ノム建築設計室	T・R・A 太平工業 エスバス建築事務所	RC	20		2607.2	18576.9	62.6	68.7	京都府 相楽郡	天然ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー
35	HFNN - 0417	2002/2/26	BCJ基評- HR0130-02	(仮称)恵比寿1丁目共同ビル	東急設計コンサルタント	新井組	S SRC	18	1	1640.0	28260.1	75.9	85.4	東京都 渋谷区	天然ゴム LRB キ型直動転がり支承
36	HNNN - 0419	2002/3/6	ERI-評第 0102号	(仮称)ディーグラフォート横浜	戸田建設	戸田建設	RC	21	-	902.2	13702.7	71.4	76.4	神奈川県 横浜市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
37	HFNN - 0437	2002/3/6	BCJ基評- HR0157-01	(仮称)品川駅東口B-4地区計画	大成建設	大成建設	S	19	1	2701.0	39933.0	91.1	92.1	東京都 品川区	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承
38	HNNN - 0446	2004/4/5	BCJ基評- HR0170	(仮称)品川区西五反田三丁目集合住宅	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	23		880.0	13835.0	69.4	75.4	東京都 品川区	LRB 転がり支承
39	HFNN - 0509	2002/7/3	BCJ基評- HR0190	バンダイ新本社ビル	大成建設	大成建設	S	14		934.3	13430.0	64.0	64.0	東京都 台東区	高減衰 直動転がり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床 面積 (㎡)	軒高 (m)			最高 高さ (m)
40	HNNN - 0541	2002/8/22	ERI-評第02011号	(仮称)幕張ベイタウンSH-3街区新築工事(B棟)	UG都市建築 隈研吾建築都市設計事務所	フジタ	RC	22	-	1058.0	15520.3	69.2	73.8	千葉県 千葉市	鉛入り積層ゴム
41	HNNN - 0554	2002/10/25	GBRC建評-02-11B-006	(仮称)グランドメゾン大手通一丁目	日建ハウジングシステム 日建設計	日建設計	RC	25	-	873.1	15375.9	81.2	89.5	大阪府 大阪市	積層ゴムアイソレータ 転がり支承 オイルダンパー
42	HNNN - 0568	2002/10/9	ERI-H02011	シエールタワー小倉	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	1	836.5	20786.8	115.7	124.8	福岡県 北九州市	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承 鋼製U型ダンパー
43	HFNN - 0586	2002/10/9	BCJ基評- HR0132-02	(仮称)新宿7丁目計画 住宅棟	フジタ	フジタ	RC	29	1	1172.6	15314.2	89.8	95.1	東京都 新宿区	LRB 滑り支承
44	HNNN - 0587	2002/11/7	GBRC建評-02-11B-011	(仮称)ルネJR尼崎駅前	近藤剛生建築設計事務所	アーク 前田建設工業	RC	27	-	3093.2	27730.7	84.3	88.5	兵庫県 尼崎市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 鋼棒ダンパー 弾性滑り支承
45	HNNN - 0596	2002/12/5	BCJ基評- HR0201-1	(仮称)品川区平塚3丁目マンション計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24		1161.5	12097.6	71.2	77.9	東京都 品川区	天然ゴム 鉛ダンパー 鋼棒ダンパー
46	HNNN - 0601	2002/11/7	BCJ基評- HR0208-1	山之口A地区第一種市街地再開発事業	間組	間組	RC	20		1709.8	25498.0	60.3	61.0	大阪府 堺市	天然ゴム 高減衰 弾性滑り支承 オイルダンパー
47	HFNN - 0612	2002/11/29	BCJ基評- HR0206-01	(仮称)天王洲計画	日本設計	日本設計	RC	23	1	759.5	12549.4	77.2	81.7	東京都 品川区	LRB
48	HFNN - 0621	2002/12/18	BCJ基評- HR0203-01	ひぐらしの里西地区第一種市街地再開発事業施設建築物	日本設計	日本設計	RC	25	3	1235.1	22618.7	86.9	94.0	東京都 荒川区	天然ゴム LRB
49	HNNB - 0641	2002/12/25	BCJ基評- HR0013	神保町一丁目南部地区第一種市街地再開発事業東棟	山下設計	山下設計	S	23	3	4148.6	88647.2	97.0	108.3	東京都 千代田区	
50	HFNN - 0644	2003/1/28	BCJ基評- HR0165-02	(仮称)麹町1丁目再開発ビル計画	日建設計	日建設計	S	15	2	1535.6	23879.9	67.1	67.6	東京都 千代田区	天然ゴム 鉛ダンパー
51	HNNN - 0658	2003/1/27	BCJ基評- HR0220-01	信濃毎日新聞社本社ビル	日建設計	日建設計	S	12		1593.0	16453.0	60.4	61.0	長野県 長野市	天然ゴム 一体型免震U型ダンパー 鉛ダンパー
52	HNNN - 0680	2003/2/28	BCJ基評- HR0222-01	東海大学医学部付属新病院	戸田建設	戸田建設	RC	14	1	9209.2	69142.2	74.3	75.2	神奈川県 伊勢原市	天然ゴム 弾性滑り支承 オイルダンパー
53	HFNN - 0710	2003/5/14	BCJ基評- HR0227-01	東京工業大学(すずかけ台)総合研究棟	東京工業大学 施設部 松田平田設計	東京工業大学 施設部 松田平田設計	S RC	20		1742.2	15746.3	85.3	94.9	神奈川県 横浜市	天然ゴム 一体型免震U型ダンパー オイルダンパー 鋼材ダンパー
54	HNNN - 0714	2003/4/17	BCJ基評- HR0225-01	川口1丁目一番第一種市街地再開発事業分譲住宅棟	エイアンドティ建築研究所	T・R・A	RC	34		9898.6	91801.8	111.9	113.6	埼玉県 川口市	天然ゴム LRB
55	HFNN - 0730	2003/5/14	BCJ基評- HR231-01	三島本町地区優良建築物建設工事 高層棟	ポリテック・エイディティ	ポリテック・エイディティ	RC	21	1	2993.0	32059.3	79.5	89.1	静岡県 三島市	LRB
56	HFNN - 0770	2003/6/30	BCJ基評- HR238-01	(仮称)スターズ新浦安ホテル	日本設計	日本設計	RC	24		4352.0	28525.1	86.0	87.6	千葉県 浦安市	天然ゴム すべり支承 転がり支承 オイルダンパー
57	HNNN - 0772	2003/6/30	ERI-H03007	(仮称)大森プロジェクトA棟	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	25	2	2101.4	34939.9	78.4	78.9	東京都 大田区	鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動転がり支承
58	HNNN - 0773	2003/6/30	ERI-H03008	(仮称)大森プロジェクトB棟	東急設計コンサルタント	東急設計コンサルタント	RC	25	1	1788.2	30939.9	78.4	78.9	東京都 大田区	鉛プラグ挿入型積層ゴム 直動転がり支承 U型鋼材ダンパー
59	HFNN - 0793	2003/8/27	BCJ基評- HR242-01	紅谷町三番地区優良建築物等整備事業建築物	安宅設計	T・R・A	RC	23	1	654.4	13218.6	75.6	76.2	神奈川県 平塚市	天然ゴム LRB
60	HNNN - 0794	2003/8/27	BCJ基評- HR0249-01	(仮称)北堀江1丁目計画	前田建設工業	前田建設工業	RC	32	1	1153.7	22073.6	99.4	109.0	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
61	HNNN - 0810	2003/9/1	BCJ基評- HR245-01	(仮称)芝浦工業大学豊洲キャンパス校舎棟	芝浦工業大学新キャンパス 整備設計共同体	(代表)日建設計	S	14	1	8841.6	57355.3	67.3	67.3	東京都 江東区	天然ゴム 一体型免震U型ダンパー 鉛ダンパー 弾性滑り支承
62	HNNN - 0817	2003/9/19	GBRC建評-03-11B-006	(仮称)大拓メゾン関目マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	22	-	750.9	10268.6	69.1	74.1	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム オイルダンパー
63	HFNN - 0839	2003/9/19	GBRC建評-03-11B-007	(仮称)イトーピア西天満	浅井謙建築研究所	清水建設	RC	24	1	543.6	12003.2	75.2	84.4	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承 U型ダンパー
64	HFNN - 0899	2003/12/12		武蔵浦和駅第0-1街区第一種市街地再開発事業	安井・地域計画建築研究所 設計共同企業体	安井・地域計画建築研究所 設計共同企業体	RC+S 一部 SRC	31	2	約12,300	90312.0			埼玉県 さいたま市	天然ゴム系積層ゴム 他
65	HNNN - 0938	2004/1/23	HP評-03-001	(仮称)立川錦町プロジェクト	安宅設計	フジタ	RC	21	1	972.6	13072.6	63.6	68.7	東京都 立川市	鉛プラグ入り積層ゴム
66	HNNN - 0962	2004/3/4	GBRC建評-03-11B-014	(仮称)天満一丁目	竹中工務店	竹中工務店	RC	26	-	409.6	8911.7	80.2	84.6	大阪府 大阪市	積層ゴム オイルダンパー
67	HNNN - 0982	2004/2/10	BCJ基評- HR272-01	(仮称)東京ミッドタウンプロジェクト C棟	日建設計	日建設計	RC	30	2	2816.2	57532.3	104.4	107.4	東京都 港区	天然ゴム系積層ゴム 鉛ダンパー U型鋼材ダンパー
68	HNNN - 0999	2004/3/24	ERI-H03041	(仮称)西区新町マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	-	715.3	17622.8	99.5	105.1	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
69	HFNN - 1031	2004/5/10	BCJ基評- HR280-01	大崎駅東口第3地区第一種市街地再開発事業 賃貸住宅棟	大林組東京本社	大林組東京本社	RC	28	1	2980.2	32950.6	93.7	99.0	東京都 品川区	鉛プラグ挿入型積層ゴム
70	HNNN - 1034	2004/4/14	ERI-H03050	十日町一丁目地区優良建築物等整備事業施設建築物	アール・アイ・エー 創建設計	アール・アイ・エー 塩見	RC	23	1	1080.9	18242.4	77.1	85.2	山形県 山形市	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
71	HNNN - 1061	2004/5/21	BCJ基評- HR287-01	(仮称)神宮前センチュリーマンション	鹿島建設	鹿島建設	RC	22	2	738.8	12723.7	69.0	74.1	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承
72	HNNN - 1076	2004/6/8	BCJ基評- HR293-01	(仮称)キャピタルマークタワー	日建ハウジングシステム 佐藤総合計画	佐藤総合計画 鹿島建設	RC	47	1	4300.0	99980.0	160.3	167.2	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム 滑り支承
73	HNNN - 1100	2004/7/16	ERI-H04012	(仮称)幕張ベイタウンSH-3①街区A棟	UG都市建築 隈研吾建築都市設計事務所	フジタ	RC	21	-	1008.4	17066.4	65.9	70.6	千葉県 千葉市	鉛入り積層ゴム
74	HNNN - 1107	2004/7/30	GBRC建評-04-11B-001	(仮称)西梅田超高層マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	50	1	1795.6	52524.6	168.5	177.4	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
75	HNNN - 1134	2004/8/18	GBRC建評-04-11B-005	(仮称)阿倍野松崎町マンション	浅井謙建築研究所	浅井謙建築研究所 奥村組	RC	43	1	1695.9	38768.5	151.6	161.8	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承 オイルダンパー 粘性ダンパー
76	HNNN - 1153	2004/8/31	ERI-H04015	(仮称)みなとみらい21地区40街区開発計画(1期棟)	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	30	-	5200.0	74040.0	99.8	107.3	神奈川県 横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼材ダンパー

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材	
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床 面積 (㎡)	軒高 (m)			最高 高さ (m)
77	HNHN - 1154	2004/8/31	ERI-H04016	(仮称)みなとみらい21地区40街区開発計画 (2期棟)	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	30	-	5500.0	74040.0	99.8	107.3	神奈川県 横浜市	同上
78	HNHN - 1160	2004/8/31	GBRC建評- 04-11B-004	(仮称)南堀江タワー	日建ハウジングシステム	竹中工務店	RC	38	1	1531.6	30782.7	135.9	135.9	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 U型ダンパー
79	HFNN - 1174	2004/9/24	ERI-H04019	(仮称)チャームキング・スクウェア南芦屋	藏建築設計事務所	藏建築設計事務所 大林組	RC	25	-	9118.1	38967.8	79.3	85.7	兵庫県 芦屋市	鉛入り積層ゴム すべり支承
80	HNHN - 1181	2004/10/6	GBRC建評- 04-11B-007	(仮称)アーバンライフ南本町3丁目	竹中工務店	竹中工務店	RC	33	-	590.9	12467.3	99.7	105.8	大阪府 大阪市	高減衰ゴム系積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
81	HFNN - 1200	2004/10/20	ERI-H04018	(仮称)甲府北口三丁目セイントタワーⅡ	エイアンドティ建築研究所	T・R・A	RC	25	-	840.1	15924.8	88.5	94.0	山梨県 甲府市	鉛プラグ挿入型積層ゴム 弾性すべり支承
82	HNHN - 1244	2004/11/24	ERI-H04034	港1丁目タワーマンション	小野設計		RC	31	-	814.2	16718.0	92.3	97.3	福岡県 中央区	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
83	HNHN - 1280	2005/2/8	ERI-H04047	(仮称)南船橋プロジェクト S棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	1968.9	37437.4	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム すべり支承
84	HNHN - 1281	2005/2/8	ERI-H04048	(仮称)南船橋プロジェクト N棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	2753.1	42569.5	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
85	HNHN - 1282	2005/2/8	ERI-H04041	(仮称)南船橋プロジェクト E棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	1083.5	19527.1	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
86	HNHN - 1283	2005/2/8	ERI-H04042	(仮称)南船橋プロジェクト W棟	ゼファー	構造フォルム	RC	22	-	1080.5	21112.7	70.9	75.9	千葉県 船橋市	高減衰積層ゴム
87	HNHN - 1330	2005/3/14	GBRC建評- 04-11B-010	(仮称)上本町分譲住宅	NTTファシリティーズ 清水建設	NTTファシリティーズ 清水建設	RC	41	1		37390.0			大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
88	HNHN - 1351	2005/4/5	GBRC建評- 04-11B-011	(仮称)神戸市中央区熊内町7丁目マンション	竹中工務店	竹中工務店	RC	21	-	424.3	6090.2	63.4	68.4	兵庫県 神戸市	高減衰ゴム系積層ゴム
89	HNHN - 1370	2005/4/8	GBRC建評- 04-11B-013	(仮称)豊崎分譲マンション	NTTファシリティーズ	NTTファシリティーズ	RC	25	-	772.0	15669.2	80.3	86.3	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 井型直動転がり支承
90	HFNN - 1455	2005/6/13	BCJ基評- HR0338-01	平成17年度大手町地区第一種市街地 再開発事業施設建築物	石本建築事務所	石本建築事務所	RC	20	1	4839.8	46573.2	76.9	82.8	静岡県 沼津市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承 流体系減衰材
91	HNHN - 1488	2005/7/11	ERI-H05010	(仮称)くずはW街区マンション建設計画	大林組	大林組	RC	21	-	3443.2	28157.2	69.0	74.5	大阪府 枚方市	鉛入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム すべり支承
92	HFNN - 1498	2005/7/20	BCJ基評- HR0344-01	代々木ゼミナール代々木2丁目プロジェクト	大成建設	大成建設	SRC S(一部 GFT柱) RC	26	3	1213.2	27446.5	131.1	131.1	東京都 渋谷区	天然ゴム系積層ゴム支承 弾性滑り支承 オイルダンパー
93	HNHN - 1585	2005/9/26	ERI-H05021	(仮称)スペース目黒	イクス・アーク都市設計	イクス・アーク都市設計 奥村組	RC	25	1	805.6	19765.0	82.3	86.6	東京都 目黒区	高減衰積層ゴム オイルダンパー
94	HFNN - 1702	2006/1/10	BCJ基評- HR0309-02	高島二丁目地区第一種市街地再開発事業 施設建築物	アール・アイ・イー	アール・アイ・イー 織本構造設計	RC	36	2	3967.3	54313.9	131.8	143.0	神奈川県 横浜市	鉛プラグ挿入型積層ゴム すべり系支承 減衰コマ
95	HNHN - 1721	2006/1/23	BCJ基評- HR0369-01	(仮称)上本町西タワープロジェクト	前田建設工業	前田建設工業	RC	31	-	1317.8	22853.6	98.8	106.8	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー
96	HNHN - 1758	2006/2/20	ERI-H05037	西区新町プロジェクト	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	25	-		12543.0	76.5		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー
97	HNHN - 1804	2006/2/20	BCJ基評- HR0387-01	(仮称)北品川三丁目計画	日建ハウジングシステム	前田建設工業	RC	36	1		26264.0	113.3		東京都 品川区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鉛ダンパー
98	HNHN - 1811	2006/3/30	JSSI-構評- 05004	中原消防署・ホテル	梓設計	梓設計	SRC、 RC	21	-	1350.0	14195.0	77.3	76.2	神奈川県 川崎市	天然ゴムすべり支承 転がり支承 オイルダンパー
99	HNHN - 1839	2006/4/28	GBRC建評- 05-11B-018	(仮称)大阪西天満タワー	徳岡昌克建築設計事務所	建築構造企画 山田建築構造事務所	RC	23	1		4781.9	71.4		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム すべり支承
100	HNHN - 1848	2006/5/8	BCJ基評- HR0395-02	新本部ビル(仮称)	松田平田設計	松田平田設計	S	14	1		27745.0	78.0		福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
101	HNHN - 1864	2006/5/26	BCJ基評- HR0400-01	阪神西宮駅前プロジェクト	西松建設	西松建設	RC	23	-	765.1	11688.5	77.8	84.3	兵庫県 西宮市	高減衰積層ゴム オイルダンパー
102	HNHN - 1866	2006/6/16	BCJ基評- HR0396-01	(仮称)大森共同住宅	日総研	大林組	RC	25	1	837.8	18206.7	84.3	88.2	東京都 大田区	天然ゴム系積層ゴム支承 鉛プラグ挿入型積層ゴム
103	HNHN - 1872	2006/6/8	BCJ基評- HR0403-01	(仮称)アメックス姫浜ステーションタワー	竹中工務店	竹中工務店	RC S	23	-	652.6	7586.9	74.4	75.2	福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
104	HNHN - 1883	2006/4/17	BCJ基評- HR0404-01	東静岡タワー	東畑建築事務所	戸田建設	RC	27	-	834.7	16229.0	93.0	95.4	静岡県 静岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承 オイルダンパー
105	HFNN - 1908	2006/7/11	UHEC評価- 構17010	(仮称)川崎戸手4丁目再開発事業(A敷地)	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	22	2	934.6	15070.6	69.2	77.7	神奈川県 川崎市	高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 粘性系ダンパー
106	HNHN - 1935	2006/8/14	BCJ基評- HR0412-01	(仮称)西参道プロジェクト	前田建設工業	前田建設工業	RC	24	1		13429.6	75.6	81.8	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鉛ダンパー
107	HNHN - 1939	2006/8/14	GBRC建評- 06-11B-010	(仮称)ライオンズタワー六野	竹中工務店	竹中工務店	RC	47	-		48966.9	161.9		愛知県 名古屋	天然積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム すべり支承 直動転がり支承
108	HNHN - 1969	2006/9/20		(仮称)ザ・松屋タワー	IAO竹田設計	IAO竹田設計	RC	28	1		17750.0			大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性滑り支承 オイルダンパー
109	HNHN - 1970	2006/9/11		(仮称)千里中央ノースタワー	竹中工務店	竹中工務店	RC	49	1		56217.0	157.4		大阪府 吹田市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰積層ゴム 弾性滑り支承 減衰コマ
110	HNHN - 1971	2006/9/20	UHEC評価- 構18008	(仮称)戸手4丁目南地区計画	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	22	-	1186.9	17346.4	69.2	75.2	神奈川県 川崎市	高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 粘性系ダンパー
111	HNHN - 1972	2006/8/30	UHEC評価- 構18007	(仮称)JV東雲1街区プロジェクト	大成建設	大成建設	RC	41	1	3086.0	53235.1	139.6	147.0	東京都 江東区	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承
112	HNHN - 2023	2006/11/7	BCJ基評- HR0433-01	(仮称)船橋市湊町2丁目計画	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	38	1		41196.0	129.8		千葉県 船橋市	天然ゴム系積層ゴム 鉛プラグ入り積層ゴム
113	HNHN - 2051	2006/11/16	UHEC評価- 構18021	(仮称)細工谷計画	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	35	-	1082.9	21385.6	115.6	122.9	大阪府 大阪市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり支承

No.	認定番号	認定年月	評価番号	件名	設計	構造	建築概要						建設地 (市まで)	免震部材		
							構造	階	地下	建築面積 (㎡)	延べ床 面積 (㎡)	軒高 (m)			最高 高さ (m)	
114	HNNN - 2075	2006/12/12	UHEC評価 構18018	(仮称)川崎戸手4丁目再開発事業(B敷地)	IAO竹田設計	和田建築技術研究所	RC	20	-	999.3	16223.8	61.0	64.6	神奈川県 川崎市	天然ゴム系積層ゴム 高減衰ゴム系積層ゴム 回転継ぎ目すべり系支承 粘性系ダンパー	
115	HNNN - 2089	2007/1/10	ERI-H06005	(仮称)あいおい損保新仙台ビル	ゼファー 安藤建設	ゼファー 安藤建設	S	14	-	1054.1	12824.8	59.6	66.0	宮城県 仙台市	鉛入り積層ゴム	
116	HNNN - 2090	2006/12/12	ERI-H06001- 01	(仮称)D' グラフォート郡山西口	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	26	-	816.0	12480.2	91.8	92.3	福島県 郡山市	天然積層ゴム 鉛ダンパー 弾性すべり系支承 鋼材ダンパー	
117	HFNN - 2091	2006/11/20		神宮前一丁目民活再生プロジェクト (警察施設)	安井建築事務所	安井建築事務所	RC	15	2		26791.0			東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム	
118	HNNN - 2134	2007/1/22	UHEC評価 構18024	(仮称)グランドメゾン京町堀タワー計画	長谷工コーポレーション	長谷工コーポレーション	RC	30	-	1454.6	22997.2	98.8	104.9	大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 オイルダンパー	
119	HNNN - 2144	2007/1/22	BCJ基評 HR0457-01	(仮称)ディーグラッセ上町台ハイレジデンス	日建ハウジングシステム	日建ハウジングシステム	RC	28	1		16298.0	92.3		大阪府 大阪市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 鉛ダンパー 鋼材ダンパー	
120	HNNN - 2148	2007/1/22	BCJ基評 HR0456-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業 施設建築物Ⅲ街区A棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	28	1		29608.0	92.7		東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材	
121	HNNN - 2149	2007/1/22	BCJ基評 HR0457-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業 施設建築物Ⅲ街区B棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	42	1		48905.0	144.0		東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材	
122	HNNN - 2150	2007/1/22	BCJ基評 HR0458-01	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業 施設建築物Ⅲ街区C棟	アール・アイ・エー 東急設計コンサルタント 日本設計	日本設計	RC	28	1		29415.0	97.1		東京都 世田谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 転がり系支承 流体系減衰材	
123	HNNN - 2175	2007/1/15		(仮称)東戸塚西口駅前計画	類設計室	類設計室	RC	26	1		34069.0	99.9		神奈川県 横浜市		
124	HFNN - 2240	2007/3/29	BCJ基評 HR0389-01	(仮称)ICタワー計画	竹中工務店	竹中工務店	RC SRC S	41	1		7022.3	53236.1	144.7	145.3	福岡県 福岡市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 U型ダンパー オイルダンパー
125	HNNN - 2253	2007/4/3	UHEC評価 構18027	(仮称)大島2丁目計画	浅沼組	浅沼組	RC	20	1		780.3	12233.2	64.6	70.2	東京都 江東区	天然ゴム系積層ゴム 高減衰ゴム系積層ゴム オイルダンパー
126	HNNN - 2298	2007/4/10	BCJ基評 HR0341-02	(仮称)MM21*41街区プロジェクト	東急設計コンサルタント 三井住友建設	東急設計コンサルタント 三井住友建設	RC	31	1		5338.9	81998.8	99.6	106.1	神奈川県 横浜市	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
127	HNNN - 2319	2007/5/31		(仮称)阪神御影駅前住宅棟	竹中工務店	竹中工務店								兵庫県 神戸市	弾性滑り支承 他	
128	HNNN - 2349	2007/6/22		(仮称)千葉中央タワープロジェクト	入江三宅設計事務所	入江三宅設計事務所	RC	43	1		1964.3	53592.9			千葉県 千葉市	天然ゴム系積層ゴム オイルダンパー 鋼棒ダンパー
129	HNNN - 2470	2007/9/27	ERI-H07007	(仮称)安堂寺町計画(住宅棟)	フジタ	フジタ	RC	26	1		887.3	17860.7	82.5	88.3	大阪府 大阪市	鉛入り積層ゴム
130	HNNN - 2516	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト (D4街区)A棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	24	1		69765.0	74.7		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承	
131	HNNN - 2517	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト (D4街区)B棟	三菱地所設計	三菱地所設計								茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承	
132	HNNN - 2518	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト (D4街区)C棟	三菱地所設計	三菱地所設計								茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承	
133	HNNN - 2519	2007/10/5		(仮称)つくば研究学園駅前プロジェクト (D21街区)D棟	三菱地所設計	三菱地所設計	RC	20	1		12787.0	62.8		茨城県 つくば市	鉛プラグ入り積層ゴム 弾性滑り支承	
134	HNNN - 2532	2007/11/5	ERI-H07010	(仮称)UV小倉	山本建築工房	アークブレイン	RC	20	-	1742.0	16471.9	61.6	67.4	福岡県 北九州市	鉛入り積層ゴム すべり支承	
135	HNNN - 2534	2007/11/5	ERI-H07008	マークス秋葉原	F&N総合設計	ジェーエスディー	PCaPs	25	-	329.9	4824.5	70.7	76.4	東京都 千代田区	天然ゴム系積層ゴム 免震U型ダンパー 免震鉛ダンパー	
136	HFNB - 2569	2007/11/28		丸の内2-1地区(丸の内SF計画)	三菱地所設計	三菱地所設計	S	34	4		204786.0	157.1		東京都 千代田区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム	
137	HFNB - 2720	2008/2/12	TBTC基評 11A-07001 号	(仮称)FXプロジェクト	清水建設	清水建設	RC	20	1		11343.1	135268.6	97.1	105.1	神奈川県 横浜市	高減衰ゴム系積層ゴム すべり系支承 オイルダンパー
138	HNNN - 2741	2007/12/3	BCJ基評 HR0541-01	仙台一番町プロジェクト	戸田建設	戸田建設	RC	29	1		1274.0	30337.0	99.3	105.6	宮城県 仙台市	天然ゴム系積層ゴム 弾性すべり系支承 オイルダンパー
139	HNNN - 3049	2008/6/9	CIAS横評 20-0001	(仮称)クリオ富ヶ谷計画建築物	久米設計	久米設計	RC	27	4		1310.0	29095.0	88.5	92.9	東京都 渋谷区	鉛プラグ入り積層ゴム 天然ゴム系積層ゴム
140	HNNN - 3333	2008/8/26	UHEC評価 構20011	中日新聞社品川開発計画	日建設計	日建設計	S	19	3		3743.6	69396.0	88.1	99.0	東京都 港区	鉛プラグ入り積層ゴム 鋼製U型ダンパー

## 委員会の動き

### 運営委員会

委員長 深澤 義和

運営委員会は、2/3、3/17に開催した。会員動向、収支状況を確認したほか、普及活動、記念事業等の進捗についても確認した。公益法人改革により、本会は特例法人となった。5年の猶予期間内で、新しい法人に移行するために必要な整備項目、スケジュールを検討している。新年度の事業計画に向けて、今年度の収支状況、役員体制等を点検している。

### 技術委員会

委員長 和田 章

昨年5月12日に起きた中国汶川地震から1周年を待たずに、イタリア中部で大きな地震が発生し、歴史的建築物だけでなく、それほど古いとは思えない建築物も被害を受け、300人以上の人命が失われた。宇宙開発、ナノテクノロジーなどの科学技術が進んだ21世紀になっても自然災害は止まらない。イタリアのこの地域で大きな地震が起きたのは1703年以来であり、シシリー島のメシーナ地震が1908年に起き、その後建築物の耐震設計に水平力を与える方法が提案されている。耐震工学はこの約100年の積み上げで今の技術に至っている。

しかし、各国には現在の知見が反映されていない古い建築物が多くあり、新しい建築についても確かな技術が設計者や施工者に伝わっていないこともあり、被害を受ける新旧の建物はなかなか減らない。免震構造物についても万全とはいえない。入力地震動の設定から免震部材の性質の把握まで、

我々に捉えきれていないことが多く残っている。少しでもこれらを明らかにするため、技術委員会は6の分科会、2のWGにより活発に活動している。

### 免震設計部会

委員長 公塚 正行

#### ●設計小委員会

委員長 藤森 智

「免震装置の接合部・取り付け躯体の設計指針」について部分修正を加えると共に、本指針に基づき設計基準作成WGから依頼のダンパー周りの設計例を作成している。また第5回技術委員会報告会に向けて、当委員会分の原稿作成に関する議論を行っている。

#### ●入力地震動小委員会

委員長 瀬尾 和夫

入力地震動小委員会での今期の活動は、建築基準整備促進補助金事業の分担課題『工学的基盤マップ等のデータベースのあり方に関する提案』に対処することに集中し、特別WGを設置して対応した。また、4月に開催予定の第5回技術委員会報告会に向けて活動報告の準備を行った。

#### ●設計支援ソフト小委員会

委員長 酒井 直己

「免震建物における非線形粘性ダンパー増設量の包絡解析法による、簡易な検証ツールの開発または設計資料の作成」を目標に、種々の検討作業を継続中である。現在までの検討内容を2編に分けて「2009年度日本建築学会大会学術講演会」に投稿する作業を進めている。

### 耐風設計部会

委員長 大熊 武司

免震部材WGは「免震耐風設計上での免震部材の現状と課題一覧」を作成するとともに、応答波形例に粘性系の例を追加した。風応答評価WGはランダム加振と「等価な」正弦波加振についての検討、実台風記録を利用した仮想台風モデルの作成法について議論した。部会としては「第5回技術委員会報告会」梗概集の原稿について検討した。

### 施工部会

委員長 原田 直哉

「JSSI施工標準2009」の改訂作業は、各担当の執筆原稿を集めた原稿がほぼ完成した。今後は、7月頃の刊行に向けて出版社との編集、最終調整に入る予定である。

### 免震部材部会

委員長 高山 峯夫

#### ●アイソレータ小委員会

委員長 高山 峯夫

アイソレータ小委員会では、免震構造の最新の知見を盛り込んだ「免震部材と免震設計入門(仮題)」の刊行にむけて執筆に取り組んでいる。担当者による原稿案の内容を委員会で議論しているところである。

#### ●ダンパー小委員会

委員長 荻野 伸行

アイソレータ小委員会と連携を取りながら進めることとなった「免震部材と免震設計入門(仮題)」に関するダンパーの原稿作成及びオイルダンパーの耐火性能について審議している。また、2007年7月23日にJSSI会員専用ホームページで公開した、「免震部材部会」ダ

ンパー小委員会 活動報告書」の改定版についての検討作業を開始した。

### ●水平二方向加力時の免震部材の特性と検証法WG

主査 高山 峯夫

機関誌MENSIN(63号)において積層ゴム支承の水平2方向載荷試験において積層ゴムにねじれ変形が発生し、これが積層ゴムの限界変形能力を低下させることが報告された。本WG委員会では水平2方向載荷がエネルギー吸収能力や変形能力に与える影響を検証することを目的として活動を始めたところである。

### 応答制御部会

委員長 笠井 和彦

#### ●制振部材品質基準小委員会

委員長 木林 長仁

制振部材の特性を共通評価するための検討を行っており、第一段階として、粘性系の3種類の制振ダンパーについて、等価粘性減衰係数と速度の実験的な関係をまとめた(1/29, 2/20, 3/26)。成果は第5回技術報告会で発表予定である。また、3/19にはE-ディフェンスで行われた制振建物の振動台実験の見学会を、笠井教授の案内で実施した。

### 防耐火部会

委員長 池田 憲一

すべり系装置の耐火構造認定条件の検討を継続し、認定取得に対する性能確認試験体について試験機関と調整した。耐火設計ガイドラインの執筆を継続した。オイルダンパーの耐火実験結果を検討した。

### 「免震建物の建築・設備標準」作成WG

主査 森高 英夫

同標準2001年版の改定作業を月1回のWGで実施している。6月開催予定の総会に向けて最終ドラフトを策定している。中間階免震構造を対象とした設備、EVおよびEXP.J納まり等について審議中である。また、設計可動量に対して免震効果を阻害しない設計留意事項を新たにまとめる予定である。

### 「設計基準」作成WG

主査 北村 佳久

時刻歴応答解析による免震建築物の設計基準・同マニュアル及び設計例」の改訂作業を引き続き行っている。本年の6月頃には改定作業を終えることを目標としている。

### 普及委員会

委員長 須賀川 勝

普及委員会運営幹事会を3月30日に開催し、次年度の活動計画、教育普及委員会をはじめ、各部会での委員増員などについて検討した。各部会の活動状況は以下のとおりであるが、委員会全体として順調に活動している。

### 教育普及部会

委員長代理 前林 和彦

今期は、6月以降に「応答制御の講習会」、「建築学会大会」での展示、「危機管理産業展」の出展を検討している。また前年に引き続き、記念事業支援として見学会を、6月5日に記念見学講演会(第3回)、9月17日に国際シンポジウム(第4回)で、11月以降に第5回を予定している。

### 出版部会

委員長 加藤 晋平

出版部会の全体会議は、4月22日(水)に開催されました。5月22日発行予定の会誌64号の進行状況、次の65号の内容及び執筆依頼について検討しました。

創立15周年記念事業の第三回記念見学会が大阪で開催予定であると報告された。また、4月23日に第5回技術報告会が開催され、今後各委員会の報告概要を順次会誌に掲載される事も報告された。

### 社会環境部会

委員長 久野 雅祥

2月24日に第16回委員会を開催。昨年12月に訪問した(株)日本政策投資銀行の訪問報告、関連テーマについて情報の交換などを行い、来年度活動テーマについて討議した。

日本政策投資銀行の防災格付融資制度について、委員会報告としてMENSIN NO.63 2009.2号に紹介した。

### 戸建住宅部会

委員長 中澤 昭伸

当部会の免震住宅推進WG(飯場委員長)において、2/6と3/13の2回にわたり告示免震で設計を行うにあたっての技術的な問題の内容について、話し合いを行った。内容については免震戸建て住宅の設計法の簡便化を目指し、地盤の卓越周期ごとの増幅率を取り込んだ応答スペクトル(過去のデータに基づいた)を作成し、実際の免震戸建て住宅を用いて試設計を行いその妥当性を検証している。検討内容については、JSSI設計部会の協力を得て行っている。今年度も引き続き詳細な検討を行う予定である。

## 国際委員会

委員長 齊藤 大樹

国際委員会は、今年の9月16日～18日に東京大学生産技術研究所において開催される「15周年事業国際シンポジウム」の運営委員会を兼ねており、現在、シンポジウムの開催準備を進めています。シンポジウムは、最初の2日間が技術発表会および建物見学、最終日が一般講演会の構成になっており、一般講演会では、日本、米国、中国、台湾、イタリアなどの諸外国の代表的な研究者による講演(同時通訳あり)が予定されています。ぜひ、会員の皆様の積極的な参加をお願いします。詳しくは、別に掲載する開催案内をご覧ください。

## 表彰委員会

委員長 河村 壮一

第10回(2009年)表彰委員会は8名の委員で構成されている。

このたびの第10回日本免震構造協会賞には、技術賞に3件、作品賞に11件の応募があった。功労賞への応募は無かった。応募件数はほぼ例年並である。

技術賞応募者に対するヒアリングを3月13日に、作品賞応募全作品の現地調査を2月4日から3月13日にかけて行った。これらを踏まえて第2回表彰委員会を3月30日に開催し、厳正な審査の結果、技術賞1件、技術賞(特別賞)1件、作品賞4件を選出した。また今回新たに啓発普及功績賞を設け1件を選出した。

## 資格制度委員会

委員長 長橋 純男

資格制度委員会は、当協会が認定する「免震部建築施工管理技術者」および「免震建物点検技術者」の

資格に関わる講習・試験の実施及びその合否判定に関わる事業を担当している。そこで、今年度第4期の当該期間には、1月24日(土)に砂防会館別館「淀信濃」会議室を会場として「第7回免震建物点検技術者講習・試験」を実施し、173名が受験した。この講習・試験について、当委員会は2月18日(水)開催の委員会において164名を「合格」と判定し、各受験者に通知した。

なお、平成21年度の講習・試験等の実施予定は下記の通りである。

10月4日(日)

第10回免震部建築施工管理技術者講習・試験

会場：都市センターホテル

11月8日(日)

第5回免震部建築施工管理技術者/更新講習会

会場：砂防会館

11月29日(日)

第3回免震建物点検技術者/更新講習会

会場：建築家会館

1月23日(土)

第8回免震建物点検技術者講習・試験

会場：砂防会館

## 維持管理委員会

委員長 沢田 研自

平成20年度は、免震建物点検技術者制度が発足して5年を経えており、平成20年11月30日に最初の更新講習会を、平成21年1月24日は資格試験を実施しました。またWGとして昨年度に引き続いて財団法人住宅保証機構からの委託業務「住宅瑕疵担保履行法に基づく住宅瑕疵担保責任保険引受けに必要な「免震建築物」に係る現場審査方法等の検討」について、施工部

会からの応援も得て報告書にまとめました。

維持管理委員会は、しばらく休止しておりましたが、4年に1度定期的に実施している「免震建物の維持管理基準」の見直し、「設計・施工に役立つ問題事例と推奨事例」の加筆修正、最近のコンプライアンスの問題と維持管理の関わり方など幾つかの解決すべき問題点が顕在化してきており、それらを整理すべく21年度は活動を開始することとしています。

## 記念事業委員会

委員長 川口 健一

記念事業委員会は2008年で15周年を迎えた本協会の記念事業を司っており、既にさまざまな企画が実行されつつある。現在は、コンペ部会(立道郁夫部会長)において、

「優秀修士論文賞(2009年2月28日締め切り)」

記念調査研究部会(古橋剛部会長)において、

「研究助成事業」による奨励金支給研究公募(2009年5月22日締め切り)が募集中である。

また、広報部会(加藤晋平部会長)では会員を対象とし、2009年6月5日に第3回の見学会

「天満計画新築工事建築現場見学と講演会」を企画している。さらに、記念国際ワークショップ部会(齊藤大樹部会長)において

「持続的社会のための地震応答制御建築物に関する国際シンポジウム」(2009年9月16日(水)～18日(金)、於：東京大学生産技術研究所のコンベンションホール)を大々的に開催する。これら企画の詳細は協会ホームページから見る事ができる。

現在まで、既に、下記のプロジ

エクトが成功裏に遂行された。

○「国際アイデアコンペ」(2009年3月審査終了。協会HPにて近日結果発表予定。)

○「子ども絵画コンクール～地震災害のない未来、2050年のこんな家、こんなまちなみ、こんな暮らし～」

○免震構造普及イベント「来て！見て！乗って！免震」(市民イベント実施部会 三山剛史部会長担当)

15周年を記念して様々な事業を企画し、協会として免震構造の研究開発を下支えしていく構えである。会員各位にも、是非大いに盛り上げていただきたい。

# 委員会活動報告 (2009.1.1～2009.3.31)

日付	委員会名	開催場所	人数
1.7	技術委員会/耐風設計部会/免震部材WG	事務局	12
1.9	普及委員会/戸建住宅部会/免震住宅推進WG	建築家会館3F大会議室	7
1.9	技術委員会/免震部材部会/ダンパー小委員会	事務局	8
1.9	維持管理委員会/住宅性能保証WG	〃	5
1.13	技術委員会/耐風設計部会	〃	5
1.14	技術委員会/「免震建物の建築・設備標準」作成WG	〃	9
1.14	技術委員会/「設計基準」作成WG	〃	4
1.20	国際委員会	〃	7
1.21	普及委員会/出版部会/「MENSIN」63号編集WG	〃	3
1.21	普及委員会/出版部会	〃	10
1.21	維持管理委員会/住宅性能保証WG	建築家会館1F大ホール	5
1.21	技術委員会/施工部会	建築家会館3F大会議室	12
1.22	建築計画委員会	事務局	4
1.23	技術委員会/免震設計部会/設計小委員会	〃	11
1.23	技術委員会/免震設計部会/入力地震動小委員会	建築家会館3F大会議室	13
1.26	技術委員会/防耐火部会/オイルダンパー耐火性能WG	事務局	11
1.26	技術委員会/防耐火部会	〃	13
1.27	運営委員会/企画小委員会・財務小委員会合同	〃	6
1.27	技術委員会/免震部材部会/「免震部材標準品リスト-2009-」作成WG	〃	9
1.27	技術委員会/免震部材部会/アイソレータ小委員会	〃	9
1.27	技術委員会/免震設計部会/設計支援ソフト小委員会	建築家会館3F小会議室	7
1.28	資格制度委員会/点検技術者試験部会	〃	5
1.29	記念事業委員会/記念国際ワークショップ部会/免震制振SWG	事務局	4
1.29	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	〃	10
1.29	維持管理委員会/住宅性能保証WG	建築家会館3F小会議室	5
1.30	記念事業委員会	事務局	9
1.30	普及委員会/戸建住宅部会/免震住宅推進SWG	建築家会館3F大会議室	3
2.3	技術委員会/防耐火部会/標準試験SWG	事務局	6
2.3	運営委員会	〃	13
2.6	普及委員会/戸建住宅部会/免震住宅推進WG	〃	11
2.10	維持管理委員会/住宅性能保証WG	財団法人住宅保証機構	3
2.10	技術委員会/防耐火部会/標準試験体WG	事務局	7
2.10	資格制度委員会/点検技術者審査部会	〃	3
2.12	技術委員会/「免震建物の建築・設備標準」作成WG	〃	9
2.13	技術委員会/免震部材部会/ダンパー小委員会	〃	10
2.17	技術委員会/耐風設計部会/免震部材WG	建築家会館3F大会議室	9
2.18	資格制度委員会/運営幹事会	事務局	10
2.19	国際委員会	〃	6
2.20	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	〃	6
2.23	技術委員会/防耐火部会/オイルダンパー耐火性能WG	〃	10
2.23	技術委員会/「設計基準」作成WG	〃	5
2.24	技術委員会/免震設計部会/設計支援ソフト小委員会	建築家会館3F小会議室	5
2.24	普及委員会/社会環境部会	事務局	4
2.25	技術委員会/免震設計部会/設計小委員会	〃	11
2.26	技術委員会/防耐火部会	〃	12
2.26	国際委員会/記念国際ワークショップ打合せ	〃	3
2.27	技術委員会/耐風設計部会	〃	6
3.4	国際委員会	〃	6
3.6	技術委員会/免震部材部会/水平二方向加力時の免震部材の特性と検証法WG	〃	13
3.6	技術委員会/運営幹事会	〃	15
3.9	運営委員会/企画小委員会・財務小委員会合同	〃	7
3.10	技術委員会/防耐火部会/標準試験体WG	〃	4
3.10	技術委員会/施工部会	〃	10
3.11	技術委員会/「免震建物の建築・設備標準」作成WG	〃	9
3.11	記念事業委員会/臨時委員会	〃	5
3.12	技術委員会/免震部材部会/ダンパー小委員会	〃	7
3.12	建築計画委員会	〃	5
3.13	表彰委員会	建築家会館3F大会議室	6
3.13	普及委員会/戸建住宅部会/免震住宅推進WG	事務局	10
3.16	技術委員会/免震部材部会/「免震部材標準品リスト-2009-」作成WG	〃	12

日付	委員会名	開催場所	人数
3.16	技術委員会/免震部材部会/アイソレータ小委員会	事務局	11
3.17	技術委員会/防耐火部会	建築家会館3F大会議室	16
3.17	運営委員会	事務局	12
3.17	技術委員会/耐風設計部会/免震部材WG	建築家会館3F大会議室	13
3.23	技術委員会/防耐火部会/オイルダンパー耐火性能WG	事務局	8
3.24	技術委員会/免震部材部会/水平二方向加力時の免震部材の特性と検証法WG/ 高減衰ゴム系積層ゴム支承SWG	〃	12
3.24	技術委員会/免震設計部会/設計支援ソフト小委員会	建築家会館3F小会議室	6
3.24	技術委員会/免震設計部会/設計小委員会	事務局	9
3.25	技術委員会/「設計基準」作成WG	〃	4
3.26	技術委員会/応答制御部会/制振部材品質基準小委員会	〃	13
3.27	国際委員会	〃	7
3.30	表彰委員会	建築家会館3F大会議室	9
3.30	普及委員会/運営幹事会	事務局	7
3.31	技術委員会/耐風設計部会	〃	7

## 入 会

会員種別	会員名	業種または所属
第1種正会員 賛助会員 〃	飛鳥建設(株) 木下工業(株) (株)仲構造事務所	建設業/総合 鋼構造物工事業 設計事務所/構造

## 会員種別変更

会員種別	氏名	業種
第1種正会員から賛助会員へ 〃	(株)積水ハウス (株)松村組	建設業/プレハブ 建設業/総合

## 退 会

会員種別	会員名または氏名	業種または所属
第1種正会員 〃 〃 〃 〃 〃 〃 第2種正会員 〃 賛助会員 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	(株)INA新建築研究所 (株)新井組 (株)渋澤 昭和建設(株) 須山建設(株) 大同精密工業(株) 大豊建設(株) 川股 重也 山田 周平 (株)穴吹工務店 エスケー化研(株) 大阪ラセン管工業(株) 窪田建設(株) (株)ゴウ構造 (株)テクノウェーブ 東海興業(株) 特許機器(株) (株)メタルワン建材 (株)ヤマウラ	設計事務所/総合 建設業/総合 建設業/総合 建設業/総合 建設業/総合 メーカー/免震材料(アイソレータ) 建設業/総合 東北工業大学 建設業/総合 メーカー/建築材料(耐火被覆材) メーカー/免震材料(配管継手) 建設業/総合 設計事務所/専業(構造) 建設業/建築 建設業/総合 メーカー/免震材料(配管継手) 商社(建設鋼材事業・冷鉄源事業) 建設業/総合

## 会員の資格喪失

会員種別	氏名	所 属
第2種正会員 〃	朴 相俊 南 宏一	福山大学

会員数 (2009年4月30日現在)	名誉会員 第1種正会員 第2種正会員 賛助会員 特別会員	1名 97社 170名 67社 6団体
-----------------------	--	---------------------------------

## 入会のご案内

入会ご希望の方は、次項の申込書に所定事項をご記入の上、事務局までご郵送下さい。  
入会は、理事会に諮られます。理事会での承認後、入会通知書・請求書・資料をお送りします。

会員種別		入会金	年会費
第1種正会員	免震構造に関する事業を行う者で、本協会の目的に賛同して入会した法人	300,000円	(1口) 300,000円
第2種正会員	免震構造に関する学術経験を有する者で、本協会の目的に賛同して入会した個人 理事の推薦が必要です	5,000円	5,000円
賛助会員	免震構造に関する事業を行う者で、本協会の事業を賛助するために入会した法人	100,000円	100,000円
特別会員	本協会の事業に関係のある団体で入会したもの	別 途	—

## 会員の特典など

	総会での 議決権	委員会 委員長	委員会 委 員	会誌送付部数	講習会・書籍等
第1種正会員	有/1票	可	可	4冊/1口 10冊/2口 20冊/3口	会員価格
第2種正会員	有/1票	可	可	1冊	会員価格
賛助会員	無	不可	可	2冊	会員価格

お分かりにならない点などがありましたら、事務局にお尋ねください

### 社団法人日本免震構造協会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階  
TEL：03-5775-5432  
FAX：03-5775-5434  
E-mail：jssi@jssi.or.jp

## 社団法人日本免震構造協会 入会申込書〔記入要領〕

第1種正会員・賛助会員・特別会員への入会は、次頁の申込み用紙に記入後、郵便にてお送り下さい。入会の承認は、理事会の承認を得て入会通知書をお送りします。その際に、請求書・資料（協会出版物等）を同封します。

記載事項についてお分かりにならない点などがありましたら、事務局にお尋ねください。

1. 法人名（口数）…口数記入は、第1種正会員のみです。
2. 代表名とは、下記の①または②のいずれかになります  
第1種正会員につきましては、申込み用紙の代表権欄の代表権者または指定代理人の□に✓を入れて下さい。
  - ①代表権者 ……法人（会社）の代表権を有する人  
 例えば、代表権者としての代表取締役・代表取締役社長等
  - ②指定代理人 ……代表権者から、指定を受けた者  
 こちらの場合は、別紙の指定代理人通知（代表者登録）に記入後、申込書と併せて送付して下さい。
3. 担当者は、当協会からの全ての情報・資料着信の窓口になります。  
 例えば……総会の案内・フォーラム・講習会・見学会の案内・会誌「MENSHIN」・会費請求書などの受け取り窓口
4. 建築関連加入団体名  
 3団体までご記入下さい。
5. 業種：該当箇所○をつけて下さい。{        } 欄にあてはまる場合も○をつけて下さい  
 その他は（        ）内に具体的にお書き下さい。
6. 入会事由…例えば、免震関連の事業展開・○○氏の紹介など。

### 社団法人日本免震構造協会事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館 2階  
 TEL：03-5775-5432  
 FAX：03-5775-5434  
 E-mail：jssi@jssi.or.jp



## 社団法人日本免震構造協会「免震普及会」に関する規約

平成11年2月23日  
規約第1号

### 第1（目的）

社団法人日本免震構造協会免震普及会（以下「本会」という。）は、社団法人日本免震構造協会（以下「本協会」という。）の事業目的とする免震構造の調査研究、技術開発等について本協会の会報及び活動状況の情報提供・交流を図る機関誌としての会誌「MENSHIN」及び関連事業によって、免震構造に関する業務の伸展に寄与し、本協会とともに免震建築の普及推進に資することを目的とする。

### 第2（名称）

本会を「(社)日本免震構造協会免震普及会」といい、本会員を「(社)日本免震構造協会免震普及会会員」という。

### 第3（入会手続き）

本会員になろうとする者（個人又は法人）は、所定の入会申込書により申込手続きをするものとする。

### 第4（会費）

会費は、年額1万円とする。会費は、毎年度前に全額前納するものとする。

### 第5（入会金）

会員となる者は、予め、入会金として1万円納付するものとする。

### 第6（納入金不返還）

納入した会費及び入会金は、返却しないものとする。

### 第7（登録）

入会手続きの完了した者は、本会員として名簿に登録し、本会員資格を取得する。

### 第8（資格喪失）

本会の目的違背行為、詐称等及び納入金不履行の場合は、本会会員の資格喪失するものとする。

### 第9（会誌配付）

会誌は、1部発行毎に配付する。

### 第10（会員の特典）

本会員は、本協会の会員に準じて、次のような特典等を受用することができるとする。

- ① 刊行物の特典頒付
- ② 講習会等の特典参加
- ③ 見学会等の特典参加
- ④ その他

### 第11（企画実施）

本会の目的達成のため及び本会員の向上の措置として、セミナー等の企画実施を図るものとする。

### 附則

日本免震構造協会会誌会員は、設立許可日より、この規約に依る「社団法人日本免震構造協会免震普及会」の会員となる。

## 社団法人日本免震構造協会「免震普及会」入会申込書

申込書は、郵便にてお送り下さい。

申 込 日 (西暦)		年 月 日	*入会承認日	月 日
*コード				
ふりがな 氏 名		印		
勤 務 先	会 社 名			
	所 属 ・ 役 職			
	住 所	〒 -		
	連 絡 先	TEL ( )	-	
		FAX ( )	-	
自 宅	住 所	〒 -		
	連 絡 先	TEL ( )	-	
		FAX ( )	-	
業 種	該当箇所に○をお付けください	A：建設業 B：設計事務所 C：メーカー ( )		
	業種Cの括弧内には、分野を記入してください	D：コンサルタント E：その他 ( )		
会誌送付先	該当箇所に○をお付けください	A：勤務先 B：自 宅		

\*本協会にて記入します。



# 平成20年度「免震建物点検技術者試験」合格者発表

平成20年度免震建物点検技術者試験は、平成21年1月24日(土)東京の砂防会館にて行われました。

試験の結果を公正かつ慎重に審議のうえ、下記164名を合格者と決定いたしました。合格者は、登録申請終了後、本協会より「免震建物点検技術者登録証」が発行されます。現在、登録申請の受付を行っております。登録期限は、平成22年2月19日までとなっております。

社団法人日本免震構造協会  
 会長 西川 孝夫  
 資格制度委員会委員長 長橋 純男

(氏名五十音順・敬称略)

安芸 功一	大山 祐二	子田 裕	高田 勝司	新田 剛治	宮川 力也
天津 孝一	岡田 敦郎	小竹原 寛	高田 雄一	根岸 利幸	三宅 伸征
新井 貴己	緒方 具視	後藤 俊明	高橋 麻記	野島 秀雄	三幸 謙一
安斎 竜児	小口 真輝	小西 実	高林 智広	野村 幸雄	弥勒院 隆秀
池田 一成	奥村 芳則	駒井 悟	竹内 貞光	野本 篤史	村上 綾介
池田 大輔	小田 宗平	近藤 明洋	竹中 吉晴	馬場 清人	村杉 昌治
石井 貴章	小野 正貴	酒井 和三	田代 一人	浜田 剛	村山 潤
石谷 拓治	甲斐 康夫	酒井 豊	田中 健児	比嘉 マリ	森崎 伸也
石原 卓也	柿澤 雅彦	迫田 守	田中 幸男	平嶋 秀治	森田 賢太郎
板橋 修	加古 純一	笹木 林則	田谷 清	深田 達朗	森吉 静二
市川 浩一	加地 孝敏	佐藤 孝之	地場 恵介	福田 雅	八木 龍二
乾 善明	加藤 隆士	佐藤 春彦	辻 一行	福松 秀人	矢野 正勝
今井 基雄	加藤 裕之	佐藤 弘康	津田 知英	藤元 伸次	山内 守
今井 祐輔	加藤 芳樹	佐藤 光典	土田 秀明	船見 晃啓	山口 克彦
今岡 達彦	金丸 義直	里見 鐵夫	坪井 正充	古谷 賢治	山崎 貞弘
井町 昌和	金岡 正一	佐野 友治	寺澤 正文	星 富男	大和 洋英
今林 一哉	金子 修平	茂森 健一	寺本 和久	星野 明弘	山本 幸司
今村 吉宏	狩谷 昌博	篠崎 紀英	梶野 晃	細井 俊博	山本 将嗣
井村 秀美	河井 将也	柴田 剛志	徳田 達哉	堀井 平八朗	横並 努
岩井 潔	川田 享司	島村 忠之	豊島 憲一	堀内 康史	横山 貴美
内田 守人	菊池 信哉	白田 稔	中島 邦男	堀江 秀和	吉村 正年
生形 崇	菊地 昌之	末 真彦	中谷 秀樹	牧 尚志	輪島 彰人
梅津 朋岳	北野 光彦	末松 友孝	中摩 信宏	政 二 昇	鷺山 勝成
大河原 光雄	木村 和宏	鈴木 一喜	中村 幸男	増井 勝彦	和田 雅洋
大久保 鉄男	木村 孝一	鈴木 勝憲	成田 裕一	欄木 龍大	
太田 雅己	久次米 薫	鈴木 重邦	西居 昭彦	松本 博幸	
大歳 浩	工藤 孝光	関 和正	西村 栄二	水上 正春	
大庭 正俊	倉田 健一	大道 博幸	西山 和司	宮川 和利	

## ◇ 2009年春の叙勲 受章

事務局

第2種正会員の岡本 伸氏が、2009年春の叙勲 瑞宝中綬章を受章されました。  
岡本氏は、平成11年より平成17年まで当協会の国際委員会委員長を務められ、現在は委員としてご活躍中です。

## ◇ 平成21年度通常総会開催のお知らせ

事務局

日 時：平成21年6月4日(木) 15:30～  
場 所：明治記念館 2階「鳳凰の間」  
東京都港区元赤坂2-2-23 (JR信濃町駅より徒歩5分)

※ 総会終了後、協会賞の表彰式・国際アイデアコンペ表彰式・優秀修士論文賞表彰式および懇親会を予定しています。

## ◆ 平成21年度「免震部建築施工管理技術者講習・試験」のお知らせ

資格制度委員会

日 時：平成21年10月4日(日) 11:00～17:00  
場 所：都市センターホテル 3階「コスモスホール」  
東京都千代田区平河町2-4-1

※ 受験資格・申込み方法等、詳細は7月1日にホームページに掲載予定ですのでこちらをご覧ください。  
<http://www.jssi.or.jp/>

## ◆ 平成21年度「免震建物点検技術者講習・試験」のお知らせ

資格制度委員会

日 時：平成22年 1月23日(土) 11:00～16:00  
場 所：砂防会館<sup>さぼう</sup> 別館会議室  
東京都千代田区平河町2-7-5

※ 受験資格・申込み方法等、詳細は10月15日頃にホームページに掲載予定ですのでこちらをご覧ください。  
<http://www.jssi.or.jp/>

# 行事予定表 (2009年6月～9月)

■ は、行事予定日など

## 6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

- 6/4 平成21年度通常総会、理事会、協会賞表彰式、国際アイデアコンペ表彰式、優秀修士論文表彰式、懇親会(東京:明治記念館)
- 6/4 平成21年日本免震構造協会協会賞募集
- 6/5 記念事業/第3回見学講演会(大阪)
- 6/16 通信理事会

※6/17 協会設立記念日

## 7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 7/1 平成21年度「免震部建築施工管理技術者」講習・試験案内送信、HP掲載
- 7/16 通信理事会

## 8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

- 8/17 通信理事会
- 8/26～29 免震フェア2009 in 日本建築学会大会(仙台)
- 8/28 平成21年度「免震部建築施工管理技術者」講習・試験申込受付締切り

## 9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

- 9/中旬 理事会(JSSI会議室)
- 9/16～18 記念事業/国際シンポジウム(東京:東大生研)

## 「第4回 粘性系ダンパーによる既存建築物の制振補強に関するシンポジウム」開催のご案内

例年開催している標記シンポジウムについて、今年も下記要領で開催を予定しております。尚、講演内容については変更も有りますので、下記のHPアドレスでご確認くださいませ。

主催：早稲田大学創造理工学部建築学科曾田研究室 早稲田大学理工学研究所

協賛：(社)日本建築構造技術者協会(JSCA) (社)日本免震構造協会(JSSI)

日時：2009年6月12日(金)13時～17時30分

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス(旧大久保キャンパス)57号館201教室

プログラム：

13：00 開会の挨拶(曾田五月也 早稲田大学)

13：05 戸建て住宅用制振構法の現状と課題(曾田五月也 前出)

13：30 圧効きオイルダンパーによる制振(補強)構法

1) 構法の概要と実大振動実験による制振効果の検証(宮津裕次 早稲田大学)

2) 振動実験の解析的検証および地震応答解析(松永裕樹 早稲田大学)

3) 耐震計算法(曾田五月也 前出)

4) 質疑応答

14：45

休憩

15：00 第2部

1) 減衰性能評価の必要精度について(岩田範生 近畿大学)

2) 低層戸建て住宅の減衰性能評価(宋成彬 早稲田大学)

3) 超高層RC住宅の実測による減衰性能評価(平田裕一 三井住友建設)

4) 薄板軽量形鋼構造(スチールハウス)の制振化に関する研究(脇田健裕 中部大学)

5) 戸建て住宅へ適用する滑り基礎構造の実用化に向けて(曾田五月也 前出)

6) 3次元免震住宅の設計・施工(未定 構造計画研究所)

17：00

総合討論・総括

17：30～

懇親会

定員：300名

参加費：一般2,000円 学生1,000円(資料代含む)

懇親会費：3,000円

問合せ：早稲田大学創造理工学部建築学科曾田研究室

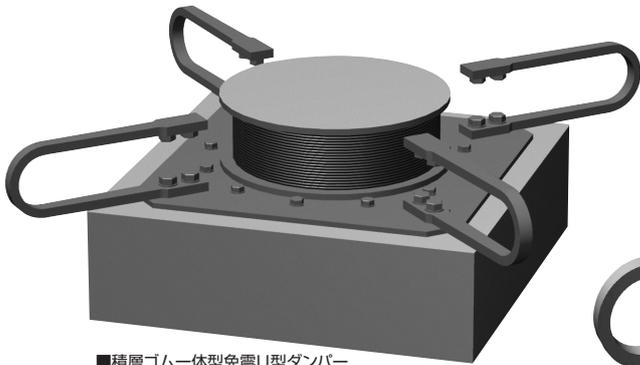
Tel&Fax : 03-5286-3278

E-Mail : symp2009@soda1.soda.arch.waseda.ac.jp

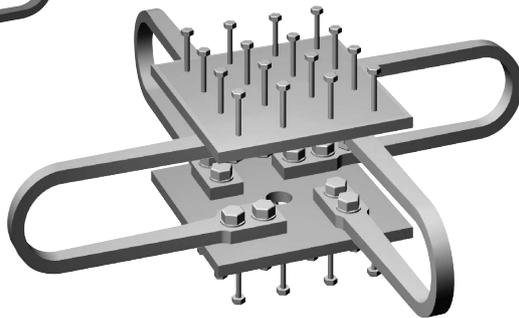
HPaddress : <http://www.soda.arch.waseda.ac.jp/>

※事前参加申込みは、所属、氏名、メールアドレス、懇親会参加の有無を記入の上、メール、FAX等でお送りください。

# 新日鉄エンジニアリングの 免震シリーズ



■積層ゴム一体型免震U型ダンパー



■別置型免震U型ダンパー



■鉛ダンパー

さまざまな設計・施工ニーズに  
応える2タイプの免震U型ダンパー

## 免震U型ダンパー

- 1 **低コスト** 従来の免震鋼棒ダンパーに比べ、降伏せん断力当たりの価格が安く、経済的です。
- 2 **自由度** 積層ゴムアイレーターと一体にすることが可能です。また、ダンパーのサイズ、本数や配置、組み合わせを選択できます。
- 3 **無方向性** 免震U型ダンパーの360度すべての方向に対し、ほぼ同等の履歴特性を示します。
- 4 **メンテナンス** 地震後のダンパー部分の損傷程度を目視にて確認でき、点検が容易です。また、万が一の地震後におけるダンパー交換も可能です。

強く、安く、扱いやすい  
純鉛ダンパー

## 免震鉛ダンパー

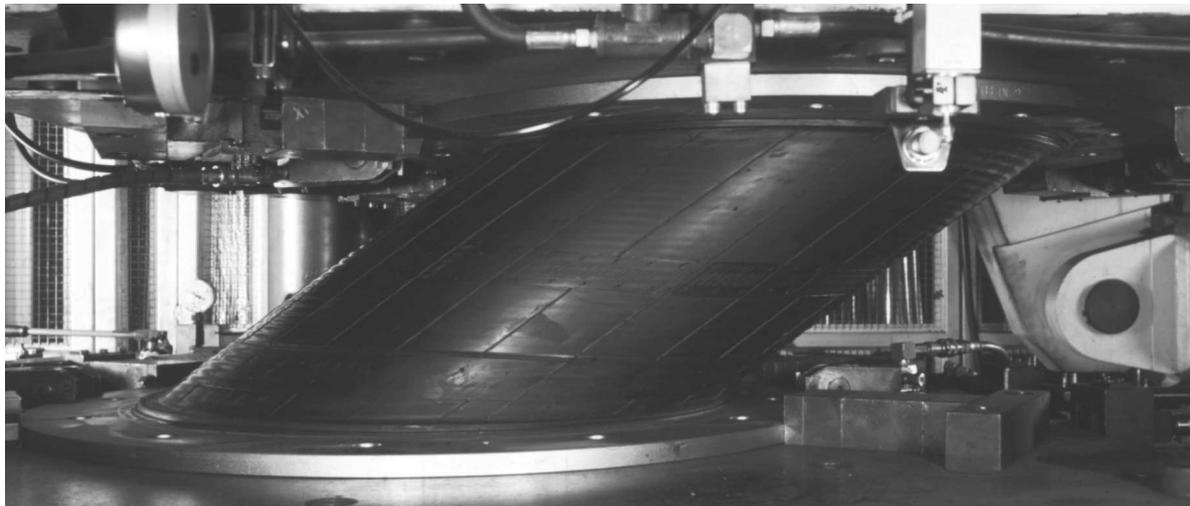
- 1 **高品質** 純度99.99%の純鉛を使用、数mmの変位から地震エネルギーを吸収します。また800mm以上の大変形にも追従できます。
- 2 **低コスト** 従来の径180の鉛ダンパーと比べ、2倍以上の降伏せん断力をもち、経済的です。
- 3 **メンテナンス** 地震後のダンパー交換も容易です。また変形した鉛ダンパーは再加工後、再利用できるため、廃棄物になりません。

**BRIDGESTONE**

ブリヂストン免震ゴム

# マルチラバーベアリング

マルチラバーベアリングは、ゴムと鋼板でできたシンプルな構造。上下方向に硬く、水平方向に柔らかい性能を持ち、地震時の揺れをソフトに吸収し、大切な人命を守ります。

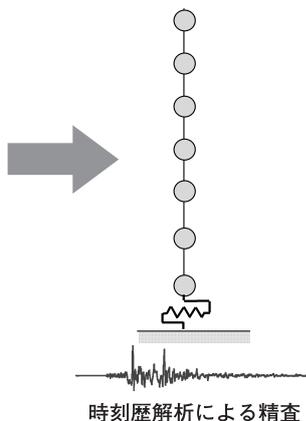
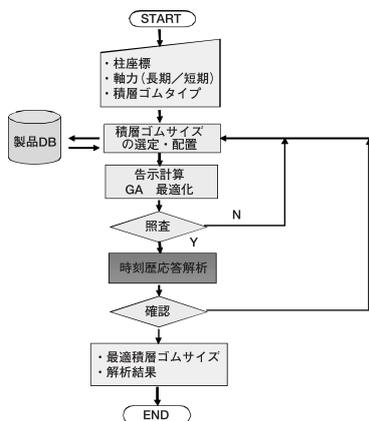


水平せん断試験風景

ブリヂストンの設計支援サービス

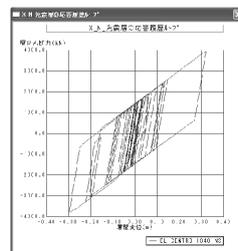
## 免震部材配置計画支援プログラム 新バージョン **LAP<sup>2</sup>+t**

- ・免震部材を配置し応答計算を実行するソフト。
- ・告示計算と時刻歴解析の両手法での検討が可能。
- ・多様な模擬地震波を装備。
- ・ホームページより無償ダウンロード。



階	積層数	積層厚(mm)	積層径(mm)	積層径(mm)	積層径(mm)
7	1000	1400	1400	1400	1400
6	1000	1200	1200	1200	1200
5	1000	1000	1000	1000	1000
4	1000	1000	1000	1000	1000
3	1000	1000	1000	1000	1000
2	1000	1000	1000	1000	1000
1	1000	1000	1000	1000	1000

上部構造物の  
モデル入力



免震層の  
荷重履歴曲線

ホームページアドレス <http://www.bridgestone-dp.jp/dp/kentiku/mensin/>

お問合わせ先 **株式会社ブリヂストン** 土木・建築資材販売促進第2部 免震販売促進課

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-6-6 八重洲センタービル9階 TEL.03-5202-6865 FAX.03-5202-6848  
e-mail menshin@group.bridgestone.co.jp

# RSL 免震システム

Rubber bearing, Steel damper, Lead damper

## 安全な都市空間を築く 住友金属鉱山シポレックスの免震技術

### **R** 信頼性 Reliability

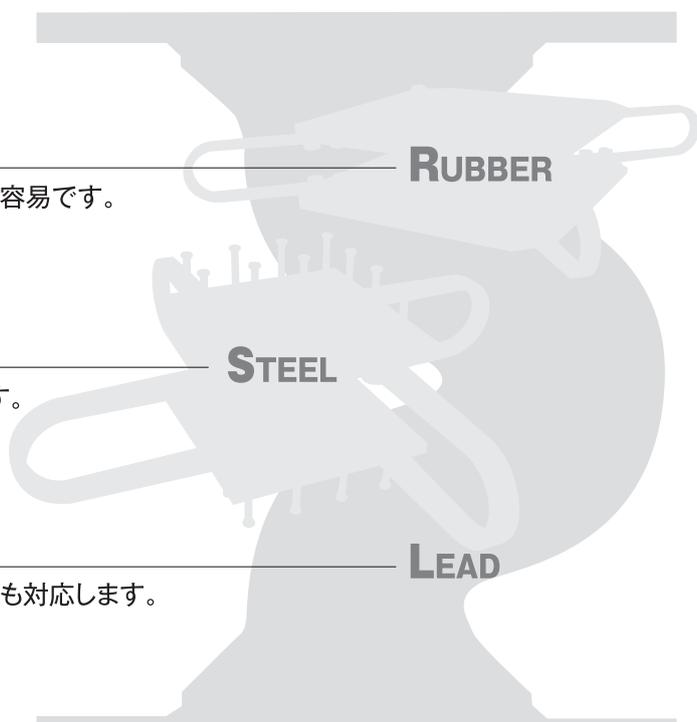
設置後の免震性能が明確に確認でき、メンテナンスも容易です。

### **S** 低価格 Saving-Cost

耐震建築や他の免震材料に比べて高性能・低価格です。

### **L** 自由設計 Liberty

偏心建物や不整形な建物など、斬新な建築デザインにも対応します。



#### 鉛ダンパー

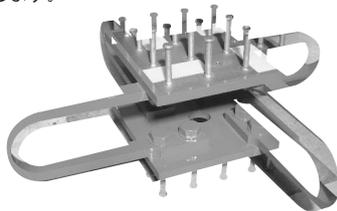
地震のエネルギーをダンパーの塑性変形によって吸収し、熱エネルギーに変換します。比較的小規模な地震から大規模な地震まで、その効果を発揮。

非鉄金属総合メーカー・住友金属鉱山グループならではのノウハウが優れた信頼性に息づきます。



#### U型ダンパー

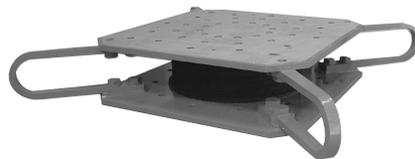
耐力あたりの価格が安く済むU型ダンパーは、大規模地震でその真価を発揮します。設計コンセプトに応じた免震性能を、鉛ダンパーとU型ダンパーとの組み合わせで経済的に実現します。



#### 積層ゴム一体型U型ダンパー

積層ゴムアイソレータとU型ダンパーの一体化により、アイソレータ機能とダンパー機能を併せ持たせた 2in1 タイプ。

省設置スペース(=空間有効活用)と施工工数軽減のニーズにお応えします。



設計条件や  
建築上の制約などにより応じた  
最適な免震システムの構築まで  
お気軽にご相談下さい。

 住友金属鉱山シポレックス株式会社  
免制震材料部

〒105-0004 東京都港区新橋5-11-3 (新橋住友ビル)  
【TEL】 03-3435-4676 【FAX】 03-3435-4681  
【E-Mail】 Lead\_Damper@ni.smm.co.jp  
【URL】 <http://www.sumitomo-siporex.co.jp/smm-damper/>

# 免震ゴムから免震フレキまで...

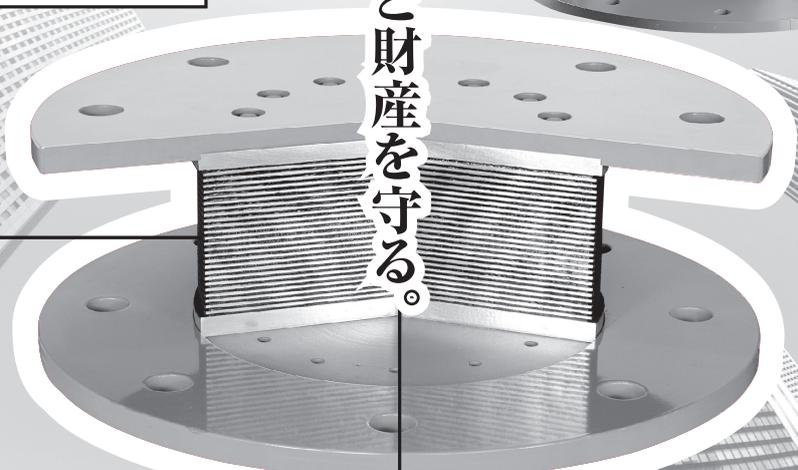
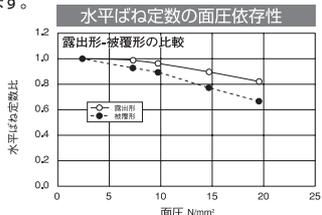
クラシキから免震構法のキーデバイスと安心をお届けします。

## 免震ゴム

地震から生命と財産を守る。

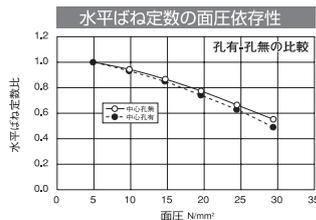
### 中間鋼板露出型

中間鋼板が側面に露出した中間鋼板露出型です。中心孔がなく、高面圧でも安定した性能を発揮します。



### 中心孔無しの強い構造

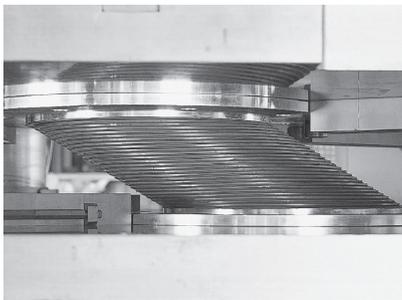
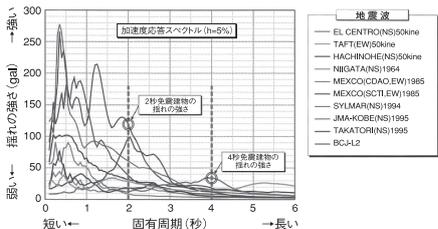
中心孔が無い積層ゴムアイソレータは、座屈に強く、高面圧でも性能を発揮、安定した復元力が可能です。



U型ダンパー一体型積層ゴム

### 4秒免震で大きな安心を

免震構造の一次固有周期を4秒以上にする地震波の種類に関わらず建物の応答レベルが小さくなります。



水平変型状態



国土交通大臣認定書



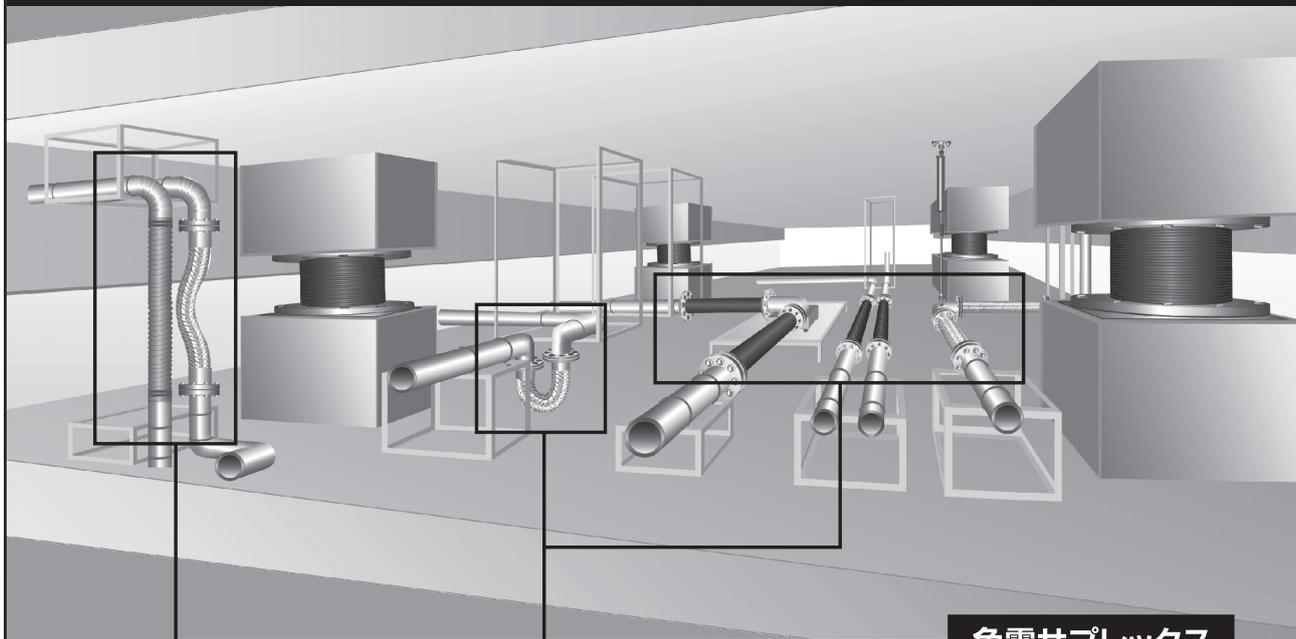
**倉敷化工株式会社**

本社/〒712-8555 岡山県倉敷市連島町矢柄四の町4630  
TEL.(086)465-1715(代) FAX.(086)465-1714

<http://www.kuraka.co.jp/sanki/mensin.html>

# 免震サプレックス

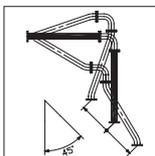
免震ビルの動きに追随し、地震からライフラインを守ります。



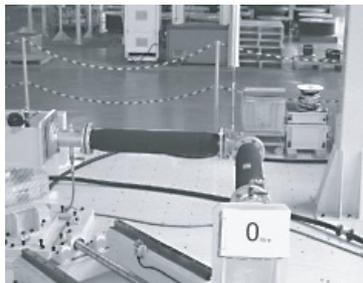
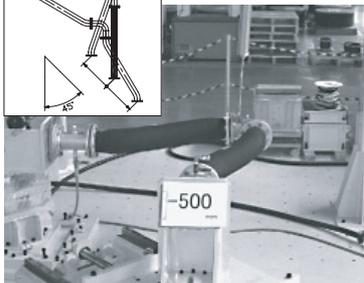
設置例



免震構造は、積層ゴムによってビルを地盤から切り離し、地震のエネルギーを直接ビルに伝えません。しかし、それだけでは、ビルと地盤の相対変位によりライフラインは寸断されてしまいます。ライフラインを守るためには、大きな変位吸収が可能なフレキシブルジョイントが必要不可欠です。免震サプレックスは、免震積層ゴムメーカーが提供する免震用フレキシブルジョイントであり、地震の揺れを柔軟に吸収し、ビルのライフラインの安全を確保します。そして、この『免震サプレックス』は、免震積層ゴムと同様、国内の厳しい試験・検査・品質管理により皆様の生活を支えています。



性能試験／天吊りタイプ(ゴム)



**倉敷化工株式会社**

本社／〒712-8555 岡山県倉敷市連島町矢柄四の町4630  
TEL.(086)465-1715(代) FAX.(086)465-1714

<http://www.kuraka.co.jp/sanki/mensin.html>

# TOZEN

NEW

## 免震継手システム SQ2

SEQULEX2 セキュレックス2



# 免震・層間・ 変位吸収継手の パイオニア

**Fシステム** 大変位性、施工性などに優れた性能を発揮する横引き・斜め配管取付用免震システム。

**Hシステム** サスペンションと継手を組み合わせて高い免震性能を発揮。スプリング内蔵型免震システム。

**Cシステム** 国内免震システム第一号の豊富な実績と確かな信頼性のコントローラ、ステージ型、免震システム。

**Vシステム** 低コスト化を追求した縦配管・垂直取付け免震システム。

**Uシステム** 継手一本で低コスト化を実現。さらに省スペースでも対応可能な免震システム。

**免震ドレイン** 簡易的な施工で変位吸収が可能な排水用免震継手。

**Jシステム** 空調・排煙・煙道・煙突用免震システム。

**Bシステム** 【**縦型**】伸縮型ボールジョイントを採用し省スペース化を実現した免震システム。

**Bシステム** 【**横型**】高温、高圧、大口径に適したボールジョイントを採用した免震システム。

### 住宅免震用配管継手

#### ハウズドレイン (排水用)

短時間で最大免震量500mmまで対応可能な  
縦取付け専用の排水免震継手。



#### ハウズドレインF (排水用)

縦取付けはもちろん、横取付け(水平)も可能(最大免震量700mm)。  
評価方法基準における維持管理対策等級3にも適応。



#### アクトホース (給水用)

「ねじれ」を防止する回転機能付き。  
最大免震量500mmまで対応可能な免震継手。



トーゼン産業株式会社

東京営業所 TEL.(03)3801-2091(代)  
福岡出張所 TEL.(092)511-2091(代)

Eメールアドレス: suishin@tozen.co.jp  
URL: http://www.tozen.co.jp/

大阪営業所 TEL.(06)6578-0310(代)  
札幌出張所 TEL.(011)614-5552(代)

ISO9001 認証取得  
★HPからはDXFデータをダウンロードできます。

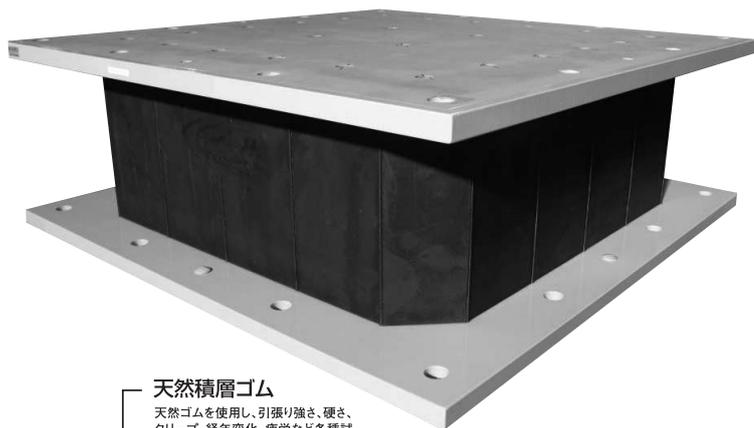
仙台営業所 TEL.(022)288-2701(代)  
名古屋営業所 TEL.(052)243-2092(代)

# 先進の免震設計に、信頼で応える オイルスの免震装置

## 〈角型〉鉛プラグ・積層ゴム一体型免震装置

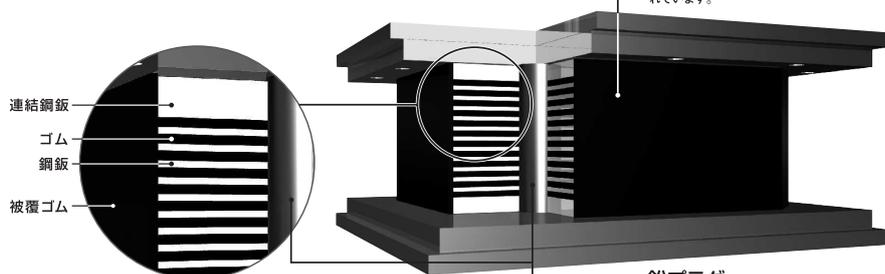
# LRB-S

- 従来のLRBの性能を維持するとともに、躯体と免震装置の経済的な設計が出来るエコノミーデザインです。
- 水平全方向で安定した特性を示し、大変形に対する信頼性も確認されています。
- レトロフィットなどでの柱の収まりが良く、耐火被覆などが容易で、低コスト化できます。
- 丸型に対し、ワンランク下のサイズで対応できるため、設置面積を小さくできます。



### 天然積層ゴム

天然ゴムを使用し、引張り強さ、硬さ、クリープ、経年変化、疲労など各種試験により十分な耐久信頼性が確認されています。



連結鋼板  
ゴム  
鋼板  
被覆ゴム

### 鉛プラグ

高純度の鉛を使い、各種試験において減衰材料として優れた特性と耐久性が確認されています。



大型試験機によるLRBの大変形性能試験

## 滑り天然積層ゴム型免震装置

# SSR

長周期化を可能にする、  
オイルス弾性すべり支承

- 摩擦係数 $\mu=0.01$ 、 $\mu=0.03$ 、 $\mu=0.13$ と豊富なバリエーションとサイズをご用意しています。
- 最大鉛直荷重33,500kNまで揃えています。
- 小さな荷重でも変形量を確認し、免震化を可能にします。



### 天然積層ゴム

天然ゴムを使用し、引張り強さ、硬さ、クリープ、経年変化、疲労など各種試験により、十分な耐久信頼性が確認されています。

### 摺動材(オイルス滑り材)

オイルス滑り材は、耐荷重性、耐磨耗性、摩擦係数、速度特性など各種試験により、十分な耐久信頼性が確認されています。

※SSRはLRBやRBなどの免震装置と組み合わせて使用します。

**OILES** オイルス工業株式会社

〒105-8584 東京都港区浜松町1-30-5 浜松町スクエア10階 <http://www.oiles.co.jp/>  
第三事業部 TEL.03-3578-7933 FAX.03-3578-7940

# 国土交通大臣の柱耐火3時間認定を取得! (適合積層ゴム：天然ゴム系)

免震建築物の積層ゴム用耐火被覆材

国土交通大臣認定：  
FP180CN-0153

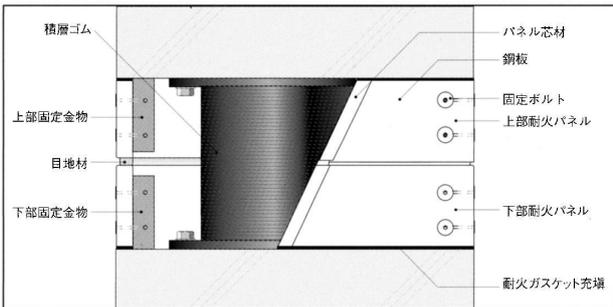
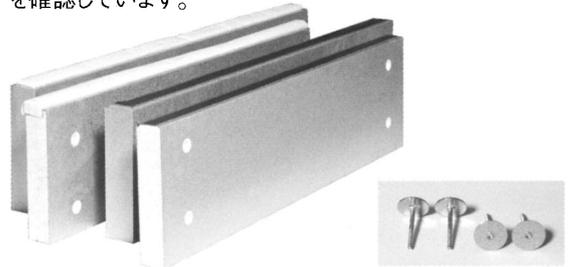
## メンシガードS



- これまでのように防災評定をかける煩わしさがなくなります。  
(天然ゴム系以外は従来通り評定が必要です。)
- 中間層免震の場合、積層ゴムにメンシガードSを施す事により免震層を駐車場や倉庫として有効利用ができます。
- ボルト固定による取り付けの為、レトロフィット工法における積層ゴムの耐火被覆材として最適です。
- 従来の耐火材に比べ美しくスマートに仕上がります。
- 表面にガルバリウム鋼板を使用しているため、物が当たった時の衝撃に対しても安全です。
- 専用ボルトによる固定のため、簡単に脱着ができ積層ゴムの点検が容易に行えます。

**性能**

- 耐火試験を行い、耐火3時間性能を確認しています。
- 変位追従性能試験を行い、地震時の変位に追従する事を確認しています。



※材質 耐火芯材：セラミックファイバー硬質板 表裏面鋼板：ガルバリウム鋼板

**標準寸法**

積層ゴム径	変位 (mm)	標準寸法 (仕上がり外寸)
600 φ	±400	1,120×1,120
650~800 φ		1,320×1,320
850~1000 φ		1,520×1,520
1100~1200 φ		1,720×1,720
1300 φ		1,920×1,920

※これ以外の積層ゴム径、変位量についてはご相談ください。

### 免震建築物の防火区画目地

## メンシンメジ

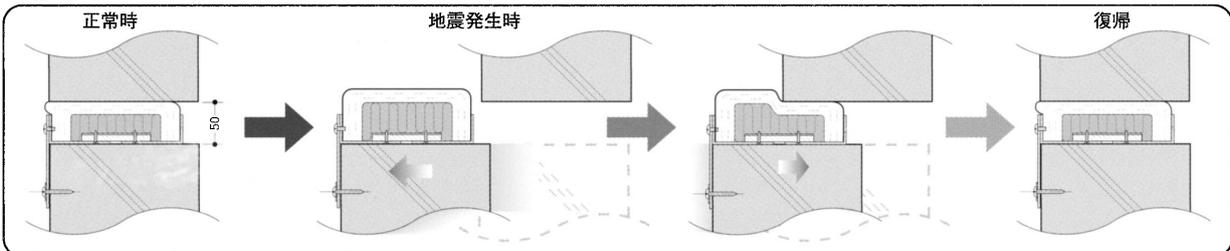


- 耐火2時間性能試験を行い、加熱120分後の裏面温度が260℃以下であることを確認しています。
- 400mm変位試験を行い、変位前後で異常が無い事を確認しています。

(単位：mm)

種類	厚さ	幅	長さ
一般品	62.5	100	1,040

**変位追従モデル**



◎メンシガードS、メンシンメジのご使用に際し、場合によっては(財)日本建築センターの防災評定を受ける必要があります。ご相談ください。



**ニチアス株式会社**

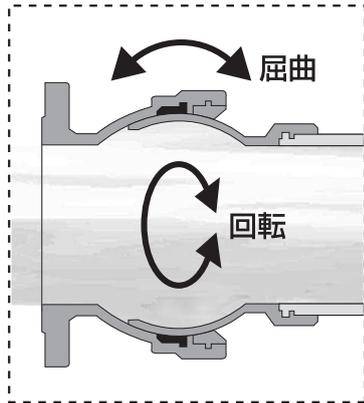
本社 / 〒105-8555 東京都港区芝大門1-1-26

建材事業本部 ☎ 03-3433-7256    名古屋営業部 ☎ 052-611-9217  
 設計開発部 ☎ 03-3433-7207    大阪営業部 ☎ 06-6252-1301  
 東京営業部 ☎ 03-3438-9751    九州営業部 ☎ 092-521-5648

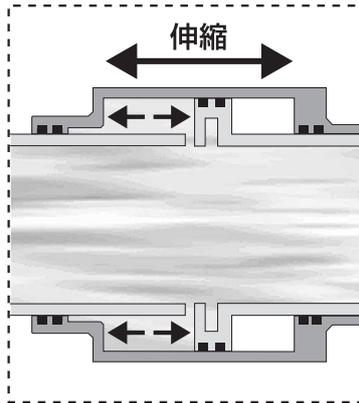
# 省スペース型 新メカニカル免震継手

ボールジョイントと伸縮ジョイントを一体化。  
三次元(X・Y・Z・回転軸)作動。

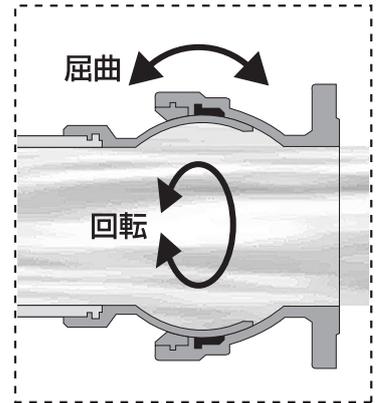
- 摺動タイプで反力はなく作動抵抗がほとんどない。
- 無反動型は圧力変動と水の体積変化を吸収する。
- 金属製で強度、耐久性に優れ、メンテナンスフリー。
- 無反動型は内圧による推力がほとんど発生しない。



ボールジョイント

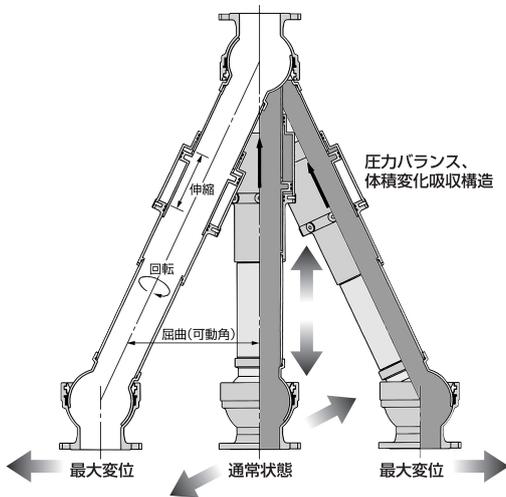


伸縮ジョイント  
(圧力バランス、体積変化吸収構造)

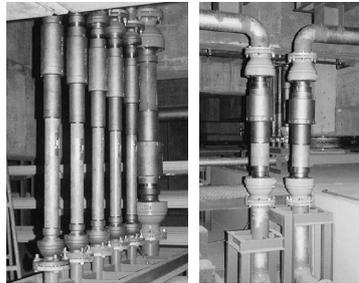


ボールジョイント

## ■作動図

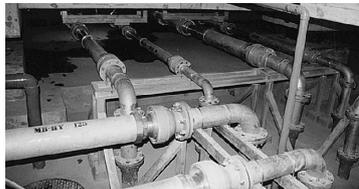


## ■施工例



MB-MK (給水用)

MB-MK (消火用)



MB-HY (排水用)

## ■種類・サイズ・用途 (単位:mm)

### 圧力配管用 縦型 [無反動型] (MB-MK)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	960	1180	1400	0~150	±25°
32	980	1200	1420		
40	1000	1220	1440		
50	1020	1240	1460		
65	1060	1280	1500		
80	1130	1350	1570		
100	1160	1380	1600	0~200	±25°
125	-	1380	1600		
150	-	1380	1600		
200	-	1430	1620		

### 開放配管用 縦型 (MB-HT)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	960	1180	1400	0~200	±25°
32	980	1200	1420		
40	1000	1220	1440		
50	1020	1240	1460		
65	1060	1280	1500		
80	1130	1350	1570		
100	1160	1380	1600	0~200	±25°
125	1160	1380	1600		
150	1160	1380	1600		

### 開放配管用 横型 (MB-HY)

呼び径	免震量 ±400・±500・±600			伸縮量	可動角(°)
	面間(±400)	面間(±500)	面間(±600)		
25	1520	1820	2120	±400 ±500 ±600	±25°
32	1550	1850	2150		
40	1560	1860	2160		
50	1630	1930	2230		
65	1700	2000	2300		
80	1920	2220	2520		
100	1990	2290	2590	±400 ±500 ±600	±25°
125	2000	2300	2600		
150	2070	2370	2670		

※免震量や呼び径が大き場合はお問い合わせ下さい。

(財)日本消防設備安全センター 評定番号/評10-020号 評11-016号 評14-648号  
危険物保安技術協会 評価番号/危評第0017号

無反動型免震ジョイント ボール形可とう伸縮継手

# メンミンベンダー

PAT.P

●お問い合わせは本社営業統轄部へ



株式会社 水研

本社 〒529-1663 滋賀県蒲生郡日野町北脇206-7 TEL(0748)53-8083  
札幌営業所 TEL(011)642-4082 大阪支店 TEL(072)677-3355  
東北営業所 TEL(022)306-3166 中国支店 TEL(082)262-6641  
東京支店 TEL(03)3970-9030 九州支店 TEL(092)501-3631  
名古屋支店 TEL(052)712-5222

■URL <http://www.suiken.jp/> ■E-mail [otoiawase@suiken.jp](mailto:otoiawase@suiken.jp)

GOMENKA

# 護 免 火

免震構造用耐火被覆システム

耐火構造認定 柱3時間

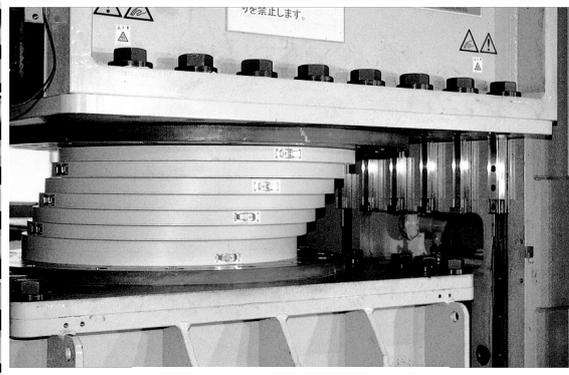
■天然ゴム系積層ゴム支承  
(錫鉛プラグ入りを含む)

FP180CN-0307

■高減衰積層ゴム支承

FP180CN-0335

- ◆フレキシブル板とけい酸カルシウム板を主構成材料とした優れた耐火性
- ◆フッ素樹脂のすべり効果により免震装置の水平変形にしっかり追随
- ◆分割されたリング状耐火被覆材をバックルで固定するだけの簡単施工



護免火の変形追随性試験



ビル免震構造を火災から護ります。  
燃やさない技術

■角形



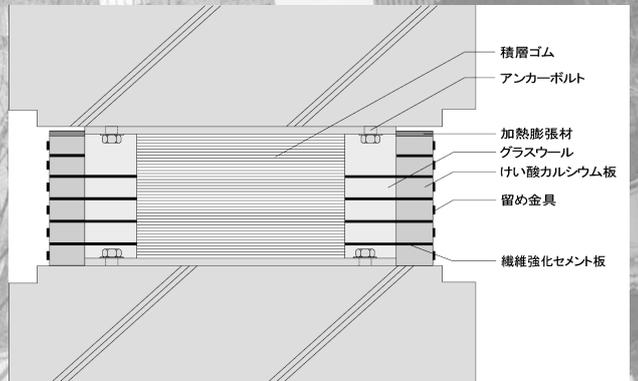
■丸形



■仕上げ形状および寸法

(単位:mm)

積層ゴム支承の種類	仕上げ形状	仕上がり寸法
天然ゴム系積層ゴム支承 <ゴム径: φ500~φ1600>	角形 丸形	フランジ外径(外寸)+210 フランジ外径(外寸)+250
高減衰積層ゴム支承 <ゴム径: φ600~φ1600>	角形 丸形	フランジ外径(外寸)+210



優れた免震構造は、地震だけでなく火災にも強い。

「護免火」は免震構造を火災から護るために開発された耐火被覆材です。3時間の加熱において、積層ゴム表面を150℃以下に保ちました。優れた追随性を発揮し、定期点検にも優れた簡単施工です。

**A&AM** 株式会社 エーアンドエー マテリアル

本社 (建築耐火事業部) 〒230-8511 横浜市鶴見区鶴見中央2-5-5 電話 045 (503) 5771

- ◆北海道支店 電話 011 (611) 8601
- ◆東北支店 電話 022 (284) 4075
- ◆東京支店 電話 03 (3434) 8485
- ◆中部支店 電話 052 (324) 6210
- ◆西日本支店 電話 06 (6312) 1765
- ◆中四国支店 電話 082 (291) 9323
- ◆九州支店 電話 092 (721) 4747

## 会誌「MENSHIN」 広告掲載のご案内

会誌「MENSHIN」に、広告を掲載しています。貴社の優れた広告をご掲載下さい。

### ●広告料金とサイズなど

- 1) 広告の体裁 A4判(全ページ) 1色刷  
掲載ページ 毎号合計10ページ程度
- 2) 発行日 年4回 2月・5月・8月・11月の25日
- 3) 発行部数 1,200部
- 4) 配布先 社団法人日本免震構造協会会員、官公庁、建築関係団体など
- 5) 掲載料(1回)

スペース	料 金	原稿サイズ
1ページ	¥84,000(税込)	天地 260mm 左右 175mm

※原稿・フィルム代は、別途掲載者負担となります。※通年掲載の場合は、20%引きとなります。正会員以外は年間契約は出来ません。

- 6) 原稿形態 広告原稿・フィルムは、内容(文字・写真・イラスト等)をレイアウトしたものを、郵送して下さい。  
広告原稿・フィルムは、掲載者側で制作していただくこととなりますが、会誌印刷会社(株)大應に有料で委託することも可能です。
- 7) 原稿内容 本会誌は、技術系の読者が多く広告内容としてはできるだけ設計等で活用できるような資料が入っていることが望ましいと考えます。  
出版部会で検討し、不適切なものがあつた場合には訂正、又は掲載をお断りすることもあります。
- 8) 掲載場所 掲載場所につきましては、当会にご一任下さい。
- 9) 申込先 社団法人日本免震構造協会 事務局  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階  
TEL 03-5775-5432 FAX 03-5775-5434

広告を掲載する会員は、現在のところ正会員としておりますが、賛助会員の方で希望される場合は、事務局へご連絡下さい。

# 大地震に備える

～免震構造の魅力～

免震建築の普及のため、建築主向けに免震構造を分かり易く解説したもの (約9分)



[日本語版]

価格(税込)：会 員 ￥2,000  
非会員 ￥2,500  
アカデミー ￥1,500

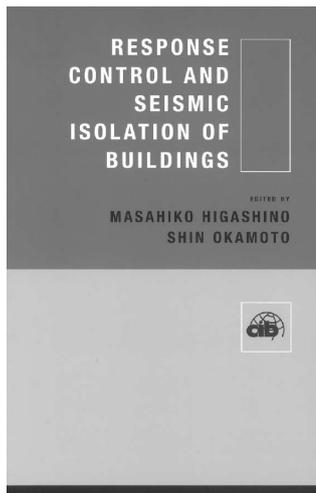
発行日：2005年8月



[英語版]

価格(税込)：会 員 ￥1,500  
非会員 ￥2,000  
アカデミー ￥1,000

発行日：2006年11月



国際委員会は2000年よりCIB(建築研究国際協議会)のTG44(Performance Evaluation of Buildings with Response Control Devices)の活動もしていましたが、今回その成果として免振に関する世界の現状を記した書籍がTaylor&Francis社より出版されました。各国の技術基準比較と設計・解析方法などの紹介、免震建物の地震応答観測結果、装置の紹介、各国の設計例データシートなどが示されている。(英語版)

価格(税込)：会 員 [特別価格] ￥5,500

発行日：2006年12月

発 売 元：社団法人日本免震構造協会

## 編集後記

百年に一度と言われる「金融危機」に引き続いて、今度は「新型インフルエンザ」の襲来があり、企業の業務活動が制限される状況となってきています。今後、経済活動の停滞は建設業への影響も大きく、ひいては免震業界へと波及されてくることが考えられる。このような状況であればこそ、免・制震技術の優れた性能を評価していただく提案が必要であり、今回紹介している電算関連・放送関連・学校など免震提案で実現できた案件と思われる。

特別寄稿「文化財建造物等の地震対策に関する日中専門家ワークショップ」では四川大地震での文化財の被害状況及び修復の考え方が掲載されているが、

日本でも京都・奈良の「世界遺産」の保存を考えておく必要も感じられた。

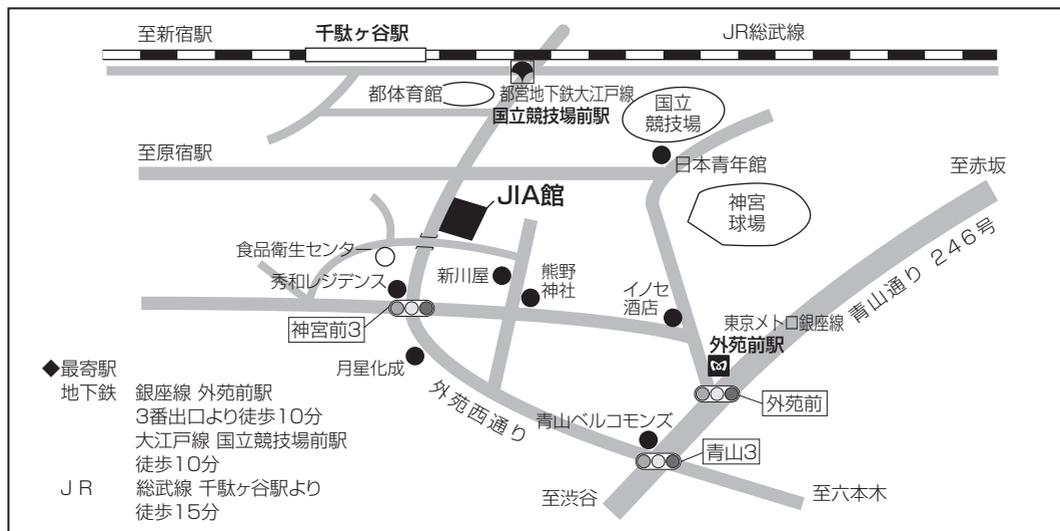
「アイデアコンペ」では、最優秀賞として「もやし免震」などユニークな提案がありましたが、2050年には平和でユニークな免震建物が数多く建っていることを願っています。

免震建築訪問は、先進技術開発に望ましいワークスペースを追求した「日産先進技術開発センター」で、大きなガラスの屋根からの自然光が印象深い訪問でした。今回の訪問取材を含め編集WGは、加藤(巨)、小山、齋藤、竹内、千馬さんの5名の方々でした。御苦勞様でした。

出版部会委員長 加藤 晋平

## 寄贈図書

日本ゴム協会誌	第82巻	第1号	(社)日本ゴム協会
日本ゴム協会誌	第82巻	第2号	(社)日本ゴム協会
日本ゴム協会誌	第82巻	第3号	(社)日本ゴム協会
Argus-eye	2009.1		(社)日本建築士事務所協会連合会
Argus-eye	2009.2		(社)日本建築士事務所協会連合会
Argus-eye	2009.3		(社)日本建築士事務所協会連合会
けんざい	222号		(社)日本建築材料協会
月刊 鉄鋼技術	2009	1月号	鋼構造出版
月刊 鉄鋼技術	2009	2月号	鋼構造出版
月刊 鉄鋼技術	2009	3月号	鋼構造出版
RE	2009.1	No.161	(財)建築保全センター



2009 No.64 平成21年5月25日発行

発行所 (社)日本免震構造協会

編集者 普及委員会 出版部会

印刷 (株)大 應

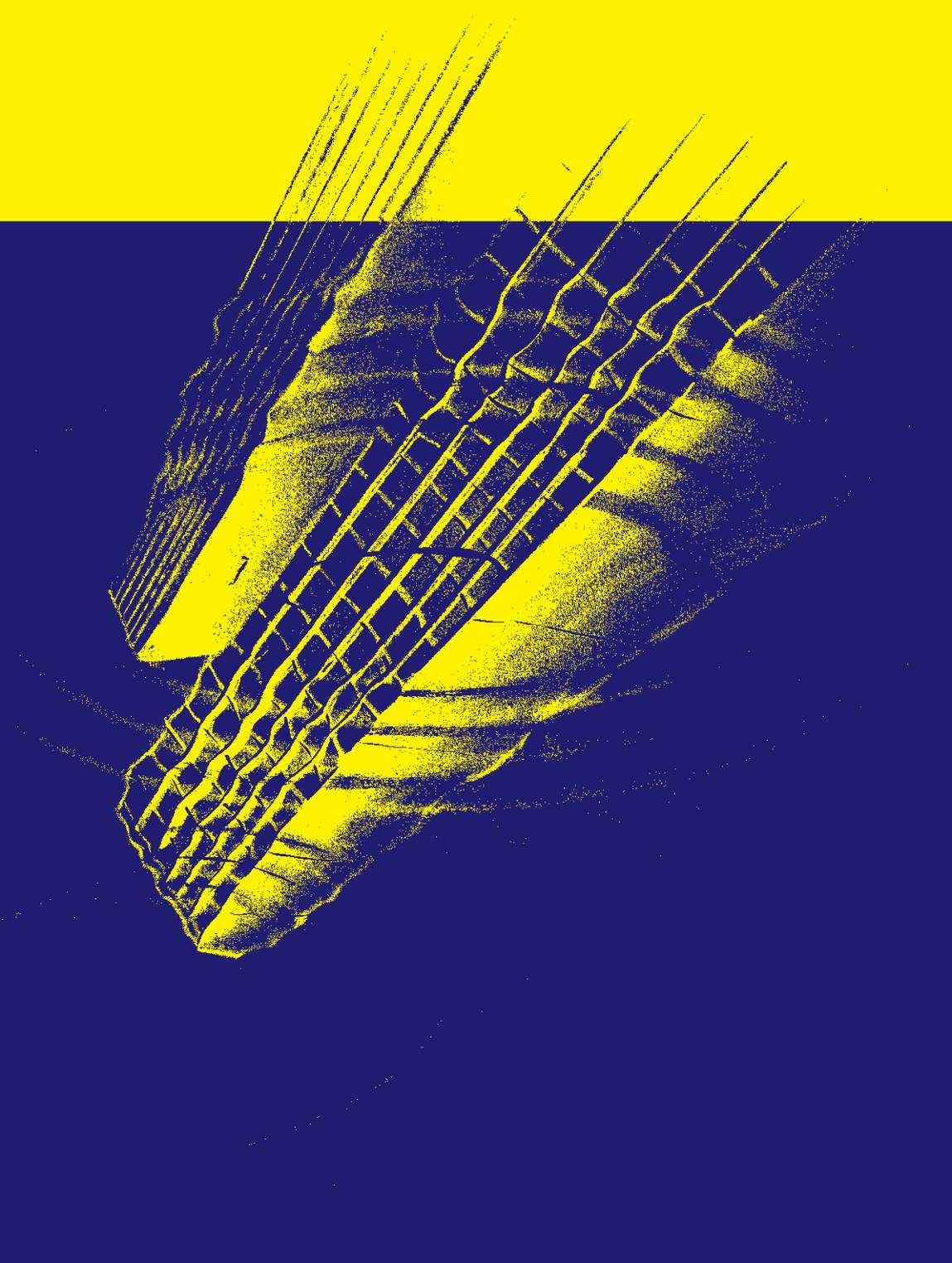
〒150-0001

東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階  
社団法人日本免震構造協会

Tel : 03-5775-5432

Fax : 03-5775-5434

http://www.jssi.or.jp/



**JSSI**

Japan Society of Seismic Isolation

社団法人日本免震構造協会

事務局 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館2階

TEL.03-5775-5432 (代) FAX.03-5775-5434

<http://www.jssi.or.jp/>